

The 78th National Convention of IPSJ
2016年



第78回全国大会

— 超スマート社会への扉 —

大会案内 / プログラム

会期：2016.3.10(木) ▶ 12(土)

会場：慶應義塾大学 矢上キャンパス
横浜市港北区日吉3-14-1

《大会会期中連絡先(大会本部)》
Tel (080)6624-2658

第78回全国大会 ゴールドスポンサー



株式会社とめ研究所



株式会社フォーラムエイト



株式会社ドワンゴ



株式会社UBIC

第78回全国大会 シルバースポンサー



LINE株式会社



富士通株式会社

共催：慶應義塾大学 理工学部



進化計算とニューロネットワークがよくわかる! 話題の深層学習も学べる!

進化計算と深層学習 創発する知能

伊庭齊志 著 A5判/192頁/定価(本体2,700円+税)

本書は、ディープラーニングの基礎となるニューラルネットワークの理論的背景から人工知能との関わり、最近の進展や成果、課題にいたるまでを詳しく説明します。「進化」と「学習」をキーワードとして、人工知能の実現へのアプローチや知能の創発の説明やニューラルネットや進化計算による学習の基礎的なところを解説したり、「進化計算」を用いた「深層学習」への取り組みを説明する、など話題の深層学習について多方面からアプローチしています。

現実のデータマイニング事例を
Rで分析する!

Rによる データマイニング 入門



山本義郎・藤野友和・
久保田貴文 共著
A5判/244頁
定価(本体2,900円+税)

マーケティングの分野で統計学
を活用する!

Rで学ぶ 統計データ分析



本橋永至 著
A5判/272頁
定価(本体2,600円+税)

1冊でRおよび統計の基礎から
応用まで幅広く学べる!

実践 R 統計分析



外山信夫・辻谷将明 共著
A5判/384頁
定価(本体3,800円+税)

アジャイル開発の原点を再考する新訳!

エクストリーム プログラミング

Kent Beck・Cynthia Andres 共著/角 征典 訳
A5判/208頁/定価(本体2,200円+税)

ストレージ技術の基礎から最新動向まで解説!

ストレージ技術 クラウドとビッグデータの時代

喜連川 優 編著
B5変判/308頁/定価(本体3,500円+税)

パターン認識についてすぐに役立ち正しい知識が得られる!

わかりやすい パターン認識

石井健一郎・上田修功・前田英作・村瀬 洋 共著
A5判/216頁/定価(本体2,800円+税)

『わかりやすい パターン認識』待望の続編!

続・わかりやすい パターン認識 教師なし学習入門

石井健一郎・上田修功 共著
A5判/340頁/定価(本体3,200円+税)



オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0853 FAX 03(3233)3440

www.ohmsha.co.jp

定価は変更になる場合があります。

プログラム目次

インフォメーション	1
大会会場交通案内 (慶應義塾大学 矢上キャンパス)	2
館内案内図	3
展示会のご案内	6
タイムテーブル	10
講演論文集の分類と内容	15
全国大会イベント企画のご案内	16
全国大会会場別プログラム	17
全国大会招待講演企画・イベント企画の概要	22
一般/学生 セッションプログラム詳細	53

(第1分冊 コンピュータシステム)

1A コンピュータシステム (1)	53
2A コンピュータシステム (2)	53
1G システムソフトウェア	53
2G 数値計算	53
3G 組込みシステム (1)	53
4G 組込みシステム (2)	53
5G ロボット・リアルタイムシステム	53
6G プロセッサアーキテクチャ	54
7G 相互結合網	54
1H アクセラレータ (1)	54
2H アクセラレータ (2)	54
3H 回路とデバイス	54
4H 並列アルゴリズム	54
5H GPGPU	55

(第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

3A アルゴリズム	55
4A 開発支援	55
5A 要求・モデリング	55
6A システム開発	55
7A 数理モデル化と問題解決 (5)	55
1B 数理モデル化と問題解決 (1)	56
6H 数理モデル化と問題解決 (4)	56
7H プログラミング (2)	56
1J テスト・保守	56
2J 開発支援・プログラミング	56
3J モデル・設計	56
4J プログラミング (1)	56
5J ソフトウェア解析	57
6J アルゴリズム	57
7J 要求・教育	57
2K 数理モデル化と問題解決 (2)	57
3K 数理モデル化と問題解決 (3)	57

(第1分冊 データとウェブ)

2B ストレージとその利用法	58
3B データ解析	58
4B コンテンツ制作支援・発信	58
7D 検索・推薦	58
4K 情報推薦 (1)	58
5K 情報推薦 (2)	58
6K SNS	58
7K 情報検索 (2)	58
1L ウェブアプリケーション	59
2L 情報検索 (1)	59
3L コンテンツデータ処理・解析	59
4L ストリームとインターフェース	59
5L デジタルコンテンツ制作	59
6L データベース	59

(第2分冊 人工知能と認知科学)

5B 自然言語処理	61
6B 音声・音楽・シナリオ・対話	61
7B ゲーム情報学	61
1C 画像認識の応用	61
2C 計測と画像処理	61
3C 知能システム	61
7L 脳・身体・心の認識	61
1M 反射解析・画像処理	61

2M 人物画像処理	62
3M 対話コミュニケーションと AI	62
4M 感情・表情の推定と生成	62
5M 最適な解や戦略を探索するゲーム情報学	62
6M 生活を豊かにするゲーム情報学	62
7M コンピュータビジョンと機械学習	62
1N 画像認識 (1)	63
2N 画像認識 (2)	63
3N 三次元情報処理	63
4N 物体追跡	63
5N 画像処理を用いた支援	63
6N 特徴点・幾何・飛行撮影システム	64
7N 視覚情報処理	64
1P ロボティクス	64
2P ソフトコンピューティング	64
3P 強化学習	64
4P 機械学習	64
5P マルチエージェント	64
6P 情報推薦と可視化	65
7P データマイニングと最適化	65
1Q 自動伴奏・演奏支援	65
2Q 楽曲生成・分析	65
3Q 楽曲認識・音響分析	65
4Q 音源分離・認識・センサ	66
5Q 楽曲検索・推薦・プレイリスト	66
6Q 音声対話	66
7Q 音声・話者認識	66
1R 自然言語処理 (1)	66
2R 自然言語処理 (2)	66
3R 自然言語処理 (3)	67
7R 論理と推論	67

(第3分冊 ネットワーク)

4C コンシューマシステム	68
5C ユビキタスコンピューティングとセンシングシステム	68
6C ネットワーク関連技術	68
7C 道路交通情報	68
1D 位置情報と応用システム	68
4R マルチメディア情報処理	68
5R ネットワーク運用技術	68
6R モバイルデバイス応用と IoT	69
1S アドホック・センサーネットワーク (1)	69
2S アドホック・センサーネットワーク (2)	69
3S センシングシステム・アプリケーション (2)	69
4S ネットワーク構造・制御 (1)	69
5S 個人化サービスと社会応用システム	69
6S ネットワークプロトコル	70
7S ネットワーク構造・制御 (2)	70
1T センサーネットワーク	70
2T 無線ネットワーク	70
3T ホームネットワークと情報家電	70
4T マルチメディア通信	71
5T スマートグリッドと省電力システム	71
6T 災害ネットワーク	71
7T 災害情報	71
1U 車載端末とユーザインタフェース	71
2U ナビゲーション	72
3U 交通制御とシミュレーション	72
4U 公共交通システム	72
5U 位置推定と歩行者ナビゲーション	72
6U 屋内位置推定・状況把握	72
7U 位置情報システム	72
1V ウェアラブルセンサ・システム	73
2V センシングシステム・アプリケーション (1)	73
3V クラウドとセキュリティ	73

(第3分冊 セキュリティ)

2D	プライバシー保護と機械学習セキュリティ	73
3D	セキュリティ心理学・マネジメント	73
4V	応用暗号	73
5V	ソーシャルメディアのセキュリティ	74
6V	リスク分析/リスク対応	74
1W	認証	74
2W	攻撃分析	74

(第4分冊 インタフェース)

4D	CGとネットワーク	75
5D	HCI一般(1)	75
6D	HCI一般(2)	75
3W	コンヴィヴィアなネットワーク	75
4W	レンダリング	75
5W	対話・協調・コミュニケーション	75
6W	NPRと画像処理	75
7W	アニメーション	76
1X	AR・MRと3次元	76
2X	モデリング	76
3X	災害・交通	76
4X	システム・開発	76
5X	シミュレーションと可視化	76
6X	対話	77
7X	ロボット	77
1Y	ジェスチャ・認識(1)	77
2Y	ジェスチャ・認識(2)	77
3Y	環境・安全	77
4Y	インタラクティブシステム	77
5Y	推薦・検索・ネットワーク	78
6Y	認識一般	78
1Z	VR・AR(1)	78
2Z	VR・AR(2)	78
5Z	視線・音声	78

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

1E	教育支援・学習支援システム	79
2E	高齢社会デザイン	79
3E	情報教育	79
4E	生命・生体と情報	79
5E	知的財産のモデルと社会基盤情報活用と保護	79
6E	地域・データ活用・メンタルヘルスのシステム	79
7E	災害対策システム	80
1F	情報教育の手法	80
2F	情報システムと社会環境	80
3F	授業支援	80
4F	人文科学と情報分析(1)	80
5F	プログラミング教育	80
6F	ICTを活用した教育	80
7F	人文科学と情報分析(2)	81
3Z	バイオ情報学	81
4Z	生命と数理	81
6Z	エンタテインメントにおける複合現実感	81
1ZA	情報システム基盤	81
2ZA	知財の活用・保護と地域情報の活用	81
3ZA	教育支援システム(1)	82
4ZA	教育支援システム(2)	82
5ZA	初中等教育支援・語学教育支援	82
6ZA	生体情報・学習支援システム	82
7ZA	特別支援教育・就職支援教育他	82
1ZB	エンタテインメントコンピューティング	82
2ZB	ゲームとスポーツ	83
3ZB	テキストマイニング	83
4ZB	歴史と感性情報	83
5ZB	博物館と情報	83
6ZB	高齢社会デザインとインタラクション技術	83
7ZB	高齢社会デザインと見守り支援	83
1ZC	学習支援(1)	84
2ZC	学習支援(2)	84
3ZC	授業支援(1)	84
4ZC	授業支援(2)	84
5ZC	プログラミング	84
6ZC	教育における表現	85
7ZC	PBLと就活支援	85
1ZD	農林水産支援システム	85

2ZD	地域支援システム	85
3ZD	観光支援システム	85
4ZD	健康・福祉支援システム	86
5ZD	防災・災害対策システム	86
6ZD	情報抽出・提示システム	86
7ZD	状況理解のシステム	86

ーインフォメーションー

■総受付（インフォメーションコーナー）慶應義塾大学 矢上キャンパス（以下、略）創想館 東館 1 階
受付時間：10 日（木）8:30 - 17:00 11 日（金）8:30 - 17:00 12 日（土）8:30 - 15:30
各種受付、講演論文集・DVD-ROM 販売、各種問合せ窓口

■大会本部・手荷物預かり 創想館 2 階 DR1 ～ 3・6
臨時電話：080-6624-2658（通話可能期間 10 日（木）～ 12 日（土）8:30 - 16:30）

■大会イベント企画聴講参加費【プログラム・大会イベント企画聴講参加章付き】（無料）
第 1 ～ 3 イベント会場・特別会場で開催するイベントおよび展示会場のみ聴講参加できます。
*一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください。

■【当日申込価格】大会共通聴講参加費【プログラム・大会共通聴講参加章付き】（税込）
正会員：4,000 円 正会員（DVD-ROM 付）：9,000 円 一般非会員：7,000 円
学生：無料（会員非会員問わず）
*大会で開催される全てのイベント企画、展示、一般セッション、学生セッションを聴講できます。

■【当日申込価格】講演論文集・DVD-ROM（税込）*DVD-ROM には一般講演全論文とプログラム収録
講演論文集セット（全論文集・DVD-ROM・カバー付き）：63,000 円
講演論文集各分冊：14,000 円
講演論文集 DVD-ROM（個人）：9,000 円
講演論文集 DVD-ROM（法人）：57,000 円
講演論文集 DVD-ROM（学生割引会場販売）：5,000 円

■懇親会

日時：3 月 10 日（木）18:30 - 20:30
会場：協生館 2 階 クイーン・アリス ガーデンテラス日吉
【当日申込価格】参加費（税込）：一般（社会人）：5,000 円 学生：3,000 円 ジュニア会員：1,000 円

■その他お知らせ事項

【連絡掲示板】
大会会場での周知および伝言等は、総受付付近に設置する「掲示板」に掲示しますのでご注意ください。
各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

【休憩コーナー】
創想館 1 階・2 階 リフレッシュコーナー

【インターネット接続】
○ eduroam：国際無線 LAN ローミング基盤である eduroam が利用可能です。eduroam 参加機関の所属で、アカウントをお持ちの方はご利用下さい。

【食堂・売店】

・食堂：16-A 棟 厚生棟 生協食堂 1F・2F（営業時間 1F 10:30 - 14:00, 2F 11:00 - 19:30（平日）, 11:00 - 14:00（土曜日））
・売店：16-A 棟 厚生棟 生協購買部 B1F（営業時間 10:00 - 18:30（平日）, 10:00 - 14:00（土曜日））
・コンビニエンスストア：24 棟 1F（営業時間 8:00 - 21:00（平日）, 8:00 - 18:00（土曜日））
・喫茶売店：14 棟 創想館 西館（営業時間 10:00 - 17:30（平日）, 10:00 - 15:00（土曜日））
・食堂：日吉キャンパス（営業時間 10:30 - 17:00（平日）, 10:00 - 14:00（土曜日））
・コンビニエンスストア：日吉キャンパス 協生館 1F（営業時間 24 時間）
・コーヒーストック：日吉キャンパス 協生館 1F（営業時間 7:30 - 20:00）

【ゴミ処理について】

ゴミは各自でお持ち帰り頂きますようお願いいたします。

【交通機関】

日吉駅（東急東横線、東急目黒線／横浜市営地下鉄グリーンライン）から徒歩 15 分
新川崎駅（JR 横須賀線）からタクシーで約 10 分 タクシー会社：飛鳥交通（044-433-0246）、明生タクシー（044-422-5147）

【ご注意 ※ 予めご了承ください】

・第 1 イベント会場（10 ～ 12 日）と特別会場（藤原記念ホール）のイベントはニコニコ生放送において中継されます。
また、映像記録はアーカイブされインターネット上で公開されます。
・本大会の各講演会場では、当学会やプレス等が写真撮影およびビデオ撮影等を行う場合があります。これらは情報処理学会の学会誌を含め、各広報誌およびホームページ等で公開されることがあります。

■今後の全国大会・FIT 情報（予定）

FIT2016 第 15 回情報科学技術フォーラム [http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/]
会期：2016 年 9 月 7 日（水）～ 9 日（金）会場：富山大学 五福キャンパス
情報処理学会 第 79 回全国大会 [http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/]
会期：2017 年 3 月 会場：名古屋大学 東山キャンパス

■問合せ先

一般社団法人 情報処理学会 事業部門 Tel.03-3518-8373 E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

大会会場交通案内

慶應義塾大学 理工学部 矢上キャンパスへのアクセス

神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1

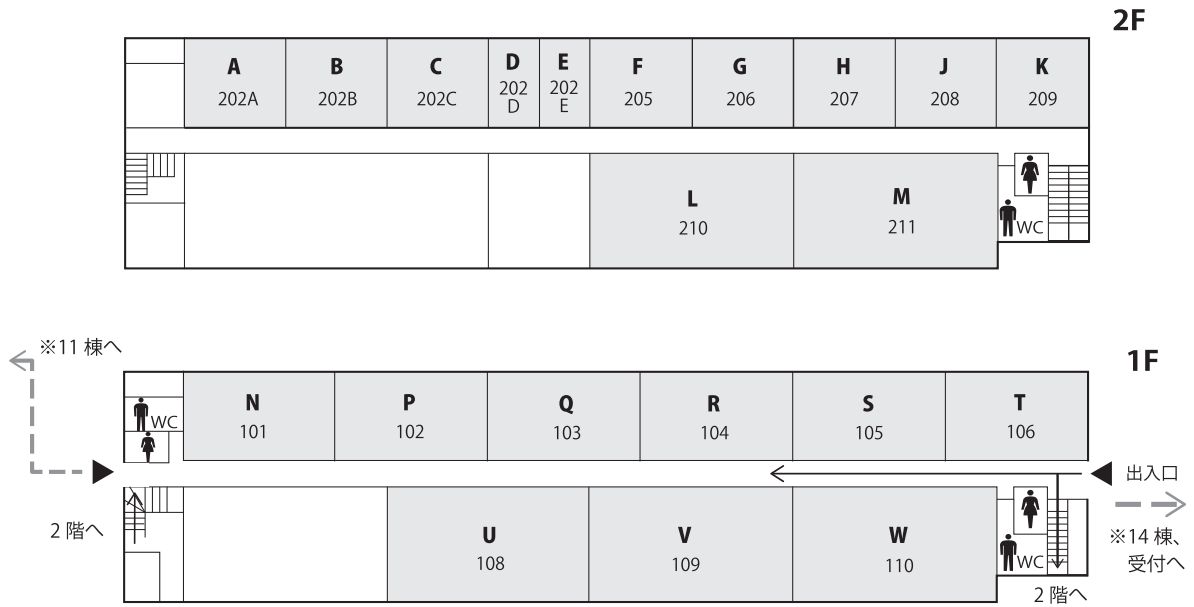


主なターミナルからのアクセス

東京駅	JR山手線(渋谷・品川方面行き) 約17分	目黒駅	東急目黒線 約17分	日吉駅(矢上キャンパス最寄駅)		
新宿駅	JR山手線(渋谷・品川方面行き) 約7分	渋谷駅	東急東横線 約18分			
横浜駅	東急東横線 約17分					
羽田空港	東京モノレール 約19分	浜松町駅	JR山手線(渋谷・品川方面行き) 約11分		渋谷駅	東急目黒線 約17分
成田空港	京成スカイライナー 約40分	日暮里駅	JR山手線(渋谷・品川方面行き) 約30分		渋谷駅	東急東横線 約20分
成田空港	成田エクスプレス 約80分	武蔵小杉駅	東急東横線・目黒線 約5分			

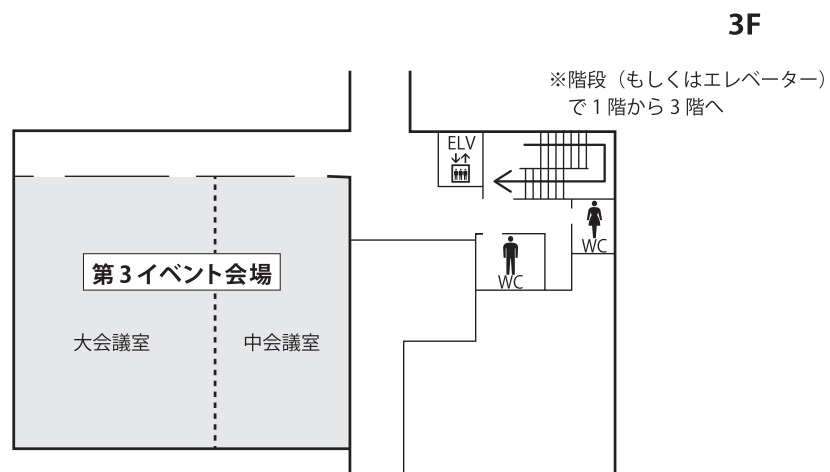
館内案内図

矢上キャンパス [12棟：教室棟]



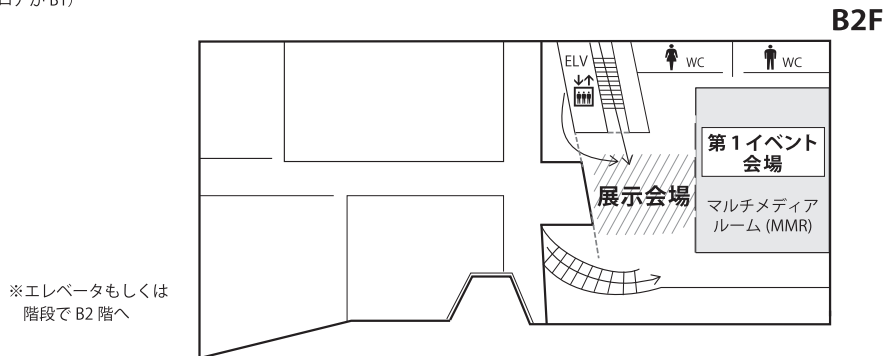
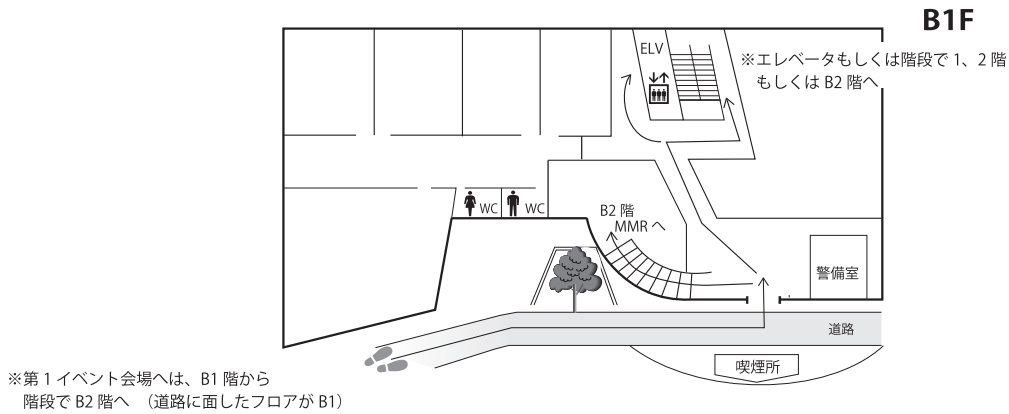
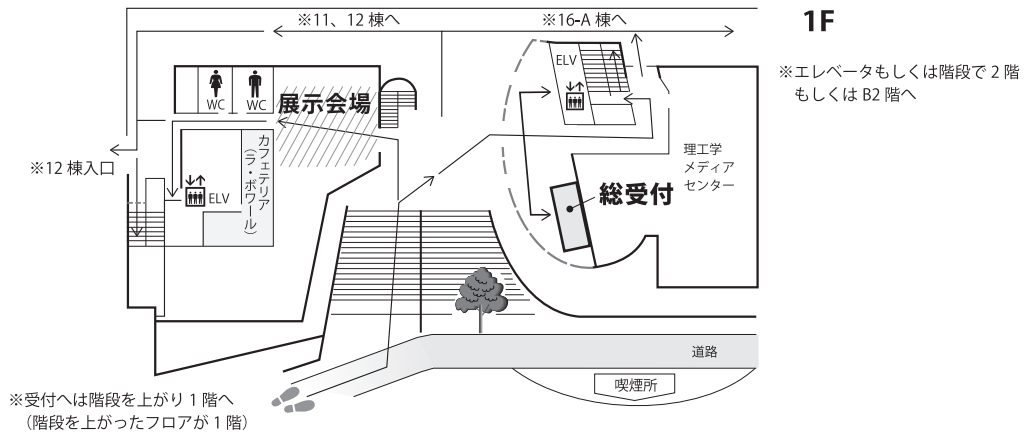
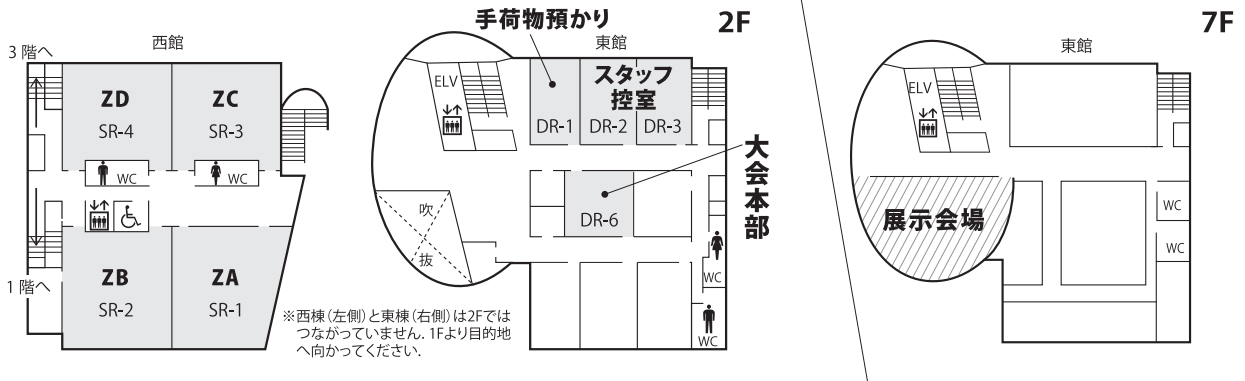
矢上キャンパス [16-A棟：厚生棟]

1、2F：生協食堂
B1F：生協購買部



館内案内図

矢上キャンパス [14棟：創想館]



— 展示会のご案内 —

第 78 回全国大会では会期中、以下団体・企業・大学等による展示会を開催致します。

展示会場：慶應義塾大学矢上キャンパス創想館 西館 1F・東館 1F・7F・B2F ホワイエ

展示日時：3月10日（木）～12日（土）9：30-17：00 *10日は15：30まで・*12日は15：00まで

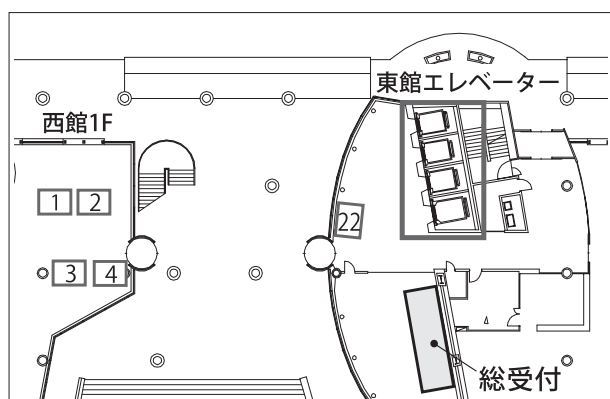
ブース番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
#01	株式会社とめ研究所 [http://www.tome.jp/] 大会スポンサー（ゴールド） 株式会社とめ研究所のご紹介
	【とめ研究所のミッション】「お客様の研究開発を支援する“研究開発受託会社”」知能情報処理技術をコアコンピタンスとし、大学・公的研究機関・企業研究所・ベンチャー等と国家PJ応募、共同研究・受託研究開発・技術者派遣で協創し、来るべき、“人と機械の共生社会”の構築に貢献します。 【得意分野】 ○ポストドク相当の技術者が共同者のように研究開発の加速推進に貢献します。 ・技術者の6割が博士課程出身、4割が博士号取得者です。 ○研究開発、システム開発、組込み制御開発までお任せください。 ・画像処理、信号処理、数値解析、検査、計測、ロボット、データマイニング、自然言語処理、ヒューマンインタフェース、組込み制御開発 他 ※ 今回の展示では、とめ研究所の強み、得意分野などについて、ご紹介いたします。
#02	株式会社フォーラムエイト [http://www.forum8.co.jp/] 大会スポンサー（ゴールド） フォーラムエイトによる3DVR技術とクラウド活用
	フォーラムエイトでは、創業以来ソフトウェアパッケージ開発技術を基盤として、土木・建築設計や交通・自動車研究を支援するソリューションを幅広く提供しています。なかでも、簡単な操作でVR空間を構築し高度なリアルタイムシミュレーションが行える3次元バーチャルリアリティソフト「UC-win/Road」では、高解像度化・多様化する映像やクラウド化といったニーズに対応して、さまざまなVR連携システムの構築を積極的に展開しています。この「UC-win/Road」に加えて、特許技術である独自開発の大容量データ伝送システム「a3S」により3DVRをクラウドで利用できる「VR-Cloud(R)」を展示。併せて、「VR-Cloud(R)」に最適でコンパクトな筐体の高性能グラフィックサーバ「UMDC（ウルトラマイクロデータセンター）」も紹介いたします！
#03	株式会社ドワンゴ [https://nico-opendata.jp/] 大会スポンサー（ゴールド） 『niconicoデータセット公開と、ニコニコ静画イラストデータを学習したニューラルネットワークの応用』
	niconicoの各種データを研究用途で利用頂くために開設したデータ公開サイトについて、公開しているデータセットの概要について展示します。また、イラストのタグをニューラルネットワークで学習したモデルについて、意味的類似検索など、タグ推定以外の用途に利用する事例の紹介及び、イラストの閲覧数やお気に入り数を画像データのみから予測する事例などを展示します。
#04	株式会社UBIC [http://www.ubic.co.jp/] 大会スポンサー（ゴールド） 活用が広がるUBICの国産人工知能「KIBIT」
	UBICが独自開発した、日本発の人工知能エンジン、それが「KIBIT（キビット）」です。人間の機微を理解し、訴訟や医療の現場では弁護士や医師の判断をサポート、ビジネスの最前線では、クライアントの開拓やプロジェクトの進捗管理などマネージャーのサポート、さらにマーケティングの分野では、ユーザーの嗜好を理解して商品やサービスを提案するなど、様々な分野での活用が進んでいます。今回の展示では、これらKIBITの活用例や、KIBITの研究、開発を行っているUBICの行動情報科学研究所についてご紹介いたします。あわせて、KIBITを搭載するパーソナルロボット「Kibiro（キビロ）」についてもご紹介いたします。 詳細：http://www.ubic.co.jp/technology/kibit.html
#05	科研費S ビルディングブロック型コンピュータシステムの研究 [http://www.am.ics.keio.ac.jp/kaken_s/] 誘導結合を用いた3次元積層チップ、超低電力アクセラレータのデモンストレーション
	誘導結合を用いた3次元積層チップは、チップ間にワイヤレスで高速なリンクを形成できるため、簡単に積層が可能で、様々なチップを用いたヘテロジーニアスシステムの構築が可能である。実際に積層を行ったチップのデモンストレーションを行う。また、ここで用いている超低電力アクセラレータはWearable DeviceやIoTに応用可能であり、レモン電池で5MHzの周波数で動作が可能である。このデモンストレーションも行う。
#06	CRESプロジェクト「ポストベタスケール時代に向けた演算加速機構・通信機構統合環境の研究開発」 [http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/] 低レイテンシなPCIeスイッチハブPEACH2/PEACH3
	PEACH2/PEACH3は、PCIeポートを4つ持つスイッチングハブで、結合したホストCPU、GPUのメモリを単一のPCIeメモリ空間にマップすることが可能である。複数のノード間で低レイテンシの共有メモリを実現することが可能で、細かい転送を頻繁に行う場合に効果的である。現在筑波大のHA-PACS上で実働中だが、今回は1ノードのシステムの展示とデモンストレーションを行う。
#07	慶應義塾大学大槻研究室 [http://www.ohtsuki.ics.keio.ac.jp/] ワイヤレスヘルスマonitoring
	当研究室で開発しているワイヤレスヘルスマonitoring技術を紹介いたします。電波伝搬の変動に基づき人の行動識別・位置推定が可能な、複数アンテナ素子から成るアレーセンサを紹介いたします。また、プライバシーの保護が可能な低解像度赤外線センサを用いた見守り技術を紹介いたします。さらに、ドップラーセンサを用いた生体信号センシング法を紹介いたします。

#08	慶應大学山中研+ NTT [http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp/] コンテンツのマネタイズと IoT トレードプラットフォーム NTT と慶應大学山中研の共同研究成果を報告する。
#09	慶應大学山中研+大阪大学 [http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp/] 脳のメカニズムを利用した、関係性のあるリンクドコンテンツの自動配置 大阪大学と慶應大学山中研究室の共同研究プロジェクトの成果報告
#10	慶應義塾大学情報工学科斉藤英雄研究室 [http://www.hvrl.ics.keio.ac.jp/] 慶應義塾大学情報工学科斉藤英雄研究室 画像処理に関する研究成果を展示する。
#11 #12	アシアル株式会社 [http://www.asial.co.jp/] 『Monaca』によるモバイルアプリ・プログラミング教育事例紹介 プログラミング教育の重要性がさげばれていますが、実践には開発環境や教材の準備など様々な課題があります。そこで準備の手間や運用トラブルを回避するためにクラウド型のプログラミング環境が有望視されています。当ブースでは国産のクラウド型プログラミング環境である Monaca を活用し、教育分野で実績を出されている学校様の事例をご紹介します。また、学生が作成したアプリの展示や教材のサンプル配布を予定しております。 ■ Monaca とは無料から利用できるクラウド型プログラミング環境です。Android や iOS に対応したモバイルアプリを HTML5 と JavaScript 言語で開発できます。国産開発ツールとして 10 万人以上の方が利用しており 3000 以上の公開アプリが誕生しています。 詳細：https://ja.monaca.io/
#13	共立出版株式会社 [http://www.kyoritsu-pub.co.jp/] 情報関連書籍展示販売 未来へつなぐデジタルシリーズ既刊 29 冊他、シリーズ U s e f u l R、近似アルゴリズムデザイン、統計的学習の基礎、等売れ行き良好書を展示販売いたします。
#14	Springer [http://www.springer.com/] 英文書籍・プロシーディングスの展示・出版相談 Springer では、情報科学分野の優れた研究成果を発信するため、国際会議 Proceedings を出版するシリーズである LNCS (Lecture Notes in Computer Science) とその姉妹編である CCIS (Communications in Computer and Information Science) を刊行しています。現在、両者について企画を公募しており、大会ブースでは書籍の展示に加え、ご希望の方には Proceedings の出版ガイダンスも行います。1973 年に創刊した LNCS は、現在まで 9000 タイトル以上を数え、世界中の研究者から支持をいただけてきました。一方 CCIS は、LNCS を補完するシリーズとして 2007 年に創刊された若いシリーズですが、発行点数はすでに 500 巻を超えています。審査基準はほぼ LNCS と同じですが、審査期間が通常 2～4 週間と早いのが特長です。(いずれも冊子体買い取り義務などの費用負担はなく、審査では学術的水準の高さのみが問われます。)
#15	株式会社 イーツリーズ・ジャパン [http://e-trees.jp/] FPGA ボード、IP コアおよび応用事例の紹介 イーツリーズ・ジャパンは、PGA を Web サーバで開発してきた経験をベースに、ネットワークと FPGA という切り口で、高性能計算から組み込みまで幅広い分野での計算処理を高速化あるいは低消費電力化、メンテナンスコストの軽減に対する取り組みを行っています。この展示では、弊社の開発する FPGA ボードや IP コア、応用事例を紹介いたします。
#16	東京システムハウス株式会社 [http://www.tsh-world.co.jp/adv-rd/] 先進 ICT 研究開発支援サービスのご紹介 本サービスは、ICT 分野で研究開発を進めるお客様に、エンジニア派遣、システム開発請負で貢献するサービスです。大学や公的研究機関、民間企業を問わず、研究開発に関わる業務をサポートさせていただきます。お客様が求めるエンジニアの技術要件から、研究内容の背景や環境を考慮し、本質的なニーズに合ったご提案をさせていただきます。当日は弊社の R&D プロジェクトの事例を展示いたします。ぜひお立ち寄りください。
#17	株式会社 ブイエムシー [http://www.vmc-motion.com/] 最先端物理演算エンジン AgX Dynamics のご紹介 衝突、摩擦等の物理運動をコンピュータ上に表示するときにかぎとなるミドルウェア 物理演算エンジンの新たな可能性を拓く、スウェーデン Algoryx 社の開発した「AgX Dynamics」をご紹介します。この正確で高速なミドルウェアを活用して、訓練シミュレータを始めとして、ロボットシミュレータ、モデルベース開発を支える設計支援ソフトウェア、岩石・紛体を含むシミュレーション等に应用することが可能です。物理運動に関するソフトウェア開発にお役立ち致します。 詳細：http://www.vmc-motion.com/601831139
#18	サイバネットシステム株式会社 [http://www.cybernet.co.jp/] STEM コンピューティング・プラットフォーム『Maple』のご紹介 STEM コンピューティング・プラットフォーム『Maple』は、1980 年にカナダ・ウォータールー大学で生まれた数式処理技術をコアテクノロジーとして持つ科学・技術・工学・数学に関する統合的計算環境です。数式計算・数値計算を行うだけでなく、実行可能な技術文書作成や計算アプリ開発によって、様々なシーンでの活用を可能にします。また、Maple を計算エンジンとして採用した、オンラインテスト・評価システム『MapleT.A.』についてもご紹介いたします。 詳細：http://www.cybernet.co.jp/maple/

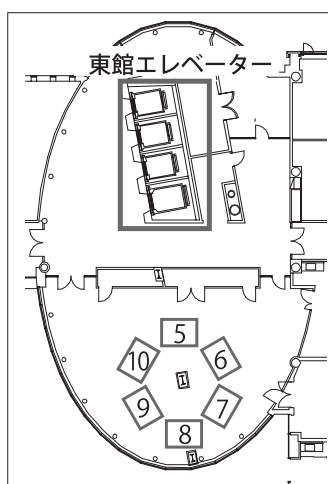
#19	<p>株式会社近代科学社 [http://www.kindaikagaku.co.jp/] 株式会社 近代科学社 展示販売</p> <p>情報処理学会会員のみならず、適切な書籍の紹介と割引・情報処理関連の書籍を中心に、近年注目を集めている「人工知能関連」「データサイエンス関連」「統計関連」「応用数学関連」等の幅広い書籍の展示を行います。 ・会期中は、情報処理学会への協賛として会場特別価格での書籍販売も行います。</p>
#20	<p>株式会社日経 BP マーケティング [http://pc.nikkeibp.co.jp/] 日経 BP 社の書籍、教材テキスト、デジタル教材のご紹介</p> <p>情報処理学会に所属していらっしゃる先生方ご執筆の「これからの大学の情報教育（仮）」のご紹介。日経 BP 社で出版している大学の講義向けテキストの展示と e-Learning 教材、教育機関向けクラウドサービス日経パソコン Edu のデモンストレーション展示。 詳細：http://pc.nikkeibp.co.jp/npc/pcedu/</p>
#21	<p>株式会社アカリク [https://acaric.co.jp/] 大学院生・研究者・エンジニア向けキャリア支援事業</p> <p>株式会社アカリクは、「知恵の流通の最適化」というコーポレートミッションのもと、大学院生・研究者の方に対してキャリア支援事業を行っております。キャリア支援の一環として、就職活動サイト「アカリク WEB」の運営や、各種キャリアイベント、学内セミナー等を開催しています。2015 年には、エンジニア志望学生がアカデミックでの研究とビジネスの実務がどのように関連しているのかを理解できる場として、「アカリク Tech Talk」という技術セミナーを全 11 トピック（深層学習、関数型言語、自然言語処理など）にて開催いたしました。今後も大学・研究機関が生み出す「知恵」を、広く社会・産業界とつないでいく取り組みを行ってまいります。アカデミック・ビジネスを問わず、今後のキャリアについて考えるきっかけとして、ぜひ弊社ブースにお立ち寄りください。</p> <p>◎各種キャリア・研究支援事業の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アカリク WEB (https://acaric.jp/) 大学院生・研究者・エンジニアのための就職活動サイト ■アカリクイベント (https://acaric.jp/event/) 就職活動やキャリア支援のための各種イベント・セミナーを開催 ■ Cloud LaTeX (https://cloudlatex.io/ja) 日本語などのマルチバイト言語に初めて対応した無料の LaTeX オンラインコンパイルサービス ■ アカリク VALUATOR (http://acaric-valuator.com/) 学業・研究を続けながらサービス運営ができるよう、学生の起業をサポート
#22	<p>ソフトバンクロボティクス株式会社 [http://www.softbank.jp/robot/consumer/] パーソナルロボット “Pepper” のご紹介</p> <p>■ Pepper の開発 SDK & インタラクション体験</p> <p>感情を持ったパーソナルロボット Pepper は、家庭やお店で人とふれあうだけでなく、誰でも簡単に使えるプログラミングツールで、開発者が Pepper の動きや会話を、自由に作ることができます。実機を使った開発 SDK の体験環境を展示します。また、現在、一般のお客様向けに提供している Pepper による会話、アプリを通じたふれあい体験を展示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■興味・関心のあるお客様向けに、現地相談会を開催致します。 ■ Pepper の最新情報入手可能なファン登録 / デベロッパー登録も受け付けます。

展示会場

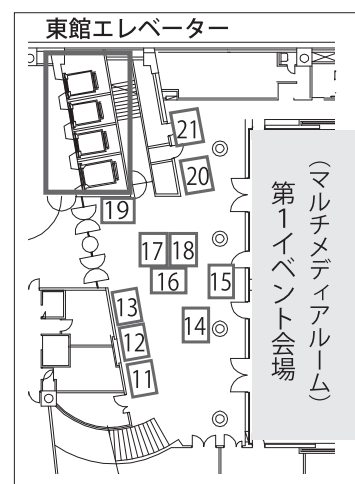
(14棟:創想館 西館1F, 東館1F, 東館7F, 東館B2F)



14棟:創想館【西館1F, 東館1F】



【東館7F】



【東館B2F】

ブース番号	出 展 者
#01	株式会社とめ研究所 (大会スポンサー [ゴールド])
#02	株式会社フォーラムエイト (大会スポンサー [ゴールド])
#03	株式会社ドワンゴ (大会スポンサー [ゴールド])
#04	株式会社U B I C (大会スポンサー [ゴールド])
#05	科研費S ビルディングブロック型コンピュータシステムの研究
#06	CRESプロジェクト「ポストペタスケール時代に向けた演算加速機構・通信機構 統合環境の研究開発」
#07	慶應義塾大学大槻研究室
#08	慶應義塾大学山中研+NTT
#09	慶應義塾大学山中研+大阪大学
#10	慶應義塾大学情報工学科斉藤英雄研究室
#11, #12	アシアル株式会社
#13	共立出版株式会社
#14	Springer
#15	株式会社イーツリーズ・ジャパン
#16	東京システムハウス株式会社
#17	株式会社ブイエムシー
#18	サイバネットシステム株式会社
#19	株式会社近代科学社
#20	株式会社日経BPマーケティング
#21	株式会社アカリク
#22	ソフトバンクロボティクス株式会社

★創想館 西館 1F・東館 1F・7F・B2F ホワイエ

日	会場 時間	第1イベント会場	第2イベント会場	第3イベント会場	特別会場	特別会場	展示会場
		MMR	11-31	厚生棟大中会議室	藤原洋記念ホール	12-109	★
3月10日 (木)	9:30	2015年サイバー事件回顧録 ～技術と法制度の両面から～	10:00-12:00 ～コンピュータバイオニアが語る～ 「私の詩と真実」	論文必勝法 ～一流論文のための羅針盤～			展示(22件) 9:30-15:30
	12:00	29	36	45			
	13:00	マイナンバー制度は万全か？ サイバー攻撃の脅威への 対策と指針	今後の大学の一般情報教育は どうあるべきか	産業界におけるIoTの動向と 日本の戦略			
	15:30	30	37	46			
	15:50				大会挨拶 表彰式		
	16:35				情報処理技術遺産認定式		
	16:40				招待講演(1) Roger U. Fujii (President of the IEEE Computer Society)	22	
	17:10				招待講演(2) Wen GAO (President of the CCF)	22	
	17:40				招待講演(3) Leon Strous (President of the International Federation for Information Processing)	23	
	18:00				招待講演(4) Yasas Vishuddhi Abeywickrama (Chairman of the International Young ICT group of IFIP and IFIP Councillor)	23	
18:10							
18:30 20:30	懇親会(協生館2階 クイーン・アリス ガーデンテラス日吉)						
3月11日 (金)	9:30	ポスト・ディズニー(ピクサー) のコンテンツ産業の行方 —今後10年のコンテンツ産業 を支えるメディア技術は何か—	知のコンピューティング、 次の一手	実践的情報教育協働ネット ワーク enPIT の現状と 新たな分野への適用			展示(22件) 9:30-17:00
	12:00	32	38	47			
	13:00	13:00-14:00 基調講演 超スマート社会の実現に向けて					
	15:00	14:00-15:00 Deep Learning とこれからの AI 研究					
3月12日 (土)	15:20	4th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2015-16 World Final	会誌「情報処理」 公開編集委員会	実社会ビッグデータ利用の ためのデータ統合・解析技術 の研究開発			
	17:50	34	40	49			
3月12日 (土)	9:30	2020年に向けた音声翻訳の 研究開発 ※協賛 一般社団法人 電子情報通信学会 一般社団法人 言語処理学会 一般社団法人 人工知能学会 一般社団法人 日本音響学会	オープン・サービス・イノベー ション活用秘訣は何か？ —デジタルプラクティスライブ—	ビッグデータとプライバシー			展示(22件) 9:30-15:00
	12:00	34	42	50			
	13:00	13:00-14:00 ポスト「京」スーパー コンピュータの開発概要	教育と学習におけるICTの 活用の新時代	自動車の自動走行・高度運転 支援技術開発の最前線		ジュニア会員特別企画	
	15:00	14:00-15:00 量子コンピュータ	36	44	51	29	
	15:30				特別講演 IPSJ-ONE		
	17:30				24		

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。

タイムテーブル

一般セッション A	一般セッション B	一般セッション C	一般セッション D	一般セッション E	一般セッション F	学生セッション G	学生セッション H	学生セッション J
12-202A	12-202B	12-202C	12-202D	12-202E	12-205	12-206	12-207	12-208
コンピュータシステム (1) 並木 美太郎 (農工大) ① 53	数理モデル化と問題解決 (1) 松田 健 (静岡理工科大) ① 56	画像認識の応用 金崎 朝子 (東大) ② 61	位置情報と応用システム 深澤 佑介 (NTTドコモ) ③ 68	教育支援・学習支援システム 渡辺 博芳 (帝京大) ④ 79	情報教育の手法 奥村 晴彦 (三重大) ④ 80	システムソフトウェア 菅谷 みどり (芝浦工大) ① 53	アクセラレータ (1) 松谷 宏紀 (慶大) ① 54	テスト・保守 深澤 良彰 (早大) ① 56
コンピュータシステム (2) 嶋田 創 (名大) ① 53	ストレージとその利用法 川島 英之 (筑波大) ① 58	計測と画像処理 米谷 竜 (東大) ② 61	プライバシー保護と機械学習セキュリティ 島岡 政基 (セコム) ③ 73	高齢社会デザイン 山田 和範 (パナソニック) ④ 79	情報システムと社会環境 富澤 眞樹 (前橋工科大) ④ 80	数値計算 櫻井 隆雄 (日立) ① 53	アクセラレータ (2) 吉瀬 謙二 (東工大) ① 54	開発支援・プログラミング 長谷川 勇 (スクウェア・エニックス) ① 56
懇親会 (協生館2階 クイーン・アリス ガーデンテラス日吉)								
アルゴリズム 周 暁 (東北大) ① 55	データ解析 天笠 俊之 (筑波大) ① 58	知能システム 八横 博史 (電機大) ② 61	セキュリティ心理学・マネジメント 島 成佳 (NEC) ③ 73	情報教育 小川 賀代 (日本女子大) ④ 79	授業支援 永松 礼夫 (神奈川大) ④ 80	組込みシステム (1) 早川 栄一 (拓大) ① 53	回路とデバイス 今井 雅 (弘前大) ① 54	モデル・設計 紫合 治 (電機大) ① 56
開発支援 立石 孝彰 (日本IBM) ① 55	コンテンツ制作支援・発信 菊池 司 (東京工科大) ① 58	コンシューマシステム 峰野 博史 (静岡大) ③ 68	CGとネットワーク 小林 稔 (明大) ④ 75	生命・生体と情報 大上 雅史 (東工大) ④ 79	人文科学と情報分析 (1) 鹿内 菜穂 (日本女子大) ④ 80	組込みシステム (2) 福田 浩章 (芝浦工大) ① 53	並列アルゴリズム 三浦 康之 (湘南工科大) ① 54	プログラミング (1) 小宮 常康 (電通大) ① 56
要求・モデリング 青山 幹雄 (南山大) ① 55	自然言語処理 小林 一郎 (お茶の水女子大) ② 61	ユビキタスコンピューティングとセンシングシステム 藤波 香織 (農工大) ③ 68	HCI一般 (1) 伊藤 貴之 (お茶の水女子大) ④ 75	知的財産のモデルと社会基盤情報活用と保護 橋本 誠志 (徳島文理大) ④ 79	プログラミング教育 駒谷 昇一 (奈良女子大) ④ 80	ロボット・リアルタイムシステム 千代 浩之 (慶大) ① 53	GPGPU 土井 淳 (日本IBM) ① 55	ソフトウェア解析 松浦 佐江子 (芝浦工大) ① 57
システム開発 岸 知二 (早大) ① 55	音声・音楽・シナリオ・対話 長尾 確 (名大) ② 61	ネットワーク関連技術 今泉 貴史 (千葉大) ③ 68	HCI一般 (2) 尾形 哲也 (早大) ④ 75	地域・データ活用・メンタルヘルスのシステム 高崎 光浩 (佐賀大) ④ 79	ICTを活用した教育 立田 ルミ (獨協大) ④ 80	プロセッサアーキテクチャ 田中 清史 (北陸先端大) ① 54	数理モデル化と問題解決 (4) 佐藤 寛之 (電通大) ① 56	アルゴリズム 堀山 貴史 (埼玉大) ① 57
数理モデル化と問題解決 (5) 林田 守広 (京大) ① 55	ゲーム情報学 鶴岡 慶雅 (東大) ② 61	道路交通情報 白石 陽 (はこだて未来大) ③ 68	検索・推薦 戸田 浩之 (NTT) ① 58	災害対策システム 居駒 幹夫 (日立) ④ 80	人文科学と情報分析 (2) 末代 誠仁 (桜美林大) ④ 81	相互結合網 横田 隆史 (宇都宮大) ① 54	プログラミング (2) 佐藤 芳樹 (東大) ① 56	要求・教育 鷺見 毅 (東芝) ① 57

情報処理学会 第78回全国大会

日	会場 時間	学生セッション K	学生セッション L	学生セッション M	学生セッション N	学生セッション P	学生セッション Q	学生セッション R	学生セッション S													
		12-209	12-210	12-211	12-101	12-102	12-103	12-104	12-105													
3月10日 (木)	9:30	1 12:00	ウェブアプリケーション 山名 早人 (早大) ① 59	反射解析・画像処理 福嶋 慶繁 (名工大) ② 61	画像認識 (1) 中山 英樹 (東大) ② 63	ロボティクス 山崎 信行 (慶大) ② 64	自動伴奏・演奏支援 中村 栄太 (京大) ② 65	自然言語処理 (1) 関 洋平 (筑波大) ② 66	アドホック・センサネットワーク (1) 内藤 克浩 (愛知工大) ③ 69													
	13:00									数理モデル化と問題解決 (2) 庄野 逸 (電通大) ① 57	情報検索 (1) 山本 岳洋 (京大) ① 59	人物画像処理 井上 中順 (東工大) ② 62	画像認識 (2) 佐藤 真一 (NII) ② 63	ソフトコンピューティング 有田 隆也 (名大) ② 64	楽曲生成・分析 深山 覚 (産総研) ② 65	自然言語処理 (2) 牧野 貴樹 (ゲーゲル) ② 66	アドホック・センサネットワーク (2) 重安 哲也 (県立広島大) ③ 69					
	15:30	15:50	16:35	16:40	17:10	17:10	17:40	17:40	18:00	18:00	18:10	18:30	20:30	懇親会 (協生館2階 クイーン・アリス ガーデンテラス日吉)								
	3月11日 (金)	9:30	3 12:00	数理モデル化と問題解決 (3) 吉川 大弘 (名大) ① 57	コンテンツデータ処理・解析 小川 剛史 (東大) ① 59	対話コミュニケーションとAI 松原 繁夫 (京大) ② 62	三次元情報処理 亀田 能成 (筑波大) ② 63	強化学習 山崎 啓介 (東工大) ② 64	楽曲認識・音響分析 阪上 大地 (コルゲ) ② 65	自然言語処理 (3) 山下 達雄 (ヤフー) ② 67	センシングシステム・アプリケーション (2) 米澤 拓郎 (慶大) ③ 69											
		13:00		情報推薦 (1) 遠藤 結城 (NTT) ① 58	ストリームとインターフェース 川島 英之 (筑波大) ① 59	感情・表情の推定と生成 目良 和也 (広島市大) ② 62	物体追跡 佐藤 洋一 (東大) ② 63	機械学習 松井 藤五郎 (中部大) ② 64	音源分離・認識・センサ 中臺 一博 (ホンダRIJ) ② 66	マルチメディア情報処理 青木 秀一 (NHK 技研) ③ 68	ネットワーク構造・制御 (1) 川上 朋也 (奈良先端大) ③ 69											
		15:20	情報推薦 (2) 河合 由起子 (京産大) ① 58	デジタルコンテンツ制作 林 洋人 (セガゲームス) ① 59	最適な解や戦略を探索するゲーム情報学 横山 大作 (東大) ② 62	画像処理を用いた支援 橋本 敦史 (京大) ② 63	マルチエージェント 藤田 桂英 (農工大) ② 64	楽曲検索・推薦・プレイリスト 帆足 啓一郎 (KDDI 研) ② 66	ネットワーク運用技術 室田 朋樹 (東京海洋大) ③ 68	個人化サービスと社会応用システム 木原 民雄 (昭和女子大) ③ 69												
	3月12日 (土)	9:30	6 12:00	SNS 宮崎 純 (東工大) ① 58	データベース 奥 健太 (立命館大) ① 59	生活を豊かにするゲーム情報学 但馬 康宏 (岡山県大) ② 62	特徴点・幾何・飛行撮影システム 増田 健 (産総研) ② 64	情報推薦と可視化 山下 晃弘 (東京高专) ② 65	音声対話 岩野 公司 (東京都市大) ② 66	モバイルデバイス応用とIoT 荒川 豊 (奈良先端大) ③ 69	ネットワークプロトコル 丸山 一貴 (明星大) ③ 70											
		13:00		情報検索 (2) 首藤 一幸 (東工大) ① 58	脳・身体・心の認識 船瀬 新王 (名工大) ② 61	コンピュータビジョンと機械学習 牛久 祥孝 (NTT) ② 62	視覚情報処理 川嶋 宏彰 (京大) ② 64	データマイニングと最適化 但馬 康宏 (岡山県大) ② 65	音声・話者認識 篠原 雄介 (東芝) ② 66	論理と推論 福田 直樹 (静岡大) ② 67	ネットワーク構造・制御 (2) 藤井 章博 (法大) ③ 70											
		15:30	17:30																			

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。

タイムテーブル

学生セッション T	学生セッション U	学生セッション V	学生セッション W	学生セッション X	学生セッション Y	学生セッション Z	学生セッション ZA	学生セッション ZB
12-106	12-108	12-109	12-110	11-21	11-22	11-41	SR1	SR2
センサーネットワーク 伊藤 昌毅 (東大) ③ 70	車載端末とユーザーインタフェース 清原 良三 (神奈川工科大) ③ 71	ウェアラブルセンサシステム 中澤 仁 (慶大) ③ 73	認証 渡邊 晃 (名城大) ③ 74	AR・MRと3次元 金井 崇 (東大) ④ 76	ジェスチャ・認識(1) 郷 健太郎 (山梨大) ④ 77	VR・AR (1) 小池 崇文 (法大) ④ 78	情報システム基盤 亀井 邦裕 (産業技術大) ④ 81	エンタテインメントコンピューティング 馬場 哲晃 (首都大) ④ 82
無線ネットワーク 太田 賢 (NTTドコモ) ③ 70	ナビゲーション 湯 素華 (電通大) ③ 72	センシングシステム・アプリケーション(1) 西村 康孝 (KDDI) ③ 73	攻撃分析 沖野 浩二 (富山大) ③ 74	モデリング 竹島 由里子 (東京工科大) ④ 76	ジェスチャ・認識(2) 武藤 剛 (文教大) ④ 77	VR・AR (2) 小倉 加奈代 (岩手県立大) ④ 78	知財の活用・保護と地域情報の活用 原田 要之助 (情報セキュリティ大) ④ 81	ゲームとスポーツ 今井 倫太 (慶大) ④ 83
懇親会 (協生館2階 クイーン・アリス ガーデンテラス日吉)								
ホームネットワークと情報家電 鳥谷 彰 (富士通研) ③ 70	交通制御とシミュレーション 柴田 直樹 (奈良先端大) ③ 72	クラウドとセキュリティ 石原 知洋 (東大) ③ 73	コンヴィヴィアルなネットワーク 境 真良 (国際大学 GLOCOM) ④ 75	災害・交通 郷 健太郎 (山梨大) ④ 76	環境・安全 太田 高志 (東京工科大) ④ 77	バイオ情報学 佐藤 健吾 (慶大) ④ 81	教育支援システム(1) 関谷 貴之 (東大) ④ 82	テキストマイニング 福本 徹 (国立教育政策研) ④ 83
マルチメディア通信 木原 民雄 (昭和女子大) ③ 71	公共交通システム 深澤 紀子 (鉄道総研) ③ 72	応用暗号 菊池 浩明 (明大) ③ 73	レンダリング 今給黎 隆 (セガ) ④ 75	システム・開発 仲谷 善雄 (立命館大) ④ 76	インタラクティブシステム 皆月 昭則 (釧路公大) ④ 77	生命と数理 渋谷 哲朗 (東大) ④ 81	教育支援システム(2) 中平 勝子 (長岡技科大) ④ 82	歴史と感性情報 永崎 研宣 (人文情報学研究所) ④ 83
スマートグリッドと省電力システム 花田 雄一 (富士通研) ③ 71	位置推定と歩行者ナビゲーション 小林 亜令 (KDDI 研) ③ 72	ソーシャルメディアのセキュリティ 中村 嘉隆 (はこだて未来大) ③ 74	対話・協調・コミュニケーション 柴田 邦臣 (津田塾大) ④ 75	シミュレーションと可視化 齋藤 豪 (お茶の水女子大) ④ 76	推薦・検索・ネットワーク 今井 倫太 (慶大) ④ 78	視線・音声 河野 恭之 (関西学院大) ④ 78	初中等教育支援・語学教育支援 常盤 祐司 (法大) ④ 82	博物館と情報 後藤 真 (国立歴史民俗博物館) ④ 83
災害ネットワーク 服部 聖彦 (NICT) ③ 71	屋内位置推定・状況把握 梶 克彦 (愛知工大) ③ 72	リスク分析/リスク対応 土井 洋 (情報セキュリティ大) ③ 74	NPRと画像処理 藤堂 英樹 (東大) ④ 75	対話 前田 篤彦 (NTT 未来研) ④ 77	認識一般 Martin J. DÜRST (青学大) ④ 78	エンタテインメントにおける複合現実感 築瀬 洋平 (Unity/慶大) ④ 81	生体情報・学習支援システム 永井 孝幸 (熊本大) ④ 82	高齢社会デザインとインタラクション技術 栗田 雄一 (広島大) ④ 83
災害情報 佐藤 文明 (東邦大) ③ 71	位置情報システム 肥田 一生 (富士通研) ③ 72		アニメーション 向井 智彦 (東海大) ④ 76	ロボット 鈴木 昭二 (はこだて未来大) ④ 77			特別支援教育・就職支援教育他 上田 真由美 (流通科学大) ④ 82	高齢社会デザインと見守り支援 石川 翔吾 (静岡大) ④ 83

情報処理学会 第78回全国大会 タイムテーブル

日	時間	会場	学生セッション	学生セッション
			ZC	ZD
		SR3	SR4	
3 月 10 日 (木)	9:30		学習支援 (1)	農林水産支援システム
	1		和田 勉 (長野大)	阿部 昭博 (岩手県大)
	12:00		④ 84	④ 85
	13:00		学習支援 (2)	地域支援システム
	2		竹田 尚彦 (文部科学省)	兼宗 進 (大阪電通大)
	15:30		④ 84	④ 85
	15:50			
	16:35			
	16:40			
	17:10			
17:10				
17:40				
17:40				
18:00				
18:00				
18:10				
18:30		懇親会 (協生館2階 クイーン・アリス ガーデンテラス日吉)		
20:30				
3 月 11 日 (金)	9:30		授業支援 (1)	観光支援システム
	3		長瀧 寛之 (岡山大)	畑山 満則 (京大)
	12:00		④ 84	④ 85
	13:00		授業支援 (2)	健康・福祉支援システム
	4		坂東 宏和 (獨協医科大)	高橋 尚子 (国学院大)
15:00		④ 84	④ 86	
15:20		プログラミング	防災・災害対策システム	
5		中鉢 直宏 (鳥根大)	柿崎 淑郎 (電機大)	
17:50		④ 84	④ 86	
3 月 12 日 (土)	9:30		教育における表現	情報抽出・提示システム
	6		伊藤 久祥 (岩手県大)	萩野 紫穂 (武蔵大)
	12:00		④ 85	④ 86
	13:00		PBLと就活支援	状況理解のシステム
	7		土肥 神一 (電機大)	児玉 公信 (情報システム総研)
15:00		④ 85	④ 86	
15:30				
17:30				

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。

第78回全国大会講演論文集の分類と内容 (括弧内はセッション会場名)

●第1分冊

- ・コンピュータシステム
システム・アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティング・システム,
ハイパフォーマンスコンピューティング, システムとLSIの設計技術, 組込みシステム
(1A～2A, 1G～7G, 1H～5H)
- ・ソフトウェア科学・工学
アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング
(3A～7A, 1B, 6H～7H, 1J～7J, 2K～3K)
- ・データとウェブ
データベースシステム, 情報基礎とアクセス技術, デジタルコンテンツクリエーション
(2B～4B, 7D, 4K～7K, 1L～6L)

●第2分冊

- ・人工知能と認知科学
知能システム, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 音楽情報科学, ゲーム情報学,
コンピュータビジョンとイメージメディア
(5B～7B, 1C～3C, 7L, 1M～7M, 1N～7N, 1P～7P, 1Q～7Q, 1R～3R, 7R)

●第3分冊

- ・ネットワーク
マルチメディア通信と分散処理, インターネットと運用技術,
モバイルコンピューティングとパーベイシブルシステム, ユビキタスコンピューティングシステム,
高度交通システムとスマートコミュニティ, コンシューマ・デバイス&システム,
オーディオビジュアル複合情報処理
(4C～7C, 1D, 4R～6R, 1S～7S, 1T～7T, 1U～7U, 1V～3V)
- ・セキュリティ
コンピュータセキュリティ, セキュリティ心理学とトラスト
(2D～3D, 4V～6V, 1W～2W)

●第4分冊

- ・インタフェース
ヒューマンコンピュータインタラクション, グループウェアとネットワークサービス, グラフィクスとCAD
(4D～6D, 3W～7W, 1X～7X, 1Y～6Y, 1Z～2Z, 5Z)
- ・コンピュータと人間社会
コンピュータと教育, バイオ情報学, 情報システムと社会環境, ドキュメントコミュニケーション,
人文科学とコンピュータ, エンタテインメントコンピューティング, 電子化知的財産・社会基盤,
教育学習支援情報システム, 高齢社会デザイン
(1E～7E, 1F～7F, 3Z～4Z, 6Z, 1ZA～7ZA, 1ZB～7ZB, 1ZC～7ZC, 1ZD～7ZD)

ー全国大会イベント企画のご案内ー

■招待講演 (1) 10日 (木) 16:40-17:10

特別会場 (藤原洋記念ホール)
[How To Verify That Software and Systems Development Products Are Correct and Safe]
Roger U. Fujii (President of the IEEE Computer Society)

■招待講演 (2) 10日 (木) 17:10-17:40

特別会場 (藤原洋記念ホール)
[Visual Search by CDVS]
Wen GAO (President of the CCF)

■招待講演 (3) 10日 (木) 17:40-18:00

特別会場 (藤原洋記念ホール)
[Looking beyond borders]
Leon Strous (President of the International Federation for Information Processing)

■招待講演 (4) 10日 (木) 18:00-18:10

特別会場 (藤原洋記念ホール)
[The role of the Youth in the International ICT Sector - An IFIP Perspective]
Yasas Vishuddhi Abeywickrama (Chairman of the International Young ICT group of IFIP and IFIP Councillor)

■大会挨拶・各種表彰式・情報処理技術遺産認定式 10日 (木) 15:50-16:35

特別会場 (藤原洋記念ホール)

■イベント企画

特別会場 (藤原洋記念ホール)
・ 12日 (土) 15:30-17:30 特別講演 IPSJ-ONE

特別会場 (12-109)
・ 12日 (土) 13:00-15:00 ジュニア会員特別企画

第1 イベント会場 (MMR)

- ・ 10日 (木) 9:30-12:00 2015年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～
- ・ 10日 (木) 13:00-15:30 マイナンバー制度は万全か? サイバー攻撃の脅威への対策と指針
- ・ 11日 (金) 9:30-12:00 ポスト・ディズニー (ピクサー) のコンテンツ産業の行方 - 今後10年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何か -
- ・ 11日 (金) 13:00-14:00 基調講演 超スマート社会の実現に向けて
- ・ 11日 (金) 14:00-15:00 Deep Learning とこれからの AI 研究
- ・ 11日 (金) 15:20-17:50 4th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2015-16 World Final
- ・ 12日 (土) 9:30-12:00 2020年に向けた音声翻訳の研究開発
※ 協賛 一般社団法人 電子情報通信学会, 一般社団法人 言語処理学会, 一般社団法人 人工知能学会, 一般社団法人 日本音響学会
- ・ 12日 (土) 13:00-14:00 ポスト「京」スーパーコンピュータの開発概要
- ・ 12日 (土) 14:00-15:00 量子コンピュータ

第2 イベント会場 (11-31)

- ・ 10日 (木) 10:00-12:00 ～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」
- ・ 10日 (木) 13:00-15:30 今後の大学の一般情報教育はどうあるべきか
- ・ 11日 (金) 9:30-12:00 知のコンピューティング、次の一手
- ・ 11日 (金) 15:20-17:50 会誌「情報処理」公開編集委員会
- ・ 12日 (土) 9:30-12:00 オープン・サービス・イノベーション活用の秘訣は何か? - デジタルプラクティスライバー
- ・ 12日 (土) 13:00-15:00 教育と学習における ICT の活用の新時代

第3 イベント会場 (厚生棟大大会議室)

- ・ 10日 (木) 9:30-12:00 論文必勝法 ～一流論文のための羅針盤～
- ・ 10日 (木) 13:00-15:30 産業界における IoT の動向と日本の戦略
- ・ 11日 (金) 9:30-12:00 実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の現状と新たな分野への適用
- ・ 11日 (金) 15:20-17:50 実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発
- ・ 12日 (土) 9:30-12:00 ビッグデータとプライバシー
- ・ 12日 (土) 13:00-15:00 自動車の自動走行・高度運転支援技術開発の最前線

－全国大会 会場別プログラム－

【特別会場（藤原洋記念ホール）】		
日	時間	内容
10 日 (木)	15:50-16:35	大会挨拶・各種表彰式・情報処理技術遺産認定式
	16:40-17:10	招待講演（1）：How To Verify That Software and Systems Development Products Are Correct and Safe Roger U. Fujii (President of the IEEE Computer Society)
	17:10-17:40	招待講演（2）：Visual Search by CDVS Wen GAO (President of the CCF)
	17:40-18:00	招待講演（3）：Looking beyond borders Leon Strous (President of the International Federation for Information Processing)
	18:00-18:10	招待講演（4）：The role of the Youth in the International ICT Sector - An IFIP Perspective Yasas Vishuddhi Abeywickrama (Chairman of the International Young ICT group of IFIP and IFIP Councillor)
特別講演 IPSJ-ONE		
12 日 (土)	15:30-17:30	司会：落合 陽一 (IPSJ-ONE 企画・実施委員会 委員長 / 筑波大) 司会：竹川 佳成 (IPSJ-ONE 企画・実施委員会 副委員長 / はこだて未来大)
		研究会推薦：招待講演 (1) 「コンピュータに気持ちよく操られる社会へ向けて」 [モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム研究会] 荒川 豊 (奈良先端大)
		研究会推薦：招待講演 (2) 「情報技術でスポーツを支援する」 [マルチメディア通信と分散処理研究会] 内山 彰 (阪大)
		研究会推薦：招待講演 (3) 「アナロジーによる検索」 [データベースシステム研究会] 加藤 誠 (京大)
		研究会推薦：招待講演 (4) 「コンピュータを变幻自在の道具にするためのプログラミング環境技術」 [ヒューマンコンピュータインタラクション研究会] 加藤 淳 (産総研)
		研究会推薦：招待講演 (5) 「ランダムとは何か」 [アルゴリズム研究会] 河村 彰星 (東大)
		研究会推薦：招待講演 (6) 「想定外のエンタテインメントを「発掘」する」 [エンタテインメントコンピューティング研究会] 栗原 一貴 (津田塾大)
		研究会推薦：招待講演 (7) 「歴史学の情報？ Part2 ～人文科学者が行う情報処理～」 [人文科学とコンピュータ研究会] 後藤 真 (国立歴史民俗博物館)
		研究会推薦：招待講演 (8) 「BitVisor: OS を手玉にする仮想化ソフトウェア」 [システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会] 品川 高廣 (東大)
		研究会推薦：招待講演 (9) 「秘匿ゲノム検索」 [バイオ情報学研究会] 清水 佳奈 (産総研)
		研究会推薦：招待講演 (10) 「「第3のコンピュータ」をソフトウェア志向で使いこなすシステム設計環境 SWORDS フレームワーク」 [システムとLSIの設計技術研究会] 高瀬 英希 (京大)
		研究会推薦：招待講演 (11) 「身体の共有」 [ユビキタスコンピューティングシステム研究会] 玉城 絵美 (H2L, Inc./JST さきがけ / 早大)
		研究会推薦：招待講演 (12) 「プログラムを説明するプログラム」 [自然言語処理研究会] Graham Neubig (奈良先端大)
		研究会推薦：招待講演 (13) 「パーソナルデータの安全な利活用を支えるプライバシー保護技術」 [コンピュータセキュリティ研究会] 濱田 浩気 (NTT)
		研究会推薦：招待講演 (14) 「人工知能はWEB サーバーの暗闇を救う」 [インターネットと運用技術研究会] 松本 亮介 (GMO ペパボ)
	研究会推薦：招待講演 (15) 「人にやさしいコンピュータを創る」 [グループウェアとネットワークサービス研究会] 宮田 章裕 (NTT レゾナント)	

12 日 (土)	研究会推薦：招待講演 (16) 「ハードウェアを増やしてコンピュータを省エネに」 [システム・アーキテクチャ研究会]	三輪 忍 (電通大)
	研究会推薦：招待講演 (17) 「「要は何？」：ユーザ特性に合わせたわかりやすい情報提示技術」 [コンシューマ・デバイス&システム研究会]	望月 理香 (NTT)
	研究会推薦：招待講演 (18) 「「感動的な歌声」の可能性」 [音楽情報科学研究会]	森勢 将雅 (山梨大)
	研究会推薦：招待講演 (19) 「コンピュータと物理をより近くに」 [グラフィクスとCAD研究会]	楽 詠瀬 (Columbia University)

【特別会場 (12-109)】		
12 日 (土)	ジュニア会員特別企画	司会：砂原 秀樹 (慶大)

【第1 イベント会場 (MMR)】		
10 日 (木)	2015年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～	
	9:30-12:00	パネル討論：2015年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～ 司 会：須川 賢洋 (新潟大) パネリスト：金子 格 (東京工芸大), 板倉陽一郎 (ひかり総合法律事務所), 原田要之助 (情報セキュリティ大), 折田 明子 (関東学院大)
	マイナンバー制度は万全か？ サイバー攻撃の脅威への対策と指針	
	13:00-13:20	ショートプレゼン (1)：マイナンバー制度における制度整備の状況 手塚 悟 (東京工科大)
	13:20-13:40	ショートプレゼン (2)：自治体情報システムのセキュリティとマイナンバー 上原哲太郎 (立命館大)
	13:40-14:00	ショートプレゼン (3)：マイナンバー制度の最新動向と、情報セキュリティ対策の課題 楠 正憲 (内閣官房)
	14:00-14:20	ショートプレゼン (4)：マイナンバー制度とプライバシー・個人情報保護 石江夏生利 (筑波大)
14:20-14:40	ショートプレゼン (5)：マイナンバー制度の課題 –学内認証システムの運用経験を踏まえて– 安浦 寛人 (九大)	
14:40-15:30	パネル討論：安全なマイナンバー制度のシステム構築と利用拡大への指針 司 会：南 和宏 (統計数理研) パネリスト：手塚 悟 (東京工科大), 上原哲太郎 (立命館大), 楠 正憲 (内閣官房), 石江夏生利 (筑波大), 安浦 寛人 (九大)	
11 日 (金)	ポスト・ディズニー (ピクサー) のコンテンツ産業の行方 –今後10年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何か–	
	9:40-10:00	講演 (1)：感情デザイン：アニメーションからプロダクトへ 塩田 周三 (ポリゴン・ピクチュアズ)
	10:00-10:20	講演 (2)：ポストピクサー時代にモルフォが目指すこと 平賀 督基 (モルフォ)
	10:20-10:40	講演 (3)：世界レベルのコンテンツ制作を実現するために 清水 亮 (UEI)
	10:40-11:00	講演 (4)：10年後のコンテンツ産業を越えるもの 安生 健一 (オー・エル・エム・デジタル)
	11:00-12:00	パネル討論：ポスト・ディズニー (ピクサー) のコンテンツ産業の行方 –今後10年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何か– 司 会：栗山 繁 (豊橋技科大) パネリスト：塩田 周三 (ポリゴン・ピクチュアズ), 平賀 督基 (モルフォ), 清水 亮 (UEI), 安生 健一 (オー・エル・エム・デジタル)
	基調講演 超スマート社会の実現に向けて	
	13:00-14:00	講演：超スマート社会の実現に向けて 栗原 潔 (文科省)
	Deep Learning とこれからの AI 研究	
	14:00-15:00	講演：Deep Learning とこれからの AI 研究 松尾 豊 (東大)
4th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2015-16 World Final		
15:20-17:50	司会：鷲崎 弘宜 (早大)	

2020年に向けた音声翻訳の研究開発 ※協賛団体 一般社団法人 電子情報通信学会, 一般社団法人 言語処理学会, 一般社団法人 人工知能学会, 一般社団法人 日本音響学会	
12 日	9:30-10:15 講演 (1): 音声翻訳の歴史と概要 中村 哲 (奈良先端大)
	10:15-10:45 講演 (2): グローバルコミュニケーション計画の推進ー多言語音声翻訳システムの研究開発及び社会実証ー 中川 拓哉 (総務省)
	10:45-11:15 講演 (3): 多言語音声翻訳システムの研究開発および社会実装に向けた取り組み 石黒 敬三 (パナソニック)
	11:15-12:00 講演 (4): 多言語対応の取組における ICT の活用 岡安 雅人 (東京都)
(土)	ポスト「京」スーパーコンピュータの開発概要 13:00-14:00 講演: ポスト「京」スーパーコンピュータの開発概要 石川 裕 (理研)
	量子コンピュータ 14:00-15:00 講演: 量子計算の可能性と実現手法 バンミーター ロドニー (慶大)

【第2 イベント会場 (11-31)】		
～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」		
10 日	10:00-11:00 講演 (1): 認知科学・人工知能研究の詩と真実 安西祐一郎 (JSPS)	
	11:00-12:00 講演 (2): 社会の基礎としてのコミュニケーションに何を求めるのか 齊藤 忠夫 (東大)	
	今後の大学の一般情報教育はどうあるべきか	
	13:00-13:20 講演 (1): 一般情報教育の調査研究状況 河村 一樹 (東京国際大)	
(木)	13:20-14:00 講演 (2): 一般情報教育のカリキュラムモデル 喜多 一 (京大)	
	14:00-14:10 休憩	
	14:10-15:30 パネル討論: 今後の一般情報教育はどうあるべきか 司 会: 駒谷 昇一 (奈良女子大) パネリスト: 中西 通雄 (阪工大), 高橋 尚子 (國學院大), 辰己 丈夫 (放送大)	
知のコンピューティング, 次の一手		
11 日	9:30-9:45 講演 (1): 知のコンピューティング・グランドデザイン 岩野 和生 (JST)	
	9:45-10:00 講演 (2): 倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) を考慮した人間と機械のハーモニアスなシステムとはーCREST「人間と調和した創造的協働を実現する知的情報処理システムの構築」第2期の狙いー 萩田 紀博 (ATR)	
	10:00-10:15 講演 (3): エージェント技術に基づく大規模合意形成支援システムの創成 伊藤 孝行 (名工大)	
	10:15-10:30 講演 (4): 神経科学の公理的計算論と工学の構成論の融合による人工意識の構築とその実生活空間への実装 金井 良太 (アラヤ・ブレイン・イメージング)	
	10:30-10:45 講演 (5): 記号創発ロボティクスによる人間機械コラボレーション基盤の創成 長井 隆行 (電通大)	
	10:45-11:00 講演 (6): 「知の創造とアクチュエーション」ワークショップ 茂木 強 (JST)	
	11:00-12:00 パネル討論: 新しい技術の社会受容に向けた課題に研究者はいかに立ち向かうべきか 司 会: 岩野 和生 (JST) パネリスト: 萩田 紀博 (ATR), 土井美和子 (NICT), 小林 正啓 (花水木法律事務所), 佐藤 洋一 (東大)	
会誌「情報処理」公開編集委員会		
(金)	15:20-16:30 対 談: 会誌記事連動対談 (ヘンな論文: 情報処理学会編) 司 会: 角 康之 (はこだて未来大) 対 談 者: サンキュータツオ, 塚本 昌彦 (神戸大)	
	16:30-17:50 パネル討論: 会誌「情報処理」ができるまで 司 会: 塚本 昌彦 (神戸大) パネリスト: 五十嵐悠紀 (明大), 加藤 由花 (東京女子大), 末永俊一郎 (NII/レベルファイブ), 角 康之 (はこだて未来大), 高岡 詠子 (上智大), 辰己 丈夫 (放送大), 土井 千章 (NTTドコモ), 永野 秀尚 (NTT)	

オープン・サービス・イノベーション活用の秘訣は何か？ーデジタルプラクティスライバー	
9:30-9:45	講演 (1) : 自社メディアを活用したオープンサービスイノベーション実践 柴崎 辰彦 (富士通)
9:45-10:00	講演 (2) : IT とコミュニティの力による, 自分達のまちづくり 関 治之 (コード・フォー・ジャパン)
10:00-10:15	講演 (3) : 大手企業とスタートアップによるコラボレーション : 「NTT 西日本スタートアップファクトリー & 富士通アクセラレーターの事例研究から」 及部 智仁 (TBWA HAKUHODO QUANTUM)
10:15-10:30	講演 (4) : クラウドファンディングを活用した中小製造業の自社製品開発手法「マイクロモノづくり」の可能性について 三木 康司 (enmono)
10:30-10:45	講演 (5) : オープンイノベーションの法的課題とその解決 水野 祐 (シティライツ法律事務所)
10:45-11:00	講演 (6) : 未来をつくる関係性を基盤としたオープンイノベーション 西村 勇也 (ミラツク)
11:00-12:00	パネル討論 : オープン・サービス・イノベーションで加速する共創型サービスモデル 司 会 : 澤谷由里子 (東京工科大) パネリスト : 柴崎 辰彦 (富士通), 関 治之 (コード・フォー・ジャパン), 及部 智仁 (TBWA HAKUHODO QUANTUM), 三木 康司 (enmono), 水野 祐 (シティライツ法律事務所), 西村 勇也 (ミラツク)
12 日 (土)	
教育と学習における ICT の活用の新時代	
13:00-13:20	講演 (1) : 教育情報化「教具論」からの脱却～学習者中心の情報化とは何か～ 豊福 晋平 (国際大学 GLOCOM)
13:20-13:40	講演 (2) : 海外における ICT 活用 ～ 日本との比較を通して ～ 上松恵理子 (武蔵野学院大)
13:40-14:00	講演 (3) : 電子書籍規格 EPUB によるデジタル教科書制作の未来 青木 浩幸 (イーテキスト研究所)
14:00-14:10	休憩
14:10-15:00	パネル討論 : 教育と学習における ICT の活用の新時代 司 会 : 辰己 丈夫 (放送大) パネリスト : 豊福 晋平 (国際大学 GLOCOM), 上松恵理子 (武蔵野学院大), 青木 浩幸 (イーテキスト研究所)

【第3 イベント会場 (厚生棟大中公議室)】	
論文必勝法 ～一流論文のための羅針盤～	
9:30-10:30	講演 (1) : 理論系 (STOC,FOCS,SODA) からビッグデータ・AI のトップ会議へ 河原林健一 (NII/JST ERATO)
10:40-12:00	パネル討論 : 論文誌の査読プロセスとその後 司 会 : 藤田 桂英 (農工大) パネリスト : 堀山 貴史 (埼玉大), 今泉 貴史 (千葉大), 飯田 龍 (NICT), 中山 泰一 (電通大), 井上 智雄 (筑波大)
10 日 (木)	
産業界における IoT の動向と日本の戦略	
13:10-13:50	講演 (1) : ロボットをはじめとする IoT 社会の実現に向けたサイバーセキュリティ戦略について 瓜生 和久 (経産省)
13:50-14:30	講演 (2) : 日本発, “Industry4.1J” ソリューションの紹介 村上 正志 (VEC)
14:40-15:10	講演 (3) : セキユアな IoT 「Industry4.1J」を支える ICT インフラ技術の動向 境野 哲 (NTT コミュニケーションズ)
15:10-15:40	パネル討論 : 産業界における IoT の動向と日本の戦略 司 会 : 境野 哲 (NTT コミュニケーションズ) パネリスト : 瓜生 和久 (経産省), 村上 正志 (VEC), 渡部 宗一 (イーヒルズ/CSSC)
11 日 (金)	
実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の現状と新たな分野への適用	
9:30-9:35	オープニング
9:35-9:50	講演 (1) : enPiT の現状と今後の展望 井上 克郎 (阪大)
9:50-10:20	講演 (2) : AI 分野における技術動向と実践的な教育 山口 高平 (慶大)
10:20-10:50	講演 (3) : 知能ロボティクス分野における体系的かつ実践的な教育 國吉 康夫 (東大)
10:50-10:55	パネルオープニング
10:55-12:00	パネル討論 : 実践的な IT 技術教育の知見の普及に向けて 司 会 : 田中 二郎 (筑波大) パネリスト : 井垣 宏 (阪工大), 菅沼 拓夫 (東北大), 山本 雅基 (名大), 大場みちこ (はこだて未来大)

実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発		
11 日 (金)	15:20-15:25 全体概要	
	15:25-15:40 講演 (1) : 「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」: 全体概要とデータ連携技術 北川 博之 (筑波大)	
	15:40-15:55 講演 (2) : 高性能データ融合解析技術 徳山 豪 (東北大)	
	15:55-16:10 講演 (3) : データ格納・可視化技術 喜連川 優 (NII/ 東大)	
	16:10-16:25 講演 (4) : システム統合化技術: センサデータの統合化と流通基盤 徳田 英幸 (慶大)	
	16:25-16:40 講演 (5) : 藤沢市における実証実験 天笠 俊之 (筑波大)	
	16:40-17:50 パネル討論: 実社会ビッグデータ利活用における課題と革新的解決手法 司 会: 山名 早人 (早大) パネリスト: 北川 博之 (筑波大), 徳山 豪 (東北大), 喜連川 優 (NII/ 東大), 徳田 英幸 (慶大), 天笠 俊之 (筑波大), 福田 達夫 (藤沢市役所)	
ビッグデータとプライバシー		
12 日 (土)	9:30-12:00 司会・講演: 砂原 秀樹 (慶大) 講演: 佐藤 一郎 (NII) 講演: 上原哲太郎 (立命館大)	
	自動車の自動走行・高度運転支援技術開発の最前線	
	13:00-13:15 パネルセッション (1) : SIP 「自動走行システム」の取組について 森下 信 (内閣府)	
	13:15-13:30 パネルセッション (2) : TOYOTA の自動運転技術が目指す交通社会 遠藤 徳和 (トヨタ)	
	13:30-13:45 パネルセッション (3) : 自動運転実用化に向けた日立の研究開発 横山 篤 (日立)	
	13:45-14:00 パネルセッション (4) : Robot of Everything ~ ZMP で取り組む自動運転技術~ 景山 浩二 (ZMP)	
	14:00-14:15 パネルセッション (5) : JARI の自動走行研究実証事業への取組み 谷川 浩 (日本自動車研究所)	
14:15-14:30 パネルセッション (6) : 金沢大学の市街地公道走行実証実験の概要とその成果について 菅沼 直樹 (金沢大)		
14:30-15:00 全体質疑		

全国大会 招待講演企画・イベント企画の概要

招待講演 1 「How To Verify That Software and Systems Development Products Are Correct and Safe」

3月10日(木) 16:40-17:10 [特別会場 (藤原洋記念ホール)]

Roger U. Fujii (President of the IEEE Computer Society)

[講演概要]

The presentation describes a disciplined methodology for certifying that the system, software and hardware are safe, secure and reliable. The methodology identifies the analysis and test tasks required to produce the objective evidence in each life cycle stage that the system (software and hardware) performs its intended functions and that no unintended consequences are created. As the new systems become pervasive in our daily lives and perform more critical functions, we need to prove the safety and security of these systems. The presentation addresses the spectrum of systems development that are utilizing the V&V methodology to produce safe and reliable systems. Some example of discovered errors are covered to illustrate the type of V&V problem solving required through V&V analysis and test techniques.



[略歴]

Summary Highlights: Roger Fujii is one of the originators of the Verification and Validation (V&V) methodology. He certified the nuclear safety of strategic missile systems (Minuteman, Peacekeeper, and Tomahawk Cruise Missile). He introduced V&V into the software certification of radiation therapy devices. He introduced V&V into state and local government software development, particularly in California, Texas, Florida, Nevada, and Los Angeles County. He has managed V&V projects for NASA's manned space missions, Federal Drug Administration, Federal Aviation Administration, Nuclear Regulatory Commission, Department of Justice, and other large Federal government organizations. He is an IEEE Fellow. He was elected IEEE Computer Society President (2016). He served on the prestigious IEEE Board of Directors, IEEE Computer Society Board of Governors, and Vice President of the Standards Activity Board. Teaching Position: Fujii has lectured at UCLA and California State University, Sacramento in the continuing professional education program on software engineering principles. Currently, he is a Guest Professor at Xiamen University, Xiamen, China. He lectures on nuclear engineering with emphasis on safe and secure nuclear power instrumentation and control systems. Previous Position (1969 - 2010): Roger Fujii was a Vice President for Northrop Grumman (retired) in charge of the Network Communication Systems Division building and deploying complex communications systems for the F22/F35 avionics systems and battlefield/satellite networking systems. He was responsible for a \$1.086B division (2,300 employees), headquartered in San Diego, California. Education: Fujii has a BS/MS in Electrical Engineering/Computer Science from the University of California, Berkeley. His graduate research and thesis were in field of pattern recognition and artificial intelligence based upon the work of Prof K. S. Fu. He has Management of Business Administration program certificates from the Harvard School, UCLA John E. Anderson School of Business Management, and Darden (University of Virginia). Awards/Publications: Roger has received numerous IEEE and academic awards and published (co-author) in several books.

招待講演 2 「Visual Search by CDVS」

3月10日(木) 17:10-17:40 [特別会場 (藤原洋記念ホール)]

Wen GAO (President of the CCF)

[講演概要]

Smart phone and surveillance systems have shown great potential for visual search. Emerging applications include landmark search, product search, CD (Compact Descriptor) or book cover search, location recognition, scene retrieval, car search, etc. There are at least two challenges for visual search, low latency transmission via wireless network connection, and high speed search in large image database at cloud server. A possible approach is to extract the visual feature at the capturing device, then sending that to cloud server for search. A practical issue is how to make visual search applications compatible across a broad range of devices and platforms. To solve the problem, we need a standard which can specify the feature set which is suitable for most applications. In this talk, I will discuss CDVS: Compact Descriptor for Visual Search, CDVS, the standard created by ISO/IEC MPEG working group in 1995, known as ISO/IEC 15938-13, the part 13 of MPEG-7. CDVS uses feature descriptors instead of compressed images for transmitting and search, with high efficiency and acceptable search accuracy. To encode robust compact visual descriptors, advanced machine learning and data mining approaches have been employed to learn compact and discriminative properties from visual feature data, as well as to improve the search performance in dealing with a very large scale image database. In particular, a generative probabilistic model Fisher Kernel has been exploited in CDVS elegantly for scalable, compact and dense feature representation, which selectively aggregates local feature descriptors for efficient visual search. I will also give some results on competitive and collaborative platform to evaluate the state-of-the-art visual search techniques and application solutions, where machine learning and data mining techniques have been shown to be the most promising approach to improve the performance and usability of visual search. In the second part of my talk, I will briefly introduce the CCF, Chinese Computer Federation, the society for computer scientist and engineer, about its history, current situation, and future vision.



[略歴]

Wen Gao received his Ph.D. degree in electronics engineering from the University of Tokyo in 1991. He is a professor at the Peking University since 2006. He serves as the vice president of NSFC from Feb. of 2013, and the president of CCF from Jan. 2016. Prof. Gao joined with the Harbin Institute of Technology from 1991 to 1995, as professor, department head of computer science. He was with Institute of Computing Technology (ICT), Chinese Academy of Sciences (CAS) from 1996 to 2005. During his career in CAS, he served as the Executive Director of ICT from 1998 to 1999, the executive president of Graduate School of CAS from 2000 to 2004, the vice president of University of Science and Technology China from 2000 to 2003. Prof. Gao works in the areas of multimedia and computer vision, including video coding, video analysis, multimedia retrieval, face recognition, multimodal interfaces, and virtual reality. He published six books and over 700 technical articles in refereed journals and proceedings in above areas. He earned many awards including six National Awards in Science and Technology Achievements. He has been featured by IEEE Spectrum in June 2005 as one of the "Ten To Watch" among China's leading technologists. He is a fellow of IEEE, a fellow of ACM, CCF Fellow, and a member of Chinese Academy of Engineering.

招待講演 3 「Looking beyond borders」
3月10日（木）17:40-18:00 [特別会場（藤原洋記念ホール）]

Leon Strous (President of the International Federation for Information Processing)

[講演概要]

Our society is becoming more and more dependant on ICT. That is a fact for some time already and this brings many challenges. Not in the last place because of a fast increasing complexity, interdependency and cross-border nature of systems and infrastructures. What is needed to cope with this is an increasing “looking beyond borders” and borders in a variety of ways. Among others it means cooperation between different disciplines and types of expertise, between different types of partners and between regions / countries. In fact all disciplines involved in developing, building, maintaining and governing systems and processes have a role to play. This will be illustrated by a real-life example from the financial sector in the context of critical infrastructure protection. In particular issues like continuity of services, reliability and robustness of systems and infrastructures, resilience of organizations and crisis management arrangements are in the focus of attention. The role of professional societies in this challenge will be explicitly addressed as well.



[略歴]

International Federation for Information Processing (IFIP). President 2010-2016. Cash and Payment Systems Division. De Nederlandsche Bank, Amsterdam, Netherlands. Leon is qualified as a registered EDP-Auditor (RE) in the Dutch Association of Registered EDP-Auditors (NOREA) and also as a Certified Information Systems Auditor (CISA) in the international Information Systems Audit and Control Association (ISACA). Leon started his career in metal and plastics processing and then went onto eight years with the sales organisation of Philips Electronics in the Netherlands. His focus areas were administrative organisation, internal control and information security. Since 1993, Leon has been with De Nederlandsche Bank (DNB), which is the central or reserve bank of the Netherlands, as IT auditor in the internal audit department and as overseer in the oversight department of the cash and payments division, focusing on the security of payment systems. He also participated in committees of the European System of Central Banks (ESCB). Currently his main jobs are advancing business continuity and crisis management arrangements with the key players in the payments and securities clearing and settlement processes in the Netherlands and liaising between the financial sector and the government concerning critical infrastructure protection programs. He is a member of a number of professional societies and has been active in many different positions in the Dutch Computer Society (NGI) since 1988, including vice-chair in the Board for five years, and in the International Federation for Information Processing (IFIP) since 1994. In IFIP he has chaired Technical Committee 11 on security and protection in information processing from 2001-2007, he was Vice-president from 2007-2009 and in August 2009, he was honourably elected as President for the 2010-2013 term with a re-election in 2012 for the 2013-2016 term. Leon has co-authored and co-edited publications in the area of information security and chaired / organized several international security conferences.

招待講演 4 「The role of the Youth in the International ICT Sector - An IFIP Perspective」
3月10日（木）18:00-18:10 [特別会場（藤原洋記念ホール）]

Yasas Vishuddhi Abeywickrama (Chairman of the International Young ICT group of IFIP and IFIP Councillor)

[講演概要]

It's no secret that technology is changing the world. But when you stop and think about it, technology is created by people – often young people who are willing to challenge the status quo and do things differently. Young entrepreneurs have created some of the world's most dynamic and fastest-growing companies – companies like Facebook, Google, Instagram, Twitter, Uber and Skype were all founded by people in their 20s and 30s who went on to deliver revolutionary products that have changed the way we live. Young people are changing the world. And not only the entrepreneurs whose ideas spawned these companies, but also many of the people who work behind the scenes to develop and implement these disruptive platforms and solutions are young. So, you have an industry in ICT, Information and Communication Technology, which is driven and run by young people. And this will continue to increase as today's digital natives find new and innovative ways to apply technology to improve peoples' lives. So if the industry is young and if the key drivers of that industry are young, then the supporting organizations, government bodies and industry groups should also reflect that. They should have young representation. This speech will address this issue as well as touch on what can be done to solve it and also discuss ways of youth engagement. It will showcase to the audience the importance of youth engagement and value it will add, and leave the audience wanting to engage youth more in decision making at various platforms.



[略歴]

Yasas Vishuddhi Abeywickrama is a prominent young thought leader in the IT/BPO Sector who has had direct industry exposure in USA, UK, Sri Lanka, Australia, India, Malaysia, Austria and Singapore. He co-founded Sri Lanka's premier BPO Training organization, Lanka BPO Academy, is the current Vice President of the Computer Society of Sri Lanka and Chairman of the International Young ICT group which spans 50+ nations while also being a Councillor of International Federation of Information Processing (IFIP).

特別講演 IPSJ-ONE

3月12日(土) 15:30-17:30 [特別会場(藤原洋記念ホール)]

[セッション概要]

情報処理学会では、3領域38の研究会で活動が行われ約2万人の会員が在籍しているが、異なる研究会や研究領域あるいは情報処理学会全体でどのような研究がなされ注目を集めているのかを知る機会は少ない。本企画では、その多様な研究分野を垣根なく俯瞰し、すぐれた研究を自らの言葉で語れるプレゼン力の高い、若手を中心とした研究者を、希望する研究会が主体的に推薦する形式で募集し、応募の中から招待講演者を厳選する。この講演会はこのように特別な招待講演者達による「見逃せない講演会」であり、持ち時間1人数分で次々に登場していく。さらに講演内容は専門家のみならず、高校生、学部生、他分野での聴衆が理解しやすいように内容も配慮し、招待講演者を選定する。異分野間の融合やそれぞれの研究の発展に役立て、さらなる情報処理の可能性を社会に問い、新たなコラボレーションや展開を作り出ししていく場とするため、マスメディア・ネットメディア、動画中継、ステージ演出を含め、講演だけで終わることのない情報発信やネットワーキングの場として多数の演出やアウトリーチを予定している。



司会：落合 陽一 (IPSJ-ONE 企画・実施委員会 委員長 / 筑波大学図書館情報メディア系 助教)

[略歴]

筑波大学助教、デジタルネイチャー研究室主宰、メディアアーティスト、メディアアーティスト、筑波大学助教、デジタルネイチャー研究室主宰。巷では現代の魔法使いと呼ばれている。筑波大でメディア芸術を学んだ後、東京大学を短縮修了(飛び級)して博士号を取得。2015年5月より筑波大学助教、落合陽一研究室を主宰している。経産省より未踏スーパークリエイター、総務省の異能vationに選ばれた。研究論文はSIGGRAPHなどのCS分野の最難関会議・論文誌に採録された。作品はSIGGRAPH Art Galleryを始めとして様々な場所で展示され、Leonardo誌の表紙を飾った。LAVAL VIRTUALよりグランプリ&部門賞、ACEより最優秀論文賞、他にもACM UIST、EUROHAPTICSでも受賞経験があり、グッドデザイン賞、経済産業省 Innovative Technologies 賞&特別賞、日本マニフェスト大賞やロハスデザイン大賞、TIME誌とFortune誌によるWorld Technology Awardなどでも入賞やノミネートされ、他にも受賞多数。プロジェクトは、CGCHANNELが選ぶ2014年のベストSIGGRAPH論文や、NewScientist誌が選ぶ2012年のベストビデオ等に選ばれている。応用物理、計算機科学、アートコンテクストを融合させた作品制作・研究に従事している。BBC、CNN、ディスカバリーチャンネル、AP、ロイター、デイリーメール紙、テレグラフ紙、ロシア国营放送、フランス国营放送、などメディア出演多数。最近では執筆、コメンテーターなどバラエティやラジオ番組などにも出演し活動の幅を広げている。TED World Talent SearchやTEDxTokyoではスピーカーを努め好評を博した。2015年World Technology AwardのIT Hardware部門を受賞。



司会：竹川 佳成 (IPSJ-ONE 企画・実施委員会 副委員長 / 公立はこだて未来大学 システム情報科学部 准教授)

[略歴]

2007年大阪大学大学院情報科学研究科博士課程修了。同年より神戸大学自然科学系先端融合研究環重点研究部助教。2012年より公立はこだて未来大学システム情報科学部助教。2014年より同大学システム情報科学部准教授。現在に至る。2015年IPSJ-ONE(音楽情報科学研究会推薦)にて「もしもピアノが弾けたなら～理想のピアノ学習支援システムを目指して～」という題目で講演し、ピアノに対するマッドな愛とその研究に関する発表が好評を博し、2016年IPSJ-ONEの司会者として抜擢される。2011年にはMIT Media LabにてAssistant Visiting Professorを兼務。博士(情報科学)。2013年度情報処理学会 山下記念研究賞(音楽情報科学研究会およびエンタテインメントコンピューティング研究会)をダブル受賞する。同年度に2つの異なる研究会から山下記念研究賞を受賞することは初の事例。その他受賞多数。

[研究会推薦] 登壇順は現在調整中・下記のプログラムの記載は五十音順。

研究会推薦：招待講演(1)「コンピュータに気持ちよく操られる社会へ向けて」

[モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム研究会]

荒川 豊(奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授)

[講演概要]

情報技術の進展により、人の行動をセンシングしたり、推定する研究が盛んに行われ、状況に応じて適切なサービスが提供される便利な社会が現実のものとなりつつあります。しかし、この先はどうなるのでしょうか?本発表では、この人と情報技術の連携が成熟した先にあるべき未来の「社会」に関して、これから始まる研究について紹介します。具体的には、人間の行動を情報技術によって変化させ、変化によって生み出されるエネルギーを社会の維持と発展の原動力にするというものです。情報技術によって、いかにして行動を変化させ、その行動の変化をどう社会システムの運営に活かすのか、という難しい課題ですが、その先にはコンピュータに気持ちよく操られるシンギュラリティな社会が待っているかもしれません。



[略歴]

2006年慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。2013年3月より奈良先端科学技術大学院大学准教授。主として、センサシステム、ユビキタスコンピューティングに関する研究に従事。2011年情報処理学会山下記念研究賞、2014年同学会長尾真記念特別賞、受賞。

研究会推薦：招待講演(2)「情報技術でスポーツを支援する」

[マルチメディア通信と分散処理研究会]

内山 彰(大阪大学 大学院情報科学研究科 助教)

[講演概要]

Apple Watch, Fitbit, SmartBand—ヘルスケアやスポーツにIT技術に応用する機運が世界的に高まっています。これらのウェアラブルデバイスやカメラなど、様々なセンサを活用してスポーツ選手の競技力向上、障害予防、競技への復帰を支援し、ひいてはメダルを増やすことができないでしょうか?その第一歩として、私はウェアラブルセンサや環境センサから得られる情報を組み合わせて身体深部の体温を推定する方法を考案しました。そして、これをきっかけに関わるようになった、工学、スポーツ医学などの様々な分野連携によるスポーツ支援研究プロジェクトを紹介します。



[略歴]

2003年大阪大学基礎工学部を退学し、同大学院情報科学研究科博士前期課程へ入学。2008年大阪大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。博士(情報科学)。日本学術振興会特別研究員PD、イリノイ大学客員研究員、大阪大学大学院情報科学研究科 特任助教を経て、2013年より現職。モバイルセンシングに興味を持ち、人の行動センシングやモバイルヘルスケアに関する研究に従事。

研究会推薦：招待講演 (3) 「アナロジーによる検索」

[データベースシステム研究会]

加藤 誠 (京都大学 大学院情報学研究所 特定助教)

[講演概要]

「Apple の iPod は Microsoft の何に当たるか」、「京都の和食屋『おぐらや』は東京のどの店に当たるか」、「X JAPAN と宇多田ヒカルを足して2で割ったような歌手は誰か」。これらの疑問に答えることのできるアナロジーによる検索システムについて紹介します。アナロジーによる検索では、ユーザが既知の分野からいくつかの要素を選択することによって、未知の分野における情報を検索できるようになります。このような検索を実現するための要素技術として、Web マイニング、トピックモデル、Wikipedia 解析、転移学習などに基づく手法を簡単に説明し、特に飲食店のアナロジーによる検索のために実施した実験の結果をご紹介します。



[略歴]

2008 年京都大学工学部情報学科卒業。2009 年同大学院情報学研究所社会情報学専攻修士課程修了。2012 年同専攻博士後期課程修了。博士 (情報学)。2012 年より京都大学大学院情報学研究所特定助教。情報検索、特に対話的情報検索に関する研究に従事。

研究会推薦：招待講演 (4) 「コンピュータを变幻自在の道具にするためのプログラミング環境技術」

[ヒューマンコンピュータインタラクション研究会]

加藤 淳 (産業技術総合研究所 情報技術研究部門メディアインタラクション研究グループ 研究員)

[講演概要]

スマートフォンなどの普及に伴い、コンピュータは誰にとっても欠かせないものとなりました。そんなコンピュータを思い通りに動かして、变幻自在の道具にできる手段が「プログラミング」で、今や現代人の教養と言われるほど注目されています。本講演では、プログラミングのために利用される統合開発環境 (IDE) が、作りたいプログラムに応じて様々なユーザインタフェースを必要とすることを示します。ロボットの制御 (Picode) や、画像処理 (DejaVu)、果ては楽曲動画制作 (TextAlive) や IoT デバイス開発 (f3.js) まで、私が研究開発してきた IDE を紹介し、プログラミングの未来について考えます。变幻自在の道具を作る道具もまた、变幻自在なのです。



[略歴]

2014 年東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。博士 (情報理工学)。日本学術振興会特別研究員 (DC1)、Microsoft、Adobe など海外企業研究所での研究インターンを経て、現在、産業技術総合研究所研究員。2012 年度 Microsoft Research Asia Fellowship、ACM CHI 2013/2015 Best Paper Honorable Mention など受賞。プログラム、すなわちインタラクティブなコンテンツを直感的に制作できるユーザインタフェースの研究に従事。

研究会推薦：招待講演 (5) 「ランダムとは何か」

[アルゴリズム研究会]

河村 彰星 (東京大学 総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系 講師)

[講演概要]

乱数は色々な計算に使われるが、実際に用いるのは何らかの規則で作られた擬似乱数でしかない。真にランダムな乱数など作れるのか、というのは難しい問だが、計算理論では「作れるか」を問うよりも、まずは「使う」側の立場でランダム性を説明した。つまりランダムさとは「先を予測できない」「特徴を見破れない」という概念なのだから、誰にとってそうなのかという観察者の情報処理能力 (例えば計算時間の制約) を想定して初めて意味をなすというのである。この「計算」と「ランダム」の関係を様々な捉え方で分析する研究の一端を紹介する。



[略歴]

2011 年トロント大学計算機科学部博士課程修了。東京大学情報理工学系研究科助教を経て 2015 年より東京大学総合文化研究科講師。専門は計算量理論、数理論理学、情報数理、アルゴリズム工学。

研究会推薦：招待講演 (6) 「想定外のエンタテインメントを「発掘」する」

[エンタテインメントコンピューティング研究会]

栗原 一貴 (津田塾大学 情報科学科 准教授)

[講演概要]

エンタテインメントというと、クリエイターが「作る」ことなしには始まらない、とお考えの方もいらっしゃるでしょう。しかし既に莫大な情報にあふれた現代では、意外なところから新しいエンタテインメントを「発掘」することもできるのです。本発表ではそんな事例として、画像認識技術を用いて NASA の公開している地球外天体の衛星写真から人の顔に見える地形を自動的に探すプロジェクトの成果や、テトリスで遊ぶだけで 3D プリンタで印刷するための三次元モデルのデザインが行えるツールの紹介をします。



[略歴]

津田塾大学文学部情報科学科准教授、博士 (情報理工学)。日本学術振興会特別研究員 (DC2)、(独) 産業技術総合研究所主任研究員、東京大学大学院総合教育研究センター助教を経て 2014 年 4 月より現職。ヒューマンコンピュータインタラクション、およびエンタテインメントコンピューティング分野において物議を醸すシステム開発研究を得意とする。2012 年イグノーベル賞、第 12 回・第 18 回日本ソフトウェア科学会論文賞、WISS'11 論文賞・発表賞等受賞。第 25 回暗黒星雲賞次点入賞。宇都宮愉快市民。

研究会推薦：招待講演 (7) 「歴史学の情報？ Part2 ～人文科学者が行う情報処理～」

[人文科学とコンピュータ研究会]

後藤 真 (国立歴史民俗博物館 研究部 准教授)

[講演概要]

「歴史学にはどのような情報が存在しているのか、それらはなぜ歴史学では必要とされているのか、1つの歴史資料からどのような情報が生成されるのか」前回、ある講演者が話をした。歴史の一つのことを解き明かすには、大量の情報をつなぎ合わせて、分析・処理している。そのつなぐ・分析するという部分に、情報技術が多く入り込んできている。今回は、人文科学側の研究者が情報処理学会で培った研究を活かし、人文科学の方法論を定式化して情報技術で処理していく、その方法を具体的な史料を示しながら見せていきたい。



[略歴]

博士 (文学)。2007年、大阪市立大学大学院後期博士課程修了。日本学術振興会特別研究員 (PD)、花園大学文化遺産学科専任講師、人間文化研究機構本部特任助教を経て、現在の国立歴史民俗博物館研究部准教授。2003年山下記念研究賞受賞。専門は人文情報学・情報歴史学。日本古代の文書に関する情報発見手法の研究や、博物館の歴史的情報の発見手法の研究を行っている。正倉院文書研究会・木簡学会等の会員でもある。

研究会推薦：招待講演 (8) 「BitVisor: OS を手玉に取る仮想化ソフトウェア」

[システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会]

品川 高廣 (東京大学 情報基盤センター情報メディア教育研究部門 准教授)

[講演概要]

近年のPCやMacでは、OSとしてWindowsやOS Xなど欧米勢が作った非常に巨大で複雑なソフトウェアが使われています。これらは複雑すぎてセキュリティの維持が困難になっているほか、中身をいじって新しい機能を追加することが容易ではありません。BitVisorは、OSとハードウェアの間に入り込んでセキュリティやシステム管理など新しい機能を追加できる国産のオープンソース仮想化ソフトウェアです。準パススルー型という新しいアーキテクチャを研究開発することにより、小型軽量化と高機能化を両立させ、高いセキュリティや開発効率の向上、WindowsやOS Xが安定動作する高い実用性を実現します。



[略歴]

2003年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。博士 (理学)。東京農工大学助手、筑波大学講師を経て、2011年から東京大学情報基盤センター准教授。オペレーティング・システムや仮想化技術、セキュアコンピューティングなどのシステムソフトウェアに関する研究に従事。情報処理学会1999年度論文賞、2002年度山下記念研究賞などを授賞。

研究会推薦：招待講演 (9) 「秘匿ゲノム検索」

[バイオ情報学研究会]

清水 佳奈 (産業技術総合研究所 創薬基盤研究部門 主任研究員)

[講演概要]

近年、ゲノム配列を決定する技術が大幅に向上し、個人のゲノムデータを低コストで取得することが可能になった。個人ゲノムの情報解析は医学、生物学における様々な問題の解決に役立つと期待されているが、現状ではプライバシー保護の問題があるため、各研究拠点で収集したデータを流通させることが難しく、潜在的には豊富に存在するデータを十分に活用できない問題がある。本講演では、我々がこれまでに開発を進めてきた、ゲノムデータの中身を秘匿したまま情報検索を行う「秘匿ゲノム検索」を概説する。また、秘匿ゲノム検索をゲノムバンクで応用するための取り組みについても紹介する。



[略歴]

2006年早稲田大学より博士 (工学) 取得。同年、産業技術総合研究所に入所。2013～2015年メモリアル・スローン・ケタリングがんセンター客員研究員。CSS2013、CSS2014最優秀デモンストレーション賞、IIBMP2015研究奨励賞、最優秀口頭発表賞受賞。バイオインフォマティクスの研究に従事。最近では高速シーケンシングデータの解析アルゴリズムの開発、ゲノム配列の秘匿検索等に興味を持っている。

研究会推薦：招待講演 (10) 「『第3のコンピュータ』をソフトウェア志向で使いこなすシステム設計環境 SWORDS フレームワーク」

[システムとLSIの設計技術研究会]

高瀬 英希 (京都大学 大学院情報学研究所 助教)

[講演概要]

高度情報化が進む我々の生活を支えるコンピューティングデバイスとして、従来のプロセッサやASIC (特定用途向けハードウェア) に次ぐ「第3のコンピュータ」であるFPGAの活用が進んでいる。FPGAはハードウェア設計言語によって任意の論理機能を実現できる再構成可能デバイスであり、性能や電力効率の面で利点がある。近年では、プロセッサとFPGAを1チップに集積したプログラマブルSoCと呼ばれるデバイスも注目されている。講演者は、組込みリアルタイムシステムの効率的な設計を支援するSWORDS (SoftWare ORiented Design & Synthesis) フレームワークの開発を進めている。プログラマブルSoCを採用するシステムの設計者は、本フレームワークへの入力として、ソフトウェア向けのプログラミング言語によって記述されたシステム設計と構成情報を与える。ソフトウェアの機能の一部は、与えられた構成情報に応じて切り分けられ、FPGA部分で実行可能なハードウェアモジュールとして合成される。さらに、プロセッサ-FPGA間の通信を担うインタフェースモジュールも自動的に生成される。研究成果は、設計生産性の向上に寄与するだけでなく、FPGAの利点を活かした情報システムの高品質化にも貢献する。



[略歴]

2012年3月名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程後期課程修了。博士 (情報科学) 取得。2012年4月より京都大学大学院情報学研究所助教。現在に至る。組込みリアルタイムシステムの消費エネルギー最適化技術、システムレベル設計手法、システムソフトウェアなどに関する研究に従事。2013年より組込み分野の学生・若手技術者を対象とした短期合宿型教育実習LED-Campを企画運営。LED-Camp4は2016年8月下旬に開催予定。

研究会推薦：招待講演 (11) 「身体共有」 [ユビキタスコンピューティングシステム研究会]

玉城 絵美 (H2L, Inc. 創業者 / JST さきがけ 研究員 / 早稲田大学 人間科学学術院 助教)

[講演概要]

本講演では、手の動作を共有する装置 UnlimitedHand の応用開発と研究の一つを紹介し、SNS や動画配信サイトでは、多数の体験の情報が共有されています。しかし、動画と言語による共有が主になっているため、実際に体験した投稿者本人のみが楽しく、同じ体験ができない閲覧者によっては羨ましさから精神的な負担になる場合もあります。つまり、投稿者にその意図がなくとも、SNS や動画配信サイトは、幸せやリア充であることのアピールの場になってしまうことがあります。そこで、HMD と UnlimitedHand を用いることによって、視覚、聴覚と手の身体感覚の情報、つまり身体の出るかぎりの情報を共有し、閲覧者が出来るだけ投稿者に近い身体体験をする応用開発と研究が進められています。この応用開発と研究により閲覧者も幸せやリア充になった風になり、精神的な負担を軽減するかもしれません。※もしかしたら余計に精神的な負担になるかもしれません。



[略歴]

VR (Virtual Reality) と AR (Augmented Reality) 内でのコンピュータからヒトに触感や身体感覚を伝達する研究とその普及を目指している。2011年コンピュータがヒトに手の動作を制御する装置 PossessedHand を発表し、多数の学会で注目される。PossessedHand は、CNN や ABC で報道され、米 Time 誌が選ぶ 50 の発明に選出される。同年、東京大学大学院にて博士号取得し、東京大学総長賞受賞と同時に総代をつとめる。研究用装置を研究者に提供し消費者へ共有するため、2012年に H2L, Inc を創業した。2013年早稲田大学に移籍し、研究活動を再開した。2015年日経ウーマン ウーマンオブザイヤー準大賞を受賞、同年、KickStarter にて VR ゲームのキャラクターになりきってゲーム内の物体の触感を感じるためのデバイス UnlimitedHand を発表し、60日の支援期間中 22時間で目標額を達成し注目を集めている。

研究会推薦：招待講演 (12) 「プログラムを説明するプログラム」 [自然言語処理研究会]

Graham Neubig (奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教)

[講演概要]

プログラミングは難しい。その理由の一つとして、プログラミング言語 (C や Python など) が分からなければ、プログラムを見てもその動きが分からないことが挙げられる。例えば、「if x % 2 == 0」は「もし x が偶数であれば」という意味だが、必ずしもプログラミング初心者にはこれが分かるとは限らない。この問題を解決するために、我々はプログラムから、コードの意味を言葉で説明する文を自動生成する研究に取り組んでいる。具体的には、プログラムとそれを説明する文章から、統計モデルを学習する枠組みで、データさえあればどのプログラミング言語でも説明できるようにする手法である。本発表では、このような「プログラムを説明するプログラム」について紹介する。



[略歴]

2001年8月～2005年5月イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 工学部計算機科学専攻 学士課程卒。2005年9月～2006年7月但馬農業高等学校外国語指導助手。2006年8月～2008年3月兵庫県国際交流員。2008年4月～2010年3月京都大学情報学研究科 知能情報学専攻修士課程。2010年4月～2012年3月京都大学情報学研究科 知能情報学専攻博士後期課程。2012年4月～現在 奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST) 助教。

研究会推薦：招待講演 (13) 「パーソナルデータの安全な利活用を支えるプライバシー保護技術」 [コンピュータセキュリティ研究会]

濱田 浩気 (日本電信電話株式会社 NTT セキュアプラットフォーム研究所 研究員)

[講演概要]

近年個人に関する情報、いわゆる「パーソナルデータ」の活用が盛んになってきています。活用の対象となるパーソナルデータは、より個人のプライバシーに関わる情報へと拡大しており、これまでよりも有益な知見の獲得が期待される一方で、プライバシー侵害への懸念が大きくなってきています。本発表では、この懸念を解消して安全なデータ活用を実現する「プライバシー保護技術」の中から、データからプライバシー侵害につながる情報を削減する「匿名化技術」と、データを誰一人見ないまま処理することでプライバシーを守る「秘密計算技術」を紹介します。



[略歴]

2007年京都大学工学部情報学科卒業。2009年同大学大学院情報学研究科修士課程修了。同年日本電信電話(株)入社。以来、プライバシー保護技術の研究に従事。現在、同社研究員。2011年 SCIS 論文賞、2011年度情報処理学会論文賞、2012年・2014年 CSS 論文賞、2013年度山下記念研究賞受賞。

研究会推薦：招待講演 (14) 「人工知能は WEB サーバーの暗闇を救う」 [インターネットと運用技術研究会]

松本 亮介 (GMO ベバボ株式会社 技術部技術基盤チーム シニア・プリンシパルエンジニア)

[講演概要]

Web サービスの高度化に伴い、システムは複雑になり運用コストが増加している。そのため、今後、人の手を介さずに Web サービスを人工知能のアプローチによって自動制御したいという要求がある。それによって、究極的に人々はシステムの管理から開放され、技術革新に向けたアイデアを考えるための時間が増えたり、自分の時間や家族と過ごす時間が増えることでストレスが減少し、さらに過ごしやす世界を支える Web サービス技術発展に寄与できる。Web サービスを支えるサーバ設定のプログラミング言語化や、動的なリソース制御といった我々の研究の最新情報を紹介する。



[略歴]

2008年3月学部卒業後、ホスティング系企業で3年間大規模ホスティングサービスの運用・開発に従事。企業での経験が認められ、2012年4月より京都大学大学院情報学研究科において、修士課程を飛ばして博士課程から入学。OS・Middleware・HTTPに関する研究に従事。2015年4月から GMO ベバボ(株)にてシニア・プリンシパルエンジニアとしてインターネット基盤技術の研究・開発を担当。2014年、第6回フクオカ Ruby 大賞 優秀賞、第9回日本 OSS 奨励賞、2014年度 情報処理学会 山下記念研究賞、RubyPrize2014 最終ノミネート受賞、などその他受賞多数。

研究会推薦：招待講演 (15) 「人にやさしいコンピュータを創る」

【グループウェアとネットワークサービス研究会】

宮田 章裕 (NTT レゾナント株式会社 スマートナビゲーション事業部 主査)

【講演概要】

人がコンピュータを使いこなせない場合、人が悪いのではなくコンピュータのデザインが未熟であるという信念のもとで取り組んできた「人にやさしいコンピュータ」を2件紹介する。1つ目は、教科書をスマートフォンで撮影すると、映像教材が閲覧できるシステム「Kappan」である。上手く撮影できない子どもでも使えるよう、撮影状態が悪くても100万ページから1ページを特定できるロバスト性を実現している。QRコード等が印刷されていない既存書籍に使える点も大きな特徴である。2つ目は、貼り付けるだけで家具をインテリジェントにする「xSeal」である。このデバイスを貼り付けると、出かけるときに午後の天気や、薬の飲み忘れを教えてくれる薬箱等を容易に実現できる。コンピュータを操作することなく、日常生活を送るだけでICTのメリットを享受できる、人にやさしいデザインである。



【略歴】

NTT レゾナント (株) 主査。博士 (工学)。日本電信電話 (株) NTT サービスエボリューション研究所研究主任を経て2015年9月より現職。ヒューマンコンピュータインタラクションの研究に従事し、家庭、教育、災害などの各シーンにおいて「人にやさしいコンピュータ」の仕組みを多数開発し、事業化する。情報処理学会2007年度山下記念研究賞、2014年度・2015年度特選論文、インタラクション2010ベストペーパー賞など受賞多数。

研究会推薦：招待講演 (16) 「ハードウェアを増やしてコンピュータを省エネに」

【システム・アーキテクチャ研究会】

三輪 忍 (電気通信大学 大学院情報システム学研究科 准教授)

【講演概要】

これまでのコンピュータ・システム設計には厳しいハードウェア資源制約が課せられていたことから、任意の処理を高いエネルギー効率で実行する、万能型のハードウェアを開発する方向で汎用コンピュータは進化してきた。しかし、数年後には、LSI製造技術の進歩によって資源制約が現在の数分の1にまで緩くなり、その結果、エネルギー制約が相対的に厳しくなると予想されている。このような緩い資源制約のもとで省エネルギーなコンピュータを実現する方法として、講演者は、特定の処理に特化したハードウェアを組み合わせてシステムを設計し、システムに搭載された複数ハードウェアをアプリケーションの実行中に切り替えながら処理する方法を研究している。本講演では、上記の研究内容を非専門家にわかりやすく解説する。



【略歴】

2000年京都大学工学部情報学科卒業。2002年京都大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻修士課程修了。2005年京都大学大学院情報学研究科通信情報システム博士後期課程単位取得退学。博士(情報学)。現在、電気通信大学大学院情報システム学研究科 准教授。コンピュータ・アーキテクチャ、高性能計算、組込みシステム等の研究に従事。2010年組込みシステムシンポジウム優秀論文賞 受賞。ACM, IEEE, 電子情報通信学会, 情報処理学会 各会員。

研究会推薦：招待講演 (17) 「「要は何?」：ユーザ特性に合わせたわかりやすい情報提示技術」

【コンシューマ・デバイス&システム研究会】

望月 理香 (日本電信電話株式会社 サービスエボリューション研究所 研究員)

【講演概要】

相手にわかりやすく物事を説明したい時、その相手にとって最もわかりやすい表現で、なるべく端的に言い表したいと思うことがあります。本研究では、このように、その人の感性や属性、状況などに合わせて情報をわかりやすく補足する技術によって、情報の理解を促進したり、人と人とのコミュニケーションをサポートすることを目指しています。具体的には、ライフログを活用した事物の『たとえ』による表現方式、異なるバックグラウンドのユーザ間の共感創出を目指す感性コミュニケーション技術、シンプルに物事を説明する『要するに何?』提示方式などの取り組みについてご紹介します。



【略歴】

2009年中央大学大学院理工学研究科情報工学専攻修了。同年日本電信電話(株)入社。博士(工学)。現在NTT サービスエボリューション研究所に所属。中央大学理工学研究科客員研究員。同じ対象物から誘発される感覚・感性の個人差に興味を持つ。個人の色知覚特性に合わせた色弱補正アルゴリズムの研究、ライフログを活用した情報提示方式の研究に従事。前者ではフジサンケイビジネスアイ第23回独創性を拓く先端技術大賞にて文部科学大臣賞受賞、後者ではLOIS研究会研究賞など受賞。

研究会推薦：招待講演 (18) 「「感動的な歌声」の可能性」

【音楽情報科学研究会】

森勢 将雅 (山梨大学 大学院総合研究部 特任助教)

【講演概要】

感動的な歌声の研究は難しい。上手い歌手の歌声は人を感動させ、下手な歌声は誰でも下手だと判断できる。動画共有サイトでは、明らかに合成音と知覚される歌唱でも、一部は感動的と評価されている。これらの事実は、人間の歌声であることは感動的な歌声の絶対条件ではなく、合成歌唱は合成歌唱の中で聴取者を感動させる「何か」があることを示唆する。感動的な歌声の合成は、人間の模倣ではなく感動させる「何か」を追求する困難な課題設定である。講演者は、技術開発者・楽曲制作者・聴取者を対象に、感動的な歌声の条件について調査・研究を行ってきた。本講演では、一連の活動内容について述べ、感動的な歌声の合成に挑戦する研究を紹介する。



【略歴】

2008年3月和歌山大学大学院システム工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。関西学院大学大学院理工学研究科博士研究員、立命館大学情報理工学部助教を経て、2013年2月より現職。医工融合領域による音声・聴覚の研究に従事。SNSによる緩い共同研究を新たな研究スタイルとして確立するため、ハンドルネームやP名で構成された本名すら知らないメンバーと学会発表する実験を試みている。意外にも、色々な賞を受賞する機会に恵まれた。

研究会推薦：招待講演 (19) 「コンピュータと物理をより近くに」 [グラフィクスとCAD研究会]

楽 詠瀬 (Columbia University Computer Science Department Postdoctoral Research Scientist)

[講演概要]

実世界の物体の挙動は物理則によって支配されています。こうした挙動は複雑で、しばしば人間にとって理解・制御することが容易ではありません。コンピュータで物理現象や物理制約を賢く扱えるようになると、1) 複雑な物理的挙動の予測、2) 複雑な物理制約を満たす機能的人工物の設計、3) 物理的タスクを実行できる賢いロボットの開発ができるようになります。本講演では、これらの研究を紹介します。



[略歴]

1983年上海市生まれ。1991年来日。東京大学理学部情報科学科、同大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻修了。博士(情報理工学)。2011年東京大学大学院新領域創成科学研究科助教。2012年同理学部情報科学科助教兼任。2013年コロンビア大学Postdoctoral Research Fellow(日本学術振興会海外特別研究員)。2015年同大学Postdoctoral Research Scientist。物理ベースの光学・流体シミュレーション、及びデザインやファブリケーションへの応用などの研究に従事。

ジュニア会員特別企画 3月12日(土) 13:00-15:00 [特別会場(12-109)]

[セッション概要]

情報処理学会では、2015年度より情報に関わる若い世代の支援をするためジュニア会員制度の試行をはじめています。そこで今回の全国大会では、広くジュニア会員制度を知って頂くためジュニア会員及びジュニア会員候補者の発表を受け付け情報に関わる若い世代の活動を紹介する場を設けました。これからの世代の発表にご期待下さい。



司会：砂原 秀樹 (慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授)

[略歴]

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授。1988年慶應義塾大学理工学部博士課程修了。奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター教授、情報科学研究科教授を経て、2008年4月より現職。1984年からJUNETプロジェクト、1988年からWIDEプロジェクトを通じて、日本におけるインターネットの構築とその研究に従事。2005年よりインターネットを通じて環境情報を共有するLive E! Projectを開始。現在は、キャンパスのグリーンIT化を推進するプロジェクトの他に、自動車やさまざまなセンサをインターネットに接続して新たな情報通信基盤を構築するプロジェクト、救急車をインターネットに接続したモバイル救急救命室プロジェクト、情報銀行プロジェクトを進行中。

2015年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～ 3月10日(木) 9:30-12:00 [第1イベント会場(MMR)]

[セッション概要]

ドローンの意図しない場所での飛行や年金機構への標的型攻撃など、先端IT技術の発達には必ず問題も付きまとう。このパネル討論ではそういった技術と法の問題を研究するEIP研究会より、技術者の立場と、法律や政策などを研究する社会科学の研究者のそれぞれの立場から対策や技術の健全な発展手法について意見を述べ合うものとする。パネルでは、2015年度に比較的大きく報じられた事件を中心に討論することとする。さらに必要に応じて、本年度の問題だけに留まらず来年より稼働するマイナンバーや、(3Dプリンタによる銃製造問題など)過去1～2年の事件も扱うこととし、来るべき近未来のシンギュラリティ社会への示唆としたい。

9:30-12:00 パネル討論「2015年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～」

[討論概要]

2016年3月までに起きた、サイバー空間やITに関する様々な事件・問題について多様な専門家からそれぞれの立場で意見を述べてもらう。・ドローンの落下事件を教訓に、ロボットや自動運転車に関する問題。・年金機構をはじめとする公的機関への標的型攻撃を教訓に、来年のサミットやオリンピックを見越したサイバーディフェンスのありかた。・IoTやM2Mの普及のために必要なことは何か。・マイナンバー法や改正個人情報保護法に伴う、パーソナルデータの保護と利活用。・その他、情報処理学会に関連する分野の様々な事件や裁判例、等々を扱う予定。



司会：須川 賢洋 (新潟大学 法学部 助教)

[略歴]

新潟大学大学院法学研究科修了(法学修士)。専門はサイバー法で、コンピュータ犯罪、デジタル知的財産、情報セキュリティ制度、デジタル・フォレンジックなど、先端技術と法律の関係を中心に研究。共著に「ITセキュリティカフェー見習いコンサルの事件簿」(丸善)、「実践的eディスカバリー米国民事訴訟に備える」(NTT出版)、「デジタル・フォレンジック事典」(日科技連)など。



パネリスト：金子 格 (東京工芸大学 工学部コンピュータ応用学科オーディオビジュアルメディア研究室 准教授)

[略歴]

1980早稲田大学卒。2004博士(情報科学)。(株)アスキーにてパソコンシステムソフトウェア、システムLSI、ASICの開発、グラフィックコミュニケーションラボラトリーズでMPEG標準の策定等に従事。2004年より東京工芸大学准教授。



パネリスト：板倉 陽一郎 (ひかり総合法律事務所 弁護士)

[略歴]

2002年慶應義塾大学総合政策学部卒、2004年京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻修士課程修了、2007年慶應義塾大学法務研究科(法科大学院)修了。弁護士(ひかり総合法律事務所)。2010年4月より2012年12月まで消費者庁に外向(消費者制度課個人情報保護推進室政策企画専門官)。情報ネットワーク法学会理事、情報処理学会電子化知的財産・社会基盤研究会幹事、第二東京弁護士会国際委員会副委員長、経済産業省、総務省、観光庁等の有識者委員等を現任。主な取扱分野はデータ保護法、IT関連法、知的財産権法等。



パネリスト：原田 要之助 (情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティ研究科 教授)

【略歴】

1979年、京都大学大学院工学部数理工学専攻を修了、電信電話公社(現NTT)の研究所で通信ネットワークの監視、制御システムを開発。1990年、通信ネットワークのセキュリティアーキテクチャを研究。1999年から、情報通信総合研究所にてセキュリティコンサルやセキュリティ監査に従事、2005年から大阪大学工学部大学院工学研究科の特任教授として組織のリスクマネジメントを担当。2010年から、情報セキュリティ大学院大学教授、リスクマネジメント・情報セキュリティマネジメントを担当。情報セキュリティ監査については、1999年より2010年まで、国連傘下基幹の情報セキュリティ監査に従事し、2000年から2008年までチームリーダーとして活躍した。2010年より日本セキュリティ監査協会・資格認定委員会の委員長、情報処理学会 電子化知的財産社会基盤研究会の幹事、セキュリティマネジメント学会の常任理事、システム監査学会の理事など。



パネリスト：折田 明子 (関東学院大学 人間環境学部 現代コミュニケーション学科 講師)

【略歴】

2007年慶應義塾大学にて博士(政策・メディア)取得。中央大学ビジネススクール助教、慶應義塾大学特任講師、米国ケンソー州立大学 Visiting Assistant Professor を経て現職。インターネット利用における匿名性、プライバシー、「名前」に関する研究に従事。ソーシャルメディア利用と故人に関する研究で2013年山下記念研究賞を受賞。

マイナンバー制度は万全か？ サイバー攻撃の脅威への対策と指針 3月10日(木) 13:00-15:30 [第1イベント会場 (MMR)]

【セッション概要】

近年、標的型サイバー攻撃や内部犯行による情報漏洩の事件が後を絶たず、最近では年金機構、東商からの個人情報の流出が問題になっている。その結果、様々な個人情報の紐付けを可能にするマイナンバー制度への懸念が広がっている。しかしマイナンバーの運用には、行政機関、地方公共団体、情報連携を行う事業者といった様々な組織を連携させるシステムが必要であり、包括的なセキュリティ対策が必要となる。本セッションでは、マイナンバーの制度及びシステム設計に携わった専門家、情報セキュリティの専門家を交え、システムの安全性、ユーザビリティに関する様々な攻撃モデル及び対策手法を議論する。またソーシャルエンジニアリングを用いた標的型サイバー攻撃のように、既存のセキュリティ技術の対策が十分でない領域を確認し、今後のセキュリティ研究の方向性、運用中の課題を探る。



司会：南 和宏 (統計数理研究所 モデリング研究系 准教授)

【略歴】

2006年USダートマス大学コンピュータサイエンス学科 Ph.D. 修了。その後、イリノイ大学アーバナシャンペーン校、国立情報学研究所を経て、2014年より現職。情報セキュリティ、特にビッグデータの中で個人のプライバシーにかかわる位置情報等の行動履歴データの匿名化、アクセス制御を専門とする。情報処理学会会員、コンピュータセキュリティ研究会運営委員、モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会運営委員。

13:00-13:20 ショートプレゼン (1) 「マイナンバー制度における制度整備の状況」
手塚 悟 (東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 教授)

【講演概要】

2013年5月24日、第183回通常国会で成立した「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「マイナンバー法」)及び関連法により導入されるのが、社会保障・税番号制度(以下「マイナンバー制度」)である。このマイナンバー制度とは、複数の機関に存在している個人や企業の情報を、同一人や同一企業の情報であることを特定し連携するための基盤であり、国民一人ひとりには12桁の個人番号、企業等には13桁の法人番号が割り当てられる。そのねらいは、社会保障・税・災害対策の各分野において、効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現することにある。マイナンバー法の制度、運用、技術等の概要を解説するとともに、情報セキュリティ対策等をどのようにしているかについて説明する。



【略歴】

1984年慶應義塾大学工学部数理工学専攻卒業後、(株)日立製作所入社。2009年度より現職。2004年度・08年度情報処理学会論文賞、IEEE-IJHSP 2006 Best Paper Award等を受賞。主な著書に「マイナンバーで広がる電子署名・認証サービス」(日経BP社)等。情報ネットワーク法学会理事長、日本セキュリティ・マネジメント学会常任理事、デジタル・フォレンジック研究会理事、情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会専門委員等。特定個人情報保護委員会委員、サイバーセキュリティ戦略本部重要インフラ専門調査会委員等。

13:20-13:40 ショートプレゼン (2) 「自治体情報システムのセキュリティとマイナンバー」
上原 哲太郎 (立命館大学 情報理工学部 情報システム学科 教授)

【講演概要】

マイナンバーに関連した情報システムのうち、セキュリティ上の懸念が最も大きいのは地方自治体の保有する情報システムである。全国の自治体はそれぞれ情報システムの設計、実装、運用を独自に行っており、セキュリティポリシーの策定と運用も自治体の判断で行っていることから、セキュリティ対策の状況もばらつきが大きい。年金機構での事件を受けて、自治体の情報システムについて新たなセキュリティ対策のガイドラインが示され、自治体ではその対応に追われている。本発表では自治体情報システムが持つ本質的な問題と新たなガイドラインとの関係、およびマイナンバー制度との関係について報告する。

【略歴】



1992年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。1995年同博士後期課程研究指導認定退学。1996年京都大学博士(工学)。京都大学大学院工学研究科助手、和歌山大学システム情報学センター講師、京都大学工学研究科附属情報センター助教、同学術情報メディアセンター准教授、総務省技官等を経て、2013年4月より現職。NPO情報セキュリティ研究所理事、NPOデジタル・フォレンジック研究会理事、芦屋市CIO補佐官、サイバーセキュリティ、サイバー犯罪対策、自治体情報システムなどの研究に従事。

13:40-14:00 ショートプレゼン (3) 「マイナンバー制度の最新動向と、情報セキュリティー対策の課題」
楠 正憲 (内閣官房 社会保障改革担当室 番号制度推進管理補佐官)

【講演概要】

マイナンバー制度におけるプライバシー保護の考え方や、個人番号の取り扱い、機関間の情報連携の方法、マイナポータルを通じた本人による情報提供記録による確認などの仕組みを概観し、個人番号利用事務実施者である自治体や公共機関、個人番号関係事務実施者である民間事業者等として考慮すべきリスクや求められる情報セキュリティー対策、実務として対応する場合の課題や論点について検討する。



【略歴】

インターネット総合研究所、マイクロソフトを経て2012年ヤフー入社。2013年 Yahoo! JAPAN ID 漏洩事故にサービスの責任者として対応し、2014年からCISO Boardとして情報セキュリティー対策の立案などに従事。2011年内閣官房 番号制度推進管理補佐官、2012年政府CIO補佐官に任用。IT戦略の推進や、マイナンバー制度を支える情報提供ネットワークシステムやマイナポータルの調達支援などに従事。

14:00-14:20 ショートプレゼン (4) 「マイナンバー制度とプライバシー・個人情報保護」
石井 夏生利 (筑波大学 図書館情報メディア系 准教授)

【講演概要】

マイナンバー制度は、行政の効率化を高め、適切な徴税と社会保障による再分配を行うための社会インフラである。しかし、この制度は、マイナンバーを用いて個人の情報を連携させることから、プライバシー・個人情報保護の必要性が高い制度でもあり、特定個人情報保護評価や特定個人情報保護委員会の設置等は、個人情報保護のために設けられた仕組みである。今後、マイナンバー制度の利用範囲は拡大していくことが予想されるが、それに伴い、プライバシー・個人情報保護とのバランスはより一層困難な課題となる。また、改正個人情報保護法によって、特定個人情報保護委員会の権限が拡大し、個人情報保護委員会へと改組されるなど、マイナンバー法と個人情報保護法との関係にも目を配る必要がある。こうした状況を含め、本パネルセッションでは、マイナンバー制度の概要とプライバシー・個人情報保護の課題を述べる。



【略歴】

1996年司法試験合格。1997年東京都立大学(現首都大学東京)法学部法律学科卒業。2007年中央大学大学院法学研究科国際企業関係法専攻博士後期課程修了、博士(法学)。1999年～2004年、ユニ・チャーム(株)所属。2004年11月以降、情報セキュリティ大学院大学助手、助教、講師、准教授を経て、2010年4月より現職。

14:20-14:40 ショートプレゼン (5) 「マイナンバー制度の課題 -学内認証システムの運用経験を踏まえて-」
安浦 寛人 (九州大学 理事・副学長)

【講演概要】

九州大学では、マイナンバー制度を前提としてICカードをベースとした「価値と権利の流通システム:VRICS」を開発し、厚生労働省、経済産業省、総務省等の実証実験に参加してシステムを改良してきた。また、2009年より職員証、学生証として実用化している。複数のサービスへの利用を想定し、各サービスごとに異なるID番号を利用するセクtralモデルを実装している。学内の図書館や教務サービス、建物や部屋の電子錠、食堂や通学用バスのための電子マネーサービス、自動車向けの入構管理など、幅広いサービスに利用している。本企画では、システムの運用管理者の立場、大学のCIOおよびCISOの立場、個人情報管理者の立場などからマイナンバー制度への課題や問題点をまとめる。また、糸島市や福岡市での実証実験の経験も踏まえて、市民や利用者への理解の促進に関する課題にも言及する。



【略歴】

1978年京都大学工学研究院情報工学博士課程中退。工学博士。京都大学工学部情報工学科助手、同電子工学科助教授を経て、1991年より九州大学大学院総合理工学研究科情報システム学専攻教授。九州大学大学院システム情報科学研究教授および研究院長を経て、2008年より国立大学法人九州大学理事・副学長でCIOとCISOを兼務。この間、(財)京都高度技術研究所研究室長、(財)九州情報システム技術研究所研究室長などを兼務。現在、(公財)福岡アジア都市研究所理事長、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団社会システム実証センター長、JST さきがけ領域代表等も務めている。集積回路設計から社会情報基盤の研究まで、幅広く活動している。

14:40-15:30 パネル討論 「安全なマイナンバー制度のシステム構築と利用拡大への指針」

【討論概要】

マイナンバー制度における情報システムは、情報漏洩のリスクを低減するために各機関に情報を分散管理し、中間サーバーを介した機関別符号の照合による情報連携を行う。しかし組織の壁を超えた安全な情報の流通には複雑なセキュリティーポリシーの策定と実施が不可欠であり、技術、法律、教育の幅広い視点から安全なシステムを構築するための指針を議論する。またマイナンバー制度が提供する電子認証基盤の整備により、官民を連携する新しいサービスの導出も期待され、民間への利用拡大に向けた制度拡充へのマイルストーンを探る。

司 会：南 和宏 (統計数理研究所 モデリング研究系 准教授)

略歴・写真は「マイナンバー制度は万全か? サイバー攻撃の脅威への対策と指針」司会紹介を参照。

パネリスト：手塚 悟 (東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 教授)

略歴・写真はショートプレゼン (1) 「マイナンバー制度における制度整備の状況」を参照。

上原 哲太郎 (立命館大学 情報理工学部 情報システム学科 教授)

略歴・写真はショートプレゼン (2) 「自治体情報システムのセキュリティーとマイナンバー」を参照。

楠 正憲 (内閣官房 社会保障改革担当室 番号制度推進管理補佐官)

略歴・写真はショートプレゼン (3) 「マイナンバー制度の最新動向と、情報セキュリティー対策の課題」を参照。

石井 夏生利 (筑波大学 図書館情報メディア系 准教授)

略歴・写真はショートプレゼン (4) 「マイナンバー制度とプライバシー・個人情報保護」を参照。

安浦 寛人 (九州大学 理事・副学長)

略歴・写真はショートプレゼン (5) 「マイナンバー制度の課題 -学内認証システムの運用経験を踏まえて-」を参照。

ポスト・ディズニー（ピクサー）のコンテンツ産業の行方 —今後10年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何か— 3月11日（金）9:30-12:00 [第1イベント会場（MMR）]

【セッション概要】

さまざまなコンテンツのデジタル化が進み、米国ではディズニーのCG映画に代表される巨大産業が形成され、研究機関や大学が先端的な研究を生み出し続けている。一方、日本からは独自のコンテンツ文化が世界的に認知されているにもかかわらず、コンテンツ産業が潤沢な利益を上げる仕組みとなっていない。先端デジタル技術研究との相乗効果が少ないことはその結果でもあり、その原因かもしれない。今後10年のスパンで、日本のコンテンツ産業と技術研究者たちがどのように協業すれば、それぞれ利益と業績を上げることができるのか、そのためのキーとなるメディア技術は何か、研究者に求められるものは何か、それぞれタイプの違う企業の第一線で活躍し、研究開発者としても卓越した知見を持つパネリストを迎えて討論を行う。



司会：栗山 繁（豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 グラフィックメディア研究室 教授）

【略歴】

1987年大阪大学電子工学科修士課程修了、翌年より日本IBM東京基礎研究所、1994年より広島市立大学情報工学科助教授、1998年より豊橋技術科学大学情報工学系助教授、2005年より同教授、現在に至る。2005年より約4年間、産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター可視化チーム長兼務、2006年より3年間、早稲田大学招聘研究員、工学博士（大阪大学）。スタイルに基づくコンテンツ情報処理、ビジュアルメディアを介したデータ通信や環境演出などの研究に取り組む。

9:40-10:00 講演（1）「感情デザイン：アニメーションからプロダクトへ」
塩田 周三（株式会社ポリゴン・ピクチュアズ 代表取締役社長）

【講演概要】

ポリゴン・ピクチュアズで働くアーティスト達はコンピュータにのみ存在する三次元空間にキャラクターや乗り物・街や宇宙等を造形した上で動かす為の骨格を施し、それらを一コマコマ動かすことにより、視聴者に日常とは全く切り離された状況にありながらも「リアル」な感情を体感させる。デジタル技術は無限であるとはいえども、予算・スケジュール・計算力等現実的な制限により、常に実環境と比して遥かに限定された手段を用いて視聴者の感情をトリガーしなければならない。アニメーションに従事するアーティストは、このような環境下に於ける感情デザインのプロフェッショナルである。翻って、全てのプロダクトに何らかのインテリジェンスが備わり（自動運転乗用車等）、プロダクト自らが感情表現をせねばならない昨今、感情デザイナーたるアニメーターが新たな役割を担えるのでは、と考える。



【略歴】

上智大学法学部国際関係法学科卒業。1991年新日本製鐵（株）入社。1997年（株）ドリーム・ピクチュアズ・スタジオ立ち上げに参画後、1999年当社入社。2003年代表取締役に就任し、海外マーケット開拓に注力。TVシリーズ制作や海外市場をターゲットにしたコンテンツ企画開発を実現する。一方で、Prix Ars Electronica（オーストリア）、SIGGRAPH（米）などの国内外映像祭の審査員を歴任し、また2012年に『超ロボット生命体トランスフォーマープライム』のエグゼクティブ・プロデューサーとして第39回デイトタイム・エミー賞アニメーション番組特別部門最優秀賞を受賞した。

10:00-10:20 講演（2）「ポストピクサー時代にモルフォが目指すこと」
平賀 督基（株式会社モルフォ 代表取締役社長）

【講演概要】

今までのコンテンツ文化はハリウッドを中心とした映像コンテンツ、そしてゲームやアニメーションなど比較的新しいメディアとともに発展してきている。これらは原則的に中央集権的な著作権ビジネスを基本としており、ピクサーやディズニーもその流れの中にある。これまでの映像技術の研究開発は、そうしたプロフェッショナル向けの表現をいかに実現するかを主題に行われてきた。一方で近年のテクノロジーの進歩により、誰もが写真や映像をスマホで撮影し、クラウド上で共有することが簡単にできる世界が実現しつつある。それによって今後変化していくであろうコンテンツ制作のありかた、テクノロジーの関わり方について述べる。



【略歴】

1974年東京都生まれ。1997年に東京大学理学部情報科学科を卒業。2002年、東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻（博士課程）修了。博士（理学）。2004年5月、画像処理技術の研究開発や製品開発を行う（株）モルフォを設立。モルフォの画像処理ソフトウェアは2006年6月にNEC製携帯電話端末に搭載されたのを皮切りに、国内外の携帯電話端末メーカーに幅広く採用されている。2011年7月東京証券取引所マザーズ市場に上場。

10:20-10:40 講演（3）「世界レベルのコンテンツ制作を実現するために」
清水 亮（株式会社UEI 代表取締役社長兼 CEO）

【講演概要】

コンテンツ大国と言われる日本だが、まだまだ海外での活躍の場は限定的というのが現状です。UEIはCVOとして映画監督の樋口真嗣を擁し、傘下にあった研究所UEIリサーチはコンピュータグラフィックス分野の世界的権威である西田友是を擁しており、現在ダウンゴ CGIプロジェクトとしてCG人材を広く募集しています。ポスト・ディズニー映画を考えることは、ポスト・エンターテインメントを考えることと同じくらい重要度の高いテーマと言えます。いま我が国のコンテンツ制作は何か弱いのか、そして我々は何に注力していくべきかを皆様と一緒に考えさせていただきたいと思います。



【略歴】

1976年新潟県長岡市生まれ。電気通信大学在学中に家庭用ゲーム開発やゲーム技術動向の研究・教育に携わり、米MicrosoftでSDK開発に携わる。1998年に大学を中退し、ダウンゴでエグゼクティブゲームディレクターとして携帯電話事業を立ち上げる。1999年ゲーム技術交流会CEDEC設立に関わった後、2002年に渡米。2003年より現職。2012年に映画監督の樋口真嗣をチーフ・ビジョナリー・オフィサーとして招聘。2013年に東京大学名誉教授の西田友是を招聘し自社内にUEIリサーチ設立。2015年にUEIリサーチを（株）ダウンゴに移管し、UEIリサーチの設立者として自身も（株）ダウンゴ社内でCGIプロジェクトを率いる。

10:40-11:00 講演 (4) 「10年後のコンテンツ産業を越えるもの」
安生 健一 (株式会社オー・エル・エム・デジタル 取締役・R&D スーパーバイザー)

【講演概要】

映画やテレビ、ゲームにみられる昨今のCG映像の隆盛は、1980年代に始まったPixarの地道な努力の結晶である。一方1980年代の日本のCG技術は、要素技術としてはそれなりの水準であったが、当時の日本では映画産業よりも機械系CADや自動車産業からの高い期待には応えられなかった。現在のCG技術は成熟したように見え、またVRやARなどの発展や大衆化によるデジタル技術の応用分野拡大が世界中で進んでいる。本講演は、もはや旧来のコンテンツ産業というくくりには収まりにくい、ユニークなデジタル産業に向かう徴候を紹介しつつ、将来の技術や技術者の役割について言及したい。



【略歴】

2000年に本格的な研究開発部門を立ち上げ、デジタル映像制作に関する基礎研究や実用化まで精力的に推進している。国内外の研究者・技術者との「使える」技術開発のコラボレーションや、SIGGRAPHを始めとするCG国際会議への貢献も継続している。SIGGRAPH Computer Animation Festival 審査員 (2014, 2015)、ACM Digital Production Symposium (DigiPro) 創設 (2012)、CEDEC アドバイザリーボード (2009～2014)、平成26年度文部科学大臣表彰 科学技術賞 (研究部門)。

11:00-12:00 パネル討論「ポスト・ディズニー (ピクサー) のコンテンツ産業の行方 —今後10年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何か—」

【討論概要】

画像・映像コンテンツの制作環境に関連する技術開発から起業した方々をパネリストに迎えて、コンテンツ産業の今後の方向性や技術トレンドを予測してもらおうと同時に、その将来に備えて研究開発者に求められているスキルや発想を、開発現場の視点から鋭く指摘していただきます。また、コンピュータグラフィックスや画像・映像の技術にとどまらず、コンテンツ産業の将来像を人工知能、IoT、ビッグデータ、脳科学などの様々な学術的視点からも探っていきます。さらに、企業と大学との共同研究の経験から得られた、産学連携を成功させるための秘訣や行動規範、および研究者としての心構えなどに関しても意見を述べてもらい、次世代のコンテンツ産業の研究開発の協業の仕組みについて、その現状と課題を深く掘り下げながら討論します。

司 会：栗山 繁 (豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 グラフィックメディア研究室 教授)

略歴・写真は「ポスト・ディズニー (ピクサー) のコンテンツ産業の行方 —今後10年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何か—」司会紹介を参照。

パネリスト：塩田 周三 (株式会社ポリゴン・ピクチュアズ 代表取締役社長)

略歴・写真は講演 (1)「感情デザイン：アニメーションからプロダクトへ」を参照。

平賀 督基 (株式会社モルフォ 代表取締役社長)

略歴・写真は講演 (2)「ポストピクサー時代にモルフォが目指すこと」を参照。

清水 亮 (株式会社UEI 代表取締役社長兼 CEO)

略歴・写真は講演 (3)「世界レベルのコンテンツ制作を実現するために」を参照。

安生 健一 (株式会社オー・エル・エム・デジタル 取締役・R&D スーパーバイザー)

略歴・写真は講演 (4)「10年後のコンテンツ産業を越えるもの」を参照。

基調講演 超スマート社会の実現に向けて
3月11日 (金) 13:00-14:00 [第1イベント会場 (MMR)]

【セッション概要】

第5期科学技術基本計画のキーワードとして『超スマート社会』があげられています。これは、AI、ビッグデータ解析、IoT、サイバーセキュリティなどを含む先端ICTが、農業、製造業、サービス業などすべての産業をリードし、活性化させていく社会です。本基調講演では、超スマート社会の概要についてご講演頂きます。



司会：山口 高平 (慶應義塾大学 理工学部 教授)

【略歴】

1979年大阪大学工学部通信工学科卒業、1984年同大学院工学研究科博士後期課程修了。同年大阪大学産業科学研究所助手。1989年静岡大学工学部助教授。1997年同大学情報学部教授。2004年より慶應義塾大学理工学部教授。工学博士。定理証明、知識システム、データマイニング、オントロジー、知能ロボット工学などに関する研究に従事。2007年度大川出版賞。2014年度人工知能学会功績賞。人工知能学会前会長、現顧問。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、情報システム学会、AAAI、IEEE-CS等の会員。

13:00-14:00 講演「超スマート社会の実現に向けて」
栗原 潔 (文部科学省 研究振興局 参事官 (情報担当) 付専門官)

【講演概要】

高度情報化社会の進展は、各分野におけるビッグデータの集積・サイバー空間内の情報処理量の飛躍的な増加をもたらし、革新的な人工知能やIoTをはじめとした新たな技術的潮流により従来の様々な技術が社会と産業界に与えたインパクトとは大きく異なる次元での展開が世界的規模で進んでいる。我が国の強みを生かし、世界的に優れた競争力を持つ研究者を結集して、少子高齢化社会における医療・介護、労働力の減少、エネルギー・資源制約等の様々な課題に対する抜本的な解決をもたらすため、文部科学省・経済産業省・総務省等が連携した新たな研究開発計画が構想されている。本基調講演では、文部科学省によるAIP (Advanced Integrated Intelligence Platform Project) を中心に、超スマート社会実現に向けた我が国の国家戦略について述べる。



【略歴】

2006年4月文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課研究基盤係長。2007年6月経済産業省通商政策局北東アジア課企画調整係長。2009年7月文部科学省研究振興局ライフサイエンス課幹細胞再生医学企画係長。2011年4月内閣府原子力安全委員会事務局管理環境課課長補佐。2012年9月環境省 原子力規制委員会原子力規制庁国際課課長補佐。2014年3月英国マンチェスター大学ビジネススクール客員研究員。2015年3月文部科学省研究振興局参事官 (情報担当) 付専門官。

Deep Learning とこれからの AI 研究 3月11日（金）14:00-15:00 [第1 イベント会場（MMR）]

[セッション概要]

ディープラーニングが注目を集めている。ディープラーニングは、表現学習のひとつとされ、画像認識において顕著な進展を見せている。しかし、ディープラーニングが可能に持つ特徴抽出は、人工知能の広範な分野に関わるものである。今後、ロボティクスにおける身体性や、推論・プランニング等の記号処理、さらには、言語理解や翻訳、知識獲得やオントロジー等のさまざまな研究との融合が進んでくるものと考えられる。本講演では、ディープラーニングの研究動向について概説した後、今後どのように人工知能全体の研究と融合していくかについて述べる。



司会：山口 高平（慶應義塾大学 理工学部 教授）

[略歴]

1979年大阪大学工学部通信工学科卒業、1984年同大学院工学研究科博士後期課程修了。同年大阪大学産業科学研究所助手。1989年静岡大学工学部助教授。1997年同大学情報学部教授。2004年より慶應義塾大学理工学部教授。工学博士。定理証明、知識システム、データマイニング、オントロジー、知能ロボット工学などに関する研究に従事。2007年度大川出版賞。2014年度人工知能学会功績賞。人工知能学会前会長、現顧問。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、情報システム学会、AAAI、IEEE-CS等の会員。

14:00-15:00 講演「Deep Learning とこれからの AI 研究」
松尾 豊（東京大学 大学院工学系研究科 准教授）

[講演概要]

本講演では、人工知能の最新動向、特にディープラーニングを取り巻く状況について述べる。人工知能の歴史を紐解きながら、ディープラーニングの持つ意義を解説し、今後の研究の進展について概観する。また、こういった人工知能の変化が、今後、どのように社会や産業を変えるのか、人工知能の未来について解説する。



[略歴]

1997年、東京大学工学部電子情報工学科卒業。2002年、同大学院博士課程修了。博士（工学）。同年より産業技術総合研究所研究員。2005年よりスタンフォード大学客員研究員。2007年より現職。専門分野は、人工知能、ウェブマイニング、ビッグデータ分析。人工知能学会からは論文賞（2002年）、創立20周年記念事業賞（2006年）、現場イノベーション賞（2011年）、功労賞（2013年）の各賞を受賞。人工知能学会 学生編集委員、編集委員を経て、2010年から副編集委員長、2012年から編集委員長・理事。2014年より倫理委員長。日本トップクラスの人工知能研究者の一人。

4th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2015-16 World Final 3月11日（金）15:20-17:50 [第1 イベント会場（MMR）]

[セッション概要]

情報処理学会では2012年度より、新たな取り組みといたしまして、昨今のインターネット産業の急速な発展によるエンジニアの質と量の確保がますます重要となるなか、若い世代から将来第一線の研究者や開発者になりうる、また世界市場を舞台に活躍できる人材を育てることを開催の目的として、AIプログラミングコンテスト、IPSJ International AI Programming Contest "SamurAI Coding"を開催しております。今年度もSamurAI Coding 2015-16を開催いたします。



司会：鷺崎 弘宜（早稲田大学 グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所 所長）

[略歴]

早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所所長、国立情報学研究所客員准教授。2015年Ecole Polytechnique de Montreal, Visiting Professor。博士（情報科学）。ソフトウェアエンジニアリングの研究、教育、社会展開に従事。他の活動に情報処理学会プログラミングコンテスト委員会委員長、ISO/IEC/JTC 1/SC 7/WG 20 Convenor、IEEE Computer Society Japan Chapter Chair、SEMAT Japan Chapter Chair、ACM-ICPC 2014 Asia Tokyo Regional Contest Director ほか。

2020年に向けた音声翻訳の研究開発 ※協賛団体 一般社団法人 電子情報通信学会、一般社団法人 言語処理学会、 一般社団法人 人工知能学会、一般社団法人 日本音響学会 3月12日（土）9:30-12:00 [第1 イベント会場（MMR）]

[セッション概要]

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを、日本のICT技術を世界に知ってもらうステージとすることを目指した活動が活発化している。音声翻訳もその一つであり、本イベントでは、音声翻訳技術、その社会的な位置づけ、国プロとして実施される実証実験から社会実装まで、デモンストレーションも交えてご紹介し、多くの学会員にとって魅力あるイベントを目指す。



司会：隅田 英一郎（NICT/UCRI 副研究所長）

[略歴]

1982年電気通信大学大学院修士課程修了。1999年京都大学大学院博士（工学）。日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所、国際電気通信基礎技術研究所を経て、2007年より国立研究開発法人情報通信研究機構に勤務。現在、ユニバーサルコミュニケーション研究所副所長。自動翻訳、eラーニングに関する研究開発に従事。＜受賞＞2007、2014年アジア太平洋機械翻訳協会会長尾賞、2007年情報処理学会喜安記念業績賞、2010年文部科学大臣表彰・科学技術賞（開発部門）、2013年第11回産学官連携功労者表彰・総務大臣賞。＜所属＞情報処理学会、電子情報通信学会、ACL（Association for Computational Linguistics）、日本音響学会、ACM（Association for Computing Machinery）各会員。

9:30-10:15 **講演 (1) 「音声翻訳の歴史と概要」**
中村 哲 (奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 知能コミュニケーション研究室 教授)

【講演概要】

音声翻訳は話した音声その場で認識、翻訳、相手言語で音声合成することで異なる言語の人々とのコミュニケーションを可能にする技術である。我が国では1986年にATRにおいて国のプロジェクトとして研究が始まり、約30年を経て、旅行会話で実用可能などころまで来た。この間、大規模なコーパスを用いた統計的モデリングへのパラダイムシフト、種々の実証実験とスマートフォン用音声翻訳アプリの公開によるフィージビリティスタディとデータ収集が行われた。本講演では、音声翻訳に関わる研究開発の経緯、現在の技術、今後の展望について述べる。



【略歴】

1981年京都工芸繊維大学電子卒、京都大学博士(工学)、シャープ(株)、奈良先端大助教授、ATR音声言語コミュニケーション研究所室長、所長、2006年(独)情報通信研究機構研究センター長、けいはんな研究所長などを経て、現在、奈良先端大教授、ATRフェロー、カールスルーエ大学客員教授。音声翻訳、音声認識、自然言語処理の研究に従事。情報処理学会喜安記念業績賞、総務大臣表彰、文部科学大臣表彰、Antonio Zampoli 賞受賞、IEEE SLTC 委員、ISCA 理事。

10:15-10:45 **講演 (2) 「グローバルコミュニケーション計画の推進ー多言語音声翻訳システムの研究開発及び社会実証ー」**

中川 拓哉 (総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課 研究推進室 課長補佐)

【講演概要】

国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) を中心に、言葉の壁を越えたコミュニケーションの実現を目指した「多言語音声翻訳システム」を開発。現在はスマートフォンアプリとして利用が拡大している。総務省は2014年4月に、医療等、旅行会話以外でも実用レベルで翻訳可能とし、対応言語を10言語に拡大する研究開発と社会実証を実施することで、2020年までに本システムを社会に普及した状態(社会実装)を実現する「グローバルコミュニケーション計画」を発表。多言語音声翻訳システムを用いた訪日外国人への対応の充実により、観光産業の更なる活性化を支援し、地方創生にも貢献する施策のご紹介を行い、研究開発と社会実証の方向性についてともに考察を深めたい。



【略歴】

情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室課長補佐(2014-)。在ロシア日本国大使館書記官(2009-12)、情報通信国際戦略局国際経済課課長補佐(地デジ・ICT国際展開アフリカ、中南米担当)(2012-14)。

10:45-11:15 **講演 (3) 「多言語音声翻訳システムの研究開発および社会実装に向けた取り組み」**
石黒 敬三 (パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 技術本部 技術開発研究所 所長)

【講演概要】

2015年は9月時点で1400万人を超え、年々増加する訪日外国人の皆さまが「言葉の壁」を感じることなくコミュニケーションすることを可能とする多言語音声翻訳技術について、5ヵ年を以て技術研究・開発を実施し、2020年までに社会実装の実現を目指す「総務省委託研究開発・多言語音声翻訳技術推進コンソーシアム」が2015年10月に設立されました。本コンソーシアムの概要と社会実証への取り組みについてご紹介し、さらにパナソニックの最新の活動として、端末を用いた実証実験などの取り組みをご紹介します。



【略歴】

1984年大阪大学工学部応用物理学卒業、同年松下電器産業(株)(現パナソニック(株))入社。撮像の非球面レンズ、オートフォーカスの技術開発を手がけ、2001年より光学技術の開発責任者としてデジタルカメラの事業を立上げる。2015年より技術開発研究所所長、現在に至る。2008年米PMDAよりTechnical Achievement Award 受賞。

11:15-12:00 **講演 (4) 「多言語対応の取組における ICT の活用」**
岡安 雅人 (東京都 オリンピック・パラリンピック準備局 連絡調整担当部長)

【講演概要】

東京都は、2020年オリンピック・パラリンピック大会に向け、外国人旅行者が快適かつ安心して滞在できるよう、2014年3月、国との連携のもと多言語対応協議会を設置し、言葉のバリアフリーの実現に向け、官民一体で取組を推進している。翻訳アプリなどのICTは、多言語対応を進める上で極めて有用なツールであり、都は、2015年2月の東京マラソン2015をはじめ、様々なイベント・事業において翻訳アプリを活用しており、総務省との連携のもと実証機会の拡大を進めている。本講演では、多言語対応協議会の概要や取組状況のほか、総務省と連携した翻訳アプリの活用状況について説明するとともに、2020年大会においてICTを活用するユーザーとしての期待について言及する。



【略歴】

1984年東京理科大学工学部機械工学科卒業。1989年入都。2003年財務局主計部予算第1課予算主査。2005年同局主計部財政課課長補佐。2006年知事本局企画調整部副参事。2007年総務局総務部副参事。2009年知事本局総務部調整課長。2011年知事本局総務部総務課長。2013年総務局担当部長(公立大学法人首都大学東京)。2015年10月オリンピック・パラリンピック準備局連絡調整担当部長。

ポスト「京」スーパーコンピュータの開発概要
3月12日(土) 13:00-14:00 [第1イベント会場 (MMR)]

司会：朴 泰祐 (筑波大学大学院 システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 教授)

13:00-14:00 講演「ポスト「京」スーパーコンピュータの開発概要」
石川 裕 (国立研究開発法人 理化学研究所 計算科学研究機構 プロジェクトリーダー)

【講演概要】

文部科学省は、計算シミュレーションやビッグデータ処理により2020年代に解決すべき国家的課題に貢献するアプリケーションおよびスーパーコンピュータを開発するFLAGSHIP2020プロジェクトを2014年度から推進している。国家的課題として9つの重点課題とその課題に取り組む実施機関が選定された。これら重点課題を解決するために必要な計算機資源を提供するためのスーパーコンピュータ(ポスト「京」スーパーコンピュータ)研究開発を理化学研究所が担う。重点課題の紹介および研究開発の現状としてシステムソフトウェアを中心に紹介する。



【略歴】

1987年慶應義塾大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程修了。工学博士。同年電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)入所。1993年技術研究組合新情報処理開発機構出向。2002年より東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻。2010年～2013年、同大情報基盤センターセンター長兼務。2014年より理化学研究所計算科学研究機構、プロジェクトリーダー、チームリーダー。

量子コンピュータ
3月12日(土) 14:00-15:00 [第1イベント会場 (MMR)]

司会：寺岡 文男 (慶應義塾大学 理工学部情報工学科 教授)

14:00-15:00 講演「量子計算の可能性と実現手法」
バンミーター ロドニー (慶應義塾大学 環境情報学部 准教授)

【講演概要】

量子情報は最近話題の研究分野であるが、何に役に立つのか、どんな規模でどのような目標で開発すべきかはあまり知られていない。多くの研究所で実験はすすんでいるが、大規模システムの構築はこれからの課題である。本講演では、現在の実験の状況を説明し、量子計算機のデザインについて古典的なコンピュータアーキテクチャの概念を利用する手法を述べる。



【略歴】

1986年カリフォルニア工科大学卒業。1991年南カリフォルニア大学修士修了。2006年慶應義塾大学博士課程修了。現在、慶應義塾大学環境情報学部准教授。

～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」
3月10日(木) 10:00-12:00 [第2イベント会場 (11-31)]

【セッション概要】

情報処理学会歴史特別委員会ではオーラルヒストリーのインタビューを進めているが、大先輩のお話は毎回大変示唆に富み印象的なもので、これを広く会員の方々、特に若い世代の会員に直接お聞かせできないものかと検討してきた。そして海外の事例なども参考にし、コンピュータパイオニアあるいは情報処理学会会長経験者、またはそれらに相当する経歴の大先輩をお招きして、若い頃の研究生活の思い出や今の若い世代に伝えたい経験談などをお話いただくシンポジウムを企画した。なお本シンポジウムは第70回大会から開催しており今回が第9回目となる。



司会：浦城 恒雄 (東京工科大学 名誉教授)

【略歴】

1959年東京大学理学部物理学科卒業。1991年日立製作所研究開発推進本部長。1995年同所技師長。1999年東京工科大学教授。2007年同大名誉教授。

10:00-11:00 講演(1)「認知科学・人工知能研究の詩と真実」
安西 祐一郎 (独立行政法人日本学術振興会 理事長)

【講演概要】

今でいう認知科学と人工知能の研究を独力で始めたのは、1974年、今回の全国大会が開催される慶應義塾矢上キャンパスに助手として勤務していたことである。谷を挟んで向う側の日吉キャンパスにあったUNIVAC 1106に、矢上のテレタイプ端末から徹夜でアクセスする日々。あれから40年、今も世界をリードするカーネギーメロン大学や北海道大学などでの経験を含め、多くの共同研究者、学生たちとともに研究を進めてきた。講演では、その40年間にわたる研究の背後にある「詩と真実」を語らうと思う。現在の人工知能ブームは、私の「詩と真実」から見て、どう捉えればよいのだろうか？



【略歴】

1974年慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了。カーネギーメロン大学心理学科客員助教授、北海道大学文学部助教授、慶應義塾大学理工学部教授など。慶應義塾大学理工学部長(1993～2001)、慶應義塾長(2001～09)。現在(独)日本学術振興会理事長、慶應義塾学事顧問、科学技術・学術審議会委員、情報処理学会会長、日本認知科学会会長、中央教育審議会会長など歴任。

11:00-12:00 **講演 (2) 「社会の基礎としてのコミュニケーションに何を求めるのか」**
齊藤 忠夫 (東京大学 名誉教授)

【講演概要】

自分で考えたことを記憶し、考えを他人に伝え、コミュニケーションする能力を持つ生物は人類しかいない。コミュニケーションの基礎には社会を形成する信頼関係がある。その手段は声から文字に発展し時間的、地理的な範囲を広げた。手段が進歩すれば、同時に信頼関係の形成を広げる努力が重要である。文字によるコミュニケーションは紀元前 3500 年のシュメール時代に遡ることかできるが、電気技術がコミュニケーションを支援できるようになったのは、200 年の歴史しかない。技術者はこの 200 年の間技術を発展させ、世界的規模の新しい社会を作る努力で成果を上げてきた。しかし、その前提となる信頼関係の形成についての考え方は昔の声によるコミュニケーションの時代から出ていない。近年注目されている情報犯罪事件やセキュリティー事件も、発展した技術と、それに対応できない社会の問題である。社会問題の中には技術が不十分な時代の本質を理解しない多様な規則もある。21 世紀を安定に発展させるために情報技術と社会の関係について、理解を深めなければならない。それは技術を発展させて来た技術者の責務であろう。



【略歴】

東京大学名誉教授、工学博士。東京大学大学院工学系研究科修了。東京大学助教授、教授、情報基盤センター長、トヨタ IT 開発センター CTO を歴任。初期のデジタル交換、コンピュータネットワーク、信号機をコンピュータ制御システム等の研究を行い、現在のインフラストラクチャの基本となっているものもある。1980 年代以降、日本の通信事業体系の形成を支援した。電気通信審議会電気通信事業部会長を長く務め、光ブロードバンド化政策を推進した。情報システム関連では、自治体情報システムの標準を提案し、ネットワーク化推進した。郵政大臣表彰、総務大臣表彰 (04 年) など受賞多数。電子情報通信学会名誉員、IEEE ライフフェロー。

今後の大学の一般情報教育はどうあるべきか
3 月 10 日 (木) 13:00-15:30 [第 2 イベント会場 (11-31)]

【セッション概要】

一般情報教育委員会では、科研費 (2013 ~ 2015 年度 基盤研究 (C) 25350210) の支援を受け、大学における一般情報教育の全国実態調査や海外調査を行い、その集大成として新たな一般情報教育のカリキュラムモデルを 2015 年度に策定しております。この教育モデルの発表とともに、一般情報教育の最近の動向と課題とあるべき姿についてディスカッションいたします。



司会： 駒谷 昇一 (奈良女子大学 生活環境学部 教授)

【略歴】

1985 ~ 2007 年 NTT ソフトウェア (株)。2007 ~ 2013 年 (株) NTT データ。2007 ~ 2010 年筑波大学。2013 年 ~ 奈良女子大学。情報処理学会情報処理教育委員会委員。著書「ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業」、情報処理学会 IT Text シリーズ「情報とネットワーク社会」、「情報と職業」、「情報システム基礎」他。

13:00-13:20 **講演 (1) 「一般情報教育の調査研究状況」**
河村 一樹 (東京国際大学 商学部 教授)

【講演概要】

情報処理学会一般情報教育委員会では、9 名の委員の連名ののもとに、科研費基盤研究 (C) 25350210 を取得しました。研究課題名は、「大学における一般情報教育モデルの構築に関する研究」であり、2013 ~ 2015 年度の 3 年間の研究期間となりました。今年度はその最終年度でもあり、我々が実施してきた調査研究の成果について発表を行います。具体的には、研究課題に関する研究目的、研究計画、研究方法 (含む、研究体制) について取り上げた上で、国内調査 (全国規模での大学一般情報教育に関する実態調査) と海外調査 (中国とベトナムでの情報教育の実態) を踏まえた一般情報教育モデル (GEM: General Education Model) の構築について報告します。



【略歴】

宮城大学事業構想学部情報デザイン学科助教授を経て、現在、東京国際大学商学部経営学科教授。1955 年東京生まれ。立教大学理学部卒、日本大学大学院理工学研究科電子工学専攻博士前期課程修了、博士 (工学)。情報教育工学の研究・教育に従事。文部科学省技術政策研究所科学技術動向研究センター専門調査員、情報処理学会情報処理教育委員会委員、一般情報教育委員会委員長、初等中等教育委員会委員、モバイルラーニングコンソシアム理事などを歴任。

13:20-14:00 **講演 (2) 「一般情報教育のカリキュラムモデル」**
喜多 一 (京都大学 国際高等教育院 教授)

【講演概要】

一般情報教育委員会では大学での一般情報教育の知識体系 GEBOK などを提唱してきました。また一昨年度、各大学の一般情報教育についてのアンケートによる実態調査を行いました。本講演では、これらを踏まえて、大学の一般情報教育について、その位置づけ、目的を論じたうえで、概念的知識を扱う科目、アカデミック ICT スキルを養成する科目について、モデル科目案を提案するとともに実施に当たっての隘路となるものは何か、それを克服するために当学会が果たすべき役割について考えます。



【略歴】

1987 年京都大学大学院工学研究科電気工学専攻、博士後期課程、研究指導認定退学、京都大学工学部、助手。東京工業大学大学院総合理工学研究科助教授、大学評価・学位授与機構 教授、京都大学学術情報メディアセンター教授を経て、2013 年より京都大学国際高等教育院教授、工学博士、情報処理学会、電気学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会などの会員。

14:00-14:10 **休憩**

14:10-15:30 **パネル討論 「今後の一般情報教育はどうあるべきか」**

【討論概要】

社会やビジネスでのインターネットの活用と情報化が進み、便利になる一方で標的型ウイルスなどによるサイバー攻撃が増加してきている。この状況は数年前とは全く異なり、大学等の一般教養教育における情報教育のあるべき姿も変わってきている。また教育の多様化、スマホや個人所有の PC を学内に持ち込んで授業で活用するなど教育環境も変わりつつある。従来の大学の専門教育の基礎的なスキルを身に付けるための情報教育だけでよいのか、情報社会を安全に生きるための情報教育など今後求められる一般情報教育はどうあるべきなのかについて展望する。

司 会：駒谷 昇一（奈良女子大学 生活環境学部 教授）

略歴・写真は「今後の大学の一般情報教育はどうあるべきか」司会紹介を参照。



パネリスト：中西 通雄（大阪工業大学 情報科学部 コンピュータ科学科 教授）

【略歴】

1978年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1980年同博士前期課程修了、三菱電機入社。1990年大阪大学助手、情報処理教育センター助教授を経て、2002年より現職。大阪大学および放送大学非常勤講師。博士（工学）。情報科学、情報倫理および技術者倫理を中心とする教育研究のほか、情報倫理ビデオの作成、NII情報セキュリティポリシー推進部会、私情教情報教育委員会等に参加。電子情報通信学会、教育システム情報学会等会員。



パネリスト：高橋 尚子（國學院大学 経済学部 教授）

【略歴】

1980年東京女子大学文理学部数理学科卒業。在学中に女子大初のマイコンクラブを結成。卒業後、女性SE第一期生として富士通入社、大型コンピュータからパソコンまで多数の業務システムを開発。その後、アスキーでのビジネスパソコンスクール開校、OAインストラクタを経て、ソフトウェアコンサルティング、人材育成、テクニカルライティング（マニュアル制作）を行うナウハウス（有）として独立。1995年から大学でPCスキルの非常勤講師を始め、2007年から國學院大学経済学部で情報教育に携わる。文系学生に、情報システムや情報通信ネットワークをわかりやすく解説することを心がけている。一方で、テクニカルコミュニケーターの育成や資格検定制度の設計・創設なども行っている。Office系アプリケーションや情報リテラシー、資格検定、マニュアル制作に関する著書多数。



パネリスト：辰己 丈夫（放送大学 教養学部 准教授）

【略歴】

1997年早稲田大学理工学研究科数学専攻博士後期課程単位取得退学。1993年同大学情報科学研究教育センター助手。1999年神戸大学講師。2003年東京農工大学助教授。現在、放送大学准教授。また、東京大学、産業技術大学院大学で非常勤講師。情報教育、情報倫理、数学教育の情報化に興味を持つ。著書に「情報化社会と情報倫理・第2版」（共立出版）、「情報科教育法・改訂2版」（オーム社）、「情報の科学」（高校「情報科」検定教科書）（日本文教出版）などがある。

知のコンピューティング、次の一手

3月11日（金）9:30-12:00 [第2イベント会場（11-31）]

【セッション概要】

科学技術振興機構（JST）が戦略事業CRESTで進めている「人間と調和した創造的協働を実現する知的情報処理システムの構築」について、CRESTの元となった戦略イニシアティブ「知のコンピューティング」の全体構想やワークショップの様子を共有した上で、進行中のプロジェクトの狙いや第二期採択チームの具体的な開発内容を紹介します。最後のパネル討論では、「新しい技術の社会受容に向けた課題に、研究者はいかに立ち向かうべきか」というタイトルで、研究総括、アドバイザー、研究者による熱い議論を繰り広げる。



司会：茂木 強（科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー）

【略歴】

1980年京都大学理学部卒業。同年4月三菱電機（株）入社。汎用機からミニコンのコンパイラの開発に従事。1991年米国スタンフォード大学留学。以後、情報技術総合研究所にて情報システム技術部門統括を経て、現在は（独）科学技術振興機構研究開発戦略センターにて情報科学技術分野に関する研究開発戦略策定に従事。戦略プロポーザル『知のコンピューティング』作成メンバー。2010～11年情報処理学会理事。

9:30-9:45

講演（1）「知のコンピューティング・グランドデザイン」

岩野 和生（科学技術振興機構 上席フェロー）

【講演概要】

2013年にCRDSが知のコンピューティングのコンセプトを提唱、戦略提言書を発行した。翌年文部科学省にてこれに基づいた戦略目標が策定され、JSTにてCRESTが立ち上がった。これは知のコンピューティングの全体構想からすると最初の一步である。グランドデザインでは、知のコンピューティング全体に関する課題と施策を、情報科学だけでなく人文社会科学の観点から広く俯瞰する。



【略歴】

三菱商事（株）企画業務部顧問 兼 ビジネスサービス部門顧問。1975年東京大学理学部卒業後、日本IBM入社。東京基礎研究所所長、米国ワトソン研究所、大和SW開発研究所所長、先進事業担当、未来価値創造事業担当を経て、2012年3月より三菱商事（株）、科学技術振興機構 研究開発戦略センター上席フェロー、東京工業大学客員教授、情報処理学会フェロー、日本学術会議連携会員、Ph.D.（米国プリンストン大学）。

9:45-10:00

講演（2）「倫理的・法的・社会的課題（ELSI）を考慮した人間と機械のハーモニアスなシステムとはーCREST「人間と調和した創造的協働を実現する知的情報処理システムの構築」第2期の狙いー」

萩田 紀博（国際電気通信基礎技術研究所 所長）

【講演概要】

ロボットや環境センサが人々の行動や感情を認識し、知識化してしまうとそれを受け容れる人とそうでない人が生まれてくる。この問題を解決するには、倫理的・法的・社会的課題（ELSI）な視点を考慮したシステム開発が不可欠である。2014年度から立ち上げたJST CRESTの新研究領域では、この点を考慮したシステム構築を推進している。人とハーモニアスな関係を持つ機械にはどんな機能を新たに追加する必要があるかについて、具体的な事例を用いて紹介します。



【略歴】

1978年慶應義塾大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了、同年日本電信電話公社（現NTT）武蔵野電気通信研究所に入所、NTT基礎研究所、ATR知能ロボティクス研究所所長などを経て、現職。主な研究分野は、ネットワークロボット、ヒューマン・ロボット・インタラクション、パターン認識等。工学博士。IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会、人工知能学会各会員、日本学術会議連携会員。

10:00-10:15 講演 (3) 「エージェント技術に基づく大規模合意形成支援システムの創成」
伊藤 孝行 (名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授)

【講演概要】

ネット上の大規模合意形成技術は次世代の民主主義の新しいプラットフォームであり、人類のコレクティブインテリジェンスを促進する。本研究では、エージェント技術による大規模合意形成支援システムを創成する。課題は、炎上などのネット上の大規模な議論特有の現象を防ぎながらより良い合意形成を支援することである。本研究では参加者の意見や好みをハーモニアスに取り込み、効果的に合意形成支援するエージェント技術の確立を目指す。



【略歴】

名工大大学院教授。2000年同大学院博士後期課程修了。博士(工学)。JSPS特別研究員。2001年北陸先端大助教授。2003年名工大助教授。2014年名工大教授。USC、ハーバード、MIT客員研究員。最先端次世代研究開発プログラム、JSTさきがけ研究員、JST CREST、AAMAS2013 PC chair、IEEE CS TC 上級委員、IFAAMAS理事。JSPS賞、文部科学大臣表彰科学技術賞、文部科学大臣表彰若手科学者賞、日本ソフトウェア学会論文賞、IPA未踏ソフトスーパークリエイター、本学会長尾真記念特別賞、本学会全国大会優秀賞、ACM/IEEE上級会員。

10:15-10:30 講演 (4) 「神経科学の公理的計算論と工学の構成論の融合による人工意識の構築とその実生活空間への実装」

金井 良太 (株式会社アラヤ・ブレイン・イメージング 人工意識開発部門 代表取締役)

【講演概要】

機械に意識を持たせることは可能だろうか？意識が脳からどのように生じるのかは未だ未解決な科学における難問ではあるが、意識という現象が脳から生じ、何らかの自然法則にしたがって生じていることは間違えないだろう。意識の本質は脳内での情報であるが、なぜ情報が主観的に感じられる「赤の赤らしさ」といった感覚を伴うのだろうか。近年、脳科学において意識は漸く科学の対象として研究され始めたことにより、情報理論的観点からの意識に関する理論も登場してきている。特に、ジュリオ・トノーニが提唱する統合情報理論では、意識は内的に統合された情報であると提案されており、具体的に計算可能なΦ(ファイ)という意識量も提案されている。統合情報理論を元にして、現在の人工知能システムがどの程度の意識を持っているかを計量し、また意識量を高めることで、新たな人工知能システムの構築の発想を得ることが可能となっており、その先には人工意識の構築の可能性が見え隠れしてきている。本講演では、人工意識構築を目指すCRESTプロジェクトの展望と概要を説明し、人工意識研究のもたらす社会的・経済的意義について議論する。



【略歴】

京都大学理学部卒。オランダ・ユトレヒト大学で実験心理学 PhD 取得。カリフォルニア工科大学、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) にて意識研究に従事し、英国サセックス大学・サッカー意識研究センターにて准教授。2015年より(株)アラヤ・ブレイン・イメージングの代表取締役として、脳科学の社会への応用と人工意識の開発に従事。文部科学大臣表彰若手科学者賞受賞。著書に『個性の分かる脳科学』、『脳に刻まれたモラルの起源』、訳書に『意識の探求ー神経生物学からのアプローチ』(クリストフ・コッホ著)がある。

10:30-10:45 講演 (5) 「記号創発ロボティクスによる人間機械コラボレーション基盤の創成」
長井 隆行 (電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授)

【講演概要】

本講演では、JST CRESTで進めているプロジェクトである「記号創発ロボティクスによる人間機械コラボレーション基盤創成」の概要を紹介する。本プロジェクトは、人とロボットが意味理解を伴ったコミュニケーションに基づいて日常的なタスクを協調しながら達成する「人間機械コラボレーション」を実現する基盤技術の確立を目指している。実世界で意味理解を扱う「記号創発ロボティクス」のアプローチをコミュニケーションやビッグデータ活用へ拡張し、ロボットが言葉や行動、環境の真の意味を自ら獲得し理解・行動するための技術を開発することが中心的な課題である。また、開発技術を搭載したロボットの実践的評価を行う。



【略歴】

1993年、慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業。1997年、同大学院博士課程修了。博士(工学)。1998年より電気通信大学電子工学科助手。2003年、カリフォルニア大学サンディエゴ校客員研究員などを経て、2014年より現職。2015年よりJST CREST研究代表者。Advanced Robotics Best Paper Award (2013年) など多数受賞。知能ロボティクスに関する研究に従事。

10:45-11:00 講演 (6) 「『知の創造とアクチュエーション』ワークショップ」
茂木 強 (科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー)

【講演概要】

2015年10月に実施した「知のコンピューティング：知の創造とアクチュエーション」ワークショップについて報告する。ワークショップでは、予測・発見を通して新しい価値を創造するためには、知の創造とアクチュエーションに関する探求が必要不可欠であるとの認識の下、2007年1月に開催されたワークショップ「予測と発見 ～大規模情報からの『知識』獲得技術～」で得られた成果を「知のコンピューティング」の観点からリ・デザインするとともに、予測・発見を通して新しい価値を創造するための「知の創造とアクチュエーション」について深掘りする。

略歴・写真は「知のコンピューティング、次の一手」司会紹介を参照。

11:00-12:00 パネル討論 「新しい技術の社会受容に向けた課題に研究者はいかに立ち向かうべきか」

【討論概要】

人工知能やロボットの技術進歩と応用展開は予想以上に急進し、社会受容を懸念する言論が欧米で活発化している。このような状況を踏まえ、知のコンピューティングのような新しい技術が、社会や人々にどのようなインパクトを与えうるか、また、どうすれば社会や人々に受け入れられてもらえるかについて、具体的な論点のケーススタディなどから討議する。

司 会：岩野 和生 (科学技術振興機構 上席フェロー)

略歴・写真は講演 (1)「知のコンピューティング・グランドデザイン」を参照。

パネリスト：萩田 紀博 (国際電気通信基礎技術研究所 所長)

略歴・写真は講演 (2)「倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) を考慮した人間と機械のハーモニアスなシステムとは - CREST「人間と調和した創造的協働を実現する知的情報処理システムの構築」第2期の狙い-」を参照。



パネリスト：土井 美和子（国立研究開発法人 情報通信研究機構 監事）

【略歴】

1979年東京大学修士修了。1979年東芝入社以来、ヒューマンインタフェースを専門分野とし、日本語ワープロ、機械翻訳、VR、道案内サービス、ネットワークロボットの研究開発に従事。2014年より国立研究開発法人情報通信研究機構監事、(株)国際電気通信基礎技術研究所客員研究員。現在、日本学術会議会員、東工大経営協議会委員、大阪大学招へい教授などを務める。電子情報通信学会フェロー、IEEE Fellow、情報処理学会フェローなど。博士（工学）。



パネリスト：小林 正啓（花水木法律事務所 所長）

【略歴】

1986年3月、東北大学法学部を卒業。1992年4月弁護士会登録（44期）し、2000年4月花水木法律事務所を創設。2014年、情報通信研究機構映像センサー使用大規模実証実験検討委員会委員、科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業領域アドバイザーに就き、現在に至る。



パネリスト：佐藤 洋一（東京大学 生産技術研究所 教授）

【略歴】

1990年東京大学工学部機械工学科卒。1997年カーネギーメロン大計算機科学部博士課程了。東京大学生産技術研究所研究機関研究員、講師、助教授、同大学大学院情報学環准教授を経て、2010年より同大学生産技術研究所教授。現在、同研究所副所長、同研究所附属ソシオグローバル情報工学研究センター長。コンピュータビジョンに関する研究に従事。2011年日本学術振興会賞、2010年、2008年、2006年電子情報通信学会論文賞、2011年情報処理学会50周年記念論文賞、2000年日本VR学会論文賞等を受賞。

会誌「情報処理」公開編集委員会 3月11日（金）15:20-17:50 [第2イベント会場（11-31）]

【セッション概要】

会誌編集委員会の主催で、公開編集委員会形式のパネル討論を実施する。今年は、会誌記事連動企画として、「ヘンな論文」の著者であるサンキュータツオさんをお迎えし、会誌編集長との対談を企画した。対談内容は、後日会誌で報告されるが、情報処理学会からどんな「ヘンな論文」が発掘されるのか、楽しみにしたい。後半は、会誌「情報処理」ができていくまでの舞台裏を聴衆に知ってもらうことを目的に、編集委員から、緊急企画が記事になるまでの苦労話、巻頭コラムの依頼はどのように行われるのかなどを語ってもらう。また、いちおし記事の紹介や、今後企画されているお薦めの特集の紹介なども行う。会場とのやりとりの時間を設け、読者から会誌への要望を直接伝えてもらう場にも意図する。

15:20-16:30 対談「会誌記事連動対談（ヘンな論文：情報処理学会編）」

【講演概要】

「ヘンな論文」の著者であるサンキュータツオさんをお迎えし、会誌編集長との対談を企画した。情報処理学会からどんな「ヘンな論文」が発掘されるのか楽しみにしたい。



対談司会：角 康之（公立ほこだて未来大学 教授）

【略歴】

1995年東京大学大学院博士課程（情報工学）修了。博士（工学）。国際電気通信基礎技術研究所（ATR）の主任研究員、京都大学の准教授を経て、2011年より現職。体験メディア、実世界インタラクションの理解と強化に関する研究に従事。



対談者：サンキュータツオ

【略歴】

お笑いコンビ「米粒写経」。早稲田大学第一文学部在学中に活動をはじめ。オフィス北野所属。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。文学修士。一橋大学非常勤講師（日本語教育）。中学・高校国語科第一種教員免許取得。専門は日本語学、文体論、表現論。お笑いを専門の言語学的アプローチから学術的に論じている。オタク芸人トークユニット「アニメ会」メンバー。腐男子。国語辞典と研究論文の収集をライフワークとしている。渋谷ユーロライブ「渋谷らくご」キュレーター。毎月5日間落語会を開催している。趣味は仏像鑑賞、落語鑑賞、NBA観戦、横浜ベイスターズ観戦、麻雀。主著（2013）『国語辞典の遊び方』、（2015）『ヘンな論文』（いずれも角川学芸出版）。共著 石黒圭 編（2014）『日本語教師のための実践・作文指導』くろしお出版、石黒圭 編（2011）『会話の授業を楽しくするコミュニケーションのためのクラス活動40—初級後半から上級の日本語クラス対象』スリーエーネットワーク。TBSラジオ「東京ポッド許可局」「荒川強啓のデイ・キャッチ」をはじめ、ポッドキャストを多く手掛けている。*ブログ「サンキュータツオ教授の優雅な生活」<http://39tatsuo.jugem.jp/> *米粒写経 HP <http://kometsubu.com/>



対談者：塚本 昌彦（神戸大学 大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授）

【略歴】

京都大学工学部数理工学科卒、工学研究科応用システム科学専攻修士課程修了、京都大学博士（工学）。シャープ（株）研究員、大阪大学講師、助教授を経て現職。NPO ウェアラブルコンピュータ研究開発機構理事長、日本ウェアラブルデバイスユーザ会会長。2001年よりウェアラブルの実践生活を行っている。研究テーマはウェアラブル・ユビキタスコンピューティングシステム、デバイス、インタフェースとそれらの応用。2014年より情報処理学会会誌編集長。

16:30-17:50 パネル討論「会誌「情報処理」ができるまで」

司 会：塚本 昌彦（神戸大学 大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授）

略歴・写真は対談「会誌記事連動対談（ヘンな論文：情報処理学会編）」を参照。



パネリスト：五十嵐 悠紀 (明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 専任講師)

【略歴】

2010年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士（工学）。2010年より日本学術振興会特別研究員PD、その後育児休暇復帰支援であるRPDとして筑波大学に所属。2015年より現職。コンピュータグラフィックスやユーザインタフェースの研究に従事。Yahoo!ニュース個人オナーサーとして執筆業にも励む。WEB連載記事『五十嵐悠紀のほのほの研究生活』配信中。



パネリスト：加藤 由花 (東京女子大学 数理科学科 教授)

【略歴】

1989年東京大学理学部卒業。同年日本電信電話(株)入社。2002年電気通信大学大学院情報システム学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。電気通信大学助手、産業技術大学院大学教授を経て、2014年より東京女子大学数理科学科教授。情報ネットワーク、ネットワークを利用したロボットサービスに関する研究に従事。情報処理学会理事（会誌・出版担当）。



パネリスト：末永 俊一郎 (国立情報学研究所 GRACE センター 特任准教授 / 株式会社レベルファイブ 研究開発部 マネジャー)

【略歴】

日本ユニシス（株）等を経て、2013年より国立情報学研究所特任准教授。2015年より同研究所、特任准教授（非常勤）を兼務し、(株)レベルファイブ 研究開発部マネジャー。

パネリスト：角 康之 (公立はこだて未来大学 教授)

略歴・写真は対談「会誌記事連動対談（ヘンな論文：情報処理学会編）」対談司会紹介を参照。



パネリスト：高岡 詠子 (上智大学 理工学部 教授)

【略歴】

慶應義塾大学理工学部数理科学科卒業。同大学大学院理工学研究科計算機科学専攻博士課程修了。博士（工学）。現在、上智大学理工学部教授。専門分野はデータベースとWebアプリケーション、コンピュータと社会（医療・教育・環境・福祉）。情報処理に関する法的問題（LIP）研究グループ主査、CE研究会運営委員、CE研幹事、初等中等教育委員会、論文誌編集委員、学会誌編集委員、代表会員、若手研究者の会幹事、コンピュータと教育編集委員会（TCE）編集委員、2007年情報処理学会山下記念研究賞受賞、2013年度情報処理学会学会活動貢献賞受賞。主な著書：チューリングの計算理論入門、シャノンの情報理論入門（講談社ブルーバックス）、「計算事始め（'13）」および「情報科学の基礎（'07）」（放送大学教科書）。



パネリスト：辰巳 丈夫 (放送大学 教育学部 准教授)

【略歴】

1997年早稲田大学理工学研究科数学専攻博士後期課程単位取得退学。1993年同大学情報科学研究教育センター助手。1999年神戸大学講師。2003年東京農工大学助教授。現在、放送大学准教授。また、東京大学、産業技術大学院大学で非常勤講師。情報教育、情報倫理、数学教育の情報化に興味を持つ。著書に「情報化社会と情報倫理・第2版」（共立出版）、「情報科教育法・改訂2版」（オーム社）、「情報の科学」（高校「情報科」検定教科書）（日本文教出版）などがある。



パネリスト：土井 千章 (株式会社 NTT ドコモ 先進技術研究所)

【略歴】

(株)NTTドコモ 先進技術研究所勤務。2009年 慶應義塾大学理工学研究科博士前期課程修了。同年(株)NTTドコモ入社。モバイルコンピューティング、Androidアプリケーションのセキュリティ、大規模データを用いた行動分析の研究に従事。2014年から情報処理学会学会誌編集委員会委員。



パネリスト：永野 秀尚 (日本電信電話株式会社 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員)

【略歴】

1994年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1996年同大学院基礎工学研究科物理系専攻情報工学分野修士課程修了。2005年同大学院情報科学研究科マルチメディア工学専攻博士課程修了。博士（情報科学）。1996年NTTに入社。現在、NTT コミュニケーション科学基礎研究所主任研究員。音や映像などのメディア情報の認識・探索に関する研究に取り組む。2011年3月から2012年3月まで英国 Queen Mary University of London 客員研究員。電気通信普及財団テレコムシステム技術賞奨励賞、通信協会前島賞、日本応用数理学会ベストオナー賞各受賞。IEEE Senior Member、電子情報通信学会、情報処理学会各会員。2002年1月より2006年3月まで情報処理学会学会誌編集委員 専門委員会（基礎・理論分野 /FWG）編集委員。2014年4月より同学会誌編集委員。

オープン・サービス・イノベーション活用の秘訣は何か？ーデジタルプラクティスライブー

3月12日(土) 9:30-12:00 [第2 イベント会場 (11-31)]

【セッション概要】

デジタル技術の進展により、企業におけるITの積極活用や新たなサービス開発において、自社以外のリソースを組み合わせ新しいサービスを生み出す「オープン・サービス・イノベーション」が注目を集めています。この新しい取り組みは、従来の企業内開発のようなクローズ型ではなく、多様なステークホルダーとサービス提供者が価値共創を行うことに特徴があります。本セッションでは、デジタルプラクティス特集号「オープン・サービス・イノベーション」の発刊を控え、そのアウトラインを紹介するとともに実務者を中心に実践のポイントについて具体的な事例を中心に議論を進めます。



司会：澤谷 由里子 (東京工科大学 教授)

【略歴】

東京工業大学大学院総合理工学専攻システム科学専攻修士課程修了、東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学系博士後期課程修了、学術博士。日本IBM(株)入社。情報技術の研究開発(ソフトウェア開発、オブジェクト指向言語開発、R&D戦略、パーソナルシステム研究戦略、研究評価、サービス研究)に従事。2005年よりサービス科学研究の立ち上げを行った。その後、科学技術振興機構においてサービス科学プログラム(S3FIRE)フェロー、早稲田大学教授に従事。2015年9月より東京工科大学コンピュータサイエンス学部大学院アントレプレナー専攻教授、早稲田大学、中央大学等において非常勤講師。経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会「情報経済小委員会」委員、サービス学会理事、研究・技術計画学会理事、PICMET-Japan事務局長などを兼任。

9:30-9:45

講演 (1) 「自社メディアを活用したオープンサービスイノベーション実践」

柴崎 辰彦 (富士通株式会社 インテグレーションサービス本部戦略企画統括部 統括部長)

【講演概要】

情報システム部門に対して受託型ビジネスを行ってきたICTベンダは、デジタルテクノロジーの進展により、経営層や事業部門、その先にいる生活者と新たなサービス創出の必要性に迫られている(共創型サービスモデル)。これまでとは異なるターゲットのニーズやウォンツを感じ取り、カタチにしていくためには、利用者との新たな関係作りやビジネスの生み出し方、実行する人材育成など組織的な対応が欠かせない。富士通では知識創造理論を基にした自社メディアの活用により、これらの課題解決にチャレンジしている。メディアを起点にイノベータと関係をつくり、共創の場で課題解決のアイデアを生み出すことにより、新たなビジネスチャンスが生まれている。



【略歴】

1987年富士通(株)に入社。国際ネットワーク、テレカンファレンス、CRMなど数々の新規ビジネスの立ち上げに従事。CRMビジネスでの経験を踏まえ、サービスサイエンスの研究と検証を実践中。コミュニケーション創発サイト「あしたのコミュニティーラボ」「Digital Innovation Lab」を立ち上げ、オープン・サービス・イノベーションを実践中。サービス学会理事、日本ナレッジマネジメント学会、大学等での講演多数。著書「勝負は、お客様が買う前に決める！」ダイヤモンド社。

9:45-10:00

講演 (2) 「ITとコミュニティの力による、自分達のまちづくり」

関 治之 (一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事)

【講演概要】

ITとコミュニティの力を使い、行政を批判するのではなく、自分ごととして町の課題を捉え、改善していく、そのための技術活用を「シビックテック」といいます。日本全国のシビックテック活用コミュニティを支援するCode for Japanの概要と、各地の事例を紹介します。



【略歴】

シビックテック旗振り人。「ともに考え、ともに作る」をテーマに、地域コミュニティ×ITで街を改善するコミュニティ、コード・フォー・ジャパンを運営するほか、地理情報系のシステム開発を行うGeorepublic Japan社および、企業や行政のオープンイノベーションをサポートするHackCamp社を運営している。

10:00-10:15

講演 (3) 「大手企業とスタートアップによるコラボレーション:「NTT西日本スタートアップファクトリー & 富士通アクセラレーターの事例研究から」

及部 智仁 (TBWA HAKUHODO QUANTUM マネージング・ディレクター)

【講演概要】

マイクロソフト、ナイキ、ウォルト・ディズニーなどのように大手企業が自社の事業領域とのシナジーを生み出すためにスタートアップとの共創のためのアクセラレータを立ち上げICTのイノベーションを生み出している。欧米では大手企業がオープン・イノベーションのパートナーとしてのスタートアップを活用し、新規事業を生み出すスピードを加速化している。講演では国内の事例としてNTT西日本の「スタートアップ・ファクトリー」「富士通アクセラレーター」を取り上げ、国内における大手企業とスタートアップのコラボレーションのためのポイントを議論する。



【略歴】

(株)TBWA\HAUHODOの経営企画室在籍時に中期経営計画の策定から広告会社の次世代ビジネスモデルの事業立案を数多く経験。(株)博報堂のHAKUHODO.UNIVにて生活者発想のイノベーションを研究するラボを主宰し、「オープン・サービス・イノベーション」の日本語版を出版。TBWA\HAKUHODO\QUANTUMを組成し、マネージング・ディレクターに就任。京都大学起業家教育プログラム(GTEP)講師、(株)博報堂DYホールディングス社内ベンチャー制度「AD VENTURE」の審査員を担当。東京工業大学大学院修了。東工大研究科長賞受賞。

10:15-10:30 **講演 (4) 「クラウドファンディングを活用した中小製造業の自社製品開発手法「マイクロモノづくり」の可能性について」**

三木 康司 (株式会社 enmono 代表取締役)

【講演概要】

従来、「量産ハードウェアの商品開発は小規模な経営資源のみでは成立が難しい」とされてきました。これに対して、経営資源が限られた中小企業が、クラウドファンディングを用いて短時間で効率的に自社製品を行う「マイクロモノづくり」という製品開発手法を用い、成功した複数の製品開発の事例をご紹介します。同時にクラウドファンディングが資金調達だけではなく、販路開拓や、マーケティングに広く活用できるという可能性を示します。



【略歴】

明治学院大学卒業後、富士通(株)に入社、海外営業部に配属される。その後、慶應義塾大学藤沢キャンパス(SFC)にてインターネットを活用した経営戦略を研究するため、自費留学、同校にて政策・メディア修士号を取得後、後期博士課程単位取得退学。中小製造業支援ベンチャー、NCネットワークに入社。同社は国内最大規模の製造業ポータルサイトに成長、IT担当役員を務めた後、2009年、だれもがメーカーになれる、「マイクロモノづくり」の概念を普及するために、(株)enmonoを独立、起業。

10:30-10:45 **講演 (5) 「オープンイノベーションの法的課題とその解決」**

水野 祐 (シティライツ法律事務所 弁護士)

【講演概要】

個人・企業間の共創型のオープンなプロジェクトにおいては、知的財産、営業秘密、製造物責任などの権利帰属、責任分配などの点で課題が存在する。共創型のオープンなプロジェクトの実務において、どのような課題が発生しているのか、その課題の解決のためにどのような方策があるのか、法律家の観点から概観する。



【略歴】

弁護士。シティライツ法律事務所代表、Arts and Law 代表理事、Creative Commons Japan 理事、慶應義塾大学SFC研究所所員。その他、FabLab Japan Network などにも所属。著作に『クリエイターのための渡世術』(共著)、『オープンデザイン参加と共創からはじまるつくりかたの未来』(共同翻訳・執筆)、連載に『法のデザイン インターネット社会における契約、アーキテクチャの設計と協働』(Business Law Journal) などがある。

10:45-11:00 **講演 (6) 「未来をつくる関係性を基盤としたオープンイノベーション」**

西村 勇也 (NPO 法人ミラツク 代表理事)

【講演概要】

NPO 法人ミラツクは、Emerging Future we already have (既に在る未来を手にする)をテーマに、社会起業家、企業、NPO、行政、大学など異なる立場の人たちが加わる、セクターを超えたソーシャルイノベーションのプラットフォームづくりに取り組んできたNPOです。今回は、ミラツクが取り組む、セクターや業種、職種を超えた関係性を構築するイノベーションプラットフォームの取り組みと、その仕組みを企業内に組み込むことで興すオープンイノベーションによる新規事業創出の取り組みについて、企業事例を交えながらご紹介します。



【略歴】

NPO 法人ミラツク代表理事。大阪大学大学院にて人間科学(Human Science)の修士を取得。人材育成企業、財団法人日本生産性本部を経て、2008年より開始したダイアログBARの活動を前身に2011年にNPO 法人ミラツクを設立。Emerging Future we already have (既に在る未来を手にする)をテーマに、社会起業家、企業、NPO、行政、大学など異なる立場の人たちが加わる、セクターを超えたソーシャルイノベーションのプラットフォームづくりと、企業が社会課題を基盤に社会と共に進める事業創出、事業コンセプトデザインに取り組む。

11:00-12:00 **パネル討論 「オープン・サービス・イノベーションで加速する共創型サービスモデル」**

【討論概要】

パネルセッションでは、デジタルプラクティス特集号「オープン・サービス・イノベーション」のエディタと論文執筆者と共に、企業や地域コミュニティにおける実践のポイントについて具体的な事例を中心に議論を進めます。頭で分かっている、なかなかオープン・サービス・イノベーションが進まない、そもそも多様なステークホルダーと価値共創を行うとどんな利点・問題点があるのか等知りたい方におすすめです。会場の皆さんと共に考えていきましょう。

司 会：澤谷 由里子 (東京工科大学 教授)

略歴・写真は「オープン・サービス・イノベーション活用の秘訣は何か? -デジタルプラクティスライブ-」司会紹介を参照。

パネリスト：柴崎 辰彦 (富士通株式会社 インテグレーションサービス本部戦略企画統括部 統括部長)

略歴・写真は講演 (1)「自社メディアを活用したオープンサービスイノベーション実践」を参照。

関 治之 (一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事)

略歴・写真は講演 (2)「IT とコミュニティの力による、自分達のまちづくり」を参照。

及部 智仁 (TBWA HAKUHODO QUANTUM マネージング・ディレクター)

略歴・写真は講演 (3)「大手企業とスタートアップによるコラボレーション:「NTT 西日本スタートアップファクトリー&富士通アクセラレーターの事例研究から」」を参照。

三木 康司 (株式会社 enmono 代表取締役)

略歴・写真は講演 (4)「クラウドファンディングを活用した中小製造業の自社製品開発手法「マイクロモノづくり」の可能性について」を参照。

水野 祐 (シティライツ法律事務所 弁護士)

略歴・写真は講演 (5)「オープンイノベーションの法的課題とその解決」を参照。

西村 勇也 (NPO 法人ミラツク 代表理事)

略歴・写真は講演 (6)「未来をつくる関係性を基盤としたオープンイノベーション」を参照。

教育と学習における ICT の活用の新時代

3月12日(土) 13:00-15:00 [第2 イベント会場 (11-31)]

[セッション概要]

小学校から高校(初等中等教育)における環境でも、大学でもさまざまな学習活動において、情報機器や情報サービス、情報ネットワークインフラなどが活用されるようになってきた。書画カメラや、電子黒板(インタラクティブ・ホワイトボード)、学習管理システム(LMS)、学校広報でのWebやSNSの利用、教材のデジタル化とデジタル教科書、コンピュータを利用したテスト(CBT)、学習者や試験受験者データの統計的活用などが普及しつつある。だが、教具に触ることに主眼が置かれていたり、海外での事例を参考にしていなかったり、ICT活用で何ができるのかを明確に把握できていなかったりする、というのが我が国の現在の教育現場に置けるICT活用である。本セッションでは、このような我が国の教育と学習におけるICTの活用が、これからどのような方向に進むべきかについて、識者らによるパネルディスカッションにより明らかにする。



司会：和田 勉(長野大学 企業情報学部 教授)

[略歴]

1978年早稲田大学理工学部電気工学科卒業、1983年筑波大学大学院数学研究科単位取得満期退学、同年東京大学生産技術研究所第3部技官、1984年長野大学産業社会学部講師、同産業情報学科講師、同助教授、同教授を経て2007年より同企業情報学部教授。2006年大韓民国高麗大学師範学部コンピュータ教育学科招聘教授。2013年4月より情報処理学会初等中等教育委員会委員長。

13:00-13:20 講演(1)「教育情報化「教具論」からの脱却～学習者中心の情報化とは何か～」

豊福 晋平(国際大学 GLOCOM 准教授・主幹研究員)

[講演概要]

OECDのPISA/TALIS調査で暴露されたように、日本の学校教育でのICT利活用度は加盟国の中でもきわめて低く、その著しい遅滞は「失われた20年」と言われている。2015年には高校生のスマートフォン所有率がほぼ100%に届く状況なのに、いまだ勉強には無用なものとして、大半の児童生徒は学校で電子メールもSNSも満足に使えない。学校教育がデジタル・デバイドの対岸に取り残された背景には、授業研究と教具の活用への囚われがある。ICTは授業の一技法であるから指導スキル養成が喫緊の課題とされてきたが、機器トラブルリスクや教員側の負担増を嫌って、現場の授業活用は遅々として進まない。こうした状態のプレイクスルーとして期待されるのは、180度視点を転換した学習者中心の文具的活用である。諸外国では日常的やりとりや学習に関わる知的生産のために1人1台の情報端末が普及し、家庭から学校へ機材を持ち込むBYODの事例もある。本講演では、ICT利活用における教具論と文具論を比較しつつ、将来への展望を明らかにする。



[略歴]

1992年横浜国立大学大学院教育学研究科修士課程修了、1995年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程中退、1996年より国際大学グローバル・コミュニケーション・センターに勤務。専門領域は学校教育心理学・教育学・学校経営。近年の研究テーマは教育情報化と学校広報。主なプロジェクトはApple/国際大学「めでいいあきっず」(1994～1997)、全日本小学校ホームページ大賞(通称:J-KIDS大賞2003～2013)など。

13:20-13:40 講演(2)「海外におけるICT活用～日本との比較を通して～」

上松 恵理子(武蔵野学院大学 准教授)

[講演概要]

新しいメディアによる活動を教育に取り入れる必要性はさまざまな場所で提唱されている。Presky(2013)は、生徒に全ての新しいテクノロジーを学校でも実践する事例として130以上の項目からなるリストをあげている。リストには、TED TALK、FacebookやTwitterなどがあるが、どれも子どもたちにはなじみが深いため、既に海外では新しいメディアを使った学習活動を教授法に取り入れ始めている。また、従来オフラインであった教室において、学習者はインターネットを使い、新たなコミュニケーションの機会を持って学習活動をしている。学習成果物や意見の即時共有、リアルタイム可視化により、学習者1人1人の学習やプロセスまでも把握することができ、それぞれの能力に合わせた学習活動やプロジェクト学習によるアクティブラーニングも行われている。今後、教室の空間を超えた学びをどうクリエイティブにデザインするかを検討する。



[略歴]

博士(教育学) 武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部准教授。新潟大学情報文化研究科修士課程修了後博士課程に進学、メディアリテラシーの研究を行いながら、ICT教育における海外実践の調査をはじめとしてモバイルメディアの新しいリテラシーについての研究を行う。早稲田大学情報教育研究所招聘研究員、国際大学GLOCOM客員研究員、明治大学研究員、Asuka Academy理事、「教育における情報通信(ICT)の利活用促進をめざす議員連盟」有識者アドバイザー。著書に「読むことを変えるー新リテラシー時代の読解(単著)」「デジタル端末を使った教育最前線(電子情報通信学会誌、2014)」「ICT教育におけるメディアリテラシー教育(情報処理学会誌、2015)」など。

13:40-14:00 講演(3)「電子書籍規格EPUBによるデジタル教科書制作の未来」

青木 浩幸(株式会社イーテキスト研究所 主任研究員)

[講演概要]

海外のデジタル教科書が学習者のための電子書籍を由来としているのになら、日本のデジタル教科書は教師のプレゼンテーションツールとして発達してきた経緯から「指導者用デジタル教科書」と呼ばれ、固定レイアウトに代表される独特の機能が求められてきた。電子書籍の規格は国際電子出版フォーラム(IDPF)が策定したEPUBが主流となり、デジタル教科書も標準化の波が押し寄せている。このプラットフォームの変化は日本のデジタル教科書制作に大きな影響を与えている。電子書籍の規格EPUBの中で教師用デジタル教科書に求められる機能を実現するにはどうしたらよいか。さらに、学習者用デジタル教科書への転換が図られている今、多様な学習者に対するアクセシビリティはどう実現され、さらにどのような機能が実現できるようになるか、その可能性について技術的な面から議論させていただきたい。



[略歴]

1999年筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻理科教育コース修了、神奈川県公立学校教員を経て、2007年東京学芸大学大学院教育学研究科総合教育開発専攻情報教育コース修了。同年韓国に渡り、高麗大学校一般大学院コンピュータ教育学科に留学しプログラミング教育を研究。2013年に理学博士取得。韓国留学中からデジタル教科書コンテンツの開発に携わり、2013年から(株)イーテキスト研究所の技術責任者を務める。ベクターグラフィクス標準SVGの教育コンテンツにおける可能性について研究・提案を行っている。

14:00-14:10 休憩

14:10-15:00 パネル討論「教育と学習における ICT の活用の新時代」

【討論概要】

初等中等から大学までの学校教育現場における情報活用と、情報機器の活用、そして電子教科書などのデジタル教材に関する現状について、連続した講演と、パネリスト同士の意見交換などを通して議論を深める。



司会：辰巳 丈夫（放送大学 教養学部 准教授）

【略歴】

1997年早稲田大学理工学研究科数学専攻博士後期課程単位取得退学。1993年同大学情報科学研究教育センター助手。1999年神戸大学講師。2003年東京農工大学助教授。現在、放送大学准教授。また、東京大学、産業技術大学院大学で非常勤講師。情報教育、情報倫理、数学教育の情報化に興味を持つ。著書に「情報化社会と情報倫理・第2版」（共立出版）、「情報科教育法・改訂2版」（オーム社）、「情報の科学」（高校「情報科」検定教科書）（日本文教出版）などがある。

パネリスト：豊福 晋平（国際大学 GLOCOM 准教授・主幹研究員）

略歴・写真は講演（1）「教育情報化「教具論」からの脱却～学習者中心の情報化とは何か～」を参照。

上松 恵理子（武蔵野学院大学 准教授）

略歴・写真は講演（2）「海外における ICT 活用 ～日本との比較を通して～」を参照。

青木 浩幸（株式会社イーテキスト研究所 主任研究員）

略歴・写真は講演（3）「電子書籍規格 EPUB によるデジタル教科書制作の未来」を参照。

論文必勝法 ～一流論文のための羅針盤～

3月10日（木）9:30-12:00 [第3 イベント会場（厚生棟大大会議室）]

【セッション概要】

このセッションでは一流論文誌、国際会議への論文採択経験が豊富な一線の研究者をお招きし、産学の若手研究者・学生を主な対象として、研究と論文執筆のための心構え、ケーススタディを含めた実践的アドバイスをお話しいただきます。また、論文誌ジャーナル/JIPの各グループ主査およびトランザクション編集委員によるパネル討論会を設け、若手研究者への論文執筆および論文査読に対するアドバイス、実践的ノウハウについて紹介するとともに、論文査読方針およびその内側について討論します。

司会：藤田 桂英（東京農工大学 大学院工学研究院 准教授）

【略歴】

2010年～2011年日本学術振興会特別研究員（DC1）。2010年～2011年マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院訪問学生。2011年名古屋工業大学大学院情報工学専攻博士課程修了。2011年～2012年東京大学大学院工学系研究科特任研究員。2012年東京農工大学大学院工学研究院准教授。博士（工学）。人工知能、マルチエージェントシステムなどの研究に従事。情報処理学会論文誌編集委員会知能グループ委員（2012年～）、同副査（2013年～）。



9:30-10:30

講演（1）「理論系（STOC,FOCS,SODA）からビッグデータ・AIのトップ会議へ」

河原林 健一（国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授/ビッグデータ国際研究センター センター長/JST ERATO Kawarabayashi Large Graph Project 研究総括）

【講演概要】

講演者は、理論系（STOC,FOCS,SODA）を中心に仕事をしてきた。JST 河原林 ERATO では、理論系のパワーを以下の分野でダイレクトにつなげようと試みている。1. 機械学習（NIPS,ICML）2. データマイニング（KDD,WWW,WSDM）3. データベース（SIGMOD,VLDB,ICDE）4. AI（AAAI,IJCAI）5. その他ネットワーク&自然言語（INFOCOM,ACL）。河原林 ERATO では、上記のトップ会議をスコープに入れ、TRY&ERROR を続けてきた。本講演では成功点と改善点を報告したい。



【略歴】

国立情報学研究所ビッグデータ数理国際センター長。1998年慶應義塾大学理工学部卒業。2001年慶應義塾大学理工学部博士課程修了（理学博士）。東北大学情報学研究科助手、国立情報学研究所助教授を経て、2009年より国立情報学研究所教授。2012年よりJST ERATO「河原林巨大グラフ」プロジェクト研究総括、および現職。専門分野は、数学分野の「離散数学」、コンピューターサイエンス分野の「アルゴリズム」、そして「ネットワーク」を扱う学問すべて。

10:40-12:00 パネル討論「論文誌の査読プロセスとその後」

【討論概要】

情報処理学会論文誌ジャーナル編集委員会は、基盤グループ、ネットワークグループ、知能グループ、情報システムグループの4つのグループに分かれて、論文の編集を行っています。各グループに属する論文誌編集委員は日頃から多くの投稿論文を扱っており、投稿論文が採録されるまでのプロセスやあらたな論文投稿システムや論文誌の査読ポリシーなど、情報処理学会論文誌に投稿する際に役立つ情報を持っています。そこで、本パネル討論では、論文誌編集委員の立場から見た論文の書き方や査読の仕方について、各グループの主査に熱く語って頂き、フロアと一緒に論文必勝法に関する議論を深めたいと思います。さらに、情報処理学会トランザクションで実施している独自の編集方針に関しても議論を深めていきたいと思ひます。

司 会：藤田 桂英（東京農工大学 大学院工学研究院 准教授）

略歴・写真は「論文必勝法 ～一流論文のための羅針盤～」司会紹介を参照。



パネリスト：堀山 貴史（埼玉大学 大学院理工学研究科 准教授）

【略歴】

1997年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1999年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助手。2002年京都大学大学院情報学研究科助。2007年埼玉大学大学院理工学研究科准教授（2012年～2015年同大学情報メディア基盤センター）。博士（情報学）。アルゴリズム設計論、計算量理論、計算幾何学などの研究に従事。



パネリスト：今泉 貴史 (千葉大学 統合情報センター 教授)

[略歴]

1992年東京工業大学大学院博士課程を修了後、同大学で助手・講師を務める。その後、千葉大学に移り、准教授を経て現在に至る。両大学において、計算機センターでの業務に従事し、ネットワークセキュリティ分野を専門とする。

パネリスト：飯田 龍 (情報通信研究機構 研究員)

[略歴]

2007年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。同年、同大学情報科学研究科特任助教着任。2008年東京工業大学大学院情報理工学研究科助教着任。2014年より現職。博士(工学)。情報処理学会、言語処理学会各会員。自然言語処理の研究に従事。情報処理学会論文誌編集委員会知能グループ委員(2012年～)、同副査(2014年)、同主査(2015年)。



パネリスト：中山 泰一 (電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授)

[略歴]

1988年東京大学工学部計数工学科卒業。1993年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。博士(工学)。同年、電気通信大学情報工学科助手。現在、同大学院情報理工学研究科准教授。オペレーティング・システム、並列・分散処理、情報教育などに興味をもつ。情報処理学会では、論文誌編集委員会情報システムグループ主査、論文誌「教育とコンピュータ」編集幹事、情報処理教育委員会委員、「会員の力を社会につなげる」研究グループ幹事、情報処理に関する法的問題研究グループ幹事などを務める。2014年度学会活動貢献賞受賞。



パネリスト：井上 智雄 (筑波大学 教授)

[略歴]

筑波大学図書館情報メディア系教授。博士(工学)。専門はCSCW、HCI、教育工学。情報処理学会山下記念研究賞、論文賞、学会活動貢献賞、他受賞多数。情報処理学会論文誌編集主査、情報処理学会論文誌：デジタルコンテンツ編集委員、情報処理学会グループウェアとネットワーク研究会幹事、電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション基礎研究会幹事、ACM CSCW Papers Associate Chair、IEEE TC CSCWD 委員、APSCE SIG CUMTEL 委員など歴任。「アイデア発想法と協同作業支援」(共立出版)、「Communication and Collaboration Support Systems」(IOS Press)等執筆。

産業界におけるIoTの動向と日本の戦略 3月10日(木) 13:00-15:30 [第3イベント会場(厚生棟大大会議室)]

[セッション概要]

IoTにセキュリティ機能を強化した日本版Industrie4.0が開始され、150社以上の団体が参加を表明している。本イベントでは、この構想について議論を深める。



司会：山口 高平 (慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 教授)

[略歴]

1979年大阪大学工学部通信工学科卒業。1984年同大学院工学研究科博士後期課程修了。同年大阪大学産業科学研究所助手。1989年静岡大学工学部助教授。1997年同大学情報学部教授。2004年より慶應義塾大学理工学部教授。工学博士。定理証明、知識システム、データマイニング、オントロジー、知能ロボット工学などに関する研究に従事。2007年度大川出版賞。2014年度人工知能学会功績賞。人工知能学会前会長、現顧問。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、情報システム学会、AAAI、IEEE-CS等の会員。

13:10-13:50 講演(1)「ロボットをはじめとするIoT社会の実現に向けたサイバーセキュリティ戦略について」
瓜生 和久 (経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室長)

[講演概要]

ロボット、自動車、家電、医療機器等様々なものがインターネットにつながり、インテリジェントに機能しつつ我々人間の生活の安全・安心の確保や豊かさの実現、企業の競争力強化等を実現するIoT社会が到来しようとしている。ただし、このような「明るいIoT社会の実現」のためには、強靱かつしなやかなサイバーセキュリティ対策が不可欠であり、その構築にむけた政府の戦略を解説する。

[略歴]



1993年3月通商産業省(現経済産業省)入省。2008年6月経済産業省商務情報政策局情報通信機器課課長補佐。2009年6月東京工業大学情報理工学研究科特任准教授。2011年1月内閣官房社会保障改革担当室企画官。2012年8月内閣官房政府CIO室企画官に併任。2013年7月内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室参事官(併任：内閣官房社会保障改革担当室参事官)。2015年8月<現職>。

13:50-14:30 講演(2)「日本発、「Industry4.1J」ソリューションの紹介」
村上 正志 (Virtual Engineering Community 事務局長)

[講演概要]

第4次産業革命と言われているIoTの産業利用に、インターネット上で脅威となるサイバー攻撃を直接受けにくいプライベートクラウドを利用したセキュアなIoTを実現させる「Industry4.1J」をご紹介します。

[略歴]



・1977年～1991年：日本ベーレー(株)のシステムエンジニア。-火力発電所のボイラ自動制御装置、プラント監視制御装置のシステム設計：製品開発。・1991年～1995年：画像処理VMEボードメーカーに従事。-大型カラー印刷機の画像処理、大蔵省印刷局の検査装置などのシステムコンサルティング。・1995年～2015年3月：(株)デジタル(2002年以降Schneider Electric Group)。-SE部長。・1999年6月～現在：Virtual Engineering Company & Virtual End-User Community 事務局長 兼 ソリューションアドバイザー。https://www.vec-community.com/ja/。・2015年5月～(株)ICS研究所 代表取締役社長 兼 所長。・主な活動履歴。-経済産業省商務情報政策局主催「制御システムセキュリティ対策タスクフォース」委員：2011年 普及啓発ワーキング座長。-制御システムセキュリティ関連団体合同委員会 委員。-日本OPC協議会 幹事会顧問。

14:40-15:10 **講演 (3) 「セキュアな IoT 「Industry4.1J」 を支える ICT インフラ技術の動向」**
境野 哲 (NTT コミュニケーションズ株式会社 技術開発部 IoT クラウド SU/ 経営企画部 IoT 推進室 担当部長)

【講演概要】

いま様々な業界の企業が IoT をビジネスに活かす取り組みを進めています。その目的は、顧客行動分析、製品の保守、従業員の安全管理、省エネ省資源、工場の設備保全など多岐にわたっています。他方、あらゆるモノがネットにつながる IoT の世界では、年々高度化するサイバー攻撃への備えも重要です。本講演では、産業界の IoT 活用ニーズや導入事例をご紹介しますとともに、IoT のセキュリティ問題とその対策の方向性について提起します。また、生産現場とクラウドをセキュアにつなぐ Industry4.1J 実証実験について解説し、さらに、東京五輪に向けて検討中の AI (人工知能) を活用して安全を見守る技術開発の取り組みをご紹介します。



【略歴】

1990 年日本電信電話 (株) に入社。社内基幹業務システムの開発を担当。1995 年官公庁向けコンサルティング、公共施設建設プロジェクトを担当。1998 年 NTT 再編成プロジェクト (基幹業務システム更改) を担当。2000 年異業種協業による新規ビジネスインキュベーションに従事。2004 年 ネットビジネスのパートナー営業/協業アライアンス等を担当。2010 年コンテンツ流通ビジネス開発、エネルギー管理/M2M 技術開発を担当。2015 年 5 月より現職。

15:10-15:40 **パネル討論 「産業界における IoT の動向と日本の戦略」**

【討論概要】

IoT にセキュリティ機能を強化した日本版 Industrie4.0 が開始され、150 社以上の団体が参加を表明している。パネルディスカッションではパネリストによりこの構想について議論を深める。

司 会：境野 哲 (NTT コミュニケーションズ株式会社 技術開発部 IoT クラウド SU/ 経営企画部 IoT 推進室 担当部長)

略歴・写真は講演 (3) 「セキュアな IoT 「Industry4.1J」 を支える ICT インフラ技術の動向」を参照。

パネリスト：瓜生 和久 (経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室長)

略歴・写真は講演 (1) 「ロボットをはじめとする IoT 社会の実現に向けたサイバーセキュリティ戦略について」を参照。

村上 正志 (Virtual Engineering Community 事務局長)

略歴・写真は講演 (2) 「日本発、"Industry4.1J" ソリューションの紹介」を参照。



パネリスト：渡部 宗一 (イーヒルズ株式会社 取締役 /CSSC 普及啓発・人材育成委員会 委員長)

【略歴】

1985 年森ビル入社。2000 年よりイーヒルズ (株) 兼務。2010 年より森ビル管理運営部 BA システムグループ。2011 年経済産業省「制御システムセキュリティ検討タスクフォース」委員。2012 年より制御システムセキュリティセンター (CSSC) 普及啓発委員会委員長として現在に至る。

実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の現状と新たな分野への適用
3 月 11 日 (金) 9:30-12:00 [第 3 イベント会場 (厚生棟大大会議室)]

【セッション概要】

実践的情報教育協働ネットワーク enPiT では、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの 4 つの分野で、実践的な情報技術の教育を、主に大学院修士課程の学生に対して提供しており、500 名を超える学生が毎年受講しています。本企画では、このような実践的な情報技術の教育を、今必要とされている AI やロボティクスの分野に広げるための方法について、講演をお願いするとともに、パネルで議論をします。



全体司会：糸野 文洋 (日本工業大学 / 国立情報学研究所 准教授)

【略歴】

1990 年早稲田大学大学院理工学研究科数学専攻修士課程修了。同年 (株) 三菱総合研究所に入社。2011 年から日本工業大学情報工学科准教授 (現在に至る)。2012 年国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系 特任教授 (現在に至る)。専門はソフトウェア工学、Project Based Learning。博士 (工学)。

9:30-9:35 **オープニング**

9:35-9:50 **講演 (1) 「enPiT の現状と今後の展望」**
井上 克郎 (大阪大学 大学院情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻 教授)

【講演概要】

高齢化、エネルギー・環境問題、東日本震災からの復興等に加え、日本の産業の国際競争力の低下など、現在、日本は様々な課題を抱えています。これらの課題に対し、情報通信技術を活用して解決することのできる人材が社会から強く求められています。このような背景のもと、文部科学省の要請を受け、全国の 15 大学が中心となって「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク」(通称 enPiT) 事業を、2012 年度より行っています。enPiT では、大学間/大学・企業間で緊密に連携をとりながら、社会の新たな価値や産業の創出を情報技術の応用を通じて行える人材育成を行っています。具体的には、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの 4 つの分野を対象に、グループワークを用いた短期集中合宿や分散 PBL を実施し、世界に通用する実践力を備えた人材を全国規模で育成することを目指しています。本講演では、現在、3 期生まで終わった本事業の概要と、今後の展望について説明します。



【略歴】

1979 年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1984 年同大学大学院博士課程修了。同年同大学基礎工学部助手。1984～86 年ハワイ大マノア校情報工学科助教授。1989 年大阪大学基礎工学部講師。1991 年同助教授。1995 年同教授。2002 年大阪大学大学院情報科学研究科教授。工学博士。ソフトウェア工学、特に、ソフトウェア開発手法、プログラム解析、再利用技術の研究に従事。

9:50-10:20 講演 (2) 「AI 分野における技術動向と実践的な教育」

山口 高平 (慶應義塾大学 理工学部管理工学科 教授)

【講演概要】

近年、コンピュータ高速化、データの大量化と多様化、ソフトウェアオープン化、ネットワーク広帯域化といった情報技術の進化を基盤として、Deep Learning, オントロジーのような新しい人工知能要素技術が登場し、それと他の情報技術が連携し、音声アシスタント、知識グラフのような意味検索エンジン、クイズ人工知能の医療やコールセンター業務への展開、犯罪予測やヒット曲予測のようなビッグデータを利用した予測型人工知能サービスなど、様々な分野で人工知能技術の適用が進んでいる。本講演では、そのような人工知能の技術動向、および、講演者の産学連携による人工知能アプリケーションの開発経験(オントロジーによる検索エンジンの精度向上、知識継承、食事療法支援サービス)を振り返り、人工知能分野における実践的な情報技術教育について考察する。



【略歴】

1979年大阪大学工学部通信工学科卒業、1984年同大学院工学研究科博士後期課程修了。同年大阪大学産業科学研究所助手。1989年静岡大学工学部助教授。1997年同大学情報学部教授。2004年より慶應義塾大学理工学部教授。工学博士。定理証明、知識システム、データマイニング、オントロジー、知能ロボット工学などに関する研究に従事。2007年度大川出版賞。2014年度人工知能学会功績賞。人工知能学会前会長、現顧問。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、情報システム学会、AAAI、IEEE-CS等の会員。

10:20-10:50 講演 (3) 「知能ロボティクス分野における体系的かつ実践的な教育」

國吉 康夫 (東京大学 情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 教授)

【講演概要】

東京大学工学部機械情報工学科および大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻においては、知能ロボティクスを中心とする知能機械情報学分野に関する体系的な教育カリキュラムを長年にわたり構築、実施してきている。本講演では、同分野の研究動向を踏まえつつ、学部2年後期から大学院までのカリキュラム体系を概説し、特に力を入れている学部3年後期の演習について詳しく紹介する。学科で独自に開発した豊富な教材とコンテンツを活用して週4日間午後いっぱい実施し、学生に高度かつ体系的な実践力を身に付けさせたあと、それを踏まえて独創的発想から実装、プレゼンまで自力で達成する自主プロジェクトで締めくくる。



【略歴】

1991年東京大学大学院工学系研究科修了、工学博士。同年電子技術総合研究所研究員、1995年同主任研究官、1996年～97年米国マサチューセッツ工科大学人工知能研究所客員研究員、2001年東京大学助教授、2005年同教授。理研BSI-トヨタ連携センター長兼務(2012年～現在)。科研費新学術領域研究「構成論的発達科学」領域代表。身体性に基づく認知の創発と発達、ヒューマノイドロボット、人間型人工知能などの研究に取り組んでいる。日本学術会議連携会員、日本ロボット学会フェロー、IEEE、人工知能学会、情報処理学会等会員。

10:50-10:55 パネルオープニング

10:55-12:00 パネル討論 「実践的な IT 技術教育の知見の普及に向けて」

【討論概要】

実践的情報教育協働ネットワーク enPiT では、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの4つの分野で、実践的な情報技術の教育を、主に大学院修士課程の学生に対して提供しており、500名を超える学生が毎年受講しています。本企画では、このような実践的な IT 技術教育の知見の普及に向けて今後何が必要かを議論するとともに、こうした実践的な情報技術の教育を、今必要とされている AI やロボティクスの分野に広げるための方法について、講演をお願いするとともに、パネルで議論をします。



司会：田中 二郎 (筑波大学 システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻 教授)

【略歴】

1975年東京大学理学部卒業。1977年同大学大学院理学系研究科修士課程修了。1984年米国ユタ大学大学院計算機科学科博士課程修了。ユタ大学では関数型プログラミング言語の並列実装に関する研究に従事。PhD. in Computer Science。1985年から1988年に(財)新世代コンピュータ技術開発機構にて並列論理型プログラミング言語の研究開発に従事。1993年から筑波大学に勤務。現在、筑波大学システム情報系教授。2007年度より「高度 IT 人材育成のための実践的ソフトウェア開発専修プログラム」を筑波大学コンピュータサイエンス専攻内の専修プログラムとして実施している。現在、文部科学省情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業「分野・地域を越えた実践的情報教育協働 NW (enPiT)」ビジネスアプリケーション分野の分野代表。ACM、IEEE、日本ソフトウェア科学会、ヒューマンインタフェース学会、電子情報通信学会各会員。



パネリスト：井垣 宏 (大阪工業大学 情報科学部情報システム学科 准教授)

【略歴】

博士(工学)(奈良先端科学技術大学院大学 2005年)。2011年大阪大学大学院情報科学研究科特任准教授。2015年大阪工業大学情報科学部准教授。文部科学省先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムにおいてチーム開発手法の教育を実施、同じく実践的情報教育協働ネットワーク enPiT クラウドコンピューティング分野においてクラウドコンピューティング環境を利用したアジャイル開発手法の教育に従事。PBLを始めとしたソフトウェア工学教育についての研究・教育を専門としている。



パネリスト：菅沼 拓夫 (東北大学サイバーサイエンスセンター 研究開発部 教授)

【略歴】

1997年千葉工業大学大学院修了。博士(工学)。2010年より現職。マルチエージェントシステム、マルチメディア通信等の研究に従事。本会論文誌特集号幹事、代表会員、マルチメディア通信と分散処理研究会幹事・運営委員、DPS ワークショップ委員長、東北支部会計幹事、東北支部庶務幹事、第75回全国大会実行委員会幹事など。



パネリスト：山本 雅基 (名古屋大学 大学院情報科学研究科附属組込みシステム研究センター 特任教授)

【略歴】

1981年東京理科大学工学卒、2009年名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程修了(博士情報科学)。1981年日本電装(現デンソー)入社、92年デンソークリエイト出向を経て、04年から名古屋大学。13年より現職。企業における研究開発・事業推進の経験を踏まえて、学生と社会人を対象とした実践的な組込みシステム技術の教育を、企画・開発・実施している。情報処理学会、日本認知科学会、日本工学教育協会など各会員。



パネリスト：大場 みちこ (公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科 教授)

【略歴】

1982年日立製作所入社。同システム開発研究所にて知識工学応用システムの研究、同ソフトウェア事業部でミドルウェアの開発等に従事。現在は公立はこだて未来大学にてソフトウェア工学、ドキュメントコミュニケーションなどの研究と実践的ICT人材育成に従事。2001年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。情報処理学会理事(2009～2010年度、2015年度～)。

実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発 3月11日(金) 15:20-17:50 [第3イベント会場(厚生棟大中会議室)]

【セッション概要】

情報技術の発展及び情報化の進展に伴い、実社会の各種活動に伴い生成・取得されるデータは爆発的に増加しており、これらのビッグデータの利活用が強く求められています。昨年度から始まった文部科学省事業「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」では、データ連携技術、高性能データ融合解析技術、データ格納・可視化技術、システム統合化技術を軸に、実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発を行うとともに、社会実装を意識した実証実験を行うことを目的としています。本特別セッションでは、事業の全体概要、データ連携技術、高性能データ融合解析技術、データ格納・可視化技術、システム統合化技術、藤沢市における実証実験について報告します。



全体概要・司会：北川 博之(筑波大学 システム情報系情報工学域 教授)

【略歴】

1980年東京大学理学系研究科修士課程修了。日本電気(株)勤務の後、1988年筑波大学電子・情報工学系講師。同助教授を経て、現在、筑波大学システム情報系教授(計算科学研究センター教授兼任)。理学博士(東京大学)。専門：データ工学。日本データベース学会会長。

15:20-15:25 全体概要

15:25-15:40 講演(1)「『実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発』：全体概要とデータ連携技術」

北川 博之(筑波大学 システム情報系情報工学域 教授)

【講演概要】

情報技術の発展及び情報化の進展に伴い、実社会の各種活動に伴い生成・取得されるデータは爆発的に増加しており、これらのビッグデータの利活用が強く求められています。昨年度から始まった文部科学省事業「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」では、データ連携技術、高性能データ融合解析技術、データ格納・可視化技術、システム統合化技術を軸に、実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発を行うとともに、社会実装を意識した実証実験を行うことを目的としています。本講演では、事業の全体概要とデータ連携技術の研究開発について報告します。

略歴・写真は「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」司会紹介を参照。

15:40-15:55 講演(2)「高性能データ融合解析技術」
徳山 豪(東北大学 大学院情報科学研究科 教授・研究科長)

【講演概要】

ビッグデータの利活用に必要なデータ融合解析技術についての研究開発について紹介する。特に、地図情報、交通プローブ情報などのセンサ情報、インターネット上の知識情報、ツイッターなどの不特定多数の発するユーザ情報のデータ融合を行い、それをを用いた高性能な時空間マップの構築と意味解析を行う手法を中心に紹介する。



【略歴】

1985年東京大学理学系研究科数学専攻博士課程修了。理学博士。1986～1999 IBM 東京基礎研究所研究員(内1992～1993 IBM T. J. Watson 研究所研究員)。1999年より東北大学大学院情報科学研究科教授。2014年より同研究科長。理論計算機科学、離散数学、アルゴリズム理論、データマイニングなどに従事。

15:55-16:10 講演(3)「データ格納・可視化技術」
喜連川 優(国立情報学研究所 所長/東京大学 教授)

【講演概要】

ビッグデータの利活用に必要なデータ格納・可視化技術に関して紹介する。



【略歴】

1983年東京大学情報工学専攻博士課程修了。工博。同年同大生産技術研究所講師。現在同教授。文部科学省科学官。本会理事、副会長。本会(2003年度)・ACM・IEEE フェロー。本会功績賞受賞(2010年度)。専門はデータベース工学。ACM SIGMOD Innovation Award。特定領域研究「情報爆発」代表。内閣府最先端研究開発支援プログラム中心研究者。

16:10-16:25 講演 (4) 「システム統合化技術：センサデータの統合化と流通基盤」

徳田 英幸 (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

【講演概要】

ビッグデータの利活用に必要なシステム統合化技術におけるセンサデータの統合化と流通基盤に関して紹介する。特に、レガシーなハードウェアデバイスからのセンサデータだけでなく、スマートホンなどからの参加型センシングデータやセンサ化された web 上のデータを統一的に扱う手法や異種センサデータを流通させるシステム基盤について報告する。



【略歴】

1975年慶應義塾大学工学部卒、同大学院工学研究科修士、ウォータールー大学計算機科学科博士(Ph.D. in Computer Science)、米国カーネギーメロン大学計算機科学科研究准教授を経て、1990年慶應義塾大学環境情報学部勤務、慶應義塾常任理事を経て、現職。専門は、ユビキタスコンピューティングシステム、OS、Cyber-Physical Systems等。情報処理学会フェロー、日本ソフトウェア学会フェロー。現在、情報処理学会副会長、日本学術会議会員、内閣官房情報セキュリティ補佐官などを務める。

16:25-16:40 講演 (5) 「藤沢市における実証実験」

天笠 俊之 (筑波大学 システム情報系情報工学域 准教授)

【講演概要】

本講演では、実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術を用いた藤沢市における実証実験について報告する。



【略歴】

1999年群馬大学大学院工学研究科修士、博士(工学)、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助手、筑波大学大学院システム情報工学研究科講師を経て、筑波大学計算科学研究センター/システム情報系准教授。データベース、データマイニング等の研究に従事。情報処理学会、日本データベース学会、ACM各会員、電子情報通信学会、IEEE各シニア会員。

16:40-17:50 パネル討論 「実社会ビッグデータ利活用における課題と革新的解決手法」

【討論概要】

国や地方自治体が所有しているオープンデータや様々なハードウェア/仮想センサから収集されたビッグデータを利活用していく上での技術的や社会的課題とそれらを解決すべき革新的手法について議論する。



司会：山名 早人 (早稲田大学 情報理工学 教授)

【略歴】

博士(工学)(早稲田大学1993年)。1993～2000年通産省工業技術院電子技術総合研究所。1996年通産省機械情報産業局電子機器課課付。2000年早稲田大学理工学部助教授。2005年同大理工学術院教授、現在に至る。2010年～日本データベース学会理事、2015年～情報処理学会理事、電子情報通信学会ISS副会長、日本データベース学会論文賞、IBM Faculty Award、電子情報通信学会論文賞等を受賞。大規模データ解析、情報検索、並列・分散処理等の研究に従事。

パネリスト：北川 博之 (筑波大学 システム情報系情報工学域 教授)

略歴・写真は「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」司会紹介を参照。

徳山 豪 (東北大学 大学院情報科学研究科 教授・研究科長)

略歴・写真は講演 (2) 「高性能データ融合解析技術」を参照。

喜連川 優 (国立情報学研究所 所長 / 東京大学 教授)

略歴・写真は講演 (3) 「データ格納・可視化技術」を参照。

徳田 英幸 (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

略歴・写真は講演 (4) 「システム統合化技術：センサデータの統合化と流通基盤」を参照。

天笠 俊之 (筑波大学 システム情報系情報工学域 准教授)

略歴・写真は講演 (5) 「藤沢市における実証実験」を参照。



パネリスト：福田 達夫 (藤沢市役所 総務部 IT 推進課 専任主幹)

【略歴】

1985年藤沢市役所入庁。保険年金課、契約課、情報統計課(現IT推進課)。市民自治推進課を経て2013年4月よりIT推進課。2014年4月より現職。※IT推進課での経歴。庁内情報システム構築及び運用、庁内ネットワーク整備、庁内システム構築ガバナンス担当等。

ビッグデータとプライバシー

3月12日(土) 9:30-12:00 「第3イベント会場 (厚生棟大中会議室)」

【セッション概要】

さまざまなシーンでビッグデータの利活用が進む一方で、ビッグデータに含まれるパーソナル情報の取り扱いについて十分な検討を行っておく必然性がある。また、個人情報保護法の改正、マイナンバーの利用の開始等、ますますパーソナル情報に関する課題は増えている。本セッションでは、個人情報保護法の改正の要点、マイナンバーにおけるプライバシーに関するポイントをまとめると共に、プライバシー情報を取り扱うための技術的枠組みであるパーソナルデータストアに関する研究動向などについて紹介する。



司会・講演：砂原 秀樹 (慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授)

【略歴】

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授。1988年慶應義塾大学理工学部博士課程修了。奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター教授、情報科学研究科教授を経て、2008年4月より現職。1984年からJUNETプロジェクト、1988年からWIDEプロジェクトを通じて、日本におけるインターネットの構築とその研究に従事。2005年よりインターネットを通じて環境情報を共有するLive E! Projectを開始。現在は、キャンパスのグリーンIT化を推進するプロジェクトの他に、自動車やさまざまなセンサをインターネットに接続して新たな情報通信基盤を構築するプロジェクト、救急車をインターネットに接続したモバイル救急救命室プロジェクト、情報銀行プロジェクトを進行中。



講演：佐藤 一郎（国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 教授）

【略歴】

国立情報学研究所・所長補佐／アーキテクチャ科学研究系教授、国立大学法人総合研究大学院大学複合科学研究科情報学専攻教授。慶應義塾大学理工学部電気工学科卒、同大学理工学研究科大学院計算機科学専攻博士課程修了、博士（工学）。内閣官房パーソナルデータに関する検討会委員／同技術WG主査、経済産業省産業構造審議会 IT 人材WG委員。専門は分散システム／クラウドコンピューティング。



講演：上原 哲太郎（立命館大学 情報理工学部情報 システム学科 教授）

【略歴】

1992年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了。1995年 同博士後期課程研究指導認定退学。1996年 京都大学博士（工学）。京都大学大学院工学研究科助手、和歌山大学システム情報学センター講師、京都大学工学研究科附属情報センター助教授、同学術情報メディアセンター准教授、総務省技官等を経て、2013年4月より現職。NPO 情報セキュリティ研究所理事、NPO デジタル・フォレンジック研究会理事、芦屋市 CIO 補佐官。サイバーセキュリティ、サイバー犯罪対策、自治体情報システムなどの研究に従事。

自動車の自動走行・高度運転支援技術開発の最前線 3月12日（土）13:00-15:00 「第3 イベント会場（厚生棟大大会議室）」

【セッション概要】

現在、自動車の自動走行技術、次世代の運転支援技術の実用化に向けた技術開発が加速しています。このパネルディスカッションでは、自動車の自動走行・高度運転支援技術開発をリードされている官庁、自動車メーカー、電装品メーカー、ベンチャー、研究所、大学の方々に、それぞれの取り組みをご紹介します。その後、技術開発やサービス創出の現状、課題、将来等について聴講者からの質問を交えて議論を行います。



司会：大前 学（慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科 教授）

【略歴】

2000年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。2000年 慶應義塾大学環境情報学部助手、2001年 同講師、2005年 同大学院 政策・メディア研究科助教授を経て、2013年より現職。自動車の自動運転、隊列走行、遠隔操縦等における自動車の運動制御、車車協調、路車協調技術の研究に従事。

13:00-13:15 パネルセッション (1) 「SIP「自動走行システム」の取組について」

森下 信（内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 参事官（戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）担当）付 企画官）

【講演概要】

「自動走行システム」は、府省庁の枠を超えて研究開発から出口（実用化・事業化）までを見据えた取組を行う「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」において、取組むべき11の課題のうちの1つとして「総合科学技術・イノベーション会議」で選定されており、その実用化に向けて、産学官が連携して推進している。SIPにおける「自動走行システム」は開発・実証をはじめとし、交通事故死者低減・渋滞低減のための基盤技術の整備、国際連携の構築、次世代都市交通への展開という4分野について35に及ぶテーマが進められている。今回は、SIP 主管の立場から今までの研究成果と最新の研究内容を紹介する。



【略歴】

1994年 郵政省（当時）に入省。2011年 総務省総合通信基盤局電波部基幹通信課重要無線室長。2013年 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課新世代移動通信システム推進室長。2015年 内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 参事官（戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）担当）付 企画官。SIP「自動走行システム」プロジェクトを担当。

13:15-13:30 パネルセッション (2) 「TOYOTA の自動運転技術が目指す交通社会」

遠藤 徳和（トヨタ自動車株式会社 BR 高度知能化運転支援開発室）

【講演概要】

トヨタ自動車は、「すべての人が安全、スムーズ、自由に移動できる社会の実現を目指す」Mobility Teammate Concept を発表し、スマートな交通社会に貢献できる自動運転技術を開発しています。人とクルマが、同じ目的を目指し、ある時は見守り、ある時は助け合う、気持ちが通った仲間の関係を築く、高度に安全な車作りの開発の現状を、社会・人・車の関係からご紹介いたします。



【略歴】

1986年 トヨタ自動車に入社。米国のトヨタテクニカルセンター、トヨタ IT 開発センター等を歴任。JASPAR、自動車技術会、自動車工業会等の標準化活動にも参画し、トヨタでは東富士研究所・豊田本社・東京開発センターの電子、制御領域にて、一貫して自動車の電子電機システム開発に取り組む。現在、制御システム先行開発部主査。

13:30-13:45 パネルセッション (3) 「自動運転実用化に向けた日立の研究開発」

横山 篤 (株式会社日立製作所 研究開発グループ 制御イノベーションセンタ グリーンモビリティ研究部 ユニットリーダー主任研究員)

【講演概要】

日立グループでは、駐車場や高速道路における自動運転に加え、一般道での自動運転実現に貢献する技術の先行研究にも取り組んでいます。一般道では、様々な障害物を認知し、これらの行動を予測・判断しながら、安全かつ周囲の流れに沿った運転操作が必要であり、自動運転実現に向けた課題は複雑です。人間が行う高度な認知・判断・操作を含む運転を一時的に代替するためには、移動体や障害物を認知することに加えて、その行動変化予測に基づいた運転を計画すること、安全に手動運転へ復帰することが求められます。このような課題に対する日立の研究開発の取り組みについて講演します。



【略歴】

1997年東京大学大学院工学系研究科修了後、(株)日立製作所機械研究所に入社。その後、一貫して自動車の走行制御システムの研究開発に従事。現在は、同社研究開発グループにて、自動運転システム、予防安全システムの研究開発を担当。

13:45-14:00 パネルセッション (4) 「Robot of Everything ～ ZMP で取り組む自動運転技術～」

景山 浩二 (株式会社 ZMP 新規事業推進室 室長, 自動運転技術統括フェロー)

【講演概要】

ZMPは、総合ロボット会社として、Robot of Everything, 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく、便利なライフスタイルを創造する、というミッションの下、自律移動技術、自動運転技術を核にロボットタクシーの実用化をはじめとして、自動車分野のみならず、物流、建機や農機、航空機への応用など、様々な分野での事業を展開しています。自動運転の早期実現に向けては、ベンチャーならではのスピードで日々研究開発を進めています。講演では、ZMPが目指す自動運転の世界と自動運転技術のご説明をし、自動運転実現に向けて考えていることなどをご紹介します。



【略歴】

1956年、高知県生まれ。1981年、京都大学理学部卒業。同年、ソニー(株)入社。1994年から2004年まで、家庭用自律型エンターテインメント・ロボット AIBO の開発責任者を務める。2015年、(株)ZMP入社。現在、同社新規事業推進室長、自動運転技術統括フェロー。

14:00-14:15 パネルセッション (5) 「JARI の自動走行研究実証事業への取組み」

谷川 浩 (一般財団法人 日本自動車研究所 ITS 研究部 部長)

【講演概要】

クルマ周辺の障害物を検出するセンサ技術や人工知能のような危険予測・判断技術などが飛躍的に進化しており、近い将来、ミスを犯し易い人間よりも運転の上手なクルマ(クルマの情報化や知能化等による自動走行)が実用化される可能性が見えてきました。自動走行の実用化によって、運転負担からの開放、交通事故やCO₂の削減、ドライバー不足の解消、高齢者等の移動自由度が確保できるなど、数々の社会的メリットも期待されています。また、その一方で、安全性や信頼性が心配されており、これまでのように製品・技術やそれを使うユーザーだけの責任ではなく、交通社会全体の課題として取り組むことが重要となります。本講演では、政府の成長戦略に掲げられた「自動走行」の技術研究や実用化に向けた取組み動向等をJARIの立場からご紹介するとともに、将来展望や課題について語ります。



【略歴】

1983年トヨタ自動車に入社。エンジン制御用電子システム、センサー開発、車内LAN、ソフトPFのや国際標準化活動等に従事。標準化活動、自動車メーカー・サプライヤー連携テーマの企画、共同開発やビジネスの仕組みづくりなどを幅広く経験。2004年にJaspar設立にも参画した。近年では先進的な制御システム開発の仕組み作りや先行開発業務に従事、2013年5月から日本自動車研究所に籍を置き現在に至る。

14:15-14:30 パネルセッション (6) 「金沢大学の市街地公道走行実証実験の概要とその成果について」

菅沼 直樹 (金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造コア 自動運転ユニット ユニットリーダー/准教授)

【講演概要】

これまで世界各国において自動運転自動車に関する研究が行われてきた。従来は高速道路のみを対象とした自動運転システムが研究されてきたが、近年では市街地をも含めた自動運転システムについても実フィールドにおけるテストが実際に行われるようになってきた。市街地を含めたいわゆる Door-to-door での自動運転はまさに夢の技術であり、これが可能となれば安全快適性の向上を図ることができると同時に、将来のライフスタイルをも変える様々な可能性を秘めている。このような自動運転自動車では様々なセンサを用いて周辺環境を認識すると同時に、それらの情報を処理し適切な判断を行う必要がある。本講演では金沢大学において開発した自動運転自動車の概要について述べるとともに、国内の大学としては初の試みとして実施中の市街地における公道走行実証試験の概要とその成果について述べる。



【略歴】

1998年金沢大学工学部機械システム工学科卒業。2002年金沢大学大学院博士後期課程早期修了。2002年日本学術振興会特別研究員(PD)を経て、同年金沢大学助手に着任。2015年より異分野融合の研究を主任務とする金沢大学新学術創成研究機構に移籍し、現在同機構自動運転ユニットユニットリーダー、准教授を務める。1998年から自動運転自動車の研究を開始し、2015年からは国内の大学として初となる市街地での公道走行実験も開始。日本ロボット学会、自動車技術会、計測自動制御学会、日本機械学会会員。

14:30-15:00 全体質疑

第1分冊

(コンピュータシステム)

一般セッション [1A会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

コンピュータシステム (1) 座長 並木 美太郎 (農工大)

- 1 ホールスラスト・シミュレーション向け Particle-In-Cell 法の GPU への移植
○宮島敬明, 張 科寅, 藤田直之 (JAXA)
- 2 縦方向への積層技術を用いた低コスト高速半導体不揮発性メモリの設計法
○渡辺重佳 (湘南工科大)
- 3 ストレージシステムにおける高性能可逆データ圧縮方式の開発
○水島永雅, 新井政弘, 小関英通, 河村篤志 (日立)
- 4 サステナブル・コントロール・エンジンのアーキテクチャ検討
○大橋 正 (アイリクト)
- 5 (講演取消)
- 6 コンテナ型仮想化環境向き負荷予測システム「Tetris」の開発
○叶 如絵, 田胡和哉 (東京工科大)
- 7 プライベートクラウドの利用効率改善方式の実践結果
○住田宏己, 吉本安男 (富士通)

一般セッション [2A会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)

コンピュータシステム (2) 座長 嶋田 創 (名大)

- 1 オフチップ相互結合網向け不規則トポロジのための容易に実装可能なルーティングアルゴリズム
○河野隆太, 中原 浩 (慶大), 藤原一毅 (NII), 松谷宏紀, 天野英晴 (慶大), 鯉淵道紘 (NII)
- 2 Modelling HPC Job Mapping by Reconfiguring Free-Space Optics Links
○胡 曜, 藤原一毅, 鯉淵道紘 (NII)
- 3 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA におけるデータ転送・保管システムの開発
○佐々木幸次, 高橋弘毅 (長岡技科大), 大原謙一 (新潟大), 神田展行 (阪市大)
- 4 FPGA用ソフトプロセッサにおけるキャッシュメモリの適応的手法
○宮内哲夫, 田中清史 (北陸先端大)
- 5 ルートコンプレックスの仮想化による CPU と I/O デバイスツリーの PCI-Express プロトコルレベルでの分離
○辻 聡, 鈴木 順, 林 佑樹, 菅 真樹, 宮川伸也, 馬場裕司 (NEC), 木村 司 (NEC 通信システム)
- 6 Enabling Fast Thousand-Core Processor Emulation using FPGAs
○Thiem Van Chu, 吉瀬謙二 (東工大)

学生セッション [1G会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

システムソフトウェア 座長 菅谷 みどり (芝浦工大)

- 1 ARM を利用した HADOOP クラスターの構築と評価
○呉 俊傑 (東京工科大)
- 2 料理レシピの食材の特売情報抽出システムの提案及び検討
○小泉ルウ, 三好 力 (龍谷大)
- 3 格納データの継続的な増加に対応した大規模ストレージシステムの省電力化手法
○細岡 晟, 長谷部浩二, 加藤和彦 (筑波大)
- 4 処理時間に着目した Linux カーネルの動作解析
○田原秀晃, 芝 公仁 (龍谷大)
- 5 Unikernel クラウドにおけるマルチスレッドアプリケーションを支援する VM スケジューラ
○田尻翔太, 宮澤 元, 野呂昌満 (南山大)
- 6 仮想化環境間のメモリ共有による資源管理の効率化
○山田晃潤, 芝 公仁 (龍谷大)
- 7 マルチコアプロセッサ環境における組込みシステム向け VMM のメモリ管理
○前田剛志, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)

学生セッション [2G会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)

数値計算 座長 櫻井 隆雄 (日立)

- 1 線形発展方程式のための Inexact shift-invert Arnoldi 法
○橋本悠香, 野寺 隆 (慶大)

- 2 Tikhonov 正則化を用いた GKB-GCV 法の収束特性の解析
○富樫 大, 野寺 隆 (慶大)
- 3 時系列シミュレーションのための SMW 公式を用いた並列ソフトウェアパイプラインの高速化
○柴田直樹, 柿本隆介, 福岡慎治, 森眞一郎 (福井大)
- 4 標本点逐次追加型性能パラメータ推定法における複数パラメータ上での探索方法
○望月大義, 村田 陸, 藤井昭宏, 田中輝雄 (工学院大)
- 5 Matrix Powers Kernel の反復解法への適用
○野地優希, 熊谷洋佑, 藤井昭宏, 田中輝雄 (工学院大)
- 6 時間方向のマルチグリッド法におけるレベル間自由度に関する考察
○金子重郎, 田口悠太, 野村直也, 藤井昭宏, 田中輝雄 (工学院大)
- 7 CIP 法を用いた3次元音響シミュレーションの GPU 実装
○大島和輝, 楡井雅巳 (長野高専)

学生セッション [3G会場] (3月11日(金) 9:30~12:00)

組込みシステム (1) 座長 早川 栄一 (拓大)

- 1 複数台の分散移動ロボットの動作と電力消費特性に基づく管理手法の提案
○清水航平, 中山 悟, 菅谷みどり (芝浦工大)
- 2 コンテキスト指向プログラミングのロボット事例への適用検討
○小野建也, 菅谷みどり (芝浦工大)
- 3 STAMP/STPA に基づくリアルタイム制御システムにおける障害診断の検討
○鎌田大貴, 小林良輔 (愛知工大), 伊藤信行, 小林幸彦 (三菱電機エンジニアリング), 梶 克彦, 内藤克浩, 水野忠則, 中條直也 (愛知工大)
- 4 安全プロセッサのためのリアルタイムオペレーティングシステムの提案
○斎藤弘樹, 北道淳司 (会津大)
- 5 bsdiff を応用した ECU ソフトウェア高速ダウンロード
○小沼 寛, 野澤優尚, 清原良三 (神奈川工科大)
- 6 An Approach to Real Time Tennis Ball Speed Analysis on Tablet PC
○Paniti Achararit, 松田裕貴, 吉瀬謙二 (東工大)
- 7 可搬型災害時周辺情報把握システム
○植田健太, 曾根 諒, 神戸英利 (電機大)
- 8 災害時探索用無人航空機に用いるアンテナの開発
○曾根 諒, 植田健太, 神戸英利 (電機大)
- 9 SH3 マイコンボードを用いる CDMA 無線伝送シミュレータの製作
○岡宏次朗, 工藤栄亮 (東北工大)

学生セッション [4G会場] (3月11日(金) 13:00~15:00)

組込みシステム (2) 座長 福田 浩章 (芝浦工大)

- 1 (講演取消)
- 2 能動的なロボットと人の関係についての考察
○岡田明帆, 菅谷みどり (芝浦工大)
- 3 反応角度を自動調節するジョイスティック型コントローラの開発と操作性評価
○比嘉 聖, 神里志穂子, 眞喜志隆, 佐竹卓彦 (沖縄高専), 山田孝治 (琉球大)
- 4 クラウドコンピューティングを用いた複数の UAV の遠隔操作支援システムの実装
○重國高志, 安積卓也, 潮 俊光 (阪大), 滝本 隆 (北九州高専)
- 5 直感的に操作可能な音声認識リモコンの研究
○荒木恭平, 三好 力 (龍谷大)
- 6 加速度センサを用いた簡易ポインティングデバイスの作成と最適な操作方法の検討
○大森慎也, 三好 力 (龍谷大)
- 7 イルミネーションを利用したデジタルサイネージの研究
○鹿島涼太, 小谷 慎, 神戸英利 (電機大)

学生セッション [5G会場] (3月11日(金) 15:20~17:50)

ロボット・リアルタイムシステム 座長 千代 浩之 (慶大)

- 1 スマートフォンによる在室管理を用いた家電制御最適化の検討
○田中大地, 三好 力 (龍谷大)
- 2 (講演取消)

- 3 分散ロボットシステムサーバのための応答性向上手法
○中山 悟, 中野美由紀, 菅谷みどり (芝浦工大)
- 4 (講演取消)
- 5 RMT Processor の割込み起床機構を用いた低遅延分散リアルタイム実行
○大沢幸平, 羽鳥雄介, 溝谷主悟, 千代浩之, 山崎信行 (慶大)
- 6 IPC 制御時の RMT Processor のスループット向上手法
○村田太郎, 山崎信行 (慶大)
- 7 実行時間予測による適応型リアルタイムスケジューリング
○森本恵一, 田中清史 (北陸先端大)
- 8 スラックを利用した実行権移譲スケジューリングアルゴリズム
○鈴木隆元, 田中清史 (北陸先端大)
- 9 Efficient User Space Scheduler Library for FreeRTOS
○加勢路敏, Thiem Van Chu, 吉瀬謙二 (東工大)
- 学生セッション [6G 会場] (3月12日(土) 9:30 ~ 12:00)**
プロセッサアーキテクチャ 座長 田中 清史 (北陸先端大)
- 1 gem5を用いた独自 SIMD 拡張 MIPS プロセッサシミュレータの実現
○橋本瑛大, 平石康祐, 大津金光, 横田隆史, 大川 猛 (宇都宮大)
- 2 SIMD 拡張 MIPS ソフトコアプロセッサ向けのリモートデバッグの実現
○深堀陽介, 平石康祐, 橋本瑛大, 大津金光, 横田隆史, 大川 猛 (宇都宮大)
- 3 マルチプロセッサにおける DVS を用いたリアルタイムタスクの消費電力の削減
○三津橋諒也, 兪 明連 (東京都市大)
- 4 ヘテロニアスメニーコアプロセッサにおける最適並列処理の決定方式に関する検討
○菊池祐貴, 大津金光, 馬場敬信, 横田隆史, 大川 猛 (宇都宮大)
- 5 FPGA 上での 4ALU プロセッサの並列・連鎖演算ユニットの設計
○岩見佑一郎, 古川晋也, 孟 林, 山崎勝弘 (立命館大)
- 6 バス限定 ALU カスケードリングのための命令並び替えの設計と評価
○鈴木杏理 (豊橋技科大), 嶋田 創 (名大), 小林良太郎 (豊橋技科大)
- 7 Verilog HDL で記述する RISC-V 命令セットのアウトオブオーダー実行プロセッサ
○藤浪 将, 眞下 達, 吉瀬謙二 (東工大)
- 8 機能ユニットの使用状況に基づくパイプラインステージ統合管理機構
○田中勇氣, 中野秀洋, 宮内 新 (東京都市大)
- 9 CPU パイプラインにおける命令発行部の多重化によるステージ利用の効率化
○田中勇氣, 中野秀洋, 宮内 新 (東京都市大)
- 学生セッション [7G 会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)**
相互結合網 座長 横田 隆史 (宇都宮大)
- 1 単フリット・ワームホール混在型ルーティングの提案
○杉岡純平, 三浦康之 (湘南工科大)
- 2 ラック間をまたぐ計算コンポーネント間通信への光無線バスの割り当て手法
○原 弘明, 尾崎友哉, 森島 信, 松谷宏紀 (慶大)
- 3 二次元トラス・ネットワークの適応ルーティングにおける性能改善法の検討
○守屋 拓, 三浦康之 (湘南工科大)
- 4 3D-NoC トポロジにおける消費エネルギー・平均最短距離最適化
○中原 浩, 安戸僚汰, 松谷宏樹 (慶大), 鯉淵道紘 (NII), 中野浩嗣 (広島大), 天野英晴 (慶大)
- 5 誘導結合通信リンクを用いた 3 次元直線状ネットワークの予備評価
○野村明生, 松谷宏紀, 天野英晴 (慶大)
- 6 ExpEther におけるパケット圧縮手法の提案
○志村英樹, 天野英晴, 三石拓司 (慶大)
- 7 Hybrid Memory Cube を用いたランダムメモリネットワークにおけるエネルギー評価
○藤木大地, 松谷宏紀 (慶大), 鯉淵道紘 (NII), 天野英晴 (慶大)
- 学生セッション [1H 会場] (3月10日(木) 9:30 ~ 12:00)**
アクセラレータ (1) 座長 松谷 宏紀 (慶大)
- 1 組込みシステム教育のための FPGA ボードの開発
○大原遼太郎, 小早川倫広 (都立産業技術高専)
- 2 FPGA 実験ボード上のオーディオコーデックを用いた A/D-D/A 変換に関する研究
○杉本尚之, 松崎隆哲 (近畿大)
- 3 GPGPU-Sim の並列化
○川井博斗, 味曾野智礼, 吉瀬謙二 (東工大)
- 4 Fast Merge Network for Sorting on FPGA
○眞下 達, 松田裕貴, 吉瀬謙二 (東工大)
- 5 (講演取消)
- 6 FPGA システムにおけるデータ圧縮を活用した Skewed DRAM キャッシュ
○大谷伸吾, 小川愛理, 吉瀬謙二 (東工大)
- 7 世界最速の FPGA ソーティングアクセラレータの初期検討
○白井琢真, 眞下 達, 松田裕貴, 小林諒平, 吉瀬謙二 (東工大)
- 8 Frix: Feasible and Reconfigurable IBM PC Compatible SoC
○松田裕貴, 小川愛理, 味曾野智礼, 小林諒平, 吉瀬謙二 (東工大)
- 9 PC-FPGA 統合フレームワークの比較評価
○味曾野智礼, 吉瀬謙二 (東工大)
- 学生セッション [2H 会場] (3月10日(木) 13:00 ~ 15:30)**
アクセラレータ (2) 座長 吉瀬 謙二 (東工大)
- 1 データフロー構成による高演算効率 DCNN を用いた高速移動物体の識別
○李 寧, 高木俊平 (農工大), 富岡洋一 (会津大), 北澤仁志 (農工大)
- 2 SIMD アレイ型 FPGA を用いた Multi-Stream Tracking における DCNN による物体識別
○高木俊平, 李 寧, 北澤仁志 (農工大)
- 3 FPGA コンポーネントを用いた水中ロボット制御の高速化
○木村仁美, 山科和史, 大川 猛, 大津金光, 横田隆史 (宇都宮大)
- 4 (講演取消)
- 5 FPGA 上でのクアドパイプラインを用いた BLOB 検出
○真崎世文, 孟 林, 山崎勝弘 (立命館大)
- 6 カラム指向型データベース向け FPGA NIC ハードウェアキャッシュ機構
○濱田耀彦, 松谷宏紀 (慶大)
- 7 DRAM と SSD を有する Key - Value Store アプリケーションを想定したメモリ割り当て手法
○小松広明, 松谷宏紀 (慶大)
- 8 PEACH3 の通信性能測定
○金田隆大, 鶴田千晴 (慶大), 埜 敏博 (東大), 天野英晴 (慶大)
- 9 重力計算アプリケーションにおける PEACH2 へのオフローディング
○鶴田千晴 (慶大), 三木洋平 (筑波大), 金田隆大, 天野英晴 (慶大)
- 学生セッション [3H 会場] (3月11日(金) 9:30 ~ 12:00)**
回路とデバイス 座長 今井 雅 (弘前大)
- 1 CPU-FPGA 密結合アーキテクチャを用いた Full-PIC 法の高速度化の検討
○酒井諒太郎, 天野英晴 (慶大), 宮島敬明 (JAXA), 杉本 成 (慶大)
- 2 SSD の耐久性を高めるキャッシュアーキテクチャの検討
○小川愛理, 吉瀬謙二 (東工大)
- 3 LP ガス使用時における廃棄エネルギーの回収システム
○服部郁哉, 籾木崇史 (青学大), 渡辺嘉二郎 (法大), 栗原陽介 (青学大)
- 4 束データ方式に基づく非同期回路の遅延自動設定手法の提案
○江原宏紀, 松本 敦 (群馬高専)
- 5 超低電力再構成可能アクセラレータ CCSOTB の実装と評価
○増山滉一朗, 藤田 悠, 奥原 颯, 天野英晴 (慶大)
- 6 再構成可能アクセラレータにおける中間粒度ボディバイアス制御を用いた電力最適化
○松下悠亮, 奥原 颯, 増山滉一朗, 藤田 悠, 天野英晴 (慶大)
- 7 電力モデルを用いた汎用 CPU V850 の電力最適化
○奥原 颯, 藤田 悠, 天野英晴 (慶大)
- 学生セッション [4H 会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)**
並列アルゴリズム 座長 三浦 康之 (湘南工科大)
- 1 確率付き集合回遊中心性に基づく重要観光スポットの並列計算
○大石真生, 湯瀬裕裕, 齊藤和巳, 渡邊貴之 (静岡県大)

- 2 極大独立集合問題における並列性と解の精度
○根本 望, 野村直也, 藤井昭宏, 田中輝雄 (工学院大)
- 3 ハイブリッド制御処理系 HyLaGI の並列化
○伊藤剛史, 松本翔太, 上田和紀 (早大)
- 4 Multiple PVAS を用いた MapReduce フレームワークの木構造処理による性能評価
○本田 舜, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)
- 5 Xeon-Phi による MPS 法における近傍粒子探索の高速化
○高橋知克, 伊藤裕一, 丸山真佐夫 (木更津高専)
- 6 タスクスケジューリング問題における DF/IHS 法のハッシュテーブルを用いた探索ノード数削減
○松瀬弘明, 中村あすか, 富永浩文, 前川仁孝 (千葉工大)
- 7 動的なノード数変更に対応した MPI 並列処理のための負荷分散手法の実装
○澤田祐樹, 大津金光, 横田隆史, 大川 猛 (宇都宮大)

学生セッション [5H 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

GPGPU 座長 土井 淳 (日本 IBM)

- 1 Spark におけるリダクション及びトランスフォーメーション処理の GPU 実行
○大野泰弘, 森島 信, 松谷宏紀 (慶大)
- 2 MapReduce のための GPU 処理フレームワーク
○大江喜渡, 廣津登志夫 (法大)
- 3 PCI Express 拡張 Box と仮想 GPU との計算性能比較
○瀬戸口幸寿, 成見 哲 (電通大)
- 4 大規模計算機ホログラム生成プログラムのマルチ GPU を用いた高速化
○渡邊晋平, Jackin Boaz Jessie, 大川 猛, 大津金光, 横田 隆, 早崎芳夫, 谷田貝豊彦, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 5 マルチ GPU を用いた三次元 MRI 圧縮センシング再構成の高速化
○小野寺有太, 伊藤聡志, 山田芳文 (宇都宮大)
- 6 GPU を用いた類似画像検索の高速化
○草村優太, 小澤佑介, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
- 7 GPGPU による電位・電界シミュレーションの高効率化
○松原 翼, 上嶋 明, 尾崎 亮, 小畑正貴 (岡山理大)
- 8 GPU を用いたボラード・ロー法の実装
○中村 優, 久保田光一 (中大)

第1分冊

(ソフトウェア科学・工学)

一般セッション [3A 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

アルゴリズム 座長 周 暁 (東北大)

- 1 完全グラフのオイラー回路の性質の証明への計算機の活用
○神保秀司 (岡山大)
- 2 仮想グリッドネットワークにおけるスタイナー木生成のための自律分散アルゴリズムに関する研究
○金 鎔煥 (名工大), 増澤利光 (阪大)
- 3 容量制約なし施設配置問題に適した ABC アルゴリズムの適応度の考察
○渡邊悠介, 高谷真弓, 山村明弘 (秋田大)
- 4 整数行列の正則性を簡約行列を用いて明確に判定する方法
○出口洋三 (無所属), 豊泉正男 (東洋大)
- 5 Riemannian preconditioning for tensor completion
○笠井裕之 (電通大), Bamdev Mishra (Amazon Development Centre India)

一般セッション [4A 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)

開発支援 座長 立石 孝彰 (日本 IBM)

- 1 関数型言語 SML# による開発支援のための Eclipse プラグインの開発
○高梨勝敏, 菊地大介, 齋藤邦夫, 手塚 大 (日立ソリューションズ東日本)
- 2 ソフトウェア群の差分アップデート手法
○菅原直樹, 三浦昭浩, 古澤康一 (三菱)
- 3 スプリングアルゴリズムを用いたソフトウェア部品グラフの視覚化手法について
○横森励士, 竹仲孝盛 (南山大)

- 4 SysML ステートマシン図から簡素な SPIN モデルへの変換手法
○安藤崇央, 宮本裕也, 谷津弘一, 久住憲嗣, 福田 晃 (九大), 道浦康貴, 酒見慶太, 松本充広 (有人宇宙システム)
- 5 Minisat との比較による Haskell SAT ソルバーの高速化
○橋崎修二 (長崎大)
- 6 システムズエンジニアリングの効果検証: 学生ロケットプロジェクトへの導入実験
○伊藤夏青 (横浜国大), 秋元賢佑 (千葉工大), 小布施聡 (慶大), 菅田徹也, 吉本直哉 (横浜国大), 玉越大資 (首都大), 嶋津恵子 (産業技術大)

一般セッション [5A 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

要求・モデリング 座長 青山 幹雄 (南山大)

- 1 要求獲得過程の観測と評価に関するツールの開発
○岡野道太郎 (筑波大), 中谷多哉子 (放送大)
- 2 自然言語処理を利用した要求仕様からの UTP モデル抽出方法
○増田 聡 (日本 IBM), 松尾谷徹 (デバッグ工学研究所), 津田和彦 (筑波大)
- 3 事例ベース意思決定理論に基づくゴール分解の数理モデル構築構想
○佐藤慎一 (青学大)
- 4 エンタプライズ系業務システムの仕様を VDM++ で記述する設計手法の提案
○濱野義満 (富士通), 宗像一樹 (富士通研), 鈴木庸介, 野田恵子 (富士通)
- 5 形式的仕様を段階的に作成するためのシステムのモデル化技法
○山田隆弘 (JAXA)
- 6 視覚表現と協働性を重視した WEB ベースなシステムモデリングツール
○三浦政司 (鳥取大), 南部陽介 (阪府大), 吉澤良典 (筑波大), 萩原利土成, 木村俊介, 弓山 彬, 五十嵐智 (無所属)
- 7 ドメイン共通制約の構造化方法
○佐藤秀昭, 伊豆倉さやか, 細野 繁 (NEC)

一般セッション [6A 会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

システム開発 座長 岸 知二 (早大)

- 1 (講演取消)
- 2 オフショア開発におけるドキュメント支援技術の効果
○草刈敏幸, 清水理恵子, 内門隆治, 河地真行, 中村早希, 小林義行, 間瀬久雄 (日立)
- 3 UI デザイン合意のためのモックアップ活用ガイドラインの構築
○引地一将, 北村俊介, 山口 潔 (日立製作所情報・通信システム社)
- 4 業務分析とデータ分析を統合した業務システムマイグレーション方法の提案と評価
○佐藤 賢, 青山幹雄 (南山大)
- 5 ナイブペイズを用いたソフトウェア不具合の修正者自動割り当て手法
○田中裕大, 加瀬直樹, 夏目珠規子, 市田憲明 (東芝)

一般セッション [7A 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)

数理モデル化と問題解決 (5) 座長 林田 守広 (京大)

- 1 セミ・ローカルな情報に基づくコミュニティ抽出とコミュニティ構造の動的変化
○水野貴之, 秋葉拓哉 (NII), 新井優太 (リクルート住まい研究所), 家富 洋, 伊藤亮人 (新潟大)
- 2 政府統計を用いた国内観光状況の網羅的分析
○佐藤彰洋 (京大)
- 3 経済社会データおよび環境データを用いた空間評価指標の大規模計算
○佐藤彰洋 (京大), 榎峠弘樹 (Triton Re), Tae-Seok Jang (SNU), 澤井秀文 (NICT)
- 4 投資家の収益性に基づく意思決定が株式市場に与える影響
○宮坂純也, 穴田 一 (東京都市大)
- 5 費用見積りのための資源配分を考慮した競争入札戦略
○高野祐一 (専修大), 石井信明 (文教大), 村木正昭 (東工大)

一般セッション [1B会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

数理モデル化と問題解決 (1) 座長 松田 健 (静岡理工科大)

- 改良型 Memory と解が与えるインパクトを用いた MAX-MIN Ant System
○磯崎敬志, 穴田 一 (京都市大)
- 製造 KPI シミュレーションを用いた標準時間の適正化技術
○黄 双全, 宗形 聡, 浦邊信太郎 (日立ソリューションズ東日本)
- (講演取消)
- ドローン飛行網の最適設計手法
○浜中雅俊 (京大), 塩見英樹 (データ未来研究センター)
- サッカーの攻守推移モデルに基づくパス抽出の評価
○大塚 寛, 山中 亮, 佐藤祐亮 (愛媛大)
- 矩形地形図の三角化手法
○夜久竹夫, 横田 健, 荒野 純 (日大), 宮寺庸造 (東京学芸大), 能登 瞳, 鈴木智紗子, 湯浅日夏子 (日大)
- 有限フレネル変換による関数近似
○青柳智裕, 大坪絢一, 青柳宣生 (東洋大)

学生セッション [6H会場] (3月12日(土) 9:30~12:00)

数理モデル化と問題解決 (4) 座長 佐藤 寛之 (電通大)

- 球面上における巡回セールスマン問題ソルバーの開発と評価
○小林奎太, 黒田久泰 (愛媛大)
- (講演取消)
- 方形導波管誘導性ポスト付き共振器の粒子群最適化を用いた設計
○仁平岳志, 松本達真, 平岡隆晴, 豊嶋久道 (神奈川大)
- 資源共有問題における表現型可塑性と個性の多様化に関する進化モデル
○土屋礼徳, 鈴木麗麗, 有田隆也 (名大)
- アオモンイトトンボの頻度依存選択に関するエージェントベースモデル
○藤野準平, 武藤敦子, 加藤昇平, 森山甲一, 犬塚信博 (名工大)
- 時変パラメータをもつテクニカル指標を用いた取引システムの最適化
○秋山 翔, 加藤拓貴, 山口拓也, 平岡隆晴, 豊嶋久道 (神奈川大)
- 繰返し囚人のジレンマゲームにおける非報復戦略の可能性
○藤原紫王里, 中桐齊之 (兵庫県大)
- 関連銘柄同定のための時系列データ類似度尺度の提案
○小沢育実, 関 和広 (甲南大)
- 友人関係ネットワークを用いたコミュニティの時間推移の分析
○三木友祐, 武藤敦子, 森山甲一, 犬塚信博 (名工大)

学生セッション [7H会場] (3月12日(土) 13:00~15:00)

プログラミング (2) 座長 佐藤 芳樹 (東大)

- コンフリクトに焦点を当てた新しいバージョン管理システムの開発
○堀脇尚人, 長 慎也 (明星大)
- C 言語プログラムを対象とした盗用検知手法の提案および実装
○東 拓磨, 篠埜 功 (芝浦工大)
- バージョン管理システムと連携したソースコードへのアノテーションによるプログラミング学習支援システム
○伊藤瑠哉, 竹島 亮, 長尾 確 (名大)
- 類似コード検出に向けた中間言語の視覚化
○半澤順一, 佐藤 喬 (都立産業技術高専), 小宮常康 (電通大)
- 変数の変更履歴を用いたデバッグ支援
○下山真明 (明星大), 寺田 実 (電通大), 丸山一貴 (明星大)
- 実世界インタフェースのビジュアルプログラミング手法の提案
○大竹 遼 (早大)

学生セッション [1J会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

テスト・保守 座長 深澤 良彰 (早大)

- Twitter から取得するモバイルアプリケーションの保守に有用な情報
○叶野雄与, 高田真吾 (慶大)
- SPL 開発におけるペアワイズ法を用いたテスト手法について
○城谷まりな, 岸 知二 (早大)
- 形式仕様に基づくテストケース生成法の有用性の評価
○福岡真吾, 劉 少英 (法大)
- システム機能と状態遷移の関連付けによる組込みシステム向けテスト項目設計手法の検討
○小川 優, 増田智樹, 平山雅之 (日大), 菊地奈穂美 (沖電気)

5 Mobile Application Testing Focusing on External Event
○Siena Yu, Shingo Takada (Keio University)

- Fault-Prone モジュール予測を利用した効率的な上位テスト手法の提案
○北村宗大, 岸 知二 (早大)
- Web アプリケーションの UI テスト支援用 DSL の開発
○延原宙斗, 佐々木晃 (法大)
- Generating Test Cases for GUI-based Android Applications by Modeling and Change Analysis
○Jose Lorenzo San Miguel, Shingo Takada (Keio University)
- タンジブル UI を使った Sound Coupling と Cohesion Coupling によるソフトウェアの再構性
○岡崎知也, 吉田 誠 (岡山理大), 岩根典之 (広島市大)

学生セッション [2J会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)

開発支援・プログラミング

座長 長谷川 勇 (スクウェア・エニックス)

- IntentService を用いた非同期処理への Android アプリケーションリファクタリング手法
○萩原優樹, 高田真吾 (慶大)
- (講演取消)
- 実行履歴情報に基づく教育用 C 言語理解支援ツール
○佐藤雄二, 大坪 聖, 紫合 治 (電機大)
- ユーザ嗜好に基づいた Web サービス選択アルゴリズムの推薦
○西田和馬, 高橋竜一, 深澤良彰 (早大)
- 初学者を対象としたプログラム中の識別子の適切性評価
○川端盛志, 玉田春昭 (京産大)
- Web サービス自動構築を目的とした Java アプリケーションに対する REST インタフェース自動生成
○石川諒大, 名倉正剛 (日大)
- タッチデバイス向け java エディター
○早川友啓, 小川大輔, 紫合 治 (電機大)
- ウェブブラウザを用いたプログラミング学習支援環境
○石嶋 慧, 平川 豊, 大関和夫 (芝浦工大)
- 協調フィルタリングを用いた関数候補推薦方式の提案
○櫻井佳樹 (早大)

学生セッション [3J会場] (3月11日(金) 9:30~12:00)

モデル・設計 座長 紫合 治 (電機大)

- ゲートウェイクラウドを用いたサービス指向 IoT アーキテクチャの提案
○濱野真伍, 久間一輝, 青山幹雄 (南山大)
- SOFL 非形式仕様の図化支援ツールの開発
○鈴木優也, 劉 少英 (法大)
- 複数コンテキストドメインにまたがる Linked Data を用いたコンテキストモデル構築方法の提案と評価
○内海太祐, 青山幹雄 (南山大)
- UML モデリングツールと GUI ビルダによる相互的なモデリング手法の実装と適用事例による評価
○松井浩司, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 適応型ルールベースコンテキストモデル生成方法の提案と評価
○豊田丈晃, 青山幹雄 (南山大)
- VDM++ 仕様から C# コードを生成するツールの開発
○千坂優佑 (仙台高等専門学校 広瀬キャンパス), 岡本圭史 (仙台高専)
- 形式的ソフトウェア合成手法 MSSS の妥当性評価実験
○岡野純平, 織田 健 (電通大)
- B-Method における段階的詳細化を考慮した形式的ソフトウェアのモデル細分化
○福泉真隆, 織田 健 (電通大)

学生セッション [4J会場] (3月11日(金) 13:00~15:00)

プログラミング (1) 座長 小宮 常康 (電通大)

- Web プログラマのための JavaScript 言語の改良
○柏倉 歩, 大谷 真 (湘南理工大)
- Ruby 用トレーシング実行時コンパイラの実装
○田中達也, 松原俊一, Martin Duerst (青学大)

- 3 動的型付け言語における構文拡張による曖昧性の回避手段の提供
○岩間雄太, 市川和央, 千葉 滋 (東大)
- 4 密な演算子呼び出しで実現した内部 DSL の前処理による実行速度改善の試み
○長田朋久, 千葉 滋 (東大)
- 5 (講演取消)
- 6 大規模コードクローン検出のための, 部分一致文字列を対象とした省メモリ化プログラム変換の予備的な性能評価
○山崎徹郎, 佐藤芳樹, 千葉 滋 (東大)

学生セッション [5J 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

- ソフトウェア解析 座長 松浦 佐江子 (芝浦工大)
- 1 可逆圧縮を利用したプロダクト派生関係推定手法の実験的評価 - 圧縮アルゴリズム毎の誤りの傾向分析 -
○索手一平, 早瀬康裕, 北川博之 (筑波大)
- 2 Human Interface Guideline に基づく GUI のユーザーエラー防止性自動評価手法
○片桐健吾, 小形真平, 岡野浩三 (信州大)
- 3 ソースコード変更時の影響波及範囲解析ツールの実装
○梅門 創, 佐々木稜, 菅原拓海, 大久保建男, 福原和哉, 猪股俊光, 今井信太郎, 新井義和 (岩手県大)
- 4 GitHub 上のソフトウェア開発のためのフロー推薦手法
○若月 純, 矢吹太郎 (千葉工大)
- 5 逆難読化に向けての適用された難読化手法の特定
○匂坂勇仁, 玉田春昭 (京産大)
- 6 API 利用における設計構造のパターンマイニング手法について
○宮里章太, 岸 知二 (早大)
- 7 実行トレースに着目したソフトウェア保護機構のステルス考察
○松田篤和, 神崎雄一郎 (熊本高専)
- 8 匿名関数を含む Scala メソッドに対するコメントの自動生成
○十亀真怜, 斎藤博昭 (慶大)
- 9 LLVM IR を対象としたプログラムスライシングツール
○齋藤崇雅, 栗田大樹, 増原孝昭, 芳賀博英 (同志社大)

学生セッション [6J 会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

- アルゴリズム 座長 堀山 貴史 (埼玉大)
- 1 フィードバック独立点集合問題の計算複雑性
○田村祐馬, 伊藤健洋, 周 暁 (東北大)
- 2 シュタイナー木問題に対する近似アルゴリズムの実際的な性能評価
○菅原惇平, 鮎川矩義, 浅野孝夫 (中大)
- 3 頂点のもつ可変量の均等化を利用したグラフの分割状況に対する辺の重要度算出手法
○濱田賢人, 篠宮紀彦 (創価大)
- 4 彩色自由度を用いたレジスタ割り当てに基づくソフトウェアウォーマーキング
○秋元陽祐, 平井佑樹, 並木美太郎, 金子敬一 (農工大)
- 5 (講演取消)
- 6 (講演取消)
- 7 Frequent Multi-byte Characters String Mining Using Wavelet Tree-based Compress Suffix Array
○パースチーブ チョーットニティ, 高須淳宏 (総研大)
- 8 三次元空間における粒子衝突とクラスターの構成におけるイベントリストの効率化
○野口耀介, 志田晃一郎 (東京都市大)
- 9 GPU による幾何計算のための空間分割アルゴリズムについて
○石河孝太, 山本修身 (名城大)

学生セッション [7J 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)

- 要求・教育 座長 鷲見 毅 (東芝)
- 1 データ駆動要求獲得方法の提案と評価
○藤本玲子, 青山幹雄 (南山大)
- 2 図要素間の依存関係によるクラス図の段階的採点支援手法
○宮島和音, 小形真平, 香山瑞恵, 岡野浩三 (信州大)
- 3 バージョン管理の Web ベースチュートリアルを用いた初学者の振舞分析
○津崎豪宏, 玉田春昭 (京産大)

- 4 組み込みシステムにおける設計制約の導出手法
○西川 俊, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 5 安全性要求獲得方法の提案と評価
○松原百映, 河合亜実, 青山幹雄 (南山大)
- 6 要求文のベクトル化による要求文間の包含関係検出法の提案
○吉成未菜里, 岡本圭史 (仙台高専)
- 7 遺伝的アルゴリズムによる複雑ネットワーク上のコスト付汚染拡散最小化問題へのアプローチ
○和泉元陽介 (京都情報大)

学生セッション [2K 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

- 数理モデル化と問題解決 (2) 座長 庄野 逸 (電通大)
- 1 商品レビューの評判要因分析のためのトピックモデルの適用に関する検討
○月岡晋吾, 吉川大弘, 古橋 武 (名大)
- 2 適応 TAP 近似を用いたガウス型制限ボルツマンマシンの学習
○高橋菜子, 安田宗樹 (山形大)
- 3 過完備 ICA における自然勾配型アルゴリズムの提案と画像認識への適用
○菅原光太郎 (東工大)
- 4 左打ち切りデータの回帰分析のための期待値最大化法
○長谷川洵, 加藤 毅 (群馬大)
- 5 二次元格子モデルによる工場立地と閉鎖のシミュレーション
○藤原涼子, 中桐斉之 (兵庫県大)
- 6 多数の離散変化をともなうハイブリッドシステムに対する不変条件を用いた解析
○別納健市, 松本翔太, 若槻祐彰, 上田和紀 (早大)
- 7 ある水産加工工業社における在庫管理方式の検討
○森 友哉, 小林敏也, 宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)
- 8 形式概念束の簡約化のための概念間の距離に関する検討
○寺町太貴, 石樽隼人, 武藤敦子, 森山甲一, 犬塚信博 (名工大)
- 9 45° 系格子パターンに含まれる形式的折り線図の平坦折り可能性評価手法
○松川剛久, 金森由博, 三谷 純 (筑波大)

学生セッション [3K 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- 数理モデル化と問題解決 (3) 座長 吉川 大弘 (名大)
- 1 車両運用計画最適化への並列処理技術の適用
○平方 敦, 小高知宏, 黒岩丈介, 白井治彦 (福井大)
- 2 GPS データを用いた屋外大規模イベント終了後の人流解析
○三島嵩晃, 藤原裕樹 (東京高専), 石黒陽介 (北陸先端大), 山下晃弘 (東京高専), 山下倫央 (産総研)
- 3 SVM によるリアルタイム河川水中大腸菌濃度予測
○小林美里 (群馬大), 佐野大輔 (北大), 加藤 毅 (群馬大)
- 4 ペトリネット検証ツール HiPS における LTL 仕様に基づいた On-the-fly/Fluent モデル検査
○張江洋次朗, 和崎克己 (信州大)
- 5 SOM によるプロ野球選手のクラスタリングと AHP によるチーム補強戦略の意思決定
○榎元将大, 小原和博 (千葉工大)
- 6 (講演取消)
- 7 ベクトル場による注射技術における手指運動の解析
○野口俊樹 (静岡理工科大), 大谷康介 (binary lab), 松田 健 (静岡理工科大), 真嶋由貴恵 (阪府大)
- 8 クロスサイトスクリプティング (XSS) 攻撃の検知におけるバッチ学習とオンライン学習の比較実験
○梅原章宏 (中大), 松田 健 (静岡理工科大), 園田道夫 (中大), 水野信也 (静岡理工科大), 趙 晋輝 (中大)
- 9 離散的なアップロード帯域をもつ分散ネットワーク上の MPVC 問題
○安藤啓紀, 藤田 聡 (広島大)

第1分冊

(データとウェブ)

一般セッション [2B会場] (3月10日(木) 13:00 ~ 15:30)

ストレージとその利用法 座長 川島 英之 (筑波大)

- 3 拠点間でデータ冗長化を自動継続する高可用システムのストレージ制御方式
○須藤 梓, 斎藤秀雄, 川口智大, 長尾 尚 (日立)
- 運用で使われているファイルサーバボリュームのデータ重複率の測定と評価
○荻原一隆 (富士通研)
- カーネルトレーサを用いた PostgreSQL の入出力挙動の観測と一考察
○加藤千裕, 早水悠登, 合田和生 (東大), 喜連川優 (東大/NII)
- DIAS における AMeDAS、GPV の降雨情報の取得および利用環境の構築
○佐野仁美, 生駒栄司 (東大), 喜連川優 (NII/東大)
- XRAIN 雨量データ視覚化・ダウンロードシステム「AMeNOW!」の構築
○生駒栄司, 佐野仁美, 松村浩道, 根本利弘, 小池俊雄 (東大), 喜連川優 (NII/東大)

一般セッション [3B会場] (3月11日(金) 9:30 ~ 12:00)

データ解析 座長 天笠 俊之 (筑波大)

- Spark/Hadoop を用いたユーザアクセスデータの解析基盤構築
○佐藤 哲 (NHN comico)
- 低更新頻度データを対象とした SQL-on-Hadoop エンジンの時空間効率の比較と評価
○趙 漢哲 (NHN comico)
- Nocturnal Life Style and Short Healthy Life Expectancy: Physiological Big Data Project, Allostatic State Mapping by Ambulatory ECG Repository (ALLSTAR)
○湯田恵美, 吉田 豊 (名古屋市立大)
- 設備最適配置を目的とした設備の流動性のためのモデル適用検討
○鹿島理華, 馬場昭宏, 永嶋規充 (三菱)
- ドローンの自動運転・管制を実現する位置検出手法
○浜中雅俊, 中野不二男 (京大)

一般セッション [4B会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)

コンテンツ制作支援・発信 座長 菊池 司 (東京工科大)

- 広告 4.0 構想: コンテキスト情報活用によるユーザ主導の広告モデル - その (1) コンセプト -
○陌間 端, 横山 誠, 村上貴彦, 寺岡丈博, 上林憲行 (東京工科大)
- 広告 4.0 構想: コンテキスト情報活用によるユーザ主導の広告モデル - その (2) プロトタイプ -
○村上貴彦, 横山 誠, 陌間 端, 寺岡丈博, 上林憲行 (東京工科大)
- 木構造形式の内容からレイアウトを自動生成するポスター制作支援システム
○野本聡史, 竹島 亮, 長尾 確 (名大)
- 誰でも簡単に「仮想ツアー」を閲覧/発表できる Web ツールの社会発信
○倉田陽平, 相 尚寿 (首都大), 真田 風 (福島県立テクノアカデミー会津), 江崎貴昭, 池田拓生 (首都大)

一般セッション [7D会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)

検索・推薦 座長 戸田 浩之 (NTT)

- テンソル分解の著者名寄せへの応用と潜在変数を持つモデルとの比較
○蔵川 圭 (NII), 馬場康維 (統数研)
- 情報閲覧順序を用いた不動産物件推薦の手法に関する研究
○三條知美 (ネクスト), 櫻井彰人 (慶大)
- 環境との相互作用を用いた一人称視点映像の検索
○宮西大樹, 平山淳一郎 (ATR), 前川卓也, 孔 全 (阪大), 守谷大樹, 須山敬之 (ATR)
- ソーラーカーレース支援のための気象情報可視化・配信システムの構築
○船山貴光, 渡邊武志 (東海大), 竹中栄晶 (JAXA), 木村英樹, 福田絃大, 山本義郎, 中島 孝 (東海大)

学生セッション [4K会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)

情報推薦 (1) 座長 遠藤 結城 (NTT)

- 意外性のある検索クエリの推薦方法の提案
○鈴木永史郎, 杉本 徹 (芝浦工大)
- パーソナライズされた推薦理由を提示する映画推薦システム
○石田雄登, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 楽曲の音響特徴の遷移性を考慮したプレイリスト推薦手法の提案
○池田翔武, 川越恭二, 奥 健太 (立命館大)
- SNS データを用いたランドマークベースの記憶しやすい経路推薦システムの評価
○高木洋佑, 若宮翔子 (京産大), 森永寛紀 (鹿児島大), 柴田慶佑, 河合由紀子 (京産大), 川崎 洋 (鹿児島大)
- カテゴリ情報を反映させた深層学習による協調フィルタリング手法
○田中恒平, 小林亜樹 (工学院大)
- レビューデータにおける推薦のための属性抽出
○安部小百合, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- タスク推薦システムを用いたクラウドソーシングプラットフォーム
○新山光太郎 (慶大)

学生セッション [5K会場] (3月11日(金) 15:20 ~ 17:50)

情報推薦 (2) 座長 河合 由起子 (京産大)

- 口コミを用いた嗜好抽出に基づくホテル推薦手法
○田熊浩二 (広島大), 福原 楓 (無所属), 亀井清華, 藤田 聡 (広島大)
- 口コミに基づくホテル推薦のための辞書作成法
○山本隼也, 田熊浩二 (広島大), 福原 楓 (無所属), 亀井清華, 藤田 聡 (広島大)
- 相関ルールとネットワーク分析による「もう一品」の推薦
○瀬川裕希, 関 和広 (甲南大)
- A Method of Temporal Feature Characterization with Application to Tourism Recommender Systems
○房 冠深, 亀井清華, 藤田 聡 (広島大)
- 間接相関ルールを用いた代替食材の抽出
○川口美香, 尾崎知伸 (日大)
- 調理手順木に基づくレシピクラスターリング
○石井悠加里, 尾崎知伸 (日大)

学生セッション [6K会場] (3月12日(土) 9:30 ~ 12:00)

SNS 座長 宮崎 純 (東工大)

- 大規模災害時におけるネットワーク制御のためのソーシャル情報を用いた障害検知システムの構築
○丸 千尋 (お茶の水女子大), 榎 美紀 (日本 IBM/ お茶の水女子大), 中尾彰宏, 山本 周 (東大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- マイクロブログにおける“おいしさ”に言及したシズルツイートの自動抽出
○森田真季 (和歌山大), 荒牧英治 (奈良先端大), 灘本明代 (甲南大), 宮部真衣 (和歌山大)
- マイクロブログ炎上事例の分類と炎上防止アプリへの応用
○諸岡誠也, 関 和広 (甲南大)
- Twitter 上の社会・地理・内容的特徴を用いたローカルニュースの抽出
○長城沙樹, 山口祐人, 北川博之, 天笠俊之 (筑波大)
- 投稿時期に着目した Twitter 上のシズルワードと食品の関連分析
○延安幸広, 加藤大介 (甲南大), 宮部真衣 (和歌山大), 荒牧栄治 (奈良先端大), 灘本明代 (甲南大)
- Twitter の実況ツイートを利用したタイムライン上のネタバレ情報検知
○齊藤 令, 寺田 実 (電通大)
- 記憶想起支援のためのキーワード抽出手法の改善
○渡部秀太, 橋本悠佑, 村上晴美 (阪市大)

学生セッション [7K会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)

情報検索 (2) 座長 首藤 一幸 (東工大)

- Bag of Words と skip-gram 併用によるレビュー・店舗間類似度評価とそれに基づく店舗推薦
○山本真史, 山崎俊彦, 相澤清晴 (東大)

- 2 R言語による中国の地域別における大気汚染物質の特徴分析
○張 翔 (福岡工大), 史 一華 (西南学院大学), 徐 海燕 (福岡工大)
- 3 (講演取消)
- 4 グラフ構造を用いたデータマイニング結果の可視化方法について
○井又圭太, 宇田川佳久 (東京工芸大)
- 5 同じ出来事についての記事からの共通点と差異の抽出
○皿海宏明, 湯本高行, 新居 学, 上浦尚武 (兵庫県大)
- 6 シーケンス・マイニング・アルゴリズムの機能と性能について
○荒井広太, 田中敦規, 宇田川佳久 (東京工芸大)

学生セッション [1L会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

ウェブアプリケーション 座長 山名 早人 (早大)

- 1 複合施設における店舗およびフロアに関する Web ページへのツイートマッピング手法の検討
○藤原 優, 安井豪基 (京産大), 王 元元 (名大), 河合由起子, 秋山豊和 (京産大)
- 2 アーカイブ横断型メタデータ連携による東日本大震災アーカイブ群からのコンテンツ集約手法
○積 佑典, 本間 維, 三原鉄也, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)
- 3 多様化した旅行者のニーズを考慮した検索タグの決定手法の提案
○宮井和輝, 奥野 拓 (はこだて未来大)
- 4 複数研究室の研究情報集約システムの提案
○杉寄諒吾, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 5 訳文への自動置き換えによる Web アプリケーションの国際化方法の改善
○菊宿航太, Martin Duerst, 松原俊一 (青学大)
- 6 位置情報を用いた現在位置周辺に関する情報提供のためのハッシュタグ拡張
○糞田 玲, 横井 健 (都立産業技術高専)
- 7 Web リンク先更新状況表示手法
○萩本善久, 小林亜樹 (工学院大)
- 8 Ducky: 単一 Web ページまたは階層構造をもつ大型 Web サイトからの情報抽出・統合・管理システム
○金岡 慧, 遠山元道 (慶大)
- 9 協働的制作支援を目的としたイラスト共有サービスにおけるイラスト間の参照関係の記述
○吉岡孝祐, 三原鉄也, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)

学生セッション [2L会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)

情報検索 (1) 座長 山本 岳洋 (京大)

- 1 情報要求を満たさない文書の判別モデル構築と情報検索への活用
○菅沼ひかり, 塩井隆円, 波多野賢治 (同志社大)
- 2 話題語に関連する情報のマイクロブログからの抽出
○鈴木諒雅, 杉本 徹 (芝浦工大)
- 3 情報の信頼性判断支援のための流言テキストの特徴分析
○柿本大輔 (和歌山大), 荒牧英治 (奈良先端大), 宮部真衣 (和歌山大)
- 4 節点の遷移集合に着目した自由領域管理による高速なダブル配列構築法の提案
○村山智也, 望月久稔 (大阪教大)
- 5 リンク解析による情報の断片のランキング
○飯塚 翔, 湯本高行, 新居 学, 上浦尚武 (兵庫県大)
- 6 特徴語を用いた観光ブログの LOD 化手法の提案
○水尻裕人, 奥野 拓 (はこだて未来大)
- 7 周期運動をする多次元データのための視覚探索インターフェース
○石橋亮太, 川嶋稔夫 (はこだて未来大)
- 8 (講演取消)
- 9 共創支援のためのコンテキストを考慮した関連情報提示機構の試作
○鈴木智也, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [3L会場] (3月11日(金) 9:30~12:00)

コンテンツデータ処理・解析 座長 小川 剛史 (東大)

- 1 Androidによる3次元ヒストグラムへの電子透かし埋め込み機能の実装
○木下 悠, 河野公一 (東北工大)
- 2 3次元ヒストグラムによる電子透かしのための3軸に関する検討
○佐藤 光, 河野公一 (東北工大)

- 3 3次元ヒストグラムによる電子透かし埋め込み方法の提案と画質評価
○佐藤勇弥, 河野公一 (東北工大)
- 4 3次元ヒストグラムに対する任意データの埋め込みと評価
○武田 惇, 河野公一 (東北工大)
- 5 ビットコインに基づいた貨幣的特性のある新形態ポイントサービスの提案とそのCGMにおける影響のマルチエージェントシミュレーション
○張 丘平, 延原 肇 (筑波大)
- 6 Web ページを対象とした調査・収集活動において関心と関心度を同時にマーキングし目的に応じて視覚化を支援するサービス
○梅本将太, 横山 誠, 村上貴彦, 寺岡丈博, 上林憲行 (東京工科大)
- 7 運動視差立体視を用いた魚の視覚機能解析システムの提案
○宮坂健寛, 水野慎士 (愛知工大), 渡辺英治 (基礎生物学研究所)
- 8 視線計測による消費者の商品選択行動の満足度推定
○若井拓哉, 中平勝子, 北島宗雄 (長岡技術科大)
- 9 電子書籍端末における技術文書閲覧時の視線解析
○小池祥平, 小宮山拱, 盛川浩志 (青学大)

学生セッション [4L会場] (3月11日(金) 13:00~15:00)

ストリームとインターフェース 座長 川島 英之 (筑波大)

- 1 次世代ライフログのための行動オントロジを用いた意味的な複合イベント処理について
○橋本聡和, 佐々木勇和, 石川佳治, 中村 亮 (名大)
- 2 RDBを用いた複合イベント処理システムの開発
○金山貴紀, 石川佳治, 杉浦健人, 佐々木勇和 (名大)
- 3 マルチXMLストリーム向けの複合イベント処理システム
○松田達希, 藤田 悟 (法大)
- 4 大規模グラフにおける到達可能性クエリ問題に対する頂点へのレベル付け方法
○岩瀬宇延, 久保田光一 (中大)
- 5 パーチャルスタディマップにおける経路指定と表示
○沼田祐希, 武藤宏明, 田中慎之介, 吉田真澄 (筑波学院大)
- 6 文脈を用いた Human-powered 結合処理方式の提案
○中村優太, 森嶋厚行, 北原 格 (筑波大), 井ノ口宗成 (静岡大), 柚木玲士 (筑波大)
- 7 表計算インターフェースを用いたクラウドソーシング記述手法の提案
○鈴木陸也, 森嶋厚行, 阪口哲夫 (筑波大)

学生セッション [5L会場] (3月11日(金) 15:20~17:50)

デジタルコンテンツ制作 座長 林 洋人 (セガゲームス)

- 1 映画予告編映像における重要シーン抽出法と制作支援ツールの開発
○長谷川鈴夏, 菊池 司 (東京工科大)
- 2 漫画のコマ画像におけるスピード線と煙の映像表現手法の基礎検討
○佐藤貴明, 澤野弘明 (愛知工大), 鈴木裕利 (中部大), 堀田政二 (農工大)
- 3 スマートテレビのユーザインターフェースに関する研究
○佐藤友基, 小宮山拱, 盛川浩志 (青学大)
- 4 椅子の座面を利用したインタラクティブ映像コンテンツの提案
○堂下郁弥, 水野慎士 (愛知工大)
- 5 Apple WatchのWeb-PR手段に関する考察
○鮑 永駿 (青学大)
- 6 広告4.0モデルに基づく広告コミュニケーションサービスの実証
○横山 誠, 村上貴彦, 陌間 端, 寺岡丈博, 上林憲行 (東京工科大)
- 7 HTML5の canvas 要素を用いたモーションコミックコンテンツの開発
○福原明彦, 佐々木茂 (帝京大), 山脇奈緒美, 田中誠一 (文星芸術大)
- 8 Web IndexシステムのiOSプラットフォームへの対応
○生田史織, 遠山元道 (慶大)
- 9 Web Indexにおける個別カスタマイズ可能なライブラリ構築システムの提案
○大島拓也, 遠山元道 (慶大)

学生セッション [6L会場] (3月12日(土) 9:30~12:00)

データベース 座長 奥 健太 (立命館大)

- 1 SuperSQLにおけるCSSフレームワークの実装
○越島亮介, 遠山元道 (慶大)
- 2 SuperSQL構文解析部の再構築によるエラー検出の品質向上
○田嶋将大, 遠山元道, 五嶋研人 (慶大)

- 3 SuperSQLを用いた Web ページ生成の実現
○春野健吾, 遠山元道 (慶大)
- 4 情報格差多地点観測ヘテロデータ共有システムにおけるデータ取得手順
○岩田翔汰, 中平勝子, 北島宗雄 (長岡技科大)
- 5 遠隔バックアップ機能を伴うクラスタデータベースシステムの提案と実装
○細谷柚子 (お茶の水女子大), 三島 健 (NTT),
小口正人 (お茶の水女子大)
- 6 (講演取消)
- 7 ユーザの移動状態と周囲の人の滞留・流動を捉えた行動履歴の半自動生成
○松原輝志, 河野恭之 (関西学院大)

第2分冊**(人工知能と認知科学)****一般セッション [5B会場] (3月11日(金) 15:20 ~ 17:50)****自然言語処理 座長 小林 一郎 (お茶の水女子大)**

- 1 単語間連想関係を考慮した換喩表現の解析
○寺岡丈博 (東京工科大), 石崎 俊 (慶大)
- 2 ニューラルネット言語モデルによる Twitter 上の発言からの 5 因子モデルに基づく性格分析
○塚野 駿, 柴田千尋 (東京工科大), 政倉祐子 (愛知淑徳大学), 田胡和哉 (東京工科大)
- 3 東日本大震災時における首都圏の混雑状況に関する Tweet の特徴
○沖 拓弥 (東工大)
- 4 商品レビューに含まれるストア言及の抽出
○山下達雄, 東野進一 (ヤフー)
- 5 商品レビューの有用性と文字数の関係
○東野進一, 山下達雄 (ヤフー)
- 6 日英機械翻訳の前処理としての語順整序
○大木俊樹, 横井 健 (都立産業技術高専)
- 7 RNN 言語モデルを用いた日本語形態素解析の実用化
○森田 一, 黒橋禎夫 (京大)

一般セッション [6B会場] (3月12日(土) 9:30 ~ 12:00)**音声・音楽・シナリオ・対話 座長 長尾 確 (名大)**

- 1 無矛盾位相復元を用いたケプストラム特徴量からの音声合成
○濱田康弘 (明大), 小野順貴 (NII), 嵯峨山茂樹 (明大)
- 2 マイクロホンアレイを利用した野鳥の歌行動理解の試み
○鈴木麗麗, 松林志保 (名大), 奥乃 博 (早大)
- 3 友人同士で好みの楽曲を聴かせ合うスマートフォン用ミュージックプレイヤー: 楽曲推薦手法の一改善
○鈴木潤一, 北原鉄朗 (日大)
- 4 (講演取消)
- 5 番組のシーン集合へのラベリングの検討
○三浦菊佳, 松井 淳, 山田一郎, 後藤 淳, 宮崎太郎, 宮崎 勝, 住吉英樹 (NHK)
- 6 抽象概念の理解に役立つ物語性について
○新田義彦 (日大)
- 7 (講演取消)

一般セッション [7B会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)**ゲーム情報学 座長 鶴岡 慶雅 (東大)**

- 1 カードゲーム「籠城」の成功可能性に関する一考察
○新谷敏朗 (福山大)
- 2 正多面体における Magic Graph の構成
○杉山雅英 (会津大)
- 3 格子型碁盤と特殊な碁盤での有効着手の相違性の解析
○佐藤真史 (早大), 穴田浩一 (早大高等学院), 堤 正義 (早大)
- 4 モデルカーを用いた自動走行のための機械学習の適用に関する一考察
○笹岡久行, 平河恒樹 (旭川高専)

一般セッション [1C会場] (3月10日(木) 9:30 ~ 12:00)**画像認識の応用 座長 金崎 朝子 (東大)**

- 1 立体フィルタを用いた Convolutional Neural Network による三次元物体認識
○金井 廉, 藤田 悟 (法大)
- 2 Weighting Schemes を用いた Bag-of-Visual Words によるオフライン署名照合
○大川 学 (警視庁)
- 3 大規模設計データの特定形状ポリゴン分布の高速可視化
○庄司修二, 小山明夫 (山形大)
- 4 RFID タグをつけた複数ミツバチの巣箱内歩行軌跡の検出
○高橋伸弥, 橋本浩二, 前田佐嘉志, 藍 浩之, 鶴田直之 (福岡大)
- 5 組合せライン CCD 法を用いた三次元形状計測システムの高精度化について
○白石耕一郎, 澤田祐希, 星野邦弘 (海上技術安全研究所)

一般セッション [2C会場] (3月10日(木) 13:00 ~ 15:30)**計測と画像処理 座長 米谷 竜 (東大)**

- 1 RGB 画像からの分光反射特性の推定
○大塚直也, 石川知一, 柿本正憲 (東京工科大)
- 2 低照度映像の動体認識のためのノイズ除去手法の最適化に関する研究
○三浦康之, 末吉太志, 森 敬史 (湘南工科大)
- 3 デジタルカメラ画像による植生指標推定における画像輝度とガンマ値の関連
○尾崎敬二 (国際基督教大)
- 4 進化計算による 3 次元レジストレーションのための高効率なサンプリング
○植西一馬 (信州大), 岩切宗利 (防衛大), 田中 清 (信州大)
- 5 可変ブロック分割による DiAna アルゴリズムの改善について
○松川 瞬, 板倉賢一, 鈴木幸司 (室蘭工大), 早野 明 (JAEA)

一般セッション [3C会場] (3月11日(金) 9:30 ~ 12:00)**知能システム 座長 八槇 博史 (電機大)**

- 1 区分線形近似を用いた逐次ロジットモデルの変数選択
○佐藤俊樹 (筑波大), 高野祐一 (専修大), 宮代隆平 (農工大)
- 2 スパコンを用いた判別分析における判別関数の最適化とその問題点
○石井一夫, 小林拓嗣, 古崎利紀, 山形洋平 (農工大)
- 3 人工ネットワークでの Bottom-k Sketch による可到達ノード数推定評価
○山岸祐己, 齊藤和巳 (静岡県大)
- 4 深層強化学習のための環境シミュレーションと自律制御ロボットの連携
○宮島優太郎, 李 天琦, 田胡和哉, 柴田千尋 (東京工科大)
- 5 エージェントモデルによるリスク認識向上の研究
○斎藤耕一 (コウゲツ)
- 6 新しい製品の内的的な創発に基づいた新規需要創発モデルシミュレーション
○高島幸成 (千葉工大)
- 7 単語共起ネットワークの成長分析
○伏見卓恭, 佐藤哲司 (筑波大)

学生セッション [7L会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)**脳・身体・心の認識 座長 船瀬 新王 (名工大)**

- 1 行列因子分解を用いた脳活動の言語表象推定への取り組み
○川瀬千品, 小林一郎 (お茶の水女子大), 西本伸志 (NICT), 麻生英樹 (産総研), 西田知史 (NICT)
- 2 モーターバブリングと神経回路モデルを用いた道具身体化~複数道具把持動作による身体遷移過程の学習と生成~
○金 紀泰, 高橋城志, Hadi TJANDRA, 尾形哲也, 菅野重樹 (早大)
- 3 心電図圧縮のための ADPCM における実データ組み込み手法の評価
○小宮山広幸, 清水郁子 (農工大), 幸島明男, 車谷浩一 (産総研)
- 4 認知特性を実装した価値関数による非正常環境への適応
○甲野 佑, 高橋達二 (電機大)
- 5 HMM と LLD 特徴量セットを用いた水分摂取量推定手法の検討
○山田侑太郎, 西村雅史, 峰野博史 (静岡大)

学生セッション [1M会場] (3月10日(木) 9:30 ~ 12:00)**反射解析・画像処理 座長 福嶋 慶繁 (名工大)**

- 1 分光輝度の低次元近似に基づくハイパースペクトル画像の再構成型超解像
○林 真帆, 岡部孝弘 (九工大)
- 2 ライトフィールドカメラを用いた照度差ステレオのための鏡面反射の検出
○武智鴻生, 岡部孝弘 (九工大)
- 3 低ランク性とスパース性に基づく多波長・多方向光源下の画像の反射成分分離
○小林直人, 岡部孝弘 (九工大)
- 4 ファジィクラスタリングアルゴリズムによるコードブックの構築と評価
○松浦勇斗, 松川 瞬, 鈴木幸司 (室蘭工大)
- 5 モルフォロジー演算を用いたエアロゲルの貫入孔画像に対する形状推定と体積計算及びその評価
○池田愛大, 園家 俊, 佐藤慎也, 竹淵宥仁, 矢口勇一, 奥平恭子, 出村裕英 (会津大), チーム たんぼぼ計画 (東京薬科大学)

- 6 顔識別システムに適したJPEG量子化テーブルの提案
○村瀬寛高, 長谷川圭佑, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 7 三次元超音波画像の画質評価
○佐藤裕紀, 柳田裕隆, 田村安孝 (山形大)
- 8 撮影画像による摩擦係数の推定
○入江 俊, 田村 仁 (日本工大)

学生セッション [2M会場] (3月10日(木) 13:00 ~ 15:30)

- 人物画像処理 座長 井上 中順 (東工大)
- 1 畳み込みニューラルネットワークを用いた人物画像の認識と評価
○細川皓平, 川村秀憲 (北大)
- 2 JointHOGを用いたプライバシー保護のための任意姿勢の人物領域検出手法の研究
○武田 洋, 北澤仁志 (農工大)
- 3 高速な物体検出手法を用いた動画からの効率的な人物姿勢推定
○藤枝 慎, 山崎俊彦, 相澤清晴 (東大)
- 4 大規模データベースによるモデルフィッティングを用いた人物の姿勢と体型の推定
○大山芽依, 金子直史, 吉田武史, 鷺見和彦 (青学大)
- 5 キネクトを用いたユーザ個性識別手法の検討
○高 原, 坪川 宏 (東京工大)
- 6 集団検出のためのジェスチャーコミュニケーションの認識
○山田花穂, 吉田武史, 鷺見和彦 (青学大), 波部 斉 (近畿大), 満上育久 (阪大)
- 7 撮影動画を用いた血管年齢の測定手法
○高山直人, 田村 仁 (日本工大)
- 8 動的要素を付加した虹彩認証に関する検討
○伊藤 環, 館泉雄治, 大塚友彦, 青木宏之, 石川 諒 (東京高専)
- 9 パッチ単位の法線推定による三次元顔形状復元
○野沢倫佐, 加藤卓哉, 野澤直樹, パーベル サフキン, 森島繁生 (早大)

学生セッション [3M会場] (3月11日(金) 9:30 ~ 12:00)

- 対話コミュニケーションとAI 座長 松原 繁夫 (京大)
- 1 Twitterから獲得した会話データに基づく雑談対話システムの開発
○藤原裕樹, 山下晃弘, 松林勝志 (東京高専)
- 2 顔画像を用いた対話者の年齢・性別推定とロボットからの話題提供への応用
○澤田竜一, 任 福継, 西出 俊 (徳島大)
- 3 人間とロボットの対話における発達の対話戦略モデルの構築
○浦上浩希, 西出 俊, 任 福継 (徳島大)
- 4 会話途中の割り込みに対する言語情報に基づくロボットの対話戦略
○山口啓介, 西出 俊, 任 福継 (徳島大)
- 5 エージェントマイグレーションを用いたユーザインタフェースの行動決定モデル
○山内 守, 岨野太一, 今井倫太 (慶大)
- 6 コミュニケーションを通じた物体を特定するための特徴学習の構築
○鈴木隆二, 高橋淳二, 戸辺義人 (青学大)
- 7 実践知能アプリケーション開発プラットフォームPRINTEPSの喫茶店業務への応用1
○丸川大輝, 菅原 優, 森田武史, 山口高平 (慶大)
- 8 実践知能アプリケーション開発プラットフォームPRINTEPSの喫茶店業務への応用2
○中村高大, 石井誉仁, 中山祐介, 八馬 遼, 森田武史, 山口高平 (慶大)
- 9 実践知能アプリケーション開発プラットフォームPRINTEPSの小学校授業実践への適用
○西本智浩, 菅 陽哉, 赤柴駿介 (慶大), 柘原礼士, 桑山美芽 (慶應義塾幼稚舎), 山口高平 (慶大)

学生セッション [4M会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)

- 感情・表情の推定と生成 座長 目良 和也 (広島市大)
- 1 RGB-Dカメラを使用した頭部姿勢にロバストな表情認識手法
○井上雄大, 任 福継, 西出 俊 (徳島大)
- 2 顔文字が表す感情に対する個人差を考慮した顔文字推薦
○松井泰地, 加藤昇平 (名工大)

- 3 顔表情・音声・会話文のマルチモーダルな感情推定とアクトロイドへの応用
○前田浩貴, 任 福継, 西出 俊 (徳島大)
- 4 マルチモーダル情報からの運転者の内部状態の推定
○梶野尊弘, 武田 龍 (阪大), 小路悠介 (三菱電気), 駒谷和範 (阪大)
- 5 機械学習を用いたカクテルの味推定
○武藤真弘, 櫻井彰人 (慶大)

- 6 アクトロイドを用いた自然なコミュニケーションのための表情作成
○柴崎英展, 西出 俊, 任 福継 (徳島大)
- 7 感情に基づいて行動するデスクトップマスコット
○増田淳市, 池田亮太, 長名優子 (東京工大)

学生セッション [5M会場] (3月11日(金) 15:20 ~ 17:50)

- 最適解や戦略を探索するゲーム情報学 座長 横山 大作 (東大)
- 1 「多角形12変化問題」における組み合わせ爆発の回避
○伊藤詞航, 大谷紀子 (東京都市大)
- 2 分類画像によって定義される魔方陣の部分集合の数え上げについて
○山田穂高, 山本修身 (名城大)
- 3 群知能を用いたゲームエージェントの最適化
○遠田英嗣, 小高知宏, 黒岩丈介, 白井治彦 (福井大)
- 4 グリコゲームの混合戦略の実験による検証
○遠藤圭晟, 飯塚泰樹 (東海大)
- 5 Traxにおける詰め問題ソルバーの開発と評価
○藤本 巧, 黒田久泰 (愛媛大)
- 6 (講演取消)
- 7 予測の正誤で分岐させたモンテカルロ木探索に基づく人狼知能の実装
○成瀬雅人, 山野太靖, 白松 俊 (名工大)
- 8 AmazonsとKnight-Amazonsの対戦プログラムの検討
○加藤 光, 高谷真弓, 山村明弘 (秋田大)
- 9 Comparative analysis of Reinforcement Learning and Evolutionary Strategy in General Video Game Playing
○朱 晉賢, ラック ターウォンマツト, 原田智広 (立命館大)

学生セッション [6M会場] (3月12日(土) 9:30 ~ 12:00)

- 生活を豊かにするゲーム情報学 座長 但馬 康宏 (岡山県大)
- 1 ゲームフィクションによる子どもの家事促進の研究
○紀伊大輝, 三好 力 (龍谷大)
- 2 建築物の生成ルールと中華風や和風の複数のモデルを用いたAngry Birdsのレベル自動生成
○蔭 雨軒 (国際語学院), 海段美紗希, 原田智広, ラック ターウォンマツト (立命館大)
- 3 関ヶ原IFシミュレータ
○柴田 武, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)
- 4 ゲームを例とした優劣に基づく個体比較システムの提案
○根本 賢, 岸 義樹 (茨城大)
- 5 鉄道経営ゲームにおける思いやりある協調的動作の実現
○杉浦生隼, 福田直樹 (静岡大)
- 6 動学的意思決定におけるゲームの構造学習の分析
○今川裕貴 (一橋大), 下川哲矢 (東理大)
- 7 セルフコントロールの決定要因感情面、個人差を考慮した時間割引率の計測
○美濃部将志, 下川哲矢 (東理大)
- 8 利他動機の決定要因とマーケティング戦略におけるインプリケーション：認知的なアプローチから
○高田康起, 下川哲矢 (東理大)
- 9 投資意思決定の特徴抽出に関する分析
○加藤貴紀, 下川哲矢 (東理大)

学生セッション [7M会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)

- コンピュータビジョンと機械学習 座長 牛久 祥孝 (NTT)
- 1 深層一般化正準相関分析
○岩瀬智亮, 中山英樹 (東大)
- 2 非対称空間プーリングを用いた畳み込みニューラルネットワークによる高精度物体位置回帰
○富樫 陸 (東大), 佐藤育郎 (デンソーアイティラボラトリ), 中山英樹 (東大)

- 3 大域的なグラフマッチングに基づく教師なし Cosegmentation
○玉那覇貴紀, 中山英樹 (東大)
- 4 共分散記述子のための計量学習によるパターン認識
○松澤知己 (群馬大),
レイサレレーター (産総研ゲノム情報研究センター),
伊藤栄祐, 加藤 毅 (群馬大)
- 5 変形部品モデルの高速学習法と顔パーツ検出への応用
○宇敷卓哉, 高岸謙斗, 加藤 毅 (群馬大)
- 6 Extreme Learning Machine を用いたハフフォレストによる物体検出
○岩本恵太, 中山英樹 (東大)
- 7 概念学習を用いた Deep Neural Network の学習速度の高速化
○柴田龍真, 大枝真一, 石毛克典 (木更津高専)
- 4 光学顕微鏡断層撮影に基づくシリカエアロゲル中にできた孔の3D形状復元
○佐藤慎也, 矢口勇一, 奥平恭子, 出村裕英 (会津大),
チーム たんぼぼ計画 (東京薬科大学)
- 5 三次元再構成のための画像データ収集におけるオンライン欠損検出
○伊東聖矢, 吉田武史, 鷺見和彦 (青学大)
- 6 レーザスキャナと SFM の併用による統合的3次元記録手法
○藤里和樹, 北田祐平, 松下亮介, 檀 寛茂, 安室喜弘 (関西大)
- 7 Kinect を用いた三次元レイアウトシミュレータ
○竹永尚生, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)
- 8 KINECT for Windows を使用したハンドジェスチャーの認識
○石堂貴也, 田村 仁 (日本工大)

学生セッション [1N 会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)

画像認識 (1) 座長 中山 英樹 (東大)

- 1 畳み込みニューラルネットワークを用いた野草画像の分類
○渡邊 葵, 櫻井彰人 (慶大)
- 2 類似配色を考慮した野鳥の品種識別
○千田恭平, 伊藤慶明, 小嶋和徳 (岩手県大)
- 3 食事記録に対する Web 検索結果を利用した代表的食事名の導出
○安沢昌志, 天野宗佑, 山肩洋子, 山崎俊彦, 相澤清晴 (東大),
小川 誠 (foo.log)
- 4 スパースコーディングによる基底画像を用いた風景画像認識
○佐々木翔大, 篠沢佳久 (慶大)
- 5 サポートベクトルマシンを用いた風景画像中の人工物領域の特定
○福田孝真, 長名優子 (東京工科大)
- 6 チェスボード撮影動画からの駒認識
○William Sutrisna, 石川知一, 竹島由里子, 柿本正憲 (東京工科大)
- 7 HOG における輪郭角度計算を用いた甲骨文字の特徴点抽出
○藤川佳之, 石井康史, 孟 林, 山崎勝弘 (立命館大)
- 8 特徴量を用いた甲骨文字の候補テンプレート抽出と認識
○石井康史, 藤川佳之, 孟 林, 山崎勝弘 (立命館大)
- 9 オンライン手書き数式の行列構造認識
○日暮大輝, 櫻井彰人 (慶大)

学生セッション [2N 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

画像認識 (2) 座長 佐藤 真一 (NII)

- 1 類似シーン画像の統計情報に基づく物体検出のフィルタリング
○井上直人, 古田諒佑, 山崎俊彦, 相澤清晴 (東大)
- 2 複数の参照画像を用いた背景変動に頑健な対象領域抽出手法
○野崎裕樹, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 3 複合的類似度を用いた内容に基づく画像検索における OPF 分類器の導入
○廣瀬雄真, 服部元信 (山梨大)
- 4 イラスト制作支援に向けたラフ画像の線画化
○小川 徹, 山崎俊彦, 相澤清晴 (東大)
- 5 監視カメラへの反応の観測による異常行動検知
○HAOWEI XU, 亀田能成, 北原 格, 大田友一 (筑波大)
- 6 画像データを用いた L1 ピボット可視化法の評価
○島崎 涼, 小林えり, 齋藤和巳, 池田哲夫 (静岡県大)
- 7 引き込み現象を用いた画像照合手法の提案
○藤原克駿, 加藤涼子, 稲葉 洋, 廣瀬 誠 (松江高専)
- 8 同期現象を用いた三次元データ圧縮アルゴリズムの構築
○加藤涼子, 藤原克駿, 稲葉 洋, 廣瀬 誠 (松江高専)

学生セッション [3N 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

三次元情報処理 座長 亀田 能成 (筑波大)

- 1 実践知能アプリケーション開発プラットフォーム PRINTEPS のための RGB-D カメラによるテーブルトップ作業空間の状況認識
○番原常公, 中山祐介, 齋藤俊太, 齋藤英雄 (慶大)
- 2 実践知能アプリケーション開発プラットフォーム PRINTEPS のための RGB-D カメラによる来場者検出と属性判定
○田中康浩, 中山祐介, 齋藤俊太, 齋藤英雄 (慶大)
- 3 深度画像を用いたロボットアームによる平面上未知物体の把持方法
○鈴木俊孝, 岡 哲資 (日大)

学生セッション [4N 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)

物体追跡 座長 佐藤 洋一 (東大)

- 1 パーティクルフィルタと特徴点検出を用いた物体追跡に関する実験的検討
○山西健太, 鈴木幸司 (室蘭工大)
- 2 低照度映像の動体認識のための移動平均フィルタを用いたノイズ除去法
○WEIJIE ZHOU, 三浦康之 (湘南工科大)
- 3 輝度値の時系列変化に基づく高精度な移動物体検出手法
○石井圭典, 北澤仁志 (農工大)
- 4 色ヒストグラムとパーティクルフィルタを用いたバレーボール追跡
○菊池拓磨, 小嶋和徳, 伊藤慶明 (岩手県大)
- 5 記号列化した人流データからの特徴抽出と可視化
○宮城優里 (お茶の水女子大), 大西正輝 (産総研),
渡辺知恵美 (筑波大), 高塚正浩 (シドニー大),
伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 6 ラインスキャンカメラを用いたバッティングにおける3次元軌跡の推定
○阿部博斗, 籾山崇史 (青学大), 渡辺嘉二郎 (法大),
栗原陽介 (青学大)
- 7 カメラと2次元レーザセンサを搭載した手持ち装置による動的物体の復元
○伊藤 駿, 吉田武史, 鷺見和彦 (青学大)

学生セッション [5N 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

画像処理を用いた支援 座長 橋本 敦史 (京大)

- 1 調理リハビリテーションのための行動認識手法
○皆本 光, 佐野睦夫, 大井 翔 (阪工大)
- 2 調理器具認識とレシピ分析に基づく認知リハビリテーションのための一人称視点による調理動作認識
○池ヶ谷剛, 大井 翔, 佐野睦夫 (阪工大)
- 3 圃場で撮影された人感センサ検知画像への農作業情報自動付与機能の開発と評価
○平野 竜, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 4 画像処理を用いた在庫管理システムの開発
○檜山正樹, 田村 仁 (日本工大)
- 5 Android 端末を用いた点字ブロック地図と画像認識による道案内システム
○加藤一樹, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)
- 6 チラシの価格表示比較支援システム
○片桐佳祐, 田村 仁 (日本工大)
- 7 モバイルプロジェクトとカメラを利用した作業支援のための情報投影手法
○釣賀亮佑, 大沼信也, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 8 隠消現実感のためのハイブリッド位置合わせ手法の検討と実装
○Jianing Qie, 松見優一, 森 尚平, 池田 聖, 柴田史久,
木村朝子, 田村秀行 (立命館大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [6N 会場] (3月12日(土) 9:30~12:00)

特徴点・幾何・飛行撮影システム 座長 増田 健(産総研)

- 1 背景紙画像を用いた書籍の位置特定のための特徴点マッチングにおける特徴量の比較評価
○山内翔平, 梅澤 猛, 大澤範高(千葉大)
- 2 カメラ位置姿勢推定のためのキーポイント特徴量データベース照合の深層学習による高精度化
○中島由勝, 斎藤英雄(慶大)
- 3 ピクセルワイズな対応点からの3次元広域形状復元
○橋本真一, 矢口勇一, 成瀬継太郎(会津大)
- 4 マルチスケール演算による3次元点群からの特徴抽出法
○早田 昶, 岩切宗利(防衛大)
- 5 SLAM 処理の並列分散化における最適な機能分割
○松本拓也, 大川 猛, 大津金光, 横田隆史(宇都宮大)
- 6 実画像列を利用したカメラ位置姿勢推定法
○小畑 圭, 斎藤英雄(慶大)
- 7 作業主体支援に向けた適切な三人称視点を得る飛行撮影システムの設計と実装
○西川 遼, 高橋淳二, 戸辺義人(青学大)
- 8 ドローンを使用した無人航空機捕獲システム
○前田祥太郎, 田村 仁(日本工大)
- 9 小型クアッドコプターの低品質映像に適したSLAMの比較検討
○石見和也, 山崎俊彦, 相澤清晴(東大)

学生セッション [7N 会場] (3月12日(土) 13:00~15:00)

視覚情報処理 座長 川嶋 宏彰(京大)

- 1 画像の品質への影響を抑えた顕著性の制御
○石坂 隼, 山崎俊彦, 相澤清晴(東大), 酒澤茂之(KDDI 研)
- 2 人間の視覚認識機能を応用した画像処理モデルの構成
○金子卓磨, 濱 翔平, 金 天海, 平井 諒(岩手大)
- 3 周辺視へのエフェクト提示による動画の印象変化に関する調査
○松井啓司, 中村聡史(明大)
- 4 高解像度画像における近視の視認性を考慮した周波数帯域補正
○吉永秀人, 杉浦彰彦(静岡大)
- 5 視線追跡を用いた騙し絵の認識の解析
○仲田 仁, 田村 仁(日本工大)
- 6 ニューラルネットワークを用いた色覚異常者の色同定支援
○庵原隆太郎, 大槻沙央里, 篠沢佳久(慶大)
- 7 Web 上の感性情報に基づく料理画像からの意味理解支援
○堂土 奨, 佐野睦夫(阪工大)

学生セッション [1P 会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

ロボティクス 座長 山崎 信行(慶大)

- 1 バネ・ダンパ系モデルを用いた受身制御によるヒューマノイドロボット転倒時の衝撃軽減
○松井元希, 加藤昇平(名工大)
- 2 スイッチング制御を用いたヒューマノイドロボットの立位姿勢保持
○前田絃希, 加藤昇平(名工大)
- 3 (講演取消)
- 4 深層学習を用いた多自由度ロボットによる柔軟物の折り畳み動作生成
○鈴木彼方, 高橋城志(早大),
ゴードン チェン(ミュンヘン工科大学), 尾形哲也(早大)
- 5 人のアクションを誘発するロボットの気付き動作・動作タイミングの感性評価
○横地亜衣理, 加藤昇平(名工大)
- 6 ロボットセラピーによる認知症ケアのためのロボットの行動設計
○宮下晃拓, 任 福継, 西出 俊(徳島大)
- 7 (講演取消)
- 8 人の動作を模倣するヒューマノイドロボットの動作生成の一考察
○大山まりほ, 小林一郎(お茶の水女子大)
- 9 ロボットの失敗表現行動の生成に関する研究
○安松勇紀, 岨野太一, 今井倫太(慶大)

学生セッション [2P 会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)

ソフトコンピューティング 座長 有田 隆也(名大)

- 1 対話型遺伝的アルゴリズムを用いた私室レイアウト支援システム
○橋川 快, 長名優子(東京工科大)
- 2 フェロモンマップを用いた遺伝的アルゴリズムによるグラフ彩色問題の解法
○新井深司, 水野一徳(拓大)
- 3 Optical Flow を用いた植物水分ストレス推定手法の検討
○柴田 瞬(静岡大), 古都哲生(メガチップス), 峰野博史(静岡大)
- 4 正負の走化性を実装した真性粘菌変形体のセルオートマトンモデル
○丸山大地(電機大), 白川智弘(防衛大), 高橋達二(電機大)
- 5 パラメータの自動調整が可能なカオス四元数多方向連想メモリの改良
○白石 充, 長名優子(東京工科大)
- 6 (講演取消)
- 7 (講演取消)
- 8 パラメータの自動調整が可能なカオス多方向連想メモリの改良
○佐藤宏樹, 長名優子(東京工科大)

学生セッション [3P 会場] (3月11日(金) 9:30~12:00)

強化学習 座長 山崎 啓介(東工大)

- 1 深層強化学習における状態系列表現の獲得に向けて
○野口直人, 甲野 佑, 高橋達二(電機大)
- 2 強化学習における報酬関数と状態空間表現の相互改善法の評価
○吉永和史, 荒井幸代(千葉大)
- 3 満足化価値関数を用いて自律的に探索する強化学習手法
○牛田有哉, 甲野 佑, 高橋達二(電機大)
- 4 任意のパレート解を得るための多目的強化学習のパラメータ推定
○斉竹良介, 荒井幸代(千葉大)
- 5 レバレッジを用いた複利型強化学習
○塚本智大, 松井藤五郎(中部大)
- 6 複利型教科学習における投資比率学習法の改善
○羽根田拓哉, 松井藤五郎(中部大)
- 7 強化学習を用いた物体の片付けに関する概念獲得への取り組み
○恒川英里(お茶の水女子大), Attamimi Muhammad(電通大),
小林一郎(お茶の水女子大), 長井隆行, 中村友昭(電通大),
麻生英樹(産総研), 持橋大地(統教研)
- 8 積み重ね強化学習を用いた Robo Cup-Soccer Keepaway タスクの検証
○橋本敏成, 相馬隆郎, 田原秀平(首都大)
- 9 習慣の学習のための強化学習モデル
○水戸亜友美, 甲野 佑(電機大), 太田宏之(防衛医大),
高橋達二(電機大)

学生セッション [4P 会場] (3月11日(金) 13:00~15:00)

機械学習 座長 松井 藤五郎(中部大)

- 1 実環境データの再帰型神経回路モデル学習における評価手法の提案
○東 直人, 村田真悟, 有江浩明, 尾形哲也(早大)
- 2 力学系学習木による効率的な学習のための階層性を利用した入力ベクトル決定法
○濱 翔平, 平井 諒(岩手大), 高橋城志, 山田浩貴, 尾形哲也,
菅野重樹(早大), 金 天海(岩手大)
- 3 深層学習を用いたマルチモーダル学習による降水量予測
○林 政行, Rafik Hadfi, 伊藤孝行(名工大)
- 4 構造化ドロップアウトによる追加学習
○小澤優太, 甲野 佑, 高橋達二(電機大)
- 5 ディープラーニングフレームワーク caffe の分散処理に向けた検討
○一瀬絢衣(お茶の水女子大), 中田秀基, 竹房あつ子(産総研),
小口正人(お茶の水女子大)
- 6 マルチエージェント強化学習における進化的探索率調整法とその拡張
○岡野拓哉, 野田五十樹(東工大)
- 7 ディープラーニング学習を行う学習エージェント開発支援機構の構築
○渡邊賢人, 打矢隆弘, 内匠 逸(名工大)

学生セッション [5P 会場] (3月11日(金) 15:20~17:50)

マルチエージェント 座長 藤田 桂英(農工大)

- 1 マルチエージェントシステムを利用した効率的な群れ誘導方法の検討
○林沙貴子, 藤岡 薫(福岡女子大学)

- 2 障害物で視界が限定されたマルチエージェント追跡問題に関する研究
○賀数元春, 深海 悟 (阪工大)
- 3 災害時の無線通信路確立におけるマルチエージェントを用いたロボット制御
○林 幸汰, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 4 地域制約下のマッチングに対する繰り返し調整メカニズムの提案
○飯田伸也, 藤田 悟, 東 祥平 (法大)
- 5 マルチエージェントシミュレーション方式による海上警備問題の再現法提案及び試作
○鈴木智博, 坂 直樹, 小林篤史, 古市昌一 (日大)
- 6 参加型シミュレーションのための Web サービス化されたマルチエージェント交通シミュレータ構築
○織田尚晋, 中島 悠 (東邦大)
- 7 マルチエージェント社会シミュレーションにおけるデータ同化の可能性評価の枠組み
○川口英俊 (東工大), 野田五十樹 (産総研)
- 8 Service Dominant Logic に基づく社会形成シミュレーション
○加瀬祐太, 藤田 悟 (法大)
- 9 提携ゲームに基づく動的なコミュニティ形成による電力マネジメント
○榎 優一, 伊藤孝行 (名工大)

学生セッション [6P 会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

情報推薦と可視化 座長 山下 晃弘 (東京高専)

- 1 アレルギー対応給食作成支援システムのための類似度に基づくレシピ推薦機構
○石田健太, 早川知道, 伊藤孝行 (名工大)
- 2 初心者のための登山者スキルを考慮した登山計画書作成支援機構の試作
○野原章弘, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 3 イベントにおける twitter の位置情報付きツイートを利用したユーザーの行動分析
○中里主哉, 小林えり, 斎藤和巳 (静岡県大), 風間一洋 (和歌山大), 吉田光男 (豊橋技科大)
- 4 投票者モデルに基づくレビュー順序影響度分析
○永倉卓弥, 小林えり, 斎藤和巳 (静岡県大)
- 5 解の頑健性を考慮した提携構造形成問題のための提携構造可視化システムの試作
○中野克哉, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 6 多種情報を利用したアノテーション付き可視化法
○後藤 裕, 小林えり, 斎藤和巳 (静岡県大)
- 7 大規模意見集約支援のための意見内容と投稿タイミングに基づくインセンティブ機構
○高橋一将, 伊藤孝行, 伊藤孝紀, 秀島栄三, 白松 俊 (名工大), 藤田桂英 (農工大)
- 8 大規模合意形成支援のための議論ツリーに基づく大規模議論の可視化
○仙石晃久, 伊藤孝行, 白松 俊 (名工大), 藤田桂英 (農工大)

学生セッション [7P 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)

データマイニングと最適化 座長 但馬 康宏 (岡山県大)

- 1 看護師スケジューリングデータを用いたインシデント発生検知方式
○小形俊輔, 秋吉政徳 (神奈川大), 真嶋由貴恵 (阪府大), 高橋弘枝, 田中小百合, 谷岡美佐江, 堀美和子 (地域医療機能推進機構)
- 2 避難行動データに基づく非常口選択規範の同定
○浪越圭一, 荒井幸代 (千葉大)
- 3 スポット情報組み込モデルによる回遊行動データの分類
○鈴木優伽, 斎藤和巳 (静岡県大), 風間一洋 (和歌山大)
- 4 サンプリング計算による回遊中心性の解精度評価
○岩崎一輝, 鈴木優伽, 斎藤和巳 (静岡県大)
- 5 ゆとり基準に基づく複数勤務地を考慮した業務担当シフトの交代支援機構の試作
○筒井宏紀, 福田直樹 (静岡大)
- 6 (講演取消)
- 7 ESを用いた PSO のパラメータの最適化とその分析
○佐久間司, Claus Aranha, 狩野 均 (筑波大)

- 8 スケールフリー相関から見た群れモデルの再構築
○坂本佑樹, 高橋達二 (電機大)

学生セッション [1Q 会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)

自動伴奏・演奏支援 座長 中村 栄太 (京大)

- 1 (講演取消)
- 2 ジャムセッションシステムに向けた演奏特徴量の統計解析
○保利武志, 中村和幸, 嵯峨山茂樹 (明大)
- 3 (講演取消)
- 4 音色に配慮した単旋律のギター自動運指決定
○金杉季実果, 田口旺太郎 (明大), 堀 玄 (亜大/理研), 嵯峨山茂樹 (明大)
- 5 リアルタイム発音検出のための動的しきい値自動最適化
○松尾章弘, 土江田織枝, 山田昌尚 (釧路高専)
- 6 カラオケにおける音痴の改善支援のための予備調査
○小泉 遼, 岩崎 順, 長村佳祐, 北原鉄朗 (日大)
- 7 カラオケを盛り上げるためのタンバリン演奏支援システム: 複数人プレイへの対応
○栗原拓也 (日大), 横溝有希子, 竹腰美夏, 馬場哲晃 (首都大), 北原鉄朗 (日大)
- 8 リズムパターンのインタラクティブなグルーヴ可視化
○神 展彦 (慶大), 芳賀直樹 (野村総研), 藤代一成 (慶大)
- 9 ギター用マルチエフェクタのための音作り支援システムの開発
○中澤澄斗, 東海林智也 (函館高専)

学生セッション [2Q 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

楽曲生成・分析 座長 深山 覚 (産総研)

- 1 動画特徴量からの印象推定に基づく動画 BGM の自動生成
○清水柚里奈, 菅野沙也, 伊藤貴之 (お茶の水女子大), 嵯峨山茂樹 (明大)
- 2 リズムと音の高さを考慮したモチーフの自動分割
○渡辺 周, 長名優子 (東京工科大)
- 3 遺伝的アルゴリズムを用いたコード進行を考慮した自動作曲
○羽鳥喜紀, 浦井広大, 長名優子 (東京工科大)
- 4 遺伝的アルゴリズムを用いた合唱パートの生成
○藤田佳奈, 長名優子 (東京工科大)
- 5 ユーザの感性を楽曲の好みから抽出する自動作曲システム
○北山慎太郎, 三輪貴信, 橋本周司 (早大)
- 6 自動ジャズアレンジのための事例に基づくメロディ変形
○佐藤直人, 酒向慎司, 北村 正 (名工大)
- 7 ギター弾き語り演奏を入力した自動編曲システムの試作
○大内彬裕, 北原鉄朗 (日大)
- 8 (講演取消)
- 9 限定進行音の解決感のメカニズム
○川村大地, 横山真男 (明星大)

学生セッション [3Q 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

楽曲認識・音響分析 座長 阪上 大地 (コルグ)

- 1 音響情報と動画像情報を用いたドラムソロ演奏の採譜法の改良
○村松慧一, 野口将人, 坪井邦明, 松島俊明 (東邦大)
- 2 ビート位置依存隠れセミマルコフモデルに基づく音楽音響信号に対するコード認識
○丸尾智志 (京大), 前澤 陽 (ヤマハ), 中村栄太, 糸山克寿, 吉井和佳 (京大)
- 3 ニューラルネットワークを用いた和音の教師なし学習の可能性の検討
○石塚 匠, 櫻井彰人 (慶大)
- 4 ルール処理と HMM を統合した和音認識器の実現
○横井史也, 平田圭二 (はこだて未来大)
- 5 ビート準同期隠れマルコフモデルに基づく歌声音高軌跡に対する音符推定
○錦見 亮, 中村栄太, 糸山克寿, 吉井和佳 (京大)
- 6 コード進行と多重音スペクトルの階層ベイズモデルに基づく音楽音響信号の音高推定
○尾島優太, 中村栄太, 糸山克寿, 吉井和佳 (京大)
- 7 音楽信号の多重音解析と音色特性のデジタルフィルターの推定
○日下部峻, 久保田光一 (中大)

- 8 スマートフォンを用いたイヤホン音漏れ測定手法
○中 久治, 土井敦士 (愛知工大), 根岸佑也 (メタプロトコル), 梶 克彦 (愛知工大)

学生セッション [4Q 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)

- 音源分離・認識・センサ 座長 中臺 一博 (ホンダ RIJ)
- 1 マイクロホンアレイ音源分離のための複素 t 分布に基づくマルチチャネル非負値行列因子分解
○北村昂一, 坂東宜昭, 糸山克寿, 吉井和佳 (京大)
 - 2 音源到来方向・時間差を用いた非同期複数マイクロホンアレイ位置のオンライン推定
○関口航平 (京大), 中村圭佑 (ホンダ RIJ), 坂東宜昭, 糸山克寿, 吉井和佳 (京大), 中臺一博 (ホンダ RIJ)
 - 3 音源スペクトログラムの低ランク性とスパース性を考慮した NMF-LDA に基づくマルチチャネル音源定位と音源分離
○板倉光佑, 坂東宜昭, 中村栄太, 糸山克寿, 吉井和佳 (京大)
 - 4 音源分離された生活音の識別による日常活動の推定
○望月大地, 中島正晴, 渥美雅保 (創価大)
 - 5 速さベクトルに基づく自然な空間書き平仮名認識システムの提案
○奥水 駿, 鈴木雅人, 北越大輔 (東京高専)
 - 6 機械学習を用いたセンサ値補正手法の検討
○大野雄一朗, 兼田千雅, 井林宏文, 峰野博史 (静岡大)
 - 7 レーザ測域センサの環境計測時に生じる誤差修正手法の提案
○吉田 裕, 金 聖熙, 古澤耕輔, 羽田靖史 (工学院大)

学生セッション [5Q 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

- 楽曲検索・推薦・プレイリスト 座長 帆足 啓一郎 (KDDI 研)
- 1 繰り返し構造に基づくライブ演奏楽曲の検索手法に関する研究
○春江諒佑, 大野将樹, 獅々堀正幹 (徳島大)
 - 2 BGM におけるタグ情報および音楽的特徴量の類似性の相関に関する考察
○横尾将人, 田中 敦 (山形大)
 - (講演取消)
 - 4 Deep Neural Network を用いた楽器演奏区間検出
○金田 響, 岩野公司 (東京都市大)
 - 5 要約レベルを考慮した音楽要約システムに関する研究
○明石雄太, 大野将樹, 獅々堀正幹 (徳島大)
 - 6 MIDI データと自己組織化マップを用いた演奏曲調分類の研究
○垣田詩鶴香, 三好 力 (龍谷大)
 - 7 個人の嗜好を考慮する楽曲プレイリストのインタラクティブ作成手法の提案
○藤田康寛, 加藤昇平 (名工大)
 - 8 再生時刻に着目した音楽プレイリストのセレンディビティ要因の分析
○向山 輝, 岸上順一 (室蘭工大)
 - 9 楽曲群のコード進行・メタ情報・楽曲特徴量の統合可視化の一手法
○上原美咲, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)

学生セッション [6Q 会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

- 音声対話 座長 岩野 公司 (東京都市大)
- 1 傾聴対話システムのための多様な聞き手応答の生成
○石田真也, 井上昂治, 中村 静, 高梨克也, 河原達也 (京大)
 - 2 初対面対話における場の和みのマルチモーダルな分析と検出
○稲熊寛文, 井上昂治, 中村 静, 高梨克也, 河原達也 (京大)
 - 3 非言語音響情報を利用した聞き役対話システムに関する検討
○梅井良太, 中島 悠 (静岡大), 伊東伸泰 (日本 IBM), 西田昌史, 西村雅史 (静岡大)
 - 4 興味推定による自動車内音声対話情報提供システム
○橋本拓観, 伊藤慶明, 小嶋和徳 (岩手県大)
 - 5 会議における発言の音響的特徴と言語的特徴に基づく自動評価
○岡本康佑, 松原茂樹, 長尾 確 (名大)
 - 6 F0 最大値とアクセント成分最大値を用いたプレゼンテーション音声の重要性強調判定
○小島淳嗣, 伊藤克巨, 花泉 弘 (法大)
 - 7 音声対話における話者と評価者の性別による印象評価の関係
○宮城圭介, 木村堅一, 中里 取 (名桜大学)

- 8 対話ログからのマインドマップ生成のための検討
○田口諒弥, 村田匡輝 (豊田高専), 松原茂樹 (名大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [7Q 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)

- 音声・話者認識 座長 篠原 雄介 (東芝)
- 1 複数スマートフォンで収録された会話音声のためのグループ数推定機能を有する対話グループ検出
○荒毛祐紀, 岩野公司 (東京都市大)
 - 2 複数スマートフォンで収録された会話音声の相互スペクトル減算を用いた話者決定
○小平優希 (東京都市大), 篠田浩一 (東工大), 岩野公司 (東京都市大)
 - 3 ケプストラム領域ピッチ操作とスペクトル位相復元を組み合わせた音声加工
○松原聖人, 林 耕平, 光本大記, 濱田康弘 (明大), 小野順貴 (NII), 嵯峨山茂樹 (明大)
 - 4 複数の音声認識エンジンによる音声記録の書き起こし文補正方式
○森田瑛登, 石井翔太, 秋吉政徳 (神奈川大)
 - 5 会話内非言語音情報抽出のための音響特徴量の検討
○柴田健作, 中村圭佑, 中臺一博 (ホンダ RIJ)
 - 6 区間分割した音声信号の周波数処理による特定人物への音声変換
○松田実紗, 西出 俊, 任 福継 (徳島大)
 - 7 (講演取消)

学生セッション [1R 会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- 自然言語処理 (1) 座長 関 洋平 (筑波大)
- 1 議事録からの課題抽出と能動学習による精度向上
○森田尚也, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
 - (講演取消)
 - 3 雑談対話における未知語や属性の獲得のための質問生成
○大野航平, 武田 龍 (阪大), エリック ニコルズ, 中野幹生 (ホンダ RIJ), 駒谷和範 (阪大)
 - 4 心に響く励まし文の自動生成
○佛木真穂, 萩原将文 (慶大)
 - 5 小説検索システムのための登場人物間関係推定に関する基礎研究
○神谷美希, 當間愛晃, 赤嶺有平, 山田孝治, 遠藤聡志 (琉球大)
 - 6 Web 議論システムにおけるファシリテータ発言の分析のための文脈特徴の検討
○西田拓哉, 白松 俊, 伊藤孝行 (名工大), 藤田桂英 (農工大), 秀島英三, 伊藤孝紀 (名工大)
 - 7 Zero-Shot 言語横断文書検索のための画像媒介学習
○舟木類佳, 中山英樹 (東大)
 - (講演取消)
 - 9 音声対話ロボットによる参照表現生成に向けた3次元シミュレータの構築
○小澤優太 (電機大), 中村友昭 (電通大), 船越孝太郎, 中野幹生 (ホンダ RIJ)

学生セッション [2R 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

- 自然言語処理 (2) 座長 牧野 貴樹 (グーグル)
- 1 構成要素に着目した顔文字の意味分析
○源田 翼, 横井 健 (都立産業技術高専), 山本和英 (長岡技術科大)
 - 2 CSR 企業総覧を用いたテキストマイニング技術による収益の増減予測
○三塚 協, 大和田勇人, 金盛克俊 (東理大)
 - 3 統計翻訳に基づく特許文翻訳の精度向上
○平岡英貴, 山本博史 (近畿大)
 - 4 うつ病患者の周辺看護者に向けた構造化検索結果の可視化
○齋藤俊英 (はこだて未来大), 荒牧英治 (奈良先端大), 宮部真衣 (和歌山大), 平田圭二 (はこだて未来大)
 - 5 関連語を用いた感性語の意味のモデル化
○山崎勢太, 杉本 徹 (芝浦工大)
 - 6 ユーザの興味に応じた記事タイトル自動生成に関する基礎研究
○伊藤 巧, 當間愛晃 (琉球大)
 - 7 利用規約等における重要文の抽出手法の検討
○野村佳太, 前川 司, 水谷晃三, 荒井正之 (帝京大)

- 8 深層学習を用いた画像を説明する文生成手法の一考察
○松尾映里, 小林一郎 (お茶の水女子大), 西本伸志,
西田知史 (NICT), 麻生英樹 (産総研)
- 9 英文和訳評価における類義語変換を組み入れた評価値算出方式
○小林健太, 坂部 司, 秋吉政徳 (神奈川大)

学生セッション [3R 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

自然言語処理 (3) 座長 山下 達雄 (ヤフー)

- 1 (講演取消)
- 2 (講演取消)
- 3 PageRank アルゴリズムを用いた複数時系列文書要約手法への取組み
○柏井香里 (お茶の水女子大)
- 4 結束性と整合性を元にした文章の評価基準作成に向けて
○山口 葵, 平田圭二 (はこだて未来大)
- 5 宣伝効果を促進するための親しみやすいツイートへの言い換え
○佐藤朋美, 関 洋平 (筑波大)
- 6 (講演取消)
- 7 統計言語モデルを利用した自動作曲システムのプロトタイプ構築
○小林正義, 山本博史 (近畿大)
- 8 時系列データのパターンを考慮した言語モデルに基づく自然言語生成
○青木花純, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 9 フィクション上のキャラクターに対する性格推定
○田中翔一, 山本博史 (近畿大)

学生セッション [7R 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)

論理と推論 座長 福田 直樹 (静岡大)

- 1 不確実な状況における条件文の三値・確率論的解釈
○並木尚也, 高橋達二 (電機大)
- 2 自己組織化特徴マップに基づいた確率的連想メモリによる Profit Sharing の実現
○片山貴裕, 長名優子 (東京工科大)
- 3 企業の株価データを用いた業種ごとの同類度分析
○楊 小龍, 沖本まどか, 上野雄史, 斉藤和巳 (静岡県大)
- 4 飽和パターンマイニングの並列化のための一手法
○長尾雅弘, 世木博久 (名工大)
- 5 ILPを用いた体脂肪量の減少につながる生活習慣規則の抽出
○牛窪 翔, 金盛克俊, 大和田勇人 (東理大)
- 6 多重文脈型推論システムを効率に実装するための遅延評価スキーム
○季 承成, 栗原正仁, 佐藤晴彦 (北大)
- 7 Characterizing Similarity Structure of Spatial Networks Based on Degree Mixing Patterns
○アリフ マウラナ, 斉藤和巳, 池田哲夫, 湯瀬裕明, 渡辺敬之,
大久保誠也, 武藤伸明 (静岡県大)
- 8 アビリティの受け渡しを考慮した間接的貢献行動のプランニング
○嶋崎大介, 福田直樹 (静岡大)

第3分冊**(ネットワーク)****一般セッション [4C会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)****コンシューマシステム 座長 峰野 博史 (静岡大)**

- 1 サービスロボットとスマートフォンによるマーケティングプラットフォームの研究
○古田直人, 阿久津裕, 中川大助, 安田公和, 高橋恭裕, 中川幸子, 成田雅彦 (産業技術大)
- 2 IoTプラットフォームを用いた機器制御アプリケーションの実装
○森 郁海, 鷺尾元太郎, 田村孝之 (三菱)
- 3 寒冷地住宅のコージェネレーションシステムのための電力需要予測と評価
○今野陽子, 川村秀憲 (北大), 鈴木恵二 (はこだて未来大)
- 4 個人に特化した室内環境制御のための快適性推定システム
○今西智哉, 福田美桜, 西 宏章 (慶大)
- 5 家庭用エアコン向け部屋認識技術
○小松佑人 (日立/北陸先端大), 浜田宏一 (日立), 磯田貴宏, 上田貴郎, 羽生博之 (日立アプライアンス)

一般セッション [5C会場] (3月11日(金) 15:20 ~ 17:50)**ユビキタスコンピューティングとセンシングシステム 座長 藤波 香織 (農工大)**

- 1 大規模イベント会場における人の動線分析に関する一考察
○北上真二 (早大), 荻野 正 (明星大), 宮西洋太郎 (アイエスイーエム), 浦野義頼, 白鳥則郎 (早大)
- 2 すれ違い通信を用いたGPSの精度向上手法に関する一考察
○荻野 正 (明星大), 北上真二 (早大), 宮西洋太郎 (アイエスイーエム), 浦野義頼, 白鳥則郎 (早大)
- 3 テーマパークにおける混雑回避のためのスマートデバイスを利用した巡回経路レコメンド方式
○高見一正, 前田勝也 (創価大)
- 4 マイクロブログとセンサデバイスを利用した電子端末向け広告配信システム
○池田輝政 (愛知工大), 炭竈桂輔, 遠藤正隆, 中嶋裕一, 三浦哲郎 (リオ), 菱田隆彰 (愛知工大)
- 5 火山噴火情報データベースを利用したモバイルアプリケーション「じおログモバイル」の開発
○高橋伸弥, 奥村 勝, 鶴田直之 (福岡大)
- 6 組込みシステムにおけるGUI描画のためのモジュール間通信の一開発手法
○田中宏平 (三菱)
- 7 ゲームの途中状態を複製・共有するシステムの提案
○市川優平, 乃村能成 (岡山大)

一般セッション [6C会場] (3月12日(土) 9:30 ~ 12:00)**ネットワーク関連技術 座長 今泉 貴史 (千葉大)**

- 1 Service Function Chaining 用パケット転送DBの高速更新方式
○奥 智行, 古橋亮慈 (日立)
- 2 キャンパスネットワークにおけるWAN接続広帯域化の効果
○松田勝敬, 角田 裕 (東北工大)
- 3 DPN環境におけるSNS情報に基づいたプログラマブルなトラフィック制御手法の検討
○柳田晴香 (お茶の水女子大), 中尾彰宏, 山本 周 (東大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 4 共有メモリベース小型ロボット制御マルチホップ通信システムの一検討
○田中 晶 (東京高専)
- 5 A Basic Approach for Full Duplex MAC Design for Asymmetric Uplink and Downlink Traffic.
○Md. Abdul Alim, 渡辺 尚 (阪大)
- 6 高可用性ストレージシステムのためのSDNを用いた環境適応型通信方式の評価
○和泉 諭, 江戸麻人, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 7 サーバレスなセンサ型アプリケーションの構築基盤におけるユーザマッチング手法の提案
○生出拓馬, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)

一般セッション [7C会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)**道路交通情報 座長 白石 陽 (はこだて未来大)**

- 1 ミクロ交通シミュレーションによる階層型協調交通システムの評価
○上原和樹, 赤嶺有平, 當間愛晃 (琉球大), 根路銘もえ子 (沖縄国際大), 遠藤聡志 (琉球大)
- 2 災害時におけるEVの残留エネルギーを考慮した目標地選択と避難経路探索手法の提案
○今西智哉, 神戸祥夫, 西 宏章 (慶大)
- 3 (講演取消)
- 4 舗装維持管理効率化のためのニューラルネットを用いた路面性状予測の検討
○奥田知之, 神武直彦 (慶大), 黒須秀明 (パスコ)

一般セッション [1D会場] (3月10日(木) 9:30 ~ 12:00)**位置情報と応用システム 座長 深澤 佑介 (NTTドコモ)**

- 1 携帯端末間距離情報による端末位置特定方法
○松本光弘, 白木宏明, 大松史生 (三菱)
- 2 歩行者自律航法改善のための、加速度と気圧情報を組み合わせた階段昇降認識手法の提案
○蛭子貴文, 吉澤史男, 金崎克己 (リコー)
- 3 リストバンド型端末向け本人認証技術
○高田晋太郎, 長坂晃朗 (日立)
- 4 マーカー画像を用いた室内位置推定手法の無人機制御への適用性の評価
○葉玉寿弥, 小倉雅樹, 中村僚兵 (防衛大)
- 5 歩行者移動時間推定システムの実用化に向けた実地検証
○佐藤 翼, 袴田和則, 木村卓哉 (総合警備保障)
- 6 生物モニタリングにおける位置情報付与の利便性を向上したスマートフォン・アプリケーションの開発
○服部純子, 安川雅紀 (東大), 喜連川優 (NII/東大)

学生セッション [4R会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)**マルチメディア情報処理 座長 青木 秀一 (NHK技研)**

- 1 症例画像を用いた色調変化解析による発赤の客観評価
○漆原勝冨, 亀田昌志, 大崎 真, 武田利明 (岩手県大)
- 2 画像復元型符号化に対する画質改善に有効な高域成分生成手法
○佐伯哲也, 亀田昌志 (岩手県大)
- 3 情報参照のためのウィンドウ表示位置管理機構について
○吉田圭佑, 丹羽佑輔, 大田忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 4 画像の曲線近似表現を用いたエッジの鮮鋭化
○野澤麻衣, 亀田昌志 (岩手県大)
- 5 自然画像とCG画像を識別するときの注目箇所とその要因
○赤間 遥, 亀田昌志 (岩手県大)
- 6 デジタルサイネージコンテンツにおけるアイトラッキングの利用と効果
○澤木みゆ, 水野信也 (静岡理工科大)
- 7 動画を扱うデジタルサイネージのための管理検索システム
○成田 諭, 早川栄一 (拓大)

学生セッション [5R会場] (3月11日(金) 15:20 ~ 17:50)**ネットワーク運用技術 座長 室田 朋樹 (東京海洋大)**

- 1 エージェントに基づくネットワークデータ分析支援基盤
○山田良介, 谷村優介, 笹井一人 (東北大), 高橋秋典 (秋田大), 北形 元 (東北大), 五十嵐隆治 (秋田大), 木下哲男 (東北大)
- 2 マルチホーミングにおけるIPアドレスホッピングを用いたDDoS攻撃防御方式
○岩永崇裕, 木村成伴 (筑波大)
- 3 SDNを用いたモビリティマネジメントに関する一考察
○畑 美純, 和泉 諭, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 4 シミュレーションによるNETCONF検証環境の設計と実装
○岡部誠人, 廣津登志夫 (法大)
- 5 新世代ネットワークアーキテクチャZNAにおけるセッション層の試作
○渡邊大記, 金子晋丈, 寺岡文男 (慶大)
- 6 複数コントローラによって管理されるOpenFlowネットワークへのグラフ分割アルゴリズムの応用
○福田伸一郎 (創価大)

- 7 エクスターナルグリッドに対する依存関係を利用した不正解析のリスクを軽減する手法

○山口晃右, 稲元 勉, 樋上喜信, 小林真也 (愛媛大)

8 (講演取消)

学生セッション [6R会場] (3月12日(土) 9:30~12:00)

モバイルデバイス応用とIoT 座長 荒川 豊 (奈良先端大)

- 1 スマートフォンによるシステムシミュレーション初学者向けシステム
○木寄拓人, 滑川光裕 (嘉悦大)
- 2 Android 端末への IEEE 802.21 の機能の実装と動作検証
○大久保陽平, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (愛知工大), 渡邊 晃 (名城大)
- 3 コンテキストに応じたサービスを提供する車載情報端末の検討
○松山聖路, 中山祐貴, 清原良三 (神奈川工科大)
- 4 IoTにおける機器のリソースを考慮した動的な分散処理を行うデータ収集システムの提案
○高林佳穂, 小林秀幸, 高橋品子, 千葉慎二, 早川吉弘 (仙台高専)
- 5 多様な IoT 環境に追従可能な優先度制御機構の検討
○橘 拓馬 (静岡大), 古都哲生 (メガチップス), 峰野博史 (静岡大)
- 6 スマートグラスと音声対話による料理支援
○柴田翔平, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 7 ユーザ間の距離を反映した P2P コミュニケーションシステムの開発
○木谷有生誠 (北大), 高井昌彰 (北海道大学情報基盤センター)
- 8 エピソード記憶想起を支援する能動的な手がかり提示手法の検討
○高橋香穂, 蜂谷雄介, 高橋秀幸, 木下哲男 (東北大)

学生セッション [1S会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

アドホック・センサーネットワーク (1)

座長 内藤 克浩 (愛知工大)

- 1 大規模無線センサネットワークにおける中継ノードの低消費電力化のための非対称通信と Wake-up Radio を併用したモバイルシンク通信方式の提案
○岩田将成, 湯 素華, 小花貞夫 (電通大)
- 2 VANETにおける走行軌跡に基づいた IP アドレスパッシングプロトコル
○芳賀峻明, 木村成伴 (筑波大)
- 3 MANETにおけるマルチパスルーティングプロトコルのためのパス長に基づくバックアップ経路更新方式
○佐藤 真, 木村成伴 (筑波大)
- 4 VANETにおける soft-state sketch を用いた位置依存情報の要求分布の集約性能
○山田暁裕, 石原 進 (静岡大)
- 5 MANET Topology Control based on the remaining energy of nodes
○ Bin Saharudin Wan Norshahriman, 原山美知子 (岐阜大)
- 6 間欠通信する漂流 / 落下センサノード群におけるデータ回収
○熊谷 翔, 長田尚哉, 桧垣博章 (電機大)
- 7 確率アルゴリズムによる間欠的無線マルチホップ通信の評価
○熊谷 翔, 桧垣博章 (電機大)
- 8 意図的衝突による無線マルチホップ配送手法における盗聴妨害
○嶋田 勇, 桧垣博章 (電機大)
- 9 間欠的位置ベース無線マルチホップ配送における転送遅延短縮
○堀江 慎, 桧垣博章 (電機大)

学生セッション [2S会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)

アドホック・センサーネットワーク (2)

座長 重安 哲也 (県立広島大)

- 1 無線マルチホップ配送における中継ノード故障偽通知への対応
○曾田雄大, 桧垣博章 (電機大)
- 2 柔軟な無線マルチホップネットワークのための落下無線センサノード
○埴 卓也, 西野 豊, 桧垣博章 (電機大)
- 3 無線マルチホップ配送における衝突回避のためのノード移動
○伊佐野皓士, 桧垣博章 (電機大)
- 4 モバイルアドホックネットワークにおける報酬管理システムへの評価値導入の検討
○林田明子, 梅田沙也華, 神本崇史, 重野 寛 (慶大)

- 5 複数の通信メディアを利用した車車間センシングデータ共有システムにおける妨害攻撃の影響の評価

○植田雄介 (静岡大), Mario Gerla (UCLA), 石原 進 (静岡大)

- 6 フラッディングに関するノード中心性指標の有用性の検証

○中川博文 (岐阜大)

- 7 ネットワークトモグラフィを用いたアドホックネットワークにおける電力推定手法

○桑嶋真也, 中村嘉隆, 高橋 修 (ほこだて未来大)

- 8 無線メッシュネットワークにおける電力残量と負荷を考慮した適応型ルーティングプロトコル

○中村勇介, 小山明夫 (山形大)

- 9 マーカレス AR を用いた無線センサネットワーク可視化システムの提案と実装

○伴 拓実, 星野裕貴, 鈴木秀和 (名城大)

学生セッション [3S会場] (3月11日(金) 9:30~12:00)

センシングシステム・アプリケーション (2)

座長 米澤 拓郎 (慶大)

- 1 スマートフォンを用いたラジオ体操の行動認識に関する検討
○島 孔介 (名工大)
- 2 道路・踏切横断中における「歩きながらスマホ」事前回避のための通知タイミングに着目した警告発出機構
○佐伯 翼, 藤波香織 (農工大)
- 3 歩行中の回避行動認識による路面異常検出 ~カーブと回避行動の区別~
○石川 剛, 藤波香織 (農工大)
- 4 車両信号を用いた運転者の個人特性の推定
○宮原拓磨 (青学大), 神沼充伸 (日産自動車), 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 5 バス運行情報を用いた路線認知のための位置情報ゲームの提案
○浦野健太, 今井 瞳, 廣井 慧 (名大), 河口信夫 (名大/Lisra)
- 6 画像処理を用いたアナログ温湿度計データ取得手法の検討
○光安涼志, 峰野博史 (静岡大)
- 7 軍艦島モニタリングに向けた首振りカメラによる映像取得方式の検討
○守屋広汰, 小寺志保 (静岡大), 倉田成人 (筑波技術大), 濱本卓司 (東京都市大), 猿渡俊介 (静岡大)
- 8 無線センサネットワーク伝送のための地震加速度データ解析手法の検討
○内糸春樹, 藤原孝洋 (函館高専)
- 9 UAV を用いた屋外センサネットワーク管理の高度化に関する一考察
○大坂久登, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)

学生セッション [4S会場] (3月11日(金) 13:00~15:00)

ネットワーク構造・制御 (1)

座長 川上 朋也 (奈良先端大)

- 1 ICNにおける過去のコンテンツアクセスを参考にした近傍キャッシュへのルーティング手法の検討
○佐藤和也, 森 研太, 重野 寛 (慶大)
- 2 Interest Flooding Attack によるルータへの負荷集中と対策
○篠原涼希, 神本崇史, 梅田沙也華, 重野 寛 (慶大)
- 3 構造化オーバーレイにおけるノード状態を考慮した経路表構築手法
○白石裕輝 (岐阜大), 安田 真 (岐阜高専)
- 4 省電力化の為に宛先 IP アドレスを考慮したリンク切り替え方式
○西口雅人, 木村成伴 (筑波大)
- 5 JGN-X のネットワーク仮想化ノード FLARE による SDN 経路制御実験
○平久 紬, 柳田晴香 (お茶の水女子大), 中尾彰宏, 山本 周 (東大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 6 講義室内ネットワークスイッチを利用したアクセス制御システム
○衛藤雄平, 神屋郁子, 下川俊彦 (九産大)

学生セッション [5S会場] (3月11日(金) 15:20~17:50)

個人化サービスと社会応用システム 座長 木原 民雄 (昭和女子大)

- 1 Twitter データを利用した Linked Open Data 作成手法の検討
○麻田修平, 大関和夫, 平川 豊 (芝浦工大)
- 2 機械学習を利用した SNS における炎上画像の推定
○橋本山河, 永井由佳里 (北陸先端大)
- 3 パースト検出に基づく要約手法の検討
○赤木文彦, 小城卓也, 田邊祐貴, 藤井章博 (法大)

- 4 利用者の貢献度を考慮した情報提供のための情報価値決定手法の設計
○園部達也, 菅場啓太, 高橋晶子 (仙台高専)
- 5 価値共創キュレーションシステムの構想 ~会員制タクシーの会話支援を事例とした概念設計~
○中村優吾, 前中省吾, 森下滋也, 安本慶一 (奈良先端大), 福倉寿信, 佐藤啓太, 清原博文 (デンソー)
- 6 Development of Farmers Market Information System to connect with some social Stakeholders
○Isakwisa Gaddy TENDE, 橋 弘智, 岡崎直宣, 山場久昭, 高塚佳代子, 久保田真一郎 (宮崎大)
- 7 スマートフォンアプリケーションを活用したマタニティ支援システムの開発
○渋谷卓磨, 土田 栞 (釧路工大), 上川原ひろみ (市立釧路総合病院), 小松 望 (白糠町役場), 皆月昭則 (釧路工大)
- 8 デマンドレスポンスのためのスマートメータ情報による家庭プロファイル作成手法の提案
○池田伸太郎, 西 宏章 (慶大)
- 9 スマートメータ向け通信インフラストラクチャに適したデータ集約法の提案
○塩原寿周, 西 宏章 (慶大)

学生セッション [6S 会場] (3月12日(土) 9:30~12:00)

- ネットワークプロトコル 座長 丸山 一貴 (明星大)
- 1 VANETにおけるジオルーティング及びDTNによるハイブリッド型ルーティング方式の提案
○菊地亮平, 佐藤文明 (東邦大)
- 2 BloomFilterを用いたゾーンルーティングプロトコルの提案と評価
○大井川由莉亜, 佐藤文明 (東邦大)
- 3 アドホックネットワークにおけるスループットを改善するマルチチャネル MAC プロトコルの提案
○伊東拓哉, 佐藤文明 (東邦大)
- 4 IEEE802.11の起動にIEEE802.15.4のデータ転送を用いた消費電力の低減手法の検討
○青木香奈, 村上厚介, 小林秀幸 (仙台高専)
- 5 WLANとの共存環境におけるIEEE802.15.4の適応的バックオフ制御方式の実装と評価
○村上厚介, 小林秀幸 (仙台高専)
- 6 無線LANにおける衝突履歴に基づいた最低優先度のための最小コンテンツウィンドウ制御方式
○半澤知季, 木村成伴 (筑波大)
- 7 データリンク層の周期的な途絶がTCPのスループットに与える影響
○唐土慶太, 矢向高弘 (慶大)
- 8 S-TDMAスイッチングハブの実装とその評価
○太田原香菜, 矢向高弘 (慶大)
- 9 OpenFlowプロトコルを応用したS-TDMAスイッチの管理機構の実装
○山田佳史 (慶大)

学生セッション [7S 会場] (3月12日(土) 13:00~15:00)

- ネットワーク構造・制御 (2) 座長 藤井 章博 (法大)
- 1 サービス指向アーキテクチャHAMANAにおけるサービス毎にパケット処理するゲートウェイの設計と実装
○清水倫人, Jesu Petar Maglutac, 大竹 淳, 寺岡文男, 金子晋丈 (慶大)
- 2 サービス指向アーキテクチャHAMANAにおけるクライアントAPIとテストアプリケーションの設計と実装
○大竹 淳, 清水倫人, 寺岡文男, 金子晋丈 (慶大)
- 3 Zone Federation Modelの多層化
○臼田垂斗務, 久保田光一 (中大)
- 4 WebRTCを用いたP2Pネットワークの構築と効率化についての検討と評価
○成田裕司, 坪川 宏 (東京工科大)
- 5 ローカルASから見たASネットワークの構造
○遠藤一歩, 石田 亨, 原山美知子 (岐阜大)

学生セッション [1T 会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

- センサーネットワーク 座長 伊藤 昌毅 (東大)
- 1 無線センサネットワークのための簡便な動作カスタマイズ環境
○鍋島 俊, 宮崎敏明 (会津大)
- 2 広域センサネットワークのためのGeohashを用いた時空間分散データベース
○末松直樹, 馬場大輔, 宮崎敏明 (会津大)
- 3 センサデータの時系列変化特徴に基づくデータ回収の効率化手法の提案
○笠谷昇平, 岸田隆祐, 和田祐輔, 塚田晃司 (和歌山大)
- 4 イベント通信に基づく協調型センサネットワークシステムの実装
○吉田麻衣子, 横田裕介 (日本女子大)
- 5 農業支援のための変化点検出を用いた農地センサデータと作業内容の分析
○村上 惇, 小泉真祈, 穴戸健吾, 中村嘉隆, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 6 大規模センサネットワークエミュレーションの設定が容易な統合システムの提案
○馬場大輔, 末松直樹, 宮崎敏明 (会津大)
- 7 軍艦島全域センサネットワーク構築に向けた検討
○岡田隆三, 小寺志保 (静岡大), 富岡昭浩 (日本航空電子), 倉田成人 (筑波技術大), 濱本卓司 (東京都市大), 猿渡俊介 (静岡大)
- 8 複数の通信方式を利用する森林内無線センサネットワークのための制御方式の提案
○和田祐輔, 岸田隆祐, 笠谷昇平, 塚田晃司 (和歌山大)
- 9 共通観測イベントを指標としたセンサデータ取得時刻補正
○荒尾彩子, 松垣博章 (電機大)

学生セッション [2T 会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)

- 無線ネットワーク 座長 太田 賢 (NTTドコモ)
- 1 Android端末における多数台通信時の性能を考慮したバッテリー消費に関する考察
○小柳文乃 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 2 通信トラフィックを考慮した可動式無線LANアクセスポイントの提案
○小林祐斗, 八木佑侑季, 高橋淳二, 戸辺義人 (青学大)
- 3 UAVを用いたモバイルセンシングシステムにおけるスケジューリング機構
○貝塚千穂, 横田裕介 (日本女子大)
- 4 QoEに着目したモバイルネットワーク割り当てシステムの構成方法
○山片優一, 篠宮紀彦 (創価大)
- 5 Radio over Fiberを用いた多アンテナミリ波無線LANにおける動的チャンネル割り当てアルゴリズムの基礎検討
○榎田裕樹, 村上航大, 石原 進 (静岡大), 真野 浩 (コーデンテクノインフォ), 高井峰生 (UCLA)
- 6 モバイル協調ウェブ検索における共有キャッシュを用いたトラフィック抑制手法
○道念 幹 (立命館), 大坪真悟, 西出 亮, 高田秀志 (立命館大)
- 7 無線ネットワークにおける干渉除去を用いた省電力化の検討
○村上 遼, 小林 真, 中川 翔, 西田昇平, 渡辺 尚 (阪大)
- 8 端末間無線通信を用いた多端末間コンテンツ共有ネットワークの構築
○武田悠暉, 山本修平, 西出 亮, 高田秀志 (立命館大)
- 9 秘密分散通信のための無線通信独立な複数経路配送手法の評価
○金持徹也, 松垣博章 (電機大)

学生セッション [3T 会場] (3月11日(金) 9:30~12:00)

- ホームネットワークと情報家電 座長 鳥谷 彰 (富士通研)
- 1 睡眠周期を利用した家電製品連携システムの開発
○金子将之, 有馬一貴, 杉村 博, 一色正男, 黄 啓新 (神奈川工科大)
- 2 ロボット掃除機を活用した環境情報収集システムの構築
○富田祐佑, 菱田隆彰 (愛知工大)
- 3 冷蔵庫内食品の自動認識の研究
○川村絃葉, 三好 力 (龍谷大)
- 4 遠隔地にあるBluetooth LE機器のシームレス接続システムの実装
○岡田真実, 鈴木秀和 (名城大)

- 5 通信プロトコルの違いを意識しない直感的家電制御システムの実装
○梅山莉奈, 増田剛志, 鈴木秀和 (名城大)
- 6 M2M プロトタイプ構築環境と LeapMotionController を使用した電気機器制御システムの開発
○久貝洋介, 井上雅裕 (芝浦工大), 大江信宏, 市村 洋, 小泉寿男 (M2M 研究会)
- 7 XML を用いた HEMS 管理用ミドルウェアの実装と評価
○江村裕太, 西 宏章 (慶大)
- 8 ホームネットワークにおける機器間連携方式の一検討
○秋田浩也, 川上智史, 陳 洵, 佐藤健哉 (同志社大)

学生セッション [4T 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)

マルチメディア通信 座長 木原 民雄 (昭和女子大)

- 1 エージェントによる遠隔相談支援システムの研究
○吉村晋也, 矢島敬士 (電機大)
- 2 多対多ライブ動画配信のためのグループの嗜好を考慮した D2D 情報流制御に関する一検討
○安部 充, 生出拓馬, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 3 SDN を用いた D2D 型無線ネットワーク制御方式の一考察
○甚野和成, 生出拓馬, 和泉 諭, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 4 初期設定作業を簡易化した初心者のための 1 対 1 ビデオチャットシステムの提案
○島本 直, 今井信太郎 (岩手県大), 菅沼拓夫 (東北大), 新井義和, 猪股俊光 (岩手県大)
- 5 ピースの希少性の変化を考慮した P2P ストリーミング方式
○小島圭貴, 佐藤文明 (東邦大)
- 6 ライブビデオストリーミングのための四分木構造に基づいた送信プロック選択手法
○張 寧, 矢向高弘 (慶大)
- 7 Apache Storm を用いたリアルタイムストリームデータ解析フレームワークにおけるセンサ・クラウド間負荷分散の性能評価
○黒崎裕子 (お茶の水女子大), 竹房あつ子, 中田秀基 (産総研), 小口正人 (お茶の水女子大)

学生セッション [5T 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

スマートグリッドと省電力システム 座長 花田 雄一 (富士通研)

- 1 暖寒色を利用した省エネ空調制御システムの構築
○小田原健雄, 岡本健司, 坂本優大, 藤田裕之, 三栖貴行, 一色正男 (神奈川工科大)
- 2 負荷分散及び冷風制御によるデータセンターエネルギーマネジメント
○野口智道, 西 宏章 (慶大)
- 3 節電行動を促進する HEMS 支援ツールの開発
○有馬一貴, 金子将之, 杉村 博, 一色正男, 黄 啓新 (神奈川工科大)
- 4 (講演取消)
- 5 マイクログリッドシステムのオンライン化環境の開発
○馬目華奈 (福高専)
- 6 計測・計算・通信コストを考慮したスマートグリッドシステム全体の消費電力最適化アルゴリズムの実装と評価
○松井忠宗, 西 宏章 (慶大)
- 7 磁気共振方式による複数端末への非接触給電の効率と公平性に関する検討
○関 邦洋, 小花貞夫, 湯 素華 (電通大)

学生セッション [6T 会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

災害ネットワーク 座長 服部 聖彦 (NICT)

- 1 DTN でのコンテンツ配信のための宛先エリアと移動経路エリアに基づくルーティング方式
○岡本一晃, 高見一正 (創価大)
- 2 複数のモバイルリレーを用いた孤立データサーバ間のデータ転送方式
○穴澤和也, Peng Li, 宮崎敏明 (会津大)
- 3 DTN と Message Ferry を用いた孤立サーバ間のデータ同期の検討
○五十嵐友輔, 宮崎敏明 (会津大)
- 4 災害時のための携帯端末を持った人々の移動に基づく通信法
○岡本匡由, 高橋 徹 (阪産大)

- 5 DTN 環境におけるデータ回収の効率化を目的としたシンクノードの役割の分担方法の提案
○岸田隆祐, 和田祐輔, 笠谷昇平, 塚田晃司 (和歌山大)
- 6 情報拡散型災害時情報システムのための可搬型ストレージ通信システムの試作
○井上 碧, 宮木航佑, 陳 思, 小林亜樹 (工学院大)
- 7 (講演取消)
- 8 (講演取消)
- 9 ユーザ参加型センシングを利用した災害後情報収集と安全性を加味した経路地図作成
○池田幸恵, 井上雅裕 (芝浦工大)

学生セッション [7T 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)

災害情報 座長 佐藤 文明 (東邦大)

- 1 災害時利用を念頭に置いたイーサフォン音声通信システム
○村瀬穂貴, 小高知宏, 黒岩丈介, 白井治彦 (福井大)
- 2 実地図を用いた災害時通信システム評価シナリオの構築
○高田千暁, 黒崎裕子, 本橋史帆 (お茶の水女子大), 大和田泰伯 (NICT), 高井峰生 (お茶の水女子大/UCLA), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 3 緊急時における外部情報を用いたデータ転送によるデータ管理手法の検討
○西出彩花, 細谷柚子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 4 サーバ機能付き Wi-Fi AP を利用した非常時伝言アプリケーションの提案と実装
○本橋史帆, 高井峰生 (お茶の水女子大), 大和田泰伯 (NICT), 前野 誉 (スペースタイムエンジニアリング), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 5 情報品質を考慮した災害情報収集の手法の提案
○西山 潤, 多幡早紀, 上田結平, 重野 寛 (慶大)
- 6 自然災害発生時における回線利用状況を考慮した資源適合型ネットワークシステム
○戸川和晃, 佐藤剛至, 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)
- 7 災害リスクを考慮したネットワークの経路制御手法に関する性能評価
○江戸麻人, 和泉 諭, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)

学生セッション [1U 会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)

車載端末とユーザインタフェース 座長 清原 良三 (神奈川工科大)

- 1 ドライビングシミュレータを用いた車両挙動からのドライバの交差点右折先歩行者への気付き推定法に関する検討
○立岩 佳, 中村章紀, 山田啓一 (名城大)
- 2 顔画像特徴と眠気の相関に基づくドライバーの眠気検出
○佐藤優伍, 野澤直樹, 森島繁生 (早大)
- 3 高感度圧力センサの多点観測による自動車運転手の無拘束生体情報計測システム
○町田拓也, 鏑木崇史, 栗原陽介 (青学大)
- 4 スマートフォンを用いたドライバーのペダル操作の予備動作認識
○紺井和人, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 5 歩車間通信における最適な通信制御のためのコンテキストに基づく歩行者の危険度判定手法の検討
○角野カノン, 湯 素華, 小花貞夫 (電通大)
- 6 小規模ネットワーク形成による運転者間コミュニケーションシステム
○伊達宏幸, 新津善弘 (芝浦工大)
- 7 直進走行時における前方車両の半隠消表現に関する基礎検討
○平野愛子, 池田 聖, 木村朝子, 柴田史久 (立命館大)
- 8 衛星測位情報を用いた自動二輪車の運動センシングデータの補正手法の一検討
○杉浦健介, 木谷友哉 (静岡大)
- 9 自動走行システムにおける典型的な車車間通信向けユースケースの成立性の一検討
○田代祥真, 小花貞夫, 湯 素華 (電通大)

学生セッション [2U会場] (3月10日(木) 13:00～15:30)

ナビゲーション 座長 湯 素華 (電通大)

- 1 VANETによるモバイルデータオフローディング遅延時間について東京都圏の実情を用いた評価
○政野博紀, 木谷友哉, 峰野博史 (静岡大)
- 2 高度交通システムにおける信号の変化を考慮した到着時間予測手法の検討
○五味和良, 小原啓志, 柳田 諒, 小川紘基, 重野 寛 (慶大)
- 3 待ち時間を考慮したアトラクションナビゲータの開発
○七里和俊, 綿名一樹, 五味悠一郎 (日大)
- 4 ドライバーの駐車場予約時間に対する信頼度を考慮した駐車場予約機構
○徳田 渉, 伊藤孝行 (名工大)
- 5 路車間通信を用いた観光地誘導システム
○谷崎弘貴, 柴田義孝, 橋本浩二, 佐藤剛至, 伊藤健太 (岩手県大)
- 6 2次元マーカーによるAR案内システムの開発
○清水 創, 山崎祥行, 千種康民 (東京工大), 服部泰造 (東京国際大)
- 7 AIS・MICS情報の活用に関する考察
○宇崎裕太, 瀬尾敦生, 肥田琢弥, 長尾和彦 (弓削商船高専)
- 8 スマートフォンで動作する簡易AISシステムの開発
○瀬尾敦生, 宇崎裕太, 肥田琢弥, 長尾和彦 (弓削商船高専)
- 9 簡易AISシステムを用いた緊急通知システムの設計
○肥田琢弥, 宇崎裕太, 瀬尾敦生, 長尾和彦 (弓削商船高専)

学生セッション [3U会場] (3月11日(金) 9:30～12:00)

交通制御とシミュレーション 座長 柴田 直樹 (奈良先端大)

- 1 ROSのメッセージ通信を利用したダイナミックマップの検討
○青野朝日, 石正幸大, 佐藤健哉 (同志社大)
- 2 ドライバーに対する経路配分の優先順位を考慮した交通全体の最適化手法の提案
○谷 文, 伊藤孝行 (名工大)
- 3 自動運転車間の方策共有による分散協調型の交通最適化
○石川翔太, 荒井幸代 (千葉大)
- 4 交通流シミュレーションによる動的利用者均衡配分の高速計算
○石原雅晃, 福田和輝, 井料隆雅 (神戸大)
- 5 シミュレーションによるCACCの渋滞改善効果の調査
○今枝勇太, 渡邊 晃, 旭 健作 (名城大)
- 6 交通シミュレータFTTSへの横断歩行者モデル導入法の提案と試作
○渡辺裕太, 今井敬太, 影山 旭, 藤田純也, 鈴木才智, 小林篤史, 古市昌一 (日大)
- 7 シミュレーションプラットフォームGAMAに基づく大規模都市交通シミュレーション環境の構築
○大室高志, 服部宏充, 小川祐樹 (立命館大)
- 8 車両周辺環境とドライバー特性を考慮した自動車運転モデルの検討
○楠瀬 適, 出村友秀, 佐藤健哉 (同志社大)
- 9 混合交通のシミュレーション実現に向けた自転車走行モデルの構築
○栃木祐太郎, 荒井幸代 (千葉大)

学生セッション [4U会場] (3月11日(金) 13:00～15:00)

公共交通システム 座長 深澤 紀子 (鉄道総研)

- 1 列車用インターネットシステムの最適設計に関する一検討
○新美祐介, 森 康祐, 金子晋丈, 寺岡文男 (慶大)
- 2 列車用赤外線通信システムにおけるCMOSカメラを用いたビーコンIDの検出
○森 康祐, 新美祐介, 金子晋丈, 寺岡文男, 春山真一郎 (慶大)
- 3 スマートフォンに特化した乗車券分割アプリの開発
○平田直也, 中桐齊之 (兵庫県大)
- 4 運転再開計画最適化とマルチエージェントシミュレーションによる有効性評価
○樋野葉子, 荒井幸代 (千葉大)
- 5 公共交通における路線情報を利用した進行方向判定の高精度化
○神保拓也, 藤波香織 (農工大)
- 6 IoT技術を利用したバスロケーションシステムにおけるWi-SUN通信の基礎評価
○西尾 航, 花井達哉, 鈴木秀和, 松本幸正 (名城大)

- 7 道路データとバス運行データを用いた路線バスの遅延要因分析
○藤原由美恵, 白石 陽 (はこだて未来大)

学生セッション [5U会場] (3月11日(金) 15:20～17:50)

位置推定と歩行者ナビゲーション 座長 小林 亜令 (KDDI研)

- 1 PDRと三次元空間認識を用いた屋内位置推定
○根岸拓郎, 藤田 悟 (法大)
- 2 Beacon配置空間での近傍点推定方式
○前田俊彦, 菊池竜太, 柏倉 歩, 大谷 真 (湘南工大)
- 3 BLE Beaconを用いた視覚障がい者歩行支援法
○宮木 洋, 新津善弘 (芝浦工大)
- 4 RFIDタグを用いた買い物支援システムにおける買い物客と商品の位置推定法
○川口正太郎, 山下晃弘, 松林勝志 (東京高専)
- 5 視覚障がい者向けナビゲーションのためのRFIDタグを用いた位置推定システム
○佐藤俊太, 坂上晴信, 佐藤 佳, 高石一樹, 木岡拓海, 山下晃弘, 松林勝志 (東京高専)
- 6 視覚障がい者ナビゲーションのための準天頂衛星「みちびき」を用いた位置推定システムの提案
○坂上晴信, 佐藤 佳, 佐藤俊太, 高石一樹, 木岡拓海, 山下晃弘, 松林勝志 (東京高専)
- 7 ユーザロケーションに応じた腕時計型ウェアラブルデバイスによる動的な情報提示システムの開発
○吉田崇洋, 井口信和 (近畿大), 野田 潤 (NECソリューションイノベータ)

- 8 仮想空間システムを用いた歩行者ナビ利用状況計測手法の提案
○嶋田光佑, 廣井 慧 (名大), 梶 克彦 (愛知工大), 河口信夫 (名大)
- 9 ビザンチナルアルゴリズムを応用した不正動作サイネージの特定法
○管 佳男, 高見一正 (創価大)

学生セッション [6U会場] (3月12日(土) 9:30～12:00)

屋内位置推定・状況把握 座長 梶 克彦 (愛知工大)

- 1 既存WiFiアクセスポイントからの受信電波強度を用いた在室人数推定
○吉田拓矢, 谷口義明 (近畿大)
- 2 Wi-Fiビーコン発信動的制御による屋内ナビゲーションの検討
○黄 キ, 八木佑侑季, 高橋淳二, 戸辺義人 (青学大)
- 3 局所的通信システムを用いた時系列情報に基づく周囲ロボットの相対位置推定
○佐藤 亮, 新井義和, 今井信太郎, 猪股俊光 (岩手県大)
- 4 屋内人流把握のための磁気系列データを用いた歩行速度推定
○松林 勝, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 5 複数のウェアラブルデバイスを併用したBLEによる室内位置測位精度の向上手法の検討
○中島尚紀, 湯 素華 (電通大), 土岐 卓, 大岸智彦 (KDDI研), 小花貞夫 (電通大)
- 6 BLEビーコンを用いたエリア推定による屋内位置測位手法の提案
○工藤大希, 堀川三好, 古舘達也, 岡本 東 (岩手県大)
- 7 PDRを用いたノンテリトリアルオフィスにおける在席・離席管理手法
○寺井大地, 三木光範, 上南達平, 山口浩平, 間 博人 (同志社大)
- 8 スマートフォンを用いた屋内位置情報が把握可能なアプリケーションの開発
○藤野慶汰, 田中康一郎 (九産大)

- 9 地磁気ベクトル情報を用いた屋内位置推定手法
○鈴木祥太, 廣津登志夫 (法大)

学生セッション [7U会場] (3月12日(土) 13:00～15:00)

位置情報システム 座長 肥田 一生 (富士通研)

- 1 ARに基づく省電力型ナビゲーションシステムの提案
○西部剛文, 佐藤文明 (東邦大)
- 2 スマートフォンカーナビにおける操作性向上方式
○山辺教智, 松山聖路, 清原良三 (神奈川工大)
- 3 RFIDと準天頂衛星を用いた視覚障がい者ナビゲーションシステムPULL DOGの開発と実証実験
○佐藤 佳, 坂上晴信, 佐藤俊太, 高石一樹, 木岡拓海, 山下晃弘, 松林勝志 (東京高専)

- 4 視覚障がい者ナビゲーションのための点字ブロックをベースとしたルート探索と屋内外のシームレスな誘導方法
○高石一樹, 佐藤 佳, 坂上晴信, 佐藤俊太, 木岡拓海, 山下晃弘, 松林勝志 (東京高専)
- 5 GPS と歩数計を用いた放牧牛の運動量測定手法の提案
○古川瀬知, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 6 スマートグラスによる行動計測と BLE 位置測位を用いた屋内ガイドシステムの構築
○千葉 崇, 植竹俊文, 堀川三好 (岩手県大)
- 7 TLIFES を活用した安否確認システムの提案
○金澤晃宏, 旭 健作, 鈴木秀和, 川澄未来子, 渡邊 晃 (名城大)

学生セッション [1V 会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ウェアラブルセンサ・システム 座長 中澤 仁 (慶大)

- 1 ウェアラブルセンサを用いた歩行時の腕の状態認識
○溝口真太郎, 深瀬政秋, 今井 雅, 古見 薫, 新岡七奈子, 黒川 敦 (弘前大)
- 2 手首装着型デバイスにおける常時視認可能な情報表示のための前腕状態推定
○谷田佑貴, 小枝功次郎, 藤波香織 (農工大)
- 3 ウェアラブルセンサを用いた打鍵特徴による個人認証手法の提案
○伊藤駿吾, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 4 頻出パターン系列の出現順序に着目したコンテキスト抽出法
○大越寿彦, 渡邊優太 (会津大), 太田昌克 (NTT), 宮崎敏明 (会津大)
- 5 集団活動時の楽しい振り返りを支援する身体装着型カメラによる体験自動記録
○木下恵理子, 小坂真美, 藤波香織 (農工大)
- 6 外部装置を用いた人型ロボットの機能拡張システム
○古川彰太, 野場絢斗 (愛知工大), 炭竈桂輔, 遠藤正隆, 中嶋裕一, 三浦哲郎 (リオ), 池田輝政, 菱田隆彰 (愛知工大)
- 7 ヒューマンプロンプトサーバの研究開発
○清尾直輝, 田中成典, 山本雄平, 塚田義典 (関西大)
- 8 多人数の状況を効果的に観測するウェアラブル生体センサネットワークのシミュレーション評価
○佐々木壘, 市地 慶, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)

学生セッション [2V 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

センシングシステム・アプリケーション (1) 座長 西村 康孝 (KDDI)

- 1 小型デバイス向け遠隔連携センシングシステムの開発
○山田早礼, 横田裕介 (日本女子大)
- 2 エージェント型 IoT システムの自律適応制御手法
○横山真悟, 加藤 匠, 高橋秀幸, 木下哲男 (東北大)
- 3 Push 通知型医療情報システムの開発
○中野友裕 (近畿大), 江指未紗, 佐藤菊枝 (京大), 疋田智子, 保谷麗子, 岡本和也, 黒田知宏 (京大病院), 大星直樹 (近畿大)
- 4 ウェアラブルシステムにおける動的に変化する複数のデバイスの管理機能の研究
○山田真之, 馬 建華 (法大)
- 5 HEMS のための人行動把握センサシステムの研究
○生野雷人, 数野翔太, 岡本健司, 内海和貴, 関家一雄, 一色正男 (神奈川工科大)
- 6 サービス競合を考慮したホームネットワークシステムに関する考察
○牧岡竜人, 平川 豊, 大関和夫 (芝浦工大)
- 7 360° パノラマ動画の多視点映像コンテンツ生成システムの提案
○柴原直也 (電機大), 内田和隆, 福本 駿 (カディンチェ), 岩井将行 (電機大)
- 8 顔認識カメラを備えた移動式コミュニケーション誘発システムの提案と実装
○前田直樹, 荒川 豊, 安本慶一 (奈良先端大)
- 9 pic-con!: お気に入りの写真とビーコンを活用して街中でもう一人の自分を表現するサービス
○水野汰一 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)

学生セッション [3V 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

クラウドとセキュリティ 座長 石原 知洋 (東大)

- 1 複数のクラウドを跨る広域オートスケールに関する考察
○前野洋史, 神屋郁子, 下川俊彦 (九産大)
- 2 柔軟な Web アプリケーションサーバ環境自動構築システムの開発
○阿部高裕, 前野洋史, 神屋郁子, 下川俊彦 (九産大)
- 3 緊急災害情報をトリガとするハイブリッドクラウドにおける自動制御モデルの一検討
○原瑠理子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 4 ルータ設定実習環境の自動構築システムの開発
○山崎俊彦, 神屋郁子, 下川俊彦 (九産大)
- 5 VpnService 型 NTMobile システムへのユーザ認証機能の導入
○山田貴之, 上野泰輔, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (愛知工大), 渡邊 晃 (名城大)
- 6 サンドボックス環境を用いた移動型エージェントによる安全なサービス個人化手法
○久保田恭守, 北形 元, 高橋秀幸, 笹井一人, 木下哲男 (東北大)
- 7 Tor ネットワークにおける通信分析システム
○堀越雄貴 (埼玉大)

第3分冊

(セキュリティ)

一般セッション [2D 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

プライバシー保護と機械学習セキュリティ 座長 島岡 政基 (セコム)

- 1 電力自由化を想定したプライバシー保護データシェア手法の提案
○今西智哉, 岡田健吾, 西 宏章 (慶大)
- 2 自動 ID 取得ツール対策としての多層ニューラルネットワーク
○安藤義裕 (ヤフー)
- 3 DSQR コードを利用した Web システムにおける相互認証
○先名健一 (QR テクノロジー)
- 4 USB3.0 フラッシュメモリに対する個体識別のための特徴量抽出
○蒲原智也 (関西大)
- 5 エントロピーを用いた類似度評価システムの応用に関する一考察
○高田慎也, 元田敏浩 (NTT)
- 6 ファジィ推論に基づく状態推定を用いたカオス同期のセキュリティ向上
○清水能理 (八戸工大)

一般セッション [3D 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

セキュリティ心理学・マネジメント 座長 島 成佳 (NEC)

- 1 大規模情報漏えいにおけるセキュリティマネジメントからの考察
○内田勝也 (情報セキュリティ大)
- 2 インターネットを介した遠隔二者間における安全な契約関係を結ぶための提案
○山田 遼, 堀 正弘, 小松雄一, 庭野栄一, 山本隆広 (NTT)
- 3 情報セキュリティにおける騙しの考察
○内田勝也 (情報セキュリティ大)
- 4 意識調査において実施方法の差異が与える影響について
○八城年伸 (安田女子大)
- 5 情報セキュリティ人材育成におけるセキュリティ知識項目 (SecBoK) の有効活用
○平山敏弘 (日本 IBM)
- 6 ビッグデータ時代のサプライチェーンにおける情報セキュリティに関する一考察
○鈴木邦成, 若林敬造, 村山要司 (日大)

学生セッション [4V 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)

応用暗号 座長 菊池 浩明 (明大)

- 1 認証サーバからユーザが利用する Web サービスを秘匿する権限委譲方式の提案
○角田裕太, 渡邊貴文, 西倉裕太, 宮田大地, 渡辺亮平, 齋藤孝道 (明大)

- 暗号技術を用いたセキュアグループコミュニケーションの提案
○棚田慎也, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (愛知工大), 渡邊 晃 (名城大)
- 属性証明書を利用した強制アクセス制御の実現
○中本泰貴, 小林吉純 (阪工大)
- 索引を用いた秘匿検索における安全性の高い複数演算の連携法
○秋山賢人, 渡辺知恵美, 北川博之 (筑波大)
- 順序付け ID ベースアグリゲート署名についての実装と性能評価
○玉井裕太, 岩村恵市 (東理大)
- 楕円曲線暗号におけるスカラー倍の効率化
○板場千明, 木下俊之 (東京工科大)
- 51% 攻撃の分析と予防
○李 雨坤, 岸上順一 (室蘭工大)
- “テンボ感”を特徴量に取り入れたリズム認証の評価
○堀 孝浩, 朴 美蘭, 豊田健太郎 (神奈川工科大), 喜多義弘 (東京工科大), 岡崎直宣 (宮崎大)
- (講演取消)
- 複数の認証手法を用いた視覚的なフェイク入りロック解除方式の提案
○菊地友斗, 佐々木慎吾, 高橋啓伸, 立花聖也, 坂松春香, 藤原貴正, 小倉加奈代, Bhed Bista, 高田豊雄 (岩手県大)
- スマートデバイスにおける振動機能を利用したマルチタッチ解除方式の提案
○立花聖也, 高橋啓伸, 佐々木慎吾, 菊地友斗, 鎌田恵介, 小倉加奈代, Bhed Bista, 高田豊雄 (岩手県大)
- サーバーを用いた一筆書き CAPTCHA の問題画像と解答データの自動生成手法の検討
○小松原健, 山村明弘, 高谷真弓 (秋田大)

学生セッション [5V 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

ソーシャルメディアのセキュリティ

座長 中村 嘉隆 (はこだて未来大)

- Twitter におけるリツイートに注目したスパムアカウントの検出
○野村信吾, 中山泰一 (電通大)
- ビッグデータ分散処理基盤における共有データ二次利用時のセキュリティ制御に関する考察
○横山紗妃, 小口正人 (お茶の水女子大)
- OAuth 認証を利用する SNS の認可リスクに関する考察
○吉田達司, 関 良明 (東京都市大)
- 企業内ネットワークを支えるデータセンターにおけるセキュリティ課題の SDN を用いた解決手法の提案、及び評価
○飯塚哲史 (情報セキュリティ大)
- (講演取消)
- 位置情報の匿名化の有用性向上に関する一検討
○西山賢志郎 (情報セキュリティ大), 林 弘悦 (中大), 土井 洋 (情報セキュリティ大)
- SaaS 利用検討時のリスク認知バイアスの緩和に関する提案
○羽田真也 (情報セキュリティ大)
- クラウド型の情報システムの間接利用に関する不安感の調査
○林 修平, 福田洋治 (愛知教育大), 白石善明 (神戸大), 毛利公美 (岐阜大)
- 防災情報提供 bot のための位置表現を含むつぶやき促進機能の開発
○榎田宗丈, 吉野 孝, 本塚智貴, 江種伸之 (和歌山大)

学生セッション [6V 会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

リスク分析/リスク対応 座長 土井 洋 (情報セキュリティ大)

- (講演取消)
- 標的型攻撃の早期検知に向けた STIX/TAXII の活用に関する検討
○岡田周平, 後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
- IDS を用いた DDoS 攻撃の検知
○山田洋之, 久保田光一 (中大)
- あみだくじを用いた対話的なブラウザ履歴漏洩の研究
○笹 航大, 清水雄太, 菊池浩明 (明大)
- 家庭内無線 LAN における「無線 LAN ただ乗りおよび不正アクセスポイント」対策システムの開発
○松室和馬, 神屋郁子, 下川俊彦 (九産大)
- 標的型メール攻撃対策のための自動訓練メールクライアントシステム
○岩田一希, 中村嘉隆, 高橋 修 (はこだて未来大)
- DNS 情報を用いた不正 Web サイト検知システムの提案
○金澤しほり, 中村嘉隆, 高橋 修 (はこだて未来大)
- コンテンツ型フィッシング詐欺サイト検知手法の問題点とその改善
○浜地達也, 岡本 剛 (神奈川工科大)
- 画像局所持特徴量を利用したフィッシングサイト検知手法の提案
○高橋啓伸, 小倉加奈代, Bhed Bista, 高田豊雄 (岩手県大)

学生セッション [1W 会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)

認証 座長 渡邊 晃 (名城大)

- (講演取消)
- オプティカルフローを用いた顔認証の生体検知方式
○板橋宏樹, 姜 玄浩, 岩村恵市 (東理大)

学生セッション [2W 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

攻撃分析 座長 沖野 浩二 (富山大)

- Linux ディストリビューションにおけるメモリ破壊攻撃への対策技術の適用状況の調査
○王 氷, 角田佳史, 堀 洋輔, 馬場隆彰, 宮崎博行, 近藤秀太, 渡辺亮平, 齋藤孝道 (明大)
- Shadow Memory を用いたプログラムローダにより Heap-based Buffer Overflow 攻撃を緩和する手法の提案と実装
○渡辺亮平, 角田佳史, 堀 洋輔, 馬場隆彰, 宮崎博行, 王 氷, 近藤秀太, 齋藤孝道 (明大)
- 脆弱なライブラリ関数を置き換えるプログラムローダにより Stack-based Buffer Overflow 攻撃を緩和する手法の提案と実装
○近藤秀太, 角田佳史, 堀 洋輔, 馬場隆彰, 宮崎博行, 王 氷, 渡辺亮平, 齋藤孝道 (明大)
- クライアント環境で動作するセンサを利用したドライブ・バイ・ダウンロード攻撃の検出手法の提案
○吉田 豊, 中村嘉隆, 高橋 修 (はこだて未来大)
- HTTP リクエストシーケンスに注目した Drive-By Download 検知手法
○工藤 聖, マントラン・コン, 中村康弘 (防衛大)
- 準パススルー型ハイパーバイザを利用したブロックストレージの書き込み監視システム
○都築卓馬, 海野友希, 平野 学 (豊田高専)
- Similarity Digest システムの 4KiB ブロックデータへの適用と評価
○都築夏樹, 吉田光輝, 平野 学 (豊田高専)
- パケット解析を用いた Tor 通信先の識別のための実験
○早川宏志, 青木太一, 佐藤 直, 土井 洋 (情報セキュリティ大)
- JavaScript キーロガーの検知手法の提案と実装
○平 俊介, 高須 航, 山田智隆, 武居直樹, 西倉祐太, 石川貴之, 細井理央, 安田昂樹, 高橋和司, 齋藤孝道 (明大)

第4分冊

(インタフェース)

一般セッション [4D会場] (3月11日(金) 13:00～15:00)

CGとネットワーク 座長 小林 稔(明大)

- 1 表面張力による液滴の変形と双対多面体の関係について
○笠 晃一(福岡工大)
- 2 (講演取消)
- 3 複数種のLCDを配置した半球ドーム型高臨場感ディスプレイシステムの構築手法
○神原利彦, 西田大樹(八戸工大)
- 4 稼働率と構築コストのバランスを考慮したプライベートクラウドシステムの設計手法
○田中俊介, 中村竜也(NTTデータ)
- 5 (講演取消)

一般セッション [5D会場] (3月11日(金) 15:20～17:50)

HCI一般(1) 座長 伊藤 貴之(お茶の水女子大)

- 1 旅ノート型システムを用いたリピータ創出手法の提案
○北村尊義, 守屋 駿, 泉 朋子, 仲谷善雄(立命館大)
- 2 履歴データに基づく機器操作実行タイミングのモデル化と操作予測手法の提案
○橋本幸二郎(熊本高専), 道木慎二(名大), 道木加絵(愛知工大)
- 3 災害時の思い出を用いた仮想空間型災害擬似体験システムの提案
○吉田光毅, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄(立命館大)
- 4 インテル RealSense™を活用したマルチモーダル感情分析システムの開発とその評価
○齊藤 桂, 橋本芳昭(LASSIC), 植田俊幸(国立病院機構), 石井克典(鳥取環境大)
- 5 ペットセラピーにおける身体性の効果
○林 里奈, 加藤昇平(名工大)
- 6 (講演取消)
- 7 人名入力における音声を用いた属性情報付加によるかな漢字変換の候補選択
○梅澤 猛, 大澤範高(千葉大)

一般セッション [6D会場] (3月12日(土) 9:30～12:00)

HCI一般(2) 座長 尾形 哲也(早大)

- 1 木構造に基づくアイデアの評価法とアイデア創造支援システム
○竹島 亮, 長尾 確(名大)
- 2 見た風景のイメージを検索キーとする地図検索手法
○坂入威郎, 渡辺昌志, 亀井克之, 伊川雅彦(三菱), 泉 朋子, 北村尊義, 仲谷善雄(立命館大)
- 3 拡張現実を利用した3D電子テキスト表示に関する研究-システム概要と入力インタフェース-
○杉山正治, 柴田みゆき(大谷大), 平塚 聡(立命館大)
- 4 多言語表示に自動対応するデジタルサイネージシステムの開発
○小荷田樹之, 小木哲朗, 廣井裕一(慶大)
- 5 超微細眼球運動及び頭部運動検出のための同期高精度撮影系の構築
○藤江博幸(三城), 田中靖人(神経数理学研究所), 七五三木聡(阪大)
- 6 CVCAを活用したサービスデザイン着想支援
○池本浩幸(首都大・産業技術大)

学生セッション [3W会場] (3月11日(金) 9:30～12:00)

コンヴィヴィアルなネットワーク 座長 境 真良(国際大学 GLOCOM)

- 1 大勢の人々がリアルフィールドで協調的な活動をする事によってサイバーフィールド上にGPSドローイングアートを実現する参加型イベント支援サービス
○横山慶太(東京工科大), 岡崎博樹(手仕事工房), 上林憲行(東京工科大)
- 2 Massive綱引き: スマートフォンの加速度センサーを基に、チームで協調して綱を引くエネルギーを最大化して、競うことのできるバーチャル綱引きサービスの開発
○赤沼隆聖(東京工科大), 岡崎博樹(手仕事工房), 上林憲行(東京工科大)

- 3 参加型センシングにおけるユーザーの位置情報特定を防ぐためのプライバシー保護手法の提案
○鈴木 涼, 早川知道, 伊藤孝行(名工大)

- 4 観光情報可視化システムのためのWeb上における観光特徴抽出手法の提案
○渡邊小百合, 吉野 孝(和歌山大)

- 5 複数タブレット画面による仮想ディスプレイのための同期的通信手法
○佐々田惟可, 大野佑樹, 清水祐弥, 高崎尚人, 小林重樹(工学院大)

- 6 (講演取消)
- 7 遠隔音楽ライブにおける視聴者の動作入力方法とその評価
○森野雄也, 垂水浩幸, 市野順子, 宮崎 啓(香川大)

- 8 音楽ライブにおける遠隔応援の演奏者向けアニメーション表示
○宮崎 啓, 垂水浩幸, 市野順子, 森野雄也(香川大)
- 9 アメリカンフットボールにおける対戦校のプレイ分析支援システムの構築
○西村康平, 塚田晃司(和歌山大)

学生セッション [4W会場] (3月11日(金) 13:00～15:00)

レンダリング 座長 今給黎 隆(セガ)

- 1 輝度の最大奇与値を用いた半透明物体のリアルタイムレンダリング
○小澤禎裕, 岡本 翠, 森島繁生(早大)
- 2 不均一な半透明物体の描画のためのTranslucent Shadow Mapsの拡張
○持田恵佑, 岡本 翠(早大), 久保尋之(奈良先端大), 森島繁生(早大/JST)
- 3 マルチスペクトルライトトランスポートの獲得とその照明シミュレーションへの応用
○前田茅乃, 岡部孝弘(九工大)
- 4 透過型液晶パネルを用いた4次元ライトトランスポートの獲得
○大矢慎之介, 岡部孝弘(九工大)
- 5 分光反射特性を用いた建物外観の表示
○勝山友地, 柿本正憲(東京工科大)
- 6 (講演取消)
- 7 肌接写画像から抽出した特徴量ヒストグラムに基づく肌微細構造のCG表現
○古川ひとみ, 伊藤貴之(お茶の水女子大), 豊田成人, 小田康太郎(資生堂)

学生セッション [5W会場] (3月11日(金) 15:20～17:50)

対話・協調・コミュニケーション 座長 柴田 邦臣(津田塾大)

- 1 情報の追加を考慮した動的な災害情報放送スケジューリング手法の提案
○松田健吾, 塚田晃司(和歌山大)
- 2 第二の自分: 対話を通して自身の情報を蓄積・利用する対話システムの提案
○三木康太, 宮部真衣(和歌山大)
- 3 Twitter上に投稿された画像への深層学習の適応および内容の分析
○新田大悟, 山下晃弘(東京高専)
- 4 クラウドファンディングにおける成功の判別分析
○三浦泰介, 矢吹太郎(千葉工大)
- 5 クラウドソーシングを用いた協調型ビデオ監視システムフレームワークの提案
○斎藤 奨, 中野鐵兵, 小林哲則(早大)
- 6 Twitter上に投稿された文章に基づく感情推定法とその応用に関する検討
○松林 圭, 五味京祐, 古川和祈, 松尾祐佳, 松原良和(東京高専), 日諸マルセロ優次, 中村拓哉(調和技研), 山下晃弘, 松林勝志(東京高専)
- 7 インスタントなウェブベース多人数交渉支援システムの試作
○早川浩平, 伊藤孝行(名工大)
- 8 訪問看護におけるケア情報共有のための情報共有支援システムに関する研究
○矢里貴之(近畿大), 堀 謙太(群馬県立県民健康科学大), 小笠原映子(新潟大), 大星直樹(近畿大)

学生セッション [6W会場] (3月12日(土) 9:30～12:00)

NPRと画像処理 座長 藤堂 英樹(東大)

- 1 毛筆シミュレーションシステムの開発
○小林享生, 齊藤 剛(電機大)

- 2 詳細なスタイル検索のためのイラストセグメンテーション
○山田大輔, 栗山 繁 (豊橋技科大)
- 3 (講演取消)
- 4 鉄道車窓風景のルートパノラマ
○石倉和貴, 齋藤隆文 (農工大)
- 5 似顔絵の個性を考慮した実写化手法の提案
○中村優文, 山口周悟, 福里 司, 古澤知英, 森島繁生 (早大)
- 6 都市景観画像からの夜景画像推定
○柿崎遼平, 石川知一, 竹島由里子, 柿本正憲 (東京工科大)
- 7 人物と構図を考慮した写真選定手法の提案
○鍛冶屋良輔, 小堀研一, 西尾孝治 (阪工大)
- 8 周辺視野特性を考慮した顕著性マップの作成
○上野真実, 齋藤 豪 (お茶の水女子大)
- 9 SVG 作成用フレームワーク SVuGy を用いたマインドマップの自動生成の提案と実装
○栗村 誠, Duerst Martin, 松原俊一 (青学大)
- 学生セッション [7W 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)**
アニメーション 座長 向井 智彦 (東海大)
- 1 好みを反映したダンス生成のための振付編集手法
○柿塚 亮, 岩本尚也, 朝比奈わかな, 森島繁生 (早大)
- 2 ボーンモデルへの呼吸動作適用による生命感の表現
○清水貴大, 藤代一成 (慶大)
- 3 フレームリシャッフルに基づく事前知識を用いない吹替映像の生成
○古川翔一, 加藤卓哉, 野澤直樹, パーベル サフキン, 森島繁生 (早大)
- 4 モアレによるアニメーション生成
○長岡航太, 齋藤隆文 (農工大)
- 5 アニメーションからのフィルムコミック生成の一手法
○上条大地, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 学生セッション [1X 会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)**
AR・MR と 3次元 座長 金井 崇 (東大)
- 1 MR 技術を用いた遠隔空間共有システムの開発
○新井 諒, 齋藤 剛 (電機大)
- 2 投射マーカを利用した AR システムの開発と応用
○田中雄基, 齋藤 剛 (電機大)
- 3 仮想移動物体に対する MR 光学的整合実現の一手法
○石橋朋果, 森 尚平, 池田 聖, 柴田史久, 木村朝子, 田村秀行 (立命館大)
- 4 色付き三次元物体の類似検索
○真田知佳, 立間淳司, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 5 建機ノイズを除去したグラウンドデータの生成に関する研究
○中原匡哉, 田中成典 (関西大), 中村健二 (阪経大), 櫻井 淳 (関西大)
- 6 小型移動ロボットと RGB-D カメラを用いた実世界 3D スキャニングシステム
○梅澤佑生, 竹島 亮, 長尾 確 (名大)
- 7 空間局在オーディオの視線追跡選択とそのエンタテインメント応用
○清水文也, 藤代一成 (慶大)
- 8 仮想試着システムにおける形状と色調の補正手法
○奥山龍也, 峯村侑志, 小島啓史, 石川知一, 竹島由里子, 柿本正憲 (東京工科大)
- 学生セッション [2X 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)**
モデリング 座長 竹島 由里子 (東京工科大)
- 1 ベジェ曲線による対数美的曲線の近似
○佐々木翼, 関口 湊, 齋藤隆文 (農工大)
- 2 疎なデプス入力と変形操作による単一画像からの三次元形状モデリング
○菊池敬済, 金森由博, 三谷 純 (筑波大)
- 3 境界線を入力とした可展面パッチ集合による形状設計
○大垣雅人, 金森由博, 三谷 純 (筑波大)
- 4 非直角のトリックを用いた不可能立体のモデリングインタフェースの検討
○赤平かなえ, 松田浩一 (岩手県大)
- 5 折り紙の CG 用幾何モデルの自動生成手法
○田中慎一, 金森由博, 三谷 純 (筑波大)
- 6 手術支援を目的とした 3D プリント用簡易臓器モデル生成システム
○宮本恵未, 三谷 純, 大城幸雄, 大河内信弘 (筑波大)
- 7 先天性心疾患三次元モデル作成ツール
○上田雄太 (近畿大), 中沢一雄, 井尻 敬, 稲田 慎 (国立循環器病研究センター研究所), 大星直樹 (近畿大)
- 8 シャドーボックス生成システムの開発
○吉田 惇, 齋藤 剛 (電機大)
- 9 シルエットを近似するタングラム問題生成システム
○佐々木慧 (北大), 高井昌彰 (北海道大学情報基盤センター)
- 学生セッション [3X 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)**
災害・交通 座長 郷 健太郎 (山梨大)
- 1 手話のキーフレームに基づく映像圧縮を用いた災害情報伝達システム
○秋山滉太, 米村俊一 (芝浦工大), 筒口 拳 (NTT)
- 2 大規模災害発生時における緊急車両の出動計画策定支援システムの提案
○樋口雄大, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)
- 3 観光客の行動パターンを考慮した避難誘導方法検討支援システム
○江守直人, 仲谷善雄, 泉 朋子, 北村尊義 (立命館大)
- 4 道路アクセシビリティ情報共有システムの開発
○五ヶ谷純平, 岩田 満 (都立産業技術高専)
- 5 電車内に閉じ込められた乗客同士による相互扶助支援システムの提案
○八木涼平, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)
- 6 周辺車両との匿名会話システムによる渋滞遭遇時のストレス軽減と他車配慮運転の促進
○上田真聖, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)
- 7 ドライバの能動的行動に基づく音楽による運転補助に関する研究
○杉本祥平 (北陸先端大)
- 8 京都の街歩きイベントに基づいた他地域の様相記録自動分類手法: “100ninmap” プロジェクトの応用
○西澤元希 (和歌山大), 北 雄介 (京大), 荒牧英治 (奈良先端大), 宮部真衣 (和歌山大)
- 9 遅足時の歩数検出法の検討
○仁木裕美, 大平栄二 (津山高専)
- 学生セッション [4X 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)**
システム・開発 座長 仲谷 善雄 (立命館大)
- 1 利用者の独り言を文字と関連付けて自動記録するテキストエディタ
○長利慎吾, 寺田 実 (電通大)
- 2 共感に基づくユーザーインサイト獲得方法の提案と評価
○尾崎 愛, 青山幹雄 (南山大)
- 3 (講演取消)
- 4 バージョン管理システムを用いたイラスト描画のための創作活動支援システムの提案
○高見 玲, 岩田 満 (都立産業技術高専)
- 5 (講演取消)
- 6 日本語入力手法評価のためのフレーズ集合の開発
○柳橋良亮, 郷健太郎, 木下雄一郎 (山梨大)
- 7 スクリーンショット類似度に基づくデスクトップ作業履歴管理システムの実装
○松浦辰雄, 丹羽佑輔, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 学生セッション [5X 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)**
シミュレーションと可視化 座長 齋藤 豪 (お茶の水女子大)
- 1 Controllable Bubbles
○古屋 匠, 菊池 司 (東京工科大)
- 2 要素間補間による共回転系弾性体の高速化
○福原吉博, 齋藤隼介, 成田史弥 (早大), 森島繁生 (早稲田大学理工学術院)
- 3 錯の生成過程を考慮した経年変化シミュレーション
○鎌田浩作, 石川知一, 竹島由里子, 柿本正憲 (東京工科大)
- 4 直接操作による流体挙動の制御
○早川雄登, 藤代一成 (慶大)

- 5 凝着説に基づく物体表面の弾性変形を考慮した摩擦音の生成手法の提案
○中塚貴之, 森島繁生 (早大/JST)
- 6 GPU を用いた Fast Marching Method の高速化の一手法
○鶴賀淳樹, 岩崎 慶 (和歌山大)
- 7 2次元流れ場可視化のための LIC 法の改善
○野崎絢也, 斎藤隆文 (農工大)
- 8 マーチングバンドの隊形推移時における演奏者の移動経路誤差の可視化
○堀井絵里, 藤代一成 (慶大)
- 9 ラグビーの試合における戦況の可視化
○石川雄介, 藤代一成 (慶大)

学生セッション [6X 会場] (3月12日(土) 9:30 ~ 12:00)

対話 座長 前田 篤彦 (NTT 未来研)

- 1 情動の可視化が自身と周囲へ与える影響 ~主観と生理指標による検証~
○鳥羽瀬寛子, 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 2 面接技能向上のための自己 PR 支援システム
○高屋敷弓恵, 棚橋 徹, 北原鉄朗 (日大)
- 3 雑談における手がかり情報の差異が印象形成に及ぼす影響分析
○阿波連智恵, 當間愛晃 (琉球大)
- 4 感情推定と知識獲得機能を有する対話システムの構築
○松井辰哉, 萩原将文 (慶大)
- 5 会話の選択的聴取を支援する音声チャットシステム
○神保周児, 亀井清華, 藤田 聡 (広島大)
- 6 会話のタイミングを検討するためのトランスクリプトの自動生成法の検討
○馮 建美, 嶋野太一, 今井倫太 (慶大)
- 7 カメレオン効果を利用したユーザが話しやすいエージェントの検討
○林 義弘, 藤井叙人, 片寄晴弘 (関西学院大)
- 8 音声駆動型身体的引き込みチェアシステムを用いた動画視聴における関心度向上への効果
○今枝悠真, 渡辺富夫, 石井 裕 (岡山県大)
- 9 POMDP を用いたマルチモーダル対話への取り組み
○飯島采永, 小林一郎 (お茶の水女子大)

学生セッション [7X 会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)

ロボット 座長 鈴木 昭二 (はこだて未来大)

- 1 XY テーブルを用いた卓上アクチュエーションシステム
○蓮本諒介, 樋田基紘, 尾形正泰, 今井倫太 (慶大)
- 2 過去画像履歴を用いたロボットの遠隔操縦に適する俯瞰視点画像の生成
○木下 凌, 羽田靖史 (工学院大)
- 3 音声遅延環境における話者交替の円滑化のためのテレプレゼンスロボットの提案
○末松 久, 長谷川孔明, 今井倫太 (慶大)
- 4 感覚提示の有効性の検証を目的とした遠隔ロボット制御システムの実装
○吉原大輔, 矢向高弘 (慶大)
- 5 プロジェクタロボットを用いた運転支援システムにおけるエージェントの振る舞いの研究
○堀元 見, 長谷川孔明 (慶大), 大澤博隆 (筑波大), 今井倫太 (慶大)
- 6 ヘッドマウントディスプレイとスマートデバイスを用いた飛行ロボットの操作方法の提案
○菊池 亮, 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)
- 7 少ない機構で意思伝達が可能なコミュニケーションロボットの提案
○角 圭祐, 山口 亨, 藤本泰成, 下川原英理 (首都大)

学生セッション [1Y 会場] (3月10日(木) 9:30 ~ 12:00)

ジェスチャ・認識 (1) 座長 郷 健太郎 (山梨大)

- 1 内容を示唆するジェスチャーによってプレゼンテーションを操作する方法
○瀧 香織, 佐藤峻輔, 太田高志 (東京工科大)
- 2 キネクトによるバッティングフォーム矯正支援システムの研究
○後藤 洋, 田村 仁 (日本工大)
- 3 空書による書字訓練の支援装置の提案
○土井雄太, 原 弘大, 吉田莉紗, 武藤 剛 (文教大)
- 4 調性判断の不要な身体動作入力による即興合奏支援システムの試作
○一ノ瀬修吾, 白松 俊 (名工大)

- 5 手指のジェスチャ入力による 3D オブジェクトの操作に関する研究
○小柳翔太, 小宮山祺, 盛川浩志 (青学大)
- 6 Kinect を用いた弓道訓練システムの提案
○星野直紀, 小宮山祺, 盛川浩志 (青学大)
- 7 仮想物体の位置と方向を手指の動作によって定める操作の検討
○松井勇樹, 梅澤 猛, 大澤範高 (千葉大)
- 8 コンタクトマイクを用いた手指動作認識手法の提案
○門倉章浩, 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 9 ハンドジェスチャとカードの三次元配置を活用した KJ 法支援システムの提案
○渡邊佳祐, 岩田 満 (都立産業技術高専)

学生セッション [2Y 会場] (3月10日(木) 13:00 ~ 15:30)

ジェスチャ・認識 (2) 座長 武藤 剛 (文教大)

- 1 3D マウスを用いたマニピュレータ操作インターフェースの初期評価
○市川幸佑, 岡 哲資, 松嶋佳祐 (日大)
- 2 スワイプ動作による選択タスクでのエッジターゲットの影響
○香川由希, 郷健太郎, 木下雄一郎 (山梨大)
- 3 Leap Motion を用いた料理のレシピ提示支援システムの開発と評価
○池田彩子, 浦川真由, 松田晃一 (大妻女子大)
- 4 モーションセンサを用いた直感的ポインティングシステムの提案と実装
○山本英礼, 松原俊一, Martin Duerst (青学大)
- 5 タップダンサーの技術向上のためのリズム計測タップシューズの開発
○山元亮典, 橋本周司, 三輪貴信, ギエルモ エンリケズ, フェイイー ヤップ (早大)
- 6 ギター演奏運動を評価するウェアラブルインターフェース
○浅野貴史, 松下宗一郎 (東京工科大)
- 7 ボールジャグリング動作上達のための特徴抽出の検討
○萬 絵, 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 8 多様な折り紙技法を活用したフレキシブルディスプレイにおけるジェスチャの導出
○坂本 凌, 木下雄一郎, 郷健太郎 (山梨大)
- 9 折り紙技法を活用したフレキシブルディスプレイにおける形状認識およびジェスチャ推定
○小宮山憂, 木下雄一郎, 郷健太郎 (山梨大)

学生セッション [3Y 会場] (3月11日(金) 9:30 ~ 12:00)

環境・安全 座長 太田 高志 (東京工科大)

- 1 胸骨圧迫の姿勢・圧迫加重動作の AR 表示による教育訓練システムの開発
○渋谷卓磨, 皆月昭則 (釧路公大)
- 2 複数センサ・コンテンツの連動による保菌者誘導効果の実証
○柳沢俊彰, 皆月昭則 (釧路公大)
- 3 タブレット端末を用いた顔表情認知の歪み測定によるうつ検出システムの評価
○大石勝巳, 原田晋吾, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 4 膵臓手術シミュレータ Pancsim への十二指腸モデルの追加
○松村佳祐, 三谷 純, 大城幸雄, 大河内信弘 (筑波大)
- 5 想起過程時ワーキングメモリ周辺の血流量変化を用いた SVM による嗅覚刺激にロバストなタスク分類法
○石川紗衣, 籾木崇史, 栗原陽介 (青学大)
- 6 快適空間と生体情報は関係するのか
○大塚衣里菜, 志田優貴 (青学大), 川原靖弘 (放送大), 鈴木淳一 (電通国際情報サービス), 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 7 ReSleep: ウェアラブルデバイスを用いた睡眠習慣改善システムの提案と評価
○國師誠也, 角田博保, 赤池英夫 (電通大)
- 8 室内照明の照度制御に基づく快適睡眠への導入に関する基礎的検討
○本道真依, 米村俊一 (芝浦工大)
- 9 WE-AL: 作業状態に適した室内環境を提供する自動制御システム
○藤塚洗輝, 諸戸貴志, 濱川 礼 (中京大)

学生セッション [4Y 会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)

インタラクティブシステム 座長 皆月 昭則 (釧路公大)

- 1 Emotiv Epoc を用いたプレゼンテーション支援システムの提案
○加藤 弦, 清水哲也 (サレジオ高専)

- 2 立体オブジェクトをインターフェイスとするモバイルコンテンツの作成
○黒木将寿, 太田高志 (東京工科大)
- 3 手で受けるニュースの雨: インタラクティブな情報との関わりでのデザイン
○松戸翔吾, 太田高志 (東京工科大)
- 4 待ち時間を楽しくさせるインタラクティブコンテンツ
○梅山裕輔, 太田高志 (東京工科大)
- 5 スマートフォンにおける振動の印象を考慮したフィードバックの設計
○白神翔太, 木下雄一朗, 郷健太郎 (山梨大)
- 6 Qun²comm!: 思い出となる視覚情報 (写真) に感情情報としての心音を融合させたコミュニケーション体験価値サービス
○府金恭平 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)
- 7 飲み物の色が体を通してオブジェに滲み出るコンテンツ
○本田諒士, 太田高志, 小柳花菜子, 赤星亮太, 佐藤峻輔 (東京工科大)

学生セッション [5Y会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

推薦・検索・ネットワーク 座長 今井 倫太 (慶大)

- 1 作業員規範 GOMS モデルによる欠損データからの作業員モデルの構築
○中町 望 (長岡技科大), 一刈良介, 蔵田武志 (産総研), 中平勝子, 北島宗雄 (長岡技科大)
- 2 有向グラフ可視化のためのバンドリングとノード配置
○十枝菜穂子, 伊藤貴之, 中澤里奈 (お茶の水女子大), 齋藤隆文 (農工大)
- 3 作業時におけるコンテキストを考慮した Twitter クライアントについて
○山添久稔, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 4 ビデオ映像を用いた本人性付与を行う情報拡散システムの提案
○宮木航佑, 井上 碧, 陳 思, 小林亜樹 (工学院大)
- 5 画像特徴量を利用した料理のハイライト映像の自動生成
○北清拓実, 小池崇文 (法大)
- 6 衣服のコーディネートを推薦するインタラクティブなシステム
○小野圭介, 太田高志 (東京工科大)
- 7 団体旅行計画作成のための参加者の嗜好抽出インタフェースの試作
○村上拓也, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 8 間取りや広さをクエリとする直感的な不動産検索システム
○大原康平, 山崎俊彦, 相澤清晴 (東大)
- 9 UXに関する概念の身体表現による理解の試み
○中村篤志, 郷健太郎, 木下雄一朗 (山梨大)

学生セッション [6Y会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

認識一般 座長 Martin J. DÜRST (青学大)

- 1 指さし訂正を伴う音声入力における候補提示手法の検討
○池田雄司, 梅澤 猛, 大澤範高 (千葉大)
- 2 複数人に対する同時個別提示を可能にする動作同期を用いた情報提示手法
○神崎達実, 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 3 複数人の利用者の手の動きに追従するユーザインタフェースの研究
○山崎雄太, 大塚友章, 高笠綾華, 水谷晃三, 荒井正之 (帝京大)
- 4 字句情報, 音響情報, 表情から推定した話者感情の食い違い状況の分析と食い違い自動検出手法の提案
○上村謙史, 目良和也, 黒澤義明, 竹澤寿幸 (広島市大)
- 5 筋力トレーニング時における筋力状態の分析と評価
○小出力丸, 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 6 顔の物理的特徴量を利用した顔選好における自己顔の影響
○原田晋吾, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 7 9DOFのマルチモーダルセンシングによる集中状態推定の検討
○佐原洋輔, 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 8 Event Learning Sensor: スマートホームユーザ向けのイベント学習・認識システム
○石田準己, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 9 顔向きに依存しない顔表情認識システムの開発
○富沢貴大, 今淵貴志, 蛇穴祐稀, Prima Oky Dicky Ardiansyah, 伊藤久祥 (岩手県大)

学生セッション [1Z会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)

VR・AR (1) 座長 小池 崇文 (法大)

- 1 調味料メタファーに基づく食卓インタフェースデバイス
○甲藤仁美, 的場やすし, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 2 寝具へのインタラクティブなプロジェクションを利用した家電制御
○升田枝里, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 3 (講演取消)
- 4 複数の操作デバイスによる没入型仮想空間上での操作方法の提案
○増谷海人, 中山泰一 (電通大)
- 5 折り紙技法を活用したフレキシブルディスプレイにおける形状変化の実現
○増田愛美, 木下雄一朗, 郷健太郎 (山梨大)
- 6 Haptic Virtual: 視覚および触覚が生体情報に及ぼす影響
○保科篤志, 菅谷みどり, 岡田佳子 (芝浦工大)
- 7 視聴覚情報の提示を用いた歩容フィードバック装置の提案
○富川 蘭, 伊東勇飛, 上杉 慎, 紀楚 将, 長島拓也 (文教大), 小林洋平 (脳機能研究所), 武藤 剛 (文教大)
- 8 シースルー裸眼 3D ディスプレイを用いた手と CG による直接インタラクションシステム
○高見澤梅子, 小池崇文 (法大)
- 9 音刺激の提示を伴う合成反力知覚に関する研究
○定司 栞, 小宮山栞, 盛川浩志 (青学大)

学生セッション [2Z会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

VR・AR (2) 座長 小倉 加奈代 (岩手県大)

- 1 (講演取消)
- 2 拡張現実によるブロックス初心者支援システム
○小林澄都 (北大), 高井昌彰 (北海道大学情報基盤センター)
- 3 パイプライン検査のためのテレビカメラ調査画像の AR 表現
○頼光拓真, 井上裕貴, 檀 寛成, 安室喜弘 (関西大)
- 4 Head Mounted Display を用いた三人称視点によるフォーム改善システム
○松村海沙, 小池崇文 (法大)
- 5 周辺環境の 3D メッシュモデル構築に基づく CG オブジェクトへの物理作用を考慮したビデオシースルー HMD 用 AR システム
○竹内一平, 小池崇文 (法大)
- 6 AR を用いた飲食店ナビゲーションシステムの開発
○両角信吾, 山崎祥行, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)
- 7 3DCG モデルを共有する位置情報に基づく AR システム
○高橋拓也, 山崎祥行, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)
- 8 拡張現実感 (AR) を用いた書籍情報提示システムの試作とそのユーザー体験の評価
○谷口鈴子, 松田晃一 (大妻女子大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [5Z会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

視線・音声 座長 河野 恭之 (関西学院大)

- 1 視線情報と音声情報を組み合わせた Web ブラウジング用インタフェースの提案と実装
○中川千紘, 松原俊一, Martin Duerst (青学大)
- 2 CSM 分析を用いた音声によるマウスカーソル操作
○田澤健斗, 篠原一輝, 嵯峨山茂樹 (明大)
- 3 アイトラッキングとマウスの軌跡による医療情報システム UI 分析
○綿名一樹 (日大), 細谷邦夫 (豊橋創造大), 五味悠一郎 (日大)
- 4 TogetherWithAvatar: アバタを利用した外出感の共有手法
○高木友稀 (筑波大), 張 慶椿 (産総研), 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 5 拡張現実環境内での共同注視パターンの分類
○村上雄大, 高橋 徹 (阪産大)
- 6 共同注視可能なメガネ型視線計測機器の開発
○起田貴成, Prima Oky Dicky Ardiansyah, 伊藤久祥, 堀江友祐 (岩手県大)
- 7 読譜時の視行動時空間軌跡パターンとピアノ演奏技能の関係
○笠原翔平, 中平勝子, 北島宗雄 (長岡技科大)

- 8 視線情報を利用したテキストエリアの選択
○鈴木 遼, 曹 陽 (早大)
- 9 書字訓練装置の開発を目的とした文字の大小による書字動作中の視線の役割の検討
○羽鳥貴博, 佐藤 舜, 鈴木 巴, 玉木大道, 武藤 剛 (文教大)

第4分冊

(コンピュータと人間社会)

一般セッション [1E会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)
教育支援・学習支援システム 座長 渡辺 博芳 (帝京大)

- 1 (講演取消)
- 2 デジタル教材のプラットフォーム開発と実践
○堀内 翔, 佐藤優太郎, 大西建輔, 原 正雄 (東海大)
- 3 国試対策自主学習ソフトの開発と国家試験に及ぼす影響
○神崎秀嗣 (大和)
- 4 栄養士養成過程におけるデジタル教科書導入のための提案
○田中雅章 (大橋学園ユマニテク看護助産専門学校),
神田あづさ (仙台白百合女子大), 内田あや (名古屋文理大),
松尾徳朗 (産業技術大)
- 5 ディープ・アクティブラーニングへと誘う「学びログ」による形成的学修評価システムの構築とポートフォリオの開発
○木村美奈子, 二摩修司 (九大), 安永 悟 (久留米大)
- 6 Web シラバスと連動した科目間関係図のデザイン手法
○久保裕也 (千葉商科大)
- 7 携帯情報端末の音声入力手法による俳句入力の検討
○高田伸彦 (金沢学院大)

一般セッション [2E会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)
高齢社会デザイン 座長 山田 和範 (パナソニック)

- 1 対話型キャラクターエージェントを用いたコミュニケーションによる高齢者の見守りシステム支援方式の提案
○武田風太, 鈴木慎太郎, 矢島敬士 (電機大)
- 2 点字読み取りに対する Lucas-Kanade 法の応用
○伊藤祥一, 藤澤義範 (長野高専)
- 3 ウェアラブルデバイスを活用したユニバーサルツールズ安心システムの検討
○工藤 彰 (ノーザンシステムサービス),
狩野 徹, 阿部昭博 (岩手県大)
- 4 高齢社会と自主防災のためのコミュニケーションシステム
○陳 鈞, 谷口伸一 (滋賀大)
- 5 地域での支え合いの取り組みに関するアンケート結果分析および考察
○倉 恒子, 高橋 元, 伊藤良浩 (NTT), 金子郁容 (慶大)
- 6 Regional Difference in Physical Activity is Associated with the Ranking of Healthy Life Expectancy among Prefectures in Japan
○湯田恵美, 吉田 豊 (名古屋市立大)

一般セッション [3E会場] (3月11日(金) 9:30~12:00)
情報教育 座長 小川 賀代 (日本女子大)

- 1 プログラミング学習支援のための問題自動生成機能に関する検討
○飯島安恵, 今野 将 (千葉工大)
- 2 Scratch を用いた初学者向けプログラミング教育環境の構築とその評価
○恐神正博 (福井工大), 大熊一正 (岡山理大), 杉原一臣 (福井工大)
- 3 CiscoTerminal の開発と授業における学習効果の検証
○井手広康 (愛知県立衣台高等学校), 奥田隆史 (愛知県大)
- 4 IoT時代に資するユニケーシ開発手法の普及啓発に関する研究 (1) ユニケーシシステムと情報科学教育
○中村和敬, 石山雅三, 松浦智之 (USP 研), 北口善明, 森 祥寛,
大野浩之 (金沢大)
- 5 IoT時代に資するユニケーシ開発手法の普及啓発に関する研究 (2) POSIX 中心主義と情報科学教育
○松浦智之, 中村和敬 (USP 研), 大野浩之 (金沢大),
當仲寛哲 (USP 研)
- 6 (講演取消)

- 7 プロジェクト管理の手法を用いた PBL のためのコミュニケーション支援ツールの開発
○佐々木茂, 荒井正之, 高井久美子, 小川充洋, 渡辺博芳 (帝京大)

一般セッション [4E会場] (3月11日(金) 13:00~15:00)
生命・生体と情報 座長 大上 雅史 (東工大)

- 1 SVM を用いた衝動性パーソナリティの神経生理分類
○曾雌崇弘 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所),
野田隆政 (国立精神・神経医療研究センター病院),
安藤久美子 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所),
中澤佳奈子 (国立精神・神経医療研究センター病院), 津村秀樹,
岡田幸之 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
- 2 細胞内シグナル伝達系の多安定性に関する網羅的解析
○末吉智奈佐, 仲 隆 (九産大)
- 3 PET-CT による医療画像自動診断システムの構築 - アルゴリズムの構築手法と検証評価
○佐藤貴子 (相模女子大), 金子つばさ (リアルメディアラボ),
後藤田結, 田村直良 (横浜国大), 有澤 博 (横浜市大)
- 4 PET-CT による医療画像自動診断システムの構築 - 並列実行が可能なアルゴリズム記述と実行基盤
○後藤田結 (横浜国大), 金子つばさ (リアルメディアラボ),
佐藤貴子 (相模女子大), 田村直良 (横浜国大), 有澤 博 (横浜市大)
- 5 疾病と医薬品ネットワークの可視化
○村籍靖之 (東大)

一般セッション [5E会場] (3月11日(金) 15:20~17:50)
知的財産のモデルと社会基盤情報活用と保護 座長 橋本 誠志 (徳島文理大)

- 1 PDS モデルの著作物管理・運用に係る課題検討
○加藤綾子 (文教大)
- 2 人工知能または機械学習の応用製品による創作物の知的財産権に関する参照モデルと分類の提唱
○金子 格 (東京工芸大)
- 3 自治体におけるサイバーセキュリティ対策
○本田正美 (島根大)
- 4 サプライチェーンのガバナンスに関する一考察
○原田要之助 (情報セキュリティ大)
- 5 地域課題の発見・分析のためのオープンデータ生成手法の設計と検証
○井上絵理, 中島 円, 神武直彦 (慶大)
- 6 トレリンマ緩解のための世界日本学とデジタルディプロマシー
○沢 恒雄 (遊工学研)

一般セッション [6E会場] (3月12日(土) 9:30~12:00)
地域・データ活用・メンタルヘルスのシステム 座長 高崎 光浩 (佐賀大)

- 1 オープンデータを活用した地域連携 AED マップの開発
○古林達哉 (舞鶴高専)
- 2 グローバル時代の地域振興戦略への ICT 活用
○三重野徹 (東日本国際大)
- 3 食品廃棄物を生み出す消費者の購買行動に関する研究
○宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)
- 4 データ交換サービスの性能検証
○佐藤雅之, 永嶋規充 (三菱)
- 5 データの組合せ可能性評価手法の提案とプロトタイプの開発
○鬼頭大介, 屋代 聡, 北原 圭 (日立)
- 6 心疾患を対象とした状況管理・意思決定支援システムの研究
○中島克志, 矢島敬士 (電機大),
佐々木美樹 (ヒューマンライフ・マネジメント)
- 7 メンタルヘルス予防を目的とした職場環境改善活動の継続を支援するシステムの開発
○西井一輩, 福井知宏 (NEC ソリューションイノベータ)

一般セッション [7E会場] (3月12日(土) 13:00～15:00)

災害対策システム 座長 居駒 幹夫 (日立)

- 1 大規模災害発生時の災害の網羅性と震源域の局地性の両方を考慮したシナリオによる高可用ストレージ基盤の耐災害性実証実験
○宮崎淳子, 手塚 大, 齋藤邦夫 (日立ソリューションズ東日本), 中村隆喜, 村岡裕明 (東北大)
- 2 スマートフォンを用いた斜面災害検知ネットワークシステムの設計
○畑山満則 (京大)
- 3 X-band MP レーダ雨量情報による平成26年広島豪雨災害解析
○西尾雅弘, 森 正寿 (近畿大)
- 4 歴史的な地方都市における地域ハザードマップ作成支援システムの試作と予備評価
○岡崎泰久, 森 聖菜, 三島伸雄 (佐賀大)
- 5 病院内トリアージ運用方法検討シミュレーションシステム TRISim の初期評価
○小林篤史, 古市昌一 (日大)

一般セッション [1F会場] (3月10日(木) 9:30～12:00)

情報教育の手法 座長 奥村 晴彦 (三重大)

- 1 携帯ゲーム機による「音の性質」の学習向け簡易オシロスコープ開発の試み
○眞壁 豊 (東北文教大)
- 2 集合知を活用した学内無線LAN環境の把握
○早坂成人, 石坂 徹, 桑田喜隆, 刀川 眞 (室蘭工大)
- 3 Webブラウザベースの組み込みボード CHIRIMEN の教育活用に関する検討と実践
○関口直紀, 野垣内出 (KDDI 研), 赤塚大典 (Mozilla Japan), 木村寛明 (KDDI 研)
- 4 Scratch を用いたお絵描きの授業実践
○山守一徳, 吉原健人 (三重大), 大原敦子 (津市立一身田小学校)
- 5 OS のタスク管理を学習する CS アンブレグド教材の開発
○小川仁士 (県立広島大), 福岡久雄 (電機大)
- 6 オープンソースを活用した M2M/IoT メカトロニクス教育
○山崎悟史, 片岡龍聖 (沼津高専)
- 7 直感的な命令からコンピュータの仕組みを学ぶことができるロボット教材
○野口孝文, 千田和範 (釧路高専), 梶原秀一 (室蘭工大), 稲守 栄 (釧路高専)
- 8 輪郭線方向成分と Zipf 則を用いた文字画像の自動分類
○山口文彦 (長崎県立大)

一般セッション [2F会場] (3月10日(木) 13:00～15:30)

情報システムと社会環境 座長 富澤 眞樹 (前橋工科大)

- 1 (講演取消)
- 2 音声認識との自動連携による要約筆記の品質向上
○高尾哲康 (富山国際大)
- 3 顔認証ソフトウェアを用いたチケット本人確認システム
○西山雄吾, 奥村明俊, 半田 享, 星野隆道, 津雲 淳, 高木 剛, 窪田清仁 (NEC 情報システムズ)
- 4 機械学習を適用した自由回答のコーディング支援 - 職業・産業コーディング自動化システムとその拡張 -
○高橋和子 (敬愛大), 多喜弘文 (法大), 田辺俊介 (早大), 李 偉 (東工大)
- 5 通信状態を用いた業務システム間の関連性分析方式の検討
○今井遼太郎, 白木宏明, 大松史生 (三菱)
- 6 一般家庭の電力需要データの特徴分析と宅内行動推定への適用
○吉田由起子, 吉田宏章, 竹林知善 (富士通研)

一般セッション [3F会場] (3月11日(金) 9:30～12:00)

授業支援 座長 永松 礼夫 (神奈川大)

- 1 情報科教育法における伝達力育成学習の実践報告
○岡本覚子, 栗田のみ子 (城西大)
- 2 情報系学部・学科におけるサービラーニングのあり方
○大橋裕太郎, 山地秀美 (日本工大)
- 3 学習履歴を利用した学習状況の解析
○久富 望, 田中利幸 (京大)

4 TA 活動支援のための Web ログモニタリングシステム

○安留誠吾 (阪工大)

5 iBeacon とスマートフォンを用いた授業動線分析システムの試作と評価

○谷川真一, 佐藤長康, モハマドゥラスール サラフィアグダム (ムロオシステムズ), 福島健介 (帝京大)

6 日本語入力時の「変換」操作 - 連文節変換と後追い変換に注目して -

○長澤直子 (大阪成蹊短期大)

7 高専における認証統合システムの活用を目的とした IT 人材育成研修会

○岡田 康, 池田総一郎, 川見昌春, 原 元司, 廣瀬 誠, 稲葉 洋, 金山典世 (松江高専), 保立智也, 針生裕子 (国立高等専門学校機構)

一般セッション [4F会場] (3月11日(金) 13:00～15:00)

人文科学と情報分析 (1) 座長 鹿内 菜穂 (日本女子大)

- 1 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示 - 神話における特殊な個性発生の系図化 -
○生田敦司, 杉山正治, 横澤大典 (大谷大), 平塚 聡 (立命館大), 柴田みゆき (大谷大), 松浦 亨 (北大病院)
- 2 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示 - 複数の系譜情報の併記手法 -
○横澤大典, 杉山正治, 生田敦司 (大谷大), 平塚 聡 (立命館大), 柴田みゆき (大谷大), 松浦 亨 (北大病院)
- 3 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示 - 分散領域の縮退処理の検討 -
○平塚 聡 (立命館大), 杉山正治, 生田敦司, 横澤大典, 柴田みゆき (大谷大), 松浦 亨 (北大病院)
- 4 コスプレイヤーの協働的ポージング構築場面における物理的特徴の分析
○岡部大介, 岡部 愛, 平井智仁, 大谷紀子, 岩野公司 (東京都市大)
- 5 サポートベクトルマシンを用いた自動人相判別の検討
○玉森 聡, 松井知子 (統教研), 相田 満 (国文学研究資料館)

一般セッション [5F会場] (3月11日(金) 15:20～17:50)

プログラミング教育 座長 駒谷 昇一 (奈良女子大)

- 1 サイバー大学のプログラミング演習科目における受講状況と成績の関係に関する考察
○後藤幸功, 中谷祐介 (サイバー大)
- 2 編集履歴可視化システムを用いた Learning Analytics ～システム構成と実装
○荒本道隆 (アドソル日進), 小林 学 (湘南工科大), 中澤 真 (会津大), 中野美知子, 後藤正幸, 平澤茂一 (早大)
- 3 編集履歴可視化システムを用いた Learning Analytics ～英文ライティング教育への適応: 文法エラーの難度と訂正時間の関係
○中野美知子 (早大), 荒本道隆 (日進アドソル), 吉田論史, 荻 紅清 (早大)
- 4 編集履歴可視化システムを用いた Learning Analytics ～ Scratch を用いた初等教育向けプログラミング教育における学習者の思考パターン分析
○中澤 真 (会津大), 荒本道隆 (アドソル日進), 後藤正幸, 平澤茂一 (早大)
- 5 編集履歴可視化システムを用いた Learning Analytics ～ C プログラミング科目における編集履歴と評価得点データを統合した分析モデル
○後藤正幸, 三川健太, 雲居玄道 (早大), 小林 学 (湘南工科大), 荒本道隆 (アドソル日進), 平澤茂一 (早大)
- 6 自習時のログ情報に基づく効果的な反転授業に関する考察
○梅澤克之 (日立), 小林 学 (湘南工科大), 石田 崇 (高崎経済大), 中澤 真 (会津大), 荒本道隆 (アドソル日進), 平澤茂一 (早大)
- 7 オンラインジャッジシステムのプログラミング演習への導入と評価
○長尾和彦, 古谷勇樹, 峯崎さやか (弓削商船高専)

一般セッション [6F会場] (3月12日(土) 9:30～12:00)

ICT を活用した教育 座長 立田 ルミ (獨協大)

- 1 文科系教員養成系大学における情報リテラシー教育
○黒崎茂樹 (都留文科大)
- 2 リフレクション支援装置による作品展示の実践と評価
○安藤公彦 (東京工科大), 井上智史 (駿河台大), 宮坂秋津, 稲葉竹俊 (東京工科大)

- 3 プログラミング入門教育への iPad の活用の提案
○土肥紳一 (電機大)
- 4 スマートフォン・携帯電話を利用した外国語会話訓練システムの開発
○松本章代, 佐伯 啓 (東北学院大)
- 5 Microsoft Mathematics の経済学・学部用理論教育への活用法
○小川 健 (専修大)
- 6 医療専門職向け携帯情報端末利用教育の必要性
○神崎秀嗣 (大和大), 藤田洋一 (明治国際医療大), 石田洋一 (京都保健衛生専門学校)
- 7 IPA 情報処理試験を活用した情報系学部生向け教育の事例
○廣重法道 (福岡大)

一般セッション [7F 会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)

人文科学と情報分析 (2) 座長 未代 誠仁 (桜美林大)

- 1 (講演取消)
- 2 紋章資料が内包する情報整理の検討
○柴田みゆき, 生田敦司, 横澤大典, 杉山正治 (大谷大), 平塚 聡 (立命館大), 三浦誉史加 (大谷大)
- 3 iPad を利用した VR 博物館ナビゲーションの開発
○平澤泰文, 松川 節 (大谷大), 何 一偉, 小南昌信 (大阪電通大)
- 4 情報技術を用いた大名独楽の動作解析
○松崎隆哲, 須藤敏機 (近畿大), 花元克巳, 笹原泰史, 藤木哲雄 (日本の独楽資料館), 安永昌司 (筑豊ゼミ独楽研究会), 坂口英和, 安武英剛, 空閑哲博 (日本の独楽資料館), 平井義信 (筑豊ゼミ独楽研究会)

学生セッション [3Z 会場] (3月11日(金) 9:30 ~ 12:00)

バイオ情報学 座長 佐藤 健吾 (慶大)

- 1 DNA スペクトログラムを用いた符号化領域の探索
○河尻和樹, 水田智史 (弘前大)
- 2 マルコフ連鎖に基づく 1 本鎖 DNA 中の語の出現数の対称性の解析
○楠 瑞哉, 水田智史 (弘前大)
- 3 多次元尺度構成法を用いた蛋白質ポケット部位の縮約ベクトル表現によるポケット構造比較
○中村 司 (東大), 富井健太郎 (産総研/東大)
- 4 相互作用エネルギーベクトルの距離を用いたタンパク質-リガンド間ドッキングのランキング
○安尾信明, 関嶋政和 (東工大)
- 5 化合物の物性を多段階のルール適用で薬様化合物に成長させる web サービスの構築
○新井直樹, 吉川舜亮, 安尾信明, 中嶋悠介, 吉野龍之介, 関嶋政和 (東工大)
- 6 3D プリンタを用いた医薬品分子模型出力の有用性
○中谷明嗣, 松野純男, 大星直樹 (近畿大)

学生セッション [4Z 会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)

生命と数理 座長 渋谷 哲朗 (東大)

- 1 生命系ネットワークの安定性に関する解析研究
○山下祥平, 藤枝舜祐, 坂田克己 (前橋工科大)
- 2 周期的生体信号からのリアルタイム異常検知
○上山拓也, ゴウタム チャクラボルティ, 馬淵浩司, 松原雅文 (岩手県大)
- 3 エージェントモデルによる周期ゼミの進化メカニズムの解明
○伊東 啓, 柿嶋 聡 (静岡大), 上原隆司 (名古屋短期大), 守田 智 (静岡大), 小山卓也, 曾田貞滋 (京大), John Cooley (コネティカット大), 吉村 仁 (静岡大)
- 4 閃き時の脳波の特徴抽出の検討
○高橋友博, 磯山直也, ギョーム ロベズ (青学大)
- 5 英語学習の到達度の P300 による客観的な評価に関する研究
○佐々木直人, 道網恵佑, 東野利貴, 田村明日香, 金岡優奈, 道網亮佑, 床井浩平 (和歌山大)

学生セッション [6Z 会場] (3月12日(土) 9:30 ~ 12:00)

エンタテインメントにおける複合現実感

座長 築瀬洋平 (Unity/慶大)

- 1 Unity と Kinect を用いたインタラクティブなプロジェクションマッピング
○君嶋大輔, 清水哲也 (サレジオ高専)
- 2 BubbleMessage - シャボン玉の儚さを用いた「消える」AR メッセージ付加システム -
○酒井郁貴, 安達拓也, 安川瑞貴, 松下卓矢, 濱川 礼 (中京大)
- 3 HMD と LeapMotion を用いたネットワーク型バーチャルプラネタリウムの開発
○齊藤克佳, 瀬田陽平, 横山真男 (明星大)
- 4 傘型スクリーンを用いた全天球画像共有システム
○池田祐馬, 山中美優姫, 村上大和, 林 広幸, 三井健史, 諸戸貴志, 芝田圭佑, 濱川 礼 (中京大)
- 5 Android を用いた演劇支援のための Unity3D アプリケーションの開発
○中條早織, 豊田裕也, 北原鉄朗 (日大)
- 6 DiaFall: ダイヤモンドダスト現象を体験するインタラクティブシステム
○長嶋麻里奈, 中村亜香梨, 五十嵐悠紀 (明大)
- 7 広視野角ヘッドマウントディスプレイを用いたベアスキージャンプ体験システムの開発
○橋本絵梨, 山本倫也 (関西学院大), 茂野裕介 (札幌テレビ放送), 青柳西藏 (関西学院大)
- 8 AR を用いた観光の満足感を向上させるサービスの開発
○向山結女, 鈴木昭二 (はこだて未来大)

学生セッション [1ZA 会場] (3月10日(木) 9:30 ~ 12:00)

情報システム基盤 座長 亀井 邦裕 (産業技術大)

- 1 Telematics データにおけるエラー発生との因果関係の可視化手法
○鬼塚雄佑, 竹下純哉 (九工大), 櫻井陽一 (ボルボテクノロジー・ジャパン), 久代紀之 (九工大)
- 2 BEMS データを用いたビル内電力需給予測モデル
○福田亜実 (九工大), 妻鹿利宏 (三菱電機ビルテクノサービス), 久代紀之 (九工大)
- 3 HEMS データを用いた住居内消費電力予測
○近藤貴裕, 久代紀之 (九工大), 小川雄喜, 榎利康 (三菱)
- 4 照度センサを用いずに個別照度を実現する知的照明システム: 実オフィスに導入した知的照明システムの課題解決
○上南遼平, 三木光範, 寺井大地, 山口浩平, 間 博人 (同志社大)
- 5 近距離通信を用いた親子端末の連携を鍵とするスマートフォン認証
○岸里正樹, 高井昌彰 (北大)
- 6 RMX における送信制限機構の提案
○安東 翔, 遠山元道 (慶大)
- 7 RMX における本文生成機能の実装
○出口萌子, 遠山元道 (慶大)
- 8 RMX におけるメール暗号化機能追加の提案
○小坂祐介, 遠山元道 (慶大)

学生セッション [2ZA 会場] (3月10日(木) 13:00 ~ 15:30)

知財の活用・保護と地域情報の活用

座長 原田 要之助 (情報セキュリティ大)

- 1 企業名・技術用語をラベルとした自己組織化特許マップの作成と企業戦略の考案
○伊藤智教, 小原和博 (千葉工大)
- 2 ブロックチェーンによる分散型タイムスタンプとその折り紙著作権保護への応用
○高 月菲, 張 丘平, 延原 肇 (筑波大)
- 3 尾道再訪誘導案内システム
○内園優希, 高山 毅 (尾道市立大)
- 4 観光資源の特性分類を利用した広域観光地選定支援
○名越 朝, 高山 毅 (尾道市立大)
- 5 道の駅の拠点化を支援するシステム
○岡田愛美, 高山 毅 (尾道市立大)
- 6 観光地におけるトイレの詳細情報を提供するシステム
○岩田信幸, 高山 毅 (尾道市立大)

- 7 尾道市におけるお土産購入プランニングシステム
○岡田直大, 高山 毅 (尾道市立大)
- 8 アミューズメントパークにおける隙間時間の活用支援
○松下留奈, 高山 毅 (尾道市立大)

学生セッション [3ZA 会場] (3月11日(金) 9:30 ~ 12:00)

教育支援システム (1) 座長 関谷 貴之 (東大)

- 1 項目分析結果に基づく作問支援システムの開発
○林 貴史, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 2 過去問題をリソースとした問題自動生成機能の開発と評価
○福坂祥基, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 3 講義資料メタデータを用いた講義資料管理システムの提案
○高田良介, 後藤田中, 村井 礼, 林 敏浩, 八重樫理人 (香川大)
- 4 地磁気データによる位置情報サービスを用いた机間指導支援システムの開発
○原田陽広, 関口久美子 (埼玉工大)
- 5 携帯端末の Bluetooth 機能を用いた出席管理システム
○増田進也, 小高知宏, 黒岩丈介, 白井治彦 (福井大)
- 6 学生からのレスポンスを活用する教育支援システム
○中西栄次, 小高知宏, 黒岩丈介, 白井治彦 (福井大)
- 7 学生証を用いた初年次教育向け進捗管理システムの開発
○伊藤福音, 河野公一 (東北工大)
- 8 短文群を分類し振り返りを促す e ポートフォリオシステムの提案
○吉田匡孝, 奥野 拓 (はこだて未来大)
- 9 プログラミング初学者のソースコード記述特徴抽出方法の検討
○浅田理芳, 山崎和也, マーティン テュールスト, 戸辺義人 (青学大)

学生セッション [4ZA 会場] (3月11日(金) 13:00 ~ 15:00)

教育支援システム (2) 座長 中平 勝子 (長岡技科大)

- 1 大学間連携のブレスメントテストに基づいた学習者特性の診断システムの提案
○高橋駿嗣, 山川広人, 小松川浩 (千歳科技大)
- 2 発話情報を用いたグループ学習における貢献度推定手法の評価
○大信田侑里, 高木正則 (岩手県大), 河合直樹, 鈴木雅実, 木村寛明 (KDDI 研)
- 3 グループ学習時の映像分析に基づく協調学習者間の特徴行動の抽出
○工藤端己, 高木正則 (岩手県大), 張 諾, 鈴木雅実, 木村寛明 (KDDI 研)
- 4 バケーションを伴うサーバー能力成長型 VCHS 待ち行列モデルの性能評価-学び方の支援のために-
○田中秀明, 宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)
- 5 学習者の理解度と学習状況に応じた個別指導支援システムの提案
○中野有莉, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 6 学習ログの可視化と自己評価・相互評価による振り返り支援システムの提案
○澤里耕太郎, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 7 Knowledge Tracing と IRT の組み合わせによる大量試験結果データからの学生モデリング手法の提案
○浅井孝太, 大枝真一 (木更津高専)

学生セッション [5ZA 会場] (3月11日(金) 15:20 ~ 17:50)

初中等教育支援・語学教育支援 座長 常盤 祐司 (法大)

- 1 Lrc ファイルを使った英語ディクテーション自動採点機能の開発
○中島佳幸, 宇田川佳久 (東京工芸大)
- 2 英単語並べ替え問題における機械学習による学習者の迷い検出
○厚見南帆, 宮崎佳典, 厨子光政 (静岡大), 法月 健 (静岡産大)
- 3 Siri の英語学習によるモチベーション向上の提案
○成田光歌, 矢島敬士 (電機大)
- 4 英語プレゼンテーション学習支援ソフトウェアの開発
○西原悠貴, 後藤健太, 中平有樹, 吉本定伸, 小嶋徹也, 堀 智子 (東京高専), 鈴木幸一 (鈴木幸一事務所)
- 5 Web 文章の難易度判定による小学生向け情報検索支援サービスとその評価
○荒武聡司, 寺岡丈博, 上林憲行 (東京工科大)
- 6 Web を用いた調べ学習支援システムの構築
○荒巻都貴子, 筒井薫平, 高田秀志 (立命館大)

- 7 知識共有により自主学習と学びなおしを促進するシステムの構築～みんなの学習につながる地図～
○小倉育穂, 時井真紀 (筑波大)

- 8 Android タブレット端末を用いた小学校安全マップ活動支援アプリケーション
○下中直紀, 渥美亮祐, 蛇川みのり, 吉本定伸 (東京高専)

- 9 音楽づくり教育支援システムの開発及び評価
○小松秀生, 力武克彰 (仙台高専)

学生セッション [6ZA 会場] (3月12日(土) 9:30 ~ 12:00)

生体情報・学習支援システム 座長 永井 孝幸 (熊本大)

- 1 ビデオ講義における映像・音声情報を用いた受講生の視線予測モデル
○植木康介, 川嶋宏彰, 松山隆司 (京大)
- 2 生体情報を用いた多岐選択問題における確信度の推定
○中島凌矢, 籾木崇史, 栗原陽介 (青学大)
- 3 英語リスニング中の脳血流量を用いた正則付回帰モデルによる言語能力推定法
○亀山拓朗, 籾木崇史, 栗原陽介 (青学大)
- 4 ダイナミックベイジアンネットワークを用いた言語リスニング時における脳血流量ネットワーク構造解析
○石川紗綾, 籾木崇史, 栗原陽介 (青学大)
- 5 機械学習を利用した e-ラーニング習熟度評価システム
○米田 将, 戸谷御国, 前田利之 (阪南大)
- 6 日常の風景から数学を発見し関心を生み出す学習システムの構築
○軽部玲菜, 時井真紀 (筑波大)
- 7 作問演習における相互評価を支援する誤り発見能力向上支援システムの開発と評価
○佐々木匠, 井上裕之, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 8 クイズを作ることで動画教材から要約を生成する教育的方法についての研究
○春日恒輝, 根岸正実, 中村太戯留, 上林憲行 (東京工科大)
- 9 ゲームと自己学習環境の融合による能動的学習を促進させる学習支援システムの提案と試作
○木田敬也, 橋本 翔, 古市昌一 (日大)

学生セッション [7ZA 会場] (3月12日(土) 13:00 ~ 15:00)

特別支援教育・就職支援教育他 座長 上田 真由美 (流通科学大)

- 1 拡張現実による学習システムの開発
○碓野 継, 伊藤祥一, 藤澤義範 (長野高専)
- 2 タブレットを用いた環境音学習システム～聴覚障害児のための教材を目指して～
○加藤 優, 平賀瑠美 (筑波技術大), 松原正樹, 寺澤洋子, 田原 敬 (筑波大)
- 3 研究活動へのゲーミフィケーションの導入とその評価
○杉浦さや, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 4 就活生が他者を演じることを基本とした「なりきり面接」の提案と効果検証
○松本尚悟 (東京工科大), 中村亮太 (湘北短期大), 上林憲行 (東京工科大)
- 5 就職活動を意識した目標設定と振り返り支援システム
○内田祐貴, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 6 運輸事業に携わる指導者と運転者の交通場面に対する危険性評価比較-提示ハザードの違いによる差異の分析-
○北浦尚記, 中平勝子, 岡本満喜子 (長岡技科大)
- 7 スマートグラスを用いた津波避難訓練システム
○川井淳矢, 光原弘幸, 獅々堀正幹 (徳島大)

学生セッション [1ZB 会場] (3月10日(木) 9:30 ~ 12:00)

エンタテインメントコンピューティング 座長 馬場 哲晃 (首都大)

- 1 視線とエフェクトの連動によるコンテンツ視聴体験拡張とその評価
○田村柁優紀, 中村聡史 (明大)
- 2 ヒトの主観的印象に基づくロゴデザインの自動評価システムの開発
○古池謙人, 山添 崇, 東本崇仁, 東 吉彦 (東京工芸大)
- 3 擬似的三次元コピー機のインタラクション拡張法とその応用
○上原悠永, 水野慎士 (愛知工大)

- 4 線画イラストからの一筆書きアート生成システム
○阿部貴大, 高井昌彰 (北大), 高井那美 (北海道情報大)
- 5 魅力的な写真写りを達成するウェアラブルライティング
○有本 茜, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 6 腰部の加速度を用いた歩行距離推定に関する一検討
○深川麻里, 松田浩一, 菅原昂太 (岩手県大)
- 7 住み慣れた地域における再発見を目的とした散策支援ナビゲーションシステム
○岡 洋介, 木下雄一郎, 郷健太郎 (山梨大)
- 8 呼吸情報を用いた幹事向け参加者酔酩度一括管理システム「アルコールマネージャー」
○宮林佑介, 岡田依子, 土井佑斗, 三井健史, 濱川 礼 (中京大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [2ZB 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

ゲームとスポーツ 座長 今井 倫太 (慶大)

- 1 物語内容論を利用したプロット作成支援システム
○大野祐美, 白石路雄, 新谷幹夫 (東邦大)
- 2 人狼ゲームにおける役割固有の視線に関する分析
○大高直哉, 寺岡丈博, 榎本美香 (東京工科大)
- 3 自己防衛する人狼に特異的な身体動作の分析
○袈岩明仁, 寺岡丈博, 榎本美香 (東京工科大)
- 4 リアルカードを用いたオンラインカードゲーム対戦システムの開発
○真崎拓也, 築地立家 (電機大)
- 5 軽運動の導入による暗記型学習支援シリアスゲームの試作と初期評価
○鈴木雄次郎, 江袋天亮, 小林篤史, 粟飯原萌, 古市昌一 (日大)
- 6 シリアスゲーム向け箱型タンジブルユーザインタフェースの開発
○富田遼大, 山本一秀, 南野泰輝, 芳賀博英 (同志社大)
- 7 発達障がいを持つ子供の生活訓練のためのゲーミフィケーション・アプリケーション
○新宅伸啓, 角田 均, 小久保温, 伊藤真也, 田中志子, 柏谷 至, 工藤雅世 (青森大), 坂田 令 (リンクステーション)
- 8 高校野球マネージャ支援システムの開発
○新開駿祐, 芦田和毅 (長野高専)
- 9 無線技術を利用した陸上競技用掲示板の改良
○岡村也寸志, 芦田和毅, 内山了治 (長野高専)

学生セッション [3ZB 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

テキストマイニング 座長 福本 徹 (国立教育政策研)

- 1 新聞見出し分析に基づく震災資料検索支援機能の開発
○照井美咲, 富澤浩樹, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 2 商品レビューからの代替商品情報の抽出
○堀川泰輝, 赤石美奈 (法大)
- 3 商品特徴に基づく関係性を用いた発想支援
○鈴木智史, 赤石美奈 (法大)
- 4 Web リソースを用いたマンガ作品群における代表作の発見
○塩原百花, 三原鉄也, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)
- 5 概念関係の時間的構造変化の可視化
○谷合裕子, 赤石美奈 (法大)
- 6 CNN と制約充足による手書き変体仮名認識
○渡辺 悟 (芝浦工大), Marcelo Hossomi (USP), 鈴木徹也, 相場 亮 (芝浦工大)

学生セッション [4ZB 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)

歴史と感性情報 座長 永崎 研宣 (人文情報学研究所)

- 1 喜劇における音声情報に着目した笑い要因モデルの構築及び検討
○村本和也, 岸上順一 (室蘭工大)
- 2 3次元形状評価における個人の感性傾向の推定
○武藤和仁, 橋本 翔, 田中一品, 片平建史, 長田典子 (関西学院大)
- 3 腰部の加速度を用いた地域伝統舞踊の動作分析に関する一検討
○菊地直樹, 松田浩一, 小井田康明 (岩手県大)
- 4 国宝「一遍上人絵伝」に描かれる踊念仏の踊りのシーケンスを復元
○荒木宏允, 谷田部竜, 長沢可也 (湘南工科大)
- 5 無形民俗文化財「祭り」の保存と継承に必要な情報とその変遷をアーカイブ化するための記述方法の検討
○西尾美沙季, 杉山岳弘 (静岡大)

- 6 庭園復元される国史跡「永福寺跡」におけるAR技術による展示
○谷田部竜, 長沢可也, 荒木宏允, 吉川波輝, 山崎拓平, 藤野秀平, 海上 翔, 大嶽直樹 (湘南工科大)

学生セッション [5ZB 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

博物館と情報 座長 後藤 真 (国立歴史民俗博物館)

- 1 博物館における収蔵品の解説情報を活用するためのテーマ構造の解析と記述方法の提案
○鈴木美咲, 清水 恵, 杉山岳弘 (静岡大)
- 2 博物館展示品の持つ知識のテーマ構造を基にしたシナリオ作成支援システムの開発
○清水 恵, 鈴木美咲, 杉山岳弘 (静岡大)
- 3 データビジュアライゼーションを用いた歴史資料探索支援システムの提案
○河辺雅史, 奥野 拓 (はこだて未来大)
- 4 空間的情報重畳によるインタラクティブ鑑賞支援システム
○村田拓真, 川嶋稔夫 (はこだて未来大)
- 5 歴史資料を用いた函館リトファスゾイレの理解支援システムの提案
○長内一真, 似内勇太, 奥野 拓 (はこだて未来大)
- 6 石碑をメタファーとしたシンボル化による地震災害史の地図データベースの構築
○河内愛実, 杉山岳弘 (静岡大)
- 7 美術館におけるスマートフォン館内ガイドシステムを用いた鑑賞行動分析
○松永菜摘, 村松真帆 (静岡県大), 泰井 良 (静岡県立美術館), 渡邊貴之 (静岡県大)

学生セッション [6ZB 会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

高齢社会デザインとインタラクション技術 座長 栗田 雄一 (広島大)

- 1 回想法を模擬した高齢者向け対話システムの構築に関する研究
○中島 悠, 梅井良太 (静岡大), 伊東伸泰 (日本IBM), 西田昌史, 西村雅史 (静岡大)
- 2 リハビリテーション促進ロボットの実現に向け
○岡崎純己, 松日榮信人, 菅谷みどり (芝浦工大)
- 3 Wii バランスボードを用いた立位荷重リハビリ機器の開発
○金丸侑賢, 神屋郁子, 下川俊彦 (九産大), 梅崎浩嗣 (原三信病院/香椎原病院), 柳 泰輔 (九産大)
- 4 Wearable device による歩行状態検知システムの提案
○阿部一希, 村田嘉利, 鈴木彰真, 佐藤永欣 (岩手県大)
- 5 ポイントクラスタ法による膝の動作解析を支援する3Dビューワの作成
○山本志帆, 鈴木昭二 (はこだて未来大)
- 6 プレゼンテーション機器を利用した肩関節周囲炎(五十肩)の運動療法システム
○伊神聖人, 宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)
- 7 高感度圧力センサによる喉頭拳上運動および嚙下音計測
○岩崎堅亮, 鏑木崇史, 栗原陽介 (青学大)

学生セッション [7ZB 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)

高齢社会デザインと見守り支援 座長 石川 翔吾 (静岡大)

- 1 (講演取消)
- 2 PCA と GMM を用いた血液検査データからの保健師指導効果の可視化
○河田 昂, 大枝真一 (木更津高専)
- 3 認知症早期発見のためのデータ分析プラットフォームの開発
○君野敬祐, 石井 瞭, 井上雅裕 (芝浦工大)
- 4 認知症早期発見のための行動センシングセンサシステムの研究
○石井 瞭, 君野敬祐, 井上雅裕 (芝浦工大)
- 5 情報家電での一人暮らしの学生の見守りサービスの研究
○中村勇貴, 三好 力 (龍谷大)
- 6 プライバシーを考慮した複数 Bluetooth ビーコンを用いたデバイスフリー屋内測位機構の実現
○杉野恭兵, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

- 7 マイクロ波ドップラセンサを用いたADLのモニタリングシステムの開発
 ○柴 和彰, 籾木崇史 (青学大), 尾崎研三, 中村 卓, 紅林 薫 (ワイヤレスコミュニケーション研究所), 栗原陽介 (青学大)

学生セッション [1ZC 会場] (3月10日 (木) 9:30 ~ 12:00)

学習支援 (1) 座長 和田 勉 (長野大)

- IP ネットワークの構築演習における演習課題自動採点システムの検討
 ○早川 諒, 舩賀計彦, 井口信和 (近畿大)
- OSPF ネットワークの再現を可能とする動的ルーティング学習支援システム
 ○烏野貴也, 井口信和, 谷口義明 (近畿大)
- ICT 活用型避難訓練のためのオーサリングシステムにおける被害状況表現
 ○山住 遥, 光原弘幸 (徳島大), 井上武久, 山口健治, 武知康逸, 森本真理 (オプトピア), 獅々堀正幹 (徳島大)
- セキュリティの導入教育のためのハッキング競技CTFのIT系イベントによるオープン実践とユーザ評価
 ○中矢 誠 (香川大), 田澤征昭 (アキュトラス), 堀内辰彦, 田中翔也, 富永浩之 (香川大)
- 標的型攻撃対策のための体験型学習システムの開発と評価
 ○今村彰吾, 大関和夫, 平川 豊 (芝浦工大)
- 初等教育における拡張現実を用いた学習教材の検討
 ○四方茉莉, 富澤真樹 (前橋工科大)
- AR 書画カメラの開発
 ○趙 佐, 岩崎大起, 松田海里 (電機大), 高野辰之 (関東学院大), 小濱隆司, 宮川 治 (電機大)
- ブロックを用いた教材での学習状況把握支援システムの開発
 ○飯田祥弘 (電機大), 高野辰之 (関東学院大), 宮川 治, 小濱隆司 (電機大)
- オブジェクト指向プログラミング教育支援アプリケーションの開発
 ○小清水誓太, 相馬佑弥, 齋藤菜月 (電機大), 高野辰之 (関東学院大), 小濱隆司, 宮川 治 (電機大)

学生セッション [2ZC 会場] (3月10日 (木) 13:00 ~ 15:30)

学習支援 (2) 座長 竹田 尚彦 (文部科学省)

- 情報処理技術者試験の効果的な学習方法に関する実験報告
 ○秋山純一, 桑野文洋 (日本工大)
- 算数困難を抱える聴覚障がい児への視線誘導を用いた算術学習支援コンテンツの開発
 ○渡邊優弥, 飯島光洋, 松永信介 (東京工科大)
- 複数のモーションセンサを活用した指文字学習支援システムの構築
 ○宮川貴匡, 松永信介 (東京工科大)
- 保護者を対象とした中学生の自転車事故防止のためのeラーニング教材の開発
 ○江六前昂史, 大河内博生, 三枝義輝, 松永信介 (東京工科大)
- 数学の問題解決型授業における授業設計と実施を支援するシステムの検討
 ○野呂孝佑, 市川 尚, 富澤浩樹, 阿部昭博 (岩手県大)
- 単元の関連性を用いた線形代数の学習支援システム
 ○青木勝彦, 平井佑樹, 並木美太郎, 金子敬一 (農工大)
- 数学教育における証明学習のための論理構造提示 Web アプリケーション
 ○森田雄介, 宮崎佳典, 渡部孝幸 (静岡大)
- 連立一次方程式解法理解のためのタブレット PC を用いた教育用ソフトウェア開発
 ○宮本 優, 藤井研一 (阪工大)
- 大学入試センター試験数学1・Aを用いた数式処理システムの性能評価
 ○森谷慧士, 矢吹太郎 (千葉工大)
- 物語自作システムにおける関連付けデータベースの評価
 ○蔵屋沙那恵, 神里志穂子 (沖縄高専)

学生セッション [3ZC 会場] (3月11日 (金) 9:30 ~ 12:00)

授業支援 (1) 座長 長瀧 寛之 (岡山大)

- 文字認識を用いた画像提示電子黒板のための画像動的配置法に関する提案
 ○小山直紀, 澤野弘明 (愛知工大), 鈴木裕利 (中部大), 土屋 健 (諏訪東京理科大), 小柳恵一 (早大)
- 黒板と電子黒板間でシームレスの情報交換できるシステムの開発
 ○水落円香, 小林信輔, 比留間雄大, 加藤直樹 (東京学芸大)
- 実際の教育現場での利用を重視した電子黒板システムの開発
 ○比留間雄大, 加藤直樹 (東京学芸大)
- 学習者用デジタル教科書に教材を後から追加できる機能の提案
 ○小林信輔, 加藤直樹 (東京学芸大)
- 電子黒板と学習者用端末を用いる授業を円滑にする教師用端末を導入したシステムの開発
 ○小林智代, 小林信輔, 比留間雄大, 加藤直樹 (東京学芸大)
- 画面サイズ・文字サイズに応じたデジタル教科書のレイアウトの検討
 ○津島茉莉, 加藤直樹 (東京学芸大)
- 電子書籍専用端末利用者と汎用端末利用者の意識や行動の比較
 ○橋口 凌, 渡部和雄 (東京都市大)
- (講演取消)
- タブレットを共同作業者のPCの共有画面として使用する画面共有システムの検討
 ○正木宏幸, 井口信和 (近畿大), 松山浩士, 村上恒夫 (サイバーリンクス)

学生セッション [4ZC 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)

授業支援 (2) 座長 坂東 宏和 (獨協医科大)

- シラバス中の組織間での単語意味揺らぎの分析
 ○瀬端賢人, 中島克也, 小林亜樹 (工学院大)
- 大福帳を利用した双方向授業を効率的に行うためのコミュニケーション支援手法の提案
 ○大内郷太郎, 大場みち子 (はこだて未来大)
- チェックシートを用いた相互採点法における質問項目の評価
 ○古作 創, 大枝真一 (木更津高専)
- 実行テスト系列を取り入れた小コンテスト形式の初級C演習における巡回指導の支援機能
 ○太田翔也, 中矢 誠, 花川直己, 富永浩之 (香川大)
- LAN 環境を使ったアンケートシステムの開発と授業への適用
 ○田中哲悟, 宇田川佳久 (東京工芸大)
- 7segLED 読み上げによる視覚障害者向け実験支援システムの開発
 ○鈴木拓海 (東京高専), 金子晶夫 (豊橋技科大), 鈴木雅人, 高橋三男, 北越大輔 (東京高専)
- 授業中の教師の発言に対する授業参観者の気づきを記録・閲覧できるシステムの提案
 ○保浦良太, 加藤直樹 (東京学芸大)

学生セッション [5ZC 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

プログラミング 座長 中鉢 直宏 (島根大)

- レイアウト定義言語 DAST を用いたオブジェクト構造可視化の使用性及び有効性の評価
 ○松崎 駿 (静岡大), 松澤芳昭 (青学大), 酒井三四郎 (静岡大)
- 複数のハードウェアでの共通操作に着目した教育用並列プログラミング言語の提案
 ○田中寛章, 藤井健太, 磯淵郁也, 水谷泰治 (阪工大)
- ポーカー戦略を題材とする応用C演習の大会運営サーバにおける解答コードのメトリクスの提示機能
 ○玄馬史也, 富永浩之 (香川大)
- ポーカー戦略を題材とする応用C演習における解答コードのメトリクスによる分析手法の検討
 ○阿部隆幸, 玄馬史也, 富永浩之 (香川大)
- LEGO ロボットの制御プログラミングとゲーム課題の攻略を題材とするJava グループ演習の授業設計
 ○中井智己, 辻 健人, 富永浩之 (香川大)
- Random Forest を用いたコマンド履歴からのプログラミングスキル推定
 ○清野真理子, 橋本玄基, 大枝真一 (木更津高専)

7 ビジュアルプログラミングを用いたテキストベースプログラミング学習支援システム

○末吉春一, 佐藤 喬 (都立産業技術高専)

8 プログラマのスキル評価のためのログデータ解析

○橋本玄基, 清野真理子, 大枝真一 (木更津高専)

9 ボードゲーム戦略を題材としたJava演習の予備大会における提出コードの個人進捗の分析手法

○花川直己, 富永浩之 (香川大)

学生セッション [6ZC会場] (3月12日(土) 9:30~12:00)

教育における表現 座長 伊藤 久祥 (岩手県大)

1 マルチユーザ対応電子黒板システムの開発

○矢野 優, 今野 将 (千葉工大)

2 チャットと対面コミュニケーションを組み合わせた人狼ゲームの提案と支援サービスの制作

○菊地健祥 (東京工科大), 中村亮太 (湘北短期大), 上林憲行 (東京工科大)

3 影絵で遊びながら動物の生態を学べる体感型学習コンテンツの製作

○新開沙綺, 井祐麻衣, 太田高志 (東京工科大)

4 4コマ漫画における情報の表出化を利用した学習方法の提案とその支援サービス

○成川友崇, 寺岡文博, 上林憲行 (東京工科大)

5 動画教材の要約を支援する学習方法~マインドマップ・PREP法・デザインシンキングの発展的活用~

○根岸正実, 春日恒輝, 横山 誠, 中村太戯留, 上林憲行 (東京工科大)

6 ダンス必修化に伴う教員の指導不安の定量的分析

○山口莉奈 (同志社大), 正田 悠 (同志社大/日本学術振興会), 鈴木紀子 (帝塚山大学), 阪田真己子 (同志社大)

7 (講演取消)

8 特別支援学校におけるタブレットPCを用いたタッチ入力評価アプリケーション

○鈴木大介, 吉本定伸 (東京高専), 金森克浩 (国立特別支援教育総合研究所), 佐野将大 (香川県立高松養護学校)

学生セッション [7ZC会場] (3月12日(土) 13:00~15:00)

PBLと就活支援 座長 土肥 紳一 (電機大)

1 他者による自己分析を先行させる自己PR作成支援方法の提案と評価

○田中正信 (東京工科大), 中村亮太 (湘北短期大), 上林憲行 (東京工科大)

2 透過型HMDを用いたリアルタイム自己視による面接における非言語行動改善プログラムの提案と効果の検証

○佐藤森矢 (東京工科大), 中村亮太 (湘北短期大), 上林憲行 (東京工科大)

3 大学生を対象とした活動パフォーマンスとコンピテンシー及び実行行動の関係性についての実証調査

○土屋日海留, 上林憲行 (東京工科大)

4 PBL向けリスク管理学習支援システムの提案

○萩本純一, 大場みち子 (はこだて未来大)

5 PBLにおけるメンバの役割を考慮したグループ自動編成方法の研究

○内山健斗, 高笠綾華, 水谷晃三, 荒井正之 (帝京大)

6 (講演取消)

7 Project-Based Learningにおける役割をもとにした分析および効果測定

○木谷健太, 菅谷みどり, 谷田川ルミ (芝浦工大)

学生セッション [1ZD会場] (3月10日(木) 9:30~12:00)

農林水産支援システム 座長 阿部 昭博 (岩手県大)

1 猿検知システムを用いた確率モデルによる出現予測

○十時光崇, 北爪孝明, 杉浦彰彦 (静岡大学), 中井一文, 江崎修央 (鳥羽商船高専), 山端直人 (三重県農業研究所)

2 猿出現データを用いた山間部豊凶作状況と出現地域の分散傾向

○照井一暉, 杉浦彰彦 (静岡大学), 中井一文, 江崎修央 (鳥羽商船高専), 山端直人 (三重県農業研究所)

3 赤潮や魚病の発生予測のための海域情報収集支援システムの開発

○安藤顕人, 岡本拓哉, 遠藤慶一, 黒田久泰, 樋上喜信, 小林真也 (愛媛大)

4 農産物無人販売システム(UAPS)の実現

○徳増 匠, 立花優貴, 大谷 真 (湘南工科大)

5 UAPS(農産物無人販売所)モバイルシステムの開発

○立花優貴, 徳増 匠, 田中佑弥, 大谷 真 (湘南工科大)

6 自律型ビニルハウスのための組込みコンピュータを用いたセンシングシステムの研究

○重住禎彦, 松崎隆哲 (近畿大)

7 オイルプランテーションにおける作業効率向上のためのマルチGNSSによる高精度測位を利用した植林支援システムの設計

○増間智昭, 佐藤章博, 神武直彦 (慶大)

8 植物工場における生産支援のための画像処理による生育状態観測

○小田淳史, 波部 齊, 井口信和 (近畿大), 小池敏和 (NTTデータ関西), 鍛冶研一, 植田頼規 (関西鉄工)

9 全国版水稲早期警戒・栽培支援システムAMATERASの開発

○佐々木優太, 渋谷風沙, 南野謙一, 後藤裕介, 渡邊慶和 (岩手県大)

学生セッション [2ZD会場] (3月10日(木) 13:00~15:30)

地域支援システム 座長 兼宗 進 (大阪電通大)

1 まちあるきアプリによる地域活性化の検討

○吉岡茉莉子, 内平隆之, 中桐斉之 (兵庫県大)

2 SNSおよびスマートフォンを活用した市民参加型調査支援システムの開発

○小田嶋優斗, 富澤浩樹, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)

3 情報技術を活用した商店街活性化支援の提案

○佐々木夏美, 岡本 東, 堀川三好 (岩手県大)

4 Google Maps APIを活用した求車の検討

○須甲知宏, 佐々木喜一郎 (岐阜経済大), 安田孝美 (名大)

5 公共交通システムにおける全体最適な座席利用促進のための乗車時間最小化戦略

○富山侑子, 宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)

6 道の駅のアンテナショップによる地域活性化支援のための一提案

○高橋裕大, 加藤 諒, 山本雄平 (関西大), 中村健二 (阪経大), 田中成典 (関西大)

7 Symbiotic Realityに基づくタウンマネージメント支援システムの提案

○熊谷健太, 伊藤寛祥 (東北大), 橋 祐一 (日立ソリューションズ東日本), 久保孝嘉 (国際航業), 樋地正浩, 阿部 亨 (東北大), 橋本和夫 (早大/国際航業), 菅沼拓夫 (東北大)

8 温泉施設の温水汲み上げポンプの無人監視装置の開発

○高井健太郎, Prima Oky Dicky Ardiansyah, 伊藤久祥 (岩手県大)

9 水環境健全性指標の可視化のためのWebアプリケーションの開発

○澤田洋二, 大沢凌平, 小久保温, 角田 均 (青森大), 三上 一 (元青森県庁)

学生セッション [3ZD会場] (3月11日(金) 9:30~12:00)

観光支援システム 座長 畑山 満則 (京大)

1 AR技術を用いた世界遺産観光及び学習支援システム

○村上琢哉, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)

2 観光中に撮影された写真を用いた観光日記作成システムの開発

○熊野圭馬, 宮川 怜, 大岡 稜, 後藤田中, 紀伊雅哉, 林 敏浩 (香川大), 國枝孝之 (リコー), 八重樫理人 (香川大)

3 ビーコンを利用した拡張現実による観光情報提供システム

○佐々木克海, 平川 剛, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)

4 時間的・空間的分析を取り入れた観光情報配信システムの提案

○鳥居勇起, 堀川三好, 竹野健夫 (岩手県大)

5 仮想らくがきインターフェイスを用いた観光者間の観光情報共有システムの提案

○宮川 怜, 大岡 稜, 熊野圭馬 (香川大), 國枝孝之, 池田哲也 (リコー), 後藤田中, 林 敏浩, 八重樫理人 (香川大)

6 オープンデータを活用した広域観光支援システムの基礎検討

○上田翔磨, 阿部昭博, 市川 尚, 富澤浩樹 (岩手県大)

- 7 留学生のニーズを考慮した観光支援システムの開発
○蘭 天陽, 阿部昭博, 市川 尚, 富澤浩樹 (岩手県大)
- 8 SNS データを用いた観光エリア特性表示システム
○高橋静音, 佐々木淳, 高木正則, 山田敬三 (岩手県大)

学生セッション [4ZD 会場] (3月11日 (金) 13:00 ~ 15:00)

健康・福祉支援システム 座長 高橋 尚子 (国学院大)

- 1 車椅子走行ログを用いた車椅子利用者向けルート作成システムの構築
○水澤吉博, 大場みち子, 木塚あゆみ (はこだて未来大)
- 2 ウェアラブルデバイスを用いた非常時体調管理システム
○古口 眞, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)
- 3 訪問介護・医療現場における訪問連絡帳の電子化方式に関する研究
○山野井陸, 矢島敬士 (電機大)
- 4 上方に設置したセンサによる指文字認識方法の研究
○大塚友章, 山崎雄太, 内山健斗, 水谷晃三, 荒井正之 (帝京大)
- 5 生活習慣病予防支援システムの提案
○菅原 歩, 吉田遼太郎, 山田敬三, 高木正則, 佐々木淳 (岩手県大)
- 6 高齢者徘徊見守りシステムのための Bluetooth と GPS を併用した位置推定手法
○山野太靖, 白松 俊, 岩田 彰 (名工大), 永井明彦 (筑波大), Mauricio Kugler (名工大)
- 7 (講演取消)

学生セッション [5ZD 会場] (3月11日 (金) 15:20 ~ 17:50)

防災・災害対策システム 座長 柿崎 淑郎 (電機大)

- 1 災害時に適応した行動を可能にするジオフェンスチェックラリアアプリケーションの開発
○篠原雅貴, 田島誠也, 日向 慧, 飯塚直亮, 齊藤圭世, 柴原直也, 高橋洗人, 岩井将行 (電機大)
- 2 災害時における避難経路提示を考慮した観光情報提供システム
○菅原大志, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)
- 3 個人の歩行レベルを考慮した災害時避難経路推薦システム
○及川光貴, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)
- 4 災害弱者を考慮した避難経路アプリケーションの研究
○佐々木健, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)
- 5 震災情報を考慮した観光情報提供システムに関する考察
○萬 直之, 阿部昭博, 市川 尚, 富澤浩樹 (岩手県大)
- 6 河川維持管理システムにおける3次元モデル活用の検討
○河合悠希, 窪田 論 (関西大)
- 7 河川横断形状データの作成及び修正に関する一考察
○南葉潤一, 畑山満則 (京大)
- 8 観光地における群集心理特性を考慮した避難経路割り当て手法の提案
○鄭 宇輝, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)
- 9 カスタマイズ可能な防災関連情報提供システムの開発
○田藤千弘, 谷岡遼太, 吉野 孝 (和歌山大)

学生セッション [6ZD 会場] (3月12日 (土) 9:30 ~ 12:00)

情報抽出・提示システム 座長 荻野 紫穂 (武蔵大)

- 1 大学生を対象としたソーシャルメディアの利用形態とソーシャルキャピタルに関する調査
○木谷明日香, 上林憲行 (東京工科大)
- 2 (講演取消)
- 3 意思決定支援機能を備えた Web-DB 型電子投票システムの評価および考察
○藤村春輝, 凌 曉萍 (神奈川工科大)
- 4 多様なステイクホルダの集合知を用いてオープンデータを創出するためのアイデアソンのプロセス・手法の設計と検証
○原田利江子, 中島 円, 田端謙一, 神武直彦 (慶大)
- 5 多重透明レイヤーを用いたソーシャルセンサ情報マッシュアップシステム
○大部達也, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 6 Foursquare のチェックイン情報から構成するブログ記事自動生成システムの開発
○渡邊椋太, 山崎祥行, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)

- 7 EPUB 出版物のための EPUBCFI に基づく索引の提案
○丸山 純, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)

- 8 (講演取消)
- 9 マルチエリア型人感センサを用いた照明制御の最適化
○伊藤克也, 三木光範, 上南遼平, 寺井大地, 間 博人 (同志社大)

学生セッション [7ZD 会場] (3月12日 (土) 13:00 ~ 15:00)

状況理解のシステム 座長 児玉 公信 (情報システム総研)

- 1 ビーコンを用いたオープンキャンパス来場者の行動履歴の取得と展示配置最適化の試み (GSIS 学生プロジェクト)
○池野直人, 佐藤壮真, 星川貴樹, 岡村容伸 (東北大)
- 2 学内見学支援システムにおける屋内位置推定精度の向上
○佐藤清隆, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 3 周辺検知が可能なエリア IP フォンによる事故防止システム
○北沢昂平, 石川真次郎, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 4 ドローンを利用した構内案内システムの設計
○三浦翔平, 平石広典 (秋田高専)
- 5 画像認識技術を用いた野外美術館における作品情報提示システムの開発
○大岡 稜, 熊野圭馬, 宮川 怜 (香川大), 國枝孝之, 池田哲也 (リコー), 後藤田中, 林 敏浩, 紀伊雅教, 八重樫理人 (香川大)
- 6 (講演取消)
- 7 オープンデータとソーシャルメディアを活用した Web-based デジタルサイネージシステムの複数環境における運用と評価
○工藤直哉, 山上真由 (静岡県大), 伊藤裕二 (メディア・ミックス静岡), 小坂弘史 (スカパー JSAT), 湯瀬裕昭, 渡邊貴之 (静岡県大)



最適な答えで、お客さまの経営課題を解決する。

より豊かな社会を実現する通信ネットワークを支えるために磨き上げた、技術力、解決力、運用力、サポート力、そしてサービス品質。その力を、お客さまのビジネスへ。単なるICTパートナーではなく、お客さまのビジネスパートナーであるために。私たちは、宣言します。お客さまの経営課題にまで向き合い、事業戦略を検討し、その解決と運用にまで取り組む。数々のシステム更改の実績をベースに、先進の技術・オペレーションのノウハウを結集し、世界中の最新技術を組み合わせて、お客さまのグローバルな事業展開にも最適な答えを導き出す。私たちは、キャリアグレードを実現するシステムインテグレーターのNTTコムウェアです。



スマートフォン、タブレット端末にARアプリ『PictuAR(ピクチュアル)』をインストールし、本広告のキューブ全体のビジュアルを撮影すると画像が動き出します。(アプリから撮影してください)

『PictuAR(ピクチュアル)』のアプリは、下記のQRコードから取得できます。



Android
端末向け



iOS
端末向け

取引先企業様の導入事例を豊富にご紹介!

<http://www.nttcom.co.jp/>

コムウェア 事例

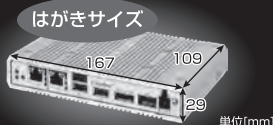
検索

Atom(Bay Trail)搭載機 ラインナップ充実! Made in 日本

省エネCDシリーズ

はがきサイズコンピュータ

はがきサイズのコンピュータ
 CPU: Intel Atom E3845 1.91GHz (Bay Trail)
 OS: Windows Embedded Standard 7 (64bit) (日/英/中: 出荷時起動日本語)
 メモリ: 2GB/4GB
 起動デバイス: SSD 16GB/32GB
 補助デバイス: CFast 未実装 (4GB/8GB/16GB/32GB)
 ディスプレイ: DisplayPort v1.1a×1
 LAN: 1Gbps×2
 USB: 3ポート(USB2.0×2, USB3.0×1)



はがきサイズ
 型式: ETC-G019(S7X) 単位[mm]
 価格: ¥131,200- (100台購入時単価)

DVI-I(アナログ)対応

DVI-I(アナログ出力)に対応し、既存システムの置き換えに最適 Atom E3826(2コア)搭載モデルも準備中



型式: ETC-G119(S7X)
 価格: ¥139,200- (100台購入時単価) **新登場**

お求めやすい価格

E3826(2コア) 搭載のお求めやすいコンピュータ



型式: ETC-GP15(S7)
 価格: ¥99,900- (100台購入時単価) **新登場**

コンピュータ+I/O

計測制御向けの豊富なI/O

[前面] デジタル入出力: 共用32点 RS-485: 1ch
 [背面] アナログ入力: S16/DBch アナログ出力: 4ch RS-232C: 1ch



型式: IUC-B2934(S7X)
 価格: ¥184,000- (100台購入時単価)

上記以外に9種類の構成が選択できます。

コンピュータ+カード

カード型モジュールを最大4枚

まで組込可能な小型計測制御コントローラ。必要なインタフェースを自由に組み合わせることができます。CSI-291144相当×1個込 20MSPS DIO82点TTL(DMA搭載)



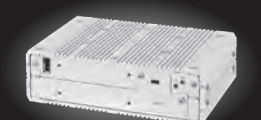
型式: FPC-B019(S7X)K01
 価格: ¥154,400- (100台購入時単価)

上記以外に34種類のカード型モジュールから選択できます。
 ※動作温度範囲 0C~+50C / FAN付

狭所への設置

インタフェース部を片面に集中

狭所等への設置を考慮しました。



型式: ETC-G919(S7X)
 価格: ¥196,000- (100台購入時単価)

ストレージ強化

起動デバイスSSD(8GB)とCFast×3スロットを搭載し、データストレージを強化。



型式: ETC-G819(S7X)
 価格: ¥198,400- (100台購入時単価)

瞬低対策用電源装置

瞬低対策用電源装置 JPS-BUSTC



型式: JPS-BUSTC
 価格: ¥27,000- (100台購入時単価)

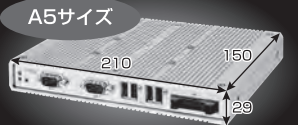
電池(enloop)は別売
 ※動作温度範囲 0C~+50C

電源プッチ切り対応	OSのROM化	セキュリティ機能	温度拡張-30℃~+70℃	電源電圧+7V~+37V
超小型コンピュータ	高速CPU(4コア)	PowerON起動	堅牢筐体	耐振動 / 対衝撃(5G / 100G)
豊富なI/O	産業用グレード部品採用	産業用SLCタイプSSD採用	長期供給、設計資産の継続	互換性維持
長期保守	選べるOS(Windows 7, Windows Embedded Standard 7, Windows 10 IoT Enterprise)			マルチコア/リアルタイム処理強化(Interface Linux System)
オプション 瞬低対策用電源装置, 防湿・耐腐食性ガスコーティング, スクリーニング出荷, 修理サービス延長契約, 定額修理契約				

車載CDシリーズ

A5サイズコンピュータ

A5サイズのコンピュータ
 CPU: Intel Atom E3845 1.91GHz (Bay Trail)
 OS: Windows Embedded Standard 7 (64bit) (日/英/中: 出荷時起動日本語)
 メモリ: 4GB/8GB
 起動デバイス: CFast 16GB/32GB
 補助デバイス: CFast 未実装 (4GB/8GB/16GB/32GB)
 ディスプレイ: DisplayPort v1.1a×1
 LAN: 1Gbps×2
 USB: 5ポート(USB2.0×4, USB3.0×1)



A5サイズ
 型式: ETC-F019(S7X) 単位[mm]
 価格: ¥186,400- (100台購入時単価)

DVI-I(アナログ)対応

DVI-I(アナログ出力)に対応し、既存システムの置き換えに最適 Atom E3826(2コア)搭載モデルも準備中



型式: ETC-FA19(S7X)
 価格: ¥194,400- (100台購入時単価) **新登場**

お求めやすい価格

E3826(2コア) 搭載しインタフェースを必要最小限に絞りました。



型式: ETC-FP15(S7)
 価格: ¥136,800- (100台購入時単価) **新登場**

コンピュータ+I/O

計測制御向けの豊富なI/O

[前面] カウンタ: 2ch, USB: 1ポート
 [背面] デジタル入力: 32点, デジタル出力: 32点 アナログ入力: 8ch, アナログ出力: 6ch



型式: ITC-B3620(S7X)
 価格: ¥319,300- (100台購入時単価)

上記以外に16種類の構成が選択できます。

設置方法考えました

インタフェース部を片面に集中

片側をすっきり使いやすくしました。



型式: ETC-F919(S7X)
 価格: ¥190,300- (100台購入時単価)

ストレージ強化

2.5インチ HDD×2を搭載し RAID 0 / 1 に対応。データサーバに最適。



型式: BOX-F019(S7X)
 価格: ¥226,400- (100台購入時単価)

※ HDD搭載モデル: +5C~+50C

瞬低対策用電源装置

瞬低対策用電源装置 JPS-BUETCA

各CDシリーズと本製品を接続することにより、瞬低が発生しても継続動作することができます。市販のenloop pro(単三型)が利用でき、電池の取り替えも容易に行うことができます。



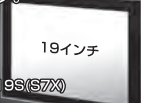
型式: JPS-BUETCA
 価格: ¥28,800- (100台購入時単価)

電池(enloop)は別売
 ※動作温度範囲 0C~+50C

タッチパネルCDシリーズ

パネルコンピュータ

屋外での使用にも耐えられる**耐環境性**を持った**タッチパネル一体型**の組み込み向け小型コンピュータ。



型式: TPC-F019C19S(S7X)
 価格: ¥256,400- (100台購入時単価) **新登場**

パネルコンピュータ+I/O

耐環境性を持ったタッチパネルと**豊富なI/O**を自由に組み合わせることで制御システムから案内端末まで様々な用途で活用いただけます。
 [下面] デジタル入出力: 共用32点



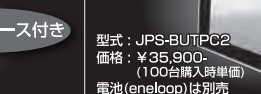
型式: TIO-B2937A(S7X)
 価格: ¥238,300- (100台購入時単価) **新登場**

上記以外に9種類の構成が選択できます。

瞬低対策用電源装置

瞬低対策用電源装置 JPS-BUTPC2

瞬低対策用電源装置 JPS-BUTPC2



型式: JPS-BUTPC2
 価格: ¥35,900- (100台購入時単価)

電池(enloop)は別売
 ※動作温度範囲 0C~+50C



詳しくはwebsiteまで www.interface.co.jp
 カスタマーサポートセンター

TEL: 050-3032-9900 URL: www.interface.co.jp
 FAX: 050-3032-9901 E-mail: support@interface.co.jp
 製品の仕様、デザイン、価格については、予告なく変更する場合があります。本広告に記載した会社名、商品名は、各会社の商標または登録商標です。



人工知能によるビッグデータ解析を実現する

UBICの行動情報科学研究所

UBICの行動情報科学研究所では、学習と評価を行う独自の人工知能関連技術である「Landscaping」と、人間の行動を理解するために、社会学や犯罪学といった行動科学と、機械学習や自然言語処理などに代表される情報科学を組み合わせた独自のコンセプト「行動情報科学」を組み合わせ、独自開発の国産人工知能「KIBIT」の研究と開発、さらにその研究成果を製品化、サービス提供し、サービスの運用から得られるユーザー体験を、研究開発へとフィードバックすることで、実際に社会に働きかけながら、研究開発のサイクルを加速しています。



現在提供している「KIBIT」を搭載した主なプロダクト

Lit i View E-DISCOVERY

Lit i View EMAIL AUDITOR

Lit i View PATENT EXPLORER

Lit i View AI助太刀侍



研究所では、交流会や社内見学会を随時開催しています。
詳細は WANTEDLY 弊社ページをご覧ください！

<https://www.wantedly.com/companies/ubicBIL>

お問い合わせ先

株式会社UBIC 〒108-0075 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル 7F

TEL : (03)5463-6344 FAX : (03)5463-6345 <http://www.ubic.co.jp>



THE 3RD Cloud Programming World Cup

第3回学生クラウドプログラミングワールドカップ ~開発キット (SDK) によるクラウドアプリのプログラミング技術を競う!~

VR×IoT: CPWC2015 IS ON !!

VR×IoT時代を導くのは誰だ?!

CPWC2016
開催決定!!

第3回学生クラウドプログラミングワールドカップ(主催:CPWC実行委員会)のエントリー総数は15チーム(日本3、海外12)となり、7チームがノミネート。2015年11月19日、デザインフェスティバル2015にて、ノミネートチームが集まり最終公開審査を経て、ワールドカップ賞および各章の表彰式を行いました。

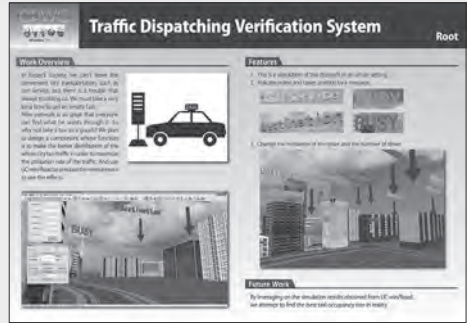


World Cup Award ワールドカップ賞

「Traffic Dispatching Verification System」

上海大学 (中国) Root

タクシーの配車をバーチャルな環境でテストするためのシミュレーションプラットフォームを提供。シーンを作成し、アルゴリズムを追加するのみで、容易に利用できます。



審査員特別賞

Environmental Design and IT Award

「Virtual LED」
上海海事大学 (中国) O.R.T.



福田知弘氏 (審査委員長)
大阪大学大学院工学研究科
環境・エネルギー工学専攻准教授

NUI (Natural User Intefase) Award

「Kinect Explore」
上海交通大学 (中国) Great Sword



羽倉弘之氏
三次元映像学会 代表幹事
デジタルハリウッド大学院特任教授

IoT Award

「Anywhere Door」
同濟大学 (中国) WindChaser



榎原 太郎氏
ニュージャージー工科大学
建築デザイン学部 准教授

HMI enhancers Award

「SILC Plugin」
上海大学 (中国) SILCreate 悉商智造



Pencreach Yoann氏
フォーラムエイト VR 開発
テクニカルマネージャ

3次元リアルタイム・バーチャルリアリティ

UC-win/Road Ver.11

Ultimate: ¥1,800,000 / Driving Sim: ¥1,280,000
Advanced: ¥970,000 / Standard: ¥630,000

Ver.11 新機能

●CGレンダリング拡張(影、湖面反射など)



●SfMプラグイン・オプション ●OSMプラグイン・オプション

- GPS点列、IPパメータ道路自動生
- UI拡張、SIMパネル統合、リボン対応
- Oculus Rift (DK2) プラグイン
- 3DVRクラウドVR-Cloud®標準
- エアロバイクcycleStreet連携
- CAVEシステム、ヘッドトラッキング

FORUM8 Design Festival

2016-3Days+ Eve All about FORUM8 & Products.

2016年11月16日(水) - 18日(金)
品川インターシティホール(予定)

第4回 学生プログラミングワールドカップ 表彰式: 2016年11月17日(木)

2016年4月4日(月) エントリー開始!

★名古屋 JR セントラルタワーズ・システム・ショールーム 2015年10月1日開設 ★新卒・第二新卒大募集

※表示価格はすべて税別です。※製品名、社名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社 フォーラムエイト 東京本社

東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 21F

ショールーム: 東京・名古屋/セミナールーム: 東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌・金沢・上海・青島/宮崎・神戸研究室/ハノイ・台北・ロンドン

Tel (代表) 03-6894-1888 (営業窓口) 0120-1888-58

Fax 03-6894-3888 | E-mail f8tokyo@forum8.co.jp



www.forum8.co.jp

dwango

CG×AI

コンピュータグラフィックス

人工知能

インターン募集

最先端のCGと機械学習を組み合わせ、次世代の映像技術を創り出そう。

『CGI プロジェクト』インターン募集要項

●実習期間

2016年5月～応相談

●応募締切

2016年4月30日(土)

●インターン場所

東京都中央区銀座 4-12-15 歌舞伎座タワー
株式会社ドワンゴ オフィス内

●職務内容

機械学習および3Dコンピュータグラフィックスに関する様々なテーマの研究開発を行っていただきます。
特に、現在技術的に解決できていない課題に取り組んでいただくことを想定しています。
その成果を学会や論文で発表していただくほか、以下のような分野に適用していくことを目指しています。

- ・ 全く新しい映像表現を活用した3DCGアニメーションへの応用
- ・ それらを実現するためのツール/プラグインの開発
- ・ その他、機械学習関連技術による新規事業の提案

●登録資格

<必須条件>

- ・ Chainer、Theano、Pylearn2、Torch、Caffe、TensorFlowなどを使った機械学習プログラムの開発経験

<歓迎条件>

- ・ 3DCGの分野もしくは人工知能の分野で何か研究したいテーマを持っている方
- ・ SIGGRAPHなどにおけるCG関連論文の発表経験者
- ・ その他AIに関する論文やブログ、学会発表などの実績

●対象

- ・ 4年生大学・短期大学・大学院・高専・専門学校・高等学校、いずれかに在籍の方(学年不問)
- ・ 半年以上就業いただける方

※目安として平日週2日程度勤務いただきますが、状況に応じて相談が可能です。

●選考

ご応募後、弊社内にて選考を行います。面接の為に、弊社にお越し頂く場合がございます。

●実習時間

応相談

参加が決定した段階で、一か月分のシフトを提出して頂きます。
標準実習時間の範囲内で、参加できる日時を相談の上、決定します。
※標準実習時間：11:00~19:00(休憩60分)

●交通費

支給あり(月額50,000円まで)

●手当

弊社規定に基づき支給します。
※金額は勤務可能な時間、経験に応じて相談となります。

●宿泊費

お住まいの地域、業務内容、実習期間等により、応相談

インターンのご応募はこちらから

<https://internship.dwango.co.jp/2016/aix3dgc/>



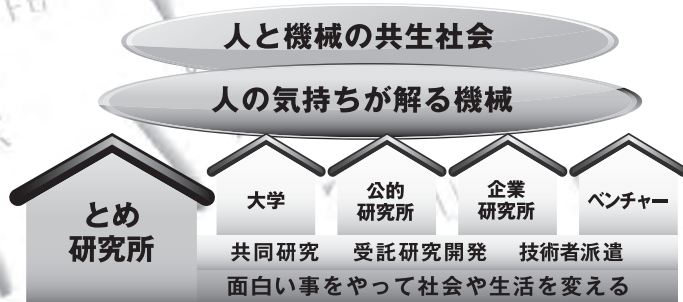
2017年 エンジニア新卒採用もエントリー受付中

「技術アピール」で選考プロセスをスキップ

※詳細は、2017年エンジニア新卒採用サイトをご確認ください。<http://dwango.co.jp/saiyo/>

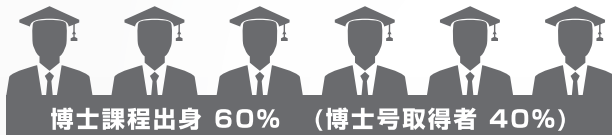
とめ 株式会社とめ研究所

知能情報処理技術をコアコンピタンスとした
ソフトウェア研究開発受託会社



知能情報処理技術をコアコンピタンスとし、大学・公的研究機関・企業研究所・ベンチャー等と国家PJ応募・共同研究・受託研究開発・技術者派遣で協創し、来るべき“人と機械の共生社会”の構築に貢献します。

ポストドク相当の技術者が共同研究者のように研究開発の加速推進に貢献します



技術者の6割が博士課程出身、4割が博士号取得者です。

難解な技術課題を解決するアルゴリズムの研究開発や社会を変えるシステムの開発を目指す志の高いエンジニア達です。

情報関連だけではなく、数学、物理学の研究室出身者なども多く、多様な課題をお客様とともに解決します。

研究開発、システム開発、組込み制御開発までお任せください

画像処理、信号処理、数値解析、検査、計測、ロボット、データマイニング、自然言語処理、ヒューマンインタフェース、組込み制御開発 他



人と機械の共生でもっと生活を楽しく

とめ 株式会社とめ研究所

URL: <http://www.tome.jp> E-mail: info@tome.jp

- | | | |
|--------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 本社ラボ | 京都市下京区中堂寺南町134 京都高度技術研究所内7F | TEL 075-315-0074 FAX 075-315-0274 |
| <input type="checkbox"/> 京阪奈ラボ | 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザラボ棟13F | TEL 0774-94-4187 FAX 0774-94-4337 |
| <input type="checkbox"/> 名古屋ラボ | 名古屋市中区金山5-11-6 名古屋ソフトウェアセンター3F | TEL 052-883-8790 FAX 052-883-8791 |
| <input type="checkbox"/> 横浜ラボ | 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークウエストタワー11F | TEL 045-465-4236 FAX 045-465-4237 |
| <input type="checkbox"/> 東京ラボ | 川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク西棟3F | TEL 044-833-7155 FAX 044-281-0600 |

第78回全国大会委員名簿

第78回全国大会 組織委員会

委員長 徳田 英幸(慶大) 副委員長 住田 一男(東芝)
委員 天野 英晴(慶大), 大場 みち子 (はこだて未来大), 片寄 晴弘(関西学院大), 清木 康 (慶大)

第78回全国大会プログラム委員会

委員長 天野 英晴(慶大) 副委員長 高田 眞吾(慶大), 山口 高平(慶大)
委員 伊藤 一成(青山学院大), 伊藤 雅弘(東芝), 稲見 昌彦(慶大), 大場 みち子 (はこだて未来大), 亀岡 弘和(NTT), 木村 功作(富士通研), 重野 寛 (慶大), 庄野 逸(電通大), 砂原 秀樹(慶大), 角 康之 (はこだて未来大), 住田 一男(東芝), 中澤 仁(慶大), 藤井 寛(メディアインテリジェンス研), 藤田 桂英(農工大), 堀川 隆(NEC), 矢向 高弘(慶大), 吉川 隆英 (富士通研)

第78回全国大会実行委員会

委員長 重野 寛(慶大) 副委員長 高田 眞吾(慶大)
幹事 河野 健二(慶大)
委員 今井 倫太(慶大), 岡田 謙一(慶大), 小原 京子(慶大), 金子 晋文(慶大), 斎藤 英雄(慶大), 斎藤 博昭(慶大), 篠沢 佳久(慶大), 杉本 麻樹(慶大), 高汐 一紀(慶大), 千代 浩之(慶大), 寺岡 文男(慶大), 遠山 元道(慶大), 西 宏章(慶大), 萩原 将文(慶大), 藤代 一成(慶大), 松谷 宏紀(慶大), 山崎 信行(慶大)

第78回全国大会プログラム編成WG

委員長 天野 英晴(慶大)
委員 赤澤 紀子(電通大), 浅原 正幸(人文研), 安東 孝二(mokha), 石川 孝明(早大), 梅津 高朗(滋賀大), 遠藤 敏夫(東工大), 大谷 紀子(都市大), 岡本 吉央(電通大), 小川 賀代(日本女子大), 沖野 浩二(富山大), 加藤 恒昭(東大), 亀岡 弘和(NTT), 岸田 和明(慶大), 倉本 到(京都工芸繊維大), 栗原 恒弥(日立製作所), 五島 正裕(NII), 小松 孝徳(明大), 小松 裕成(富士通), 志築 文太郎(筑波大), 篠田 浩一 (東工大), 柴田 邦臣(津田塾大), 庄野 逸(電通大), 関嶋 政和(東工大), 関谷 貴之(東大), 高島 康裕(北九州市立大), 高野 了成(産総研), 高橋 尚子(國學院大), 高橋 光輝(デジタルハリウッド大), 竹田 尚彦(文科省), 立石 孝彰(日本 IBM), 塚本 良太(三菱電機), 西村 康孝(KDDI), 野々山 秀文(セコム), 長谷川 勇(スクウェア・エニックス), 原田 要之助(情報セキュリティ大), 肥田 一生(富士通研), 藤井 敦(東工大), 保木 邦仁(電通大), 松原 茂樹(名大), 三島 健(NTT), 水野 慎士(愛工大), 南 和宏(統計研), 南出 靖彦(東工大), 森田 純哉(名大), 安本 慶一(奈良先端技術大), 山口 高康 (NTT ドコモ), 横山 孝典(都市大), 吉岡 亮衛(教政研), 米谷 竜(東大)

第78回全国大会 イベント企画協力

IPSJ-ONE

2015年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～
マイナンバー制度は万全か？ サイバー攻撃の脅威への対策と指針
ポスト・ディズニー(ピクサー)のコンテンツ産業の行方 ー今後10年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何かー
Deep Learning とこれからの AI 研究
2020年に向けた音声翻訳の研究開発
ポスト「京」スーパーコンピュータの開発概要
量子コンピュータ
～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」
今後の大学の一般情報教育はどうあるべきか
知のコンピューティング, 次の一手
会誌「情報処理」公開編集委員会
オープン・サービス・イノベーション活用の秘訣は何か？
ーデジタルプラクティスライブー
教育と学習における ICT の活用の新時代
論文必勝法～一流論文のための羅針盤～
産業界における IoT の動向と日本の戦略
実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発
ビッグデータとプライバシー
自動車の自動走行・高度運転支援技術開発の最前線
実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の現状と新たな分野への適用
ジュニア会員特別企画

新世代企画委員会

電子化知的財産・社会基盤研究会
コンピュータセキュリティ研究会

グラフィクスと CAD 研究会

山口 高平 (慶應義塾大学)

住田 一男 (東芝)

天野 英晴 (慶應義塾大学)

天野 英晴 (慶應義塾大学)

歴史特別委員会

一般情報教育委員会

茂木 強 (科学技術振興機構)

会誌編集委員会

デジタルプラクティス編集委員会

情報処理教育委員会 初等中等教育委員会

藤田 桂英 (東京農工大学)

藤井 寛 (NTT)

徳田 英幸 (慶應義塾大学)

砂原 秀樹 (慶應義塾大学)

大前 学 (慶應義塾大学)

井上 克郎(大阪大学)

砂原 秀樹 (慶應義塾大学)

今大会では、慶應義塾大学様より会場のご提供を頂き誠にありがとうございました。
ここに厚くお礼申し上げます。

実践に役立つ MATLAB のプログラムも掲載

カルマンフィルタの基礎



- 足立修一・丸田一郎 著
A5判・240頁 2900円+税
- ◆ カルマンによって提案されたカルマンフィルタは、50年以上経った現在でも、理論と応用の両面で活発に研究開発されている。本書はカルマンフィルタの理論をわかりやすく解説した教科書。学習の理解を深める多くの演習問題を掲載。

カルマンフィルタのプログラムも掲載

バッテリーマネジメント工学

電池の仕組みから状態推定まで

- 足立修一・廣田幸嗣編著、押上勝憲・馬場厚志・丸田一郎・三原輝儀 著 A5判・248頁 3200円+税
- ◆ 電池の進歩により、バッテリーを電源とするエレクトロニクス機器が増えており、安定的な電源システムの構築にバッテリーマネジメントの重要性が高まっている。バッテリーマネジメントを理解するには、電池の知識に加え、回路設計やシステム制御の各知識を理解する必要がある。これら複数の学問体系にまたがる新しい分野を誤解なく習得できるよう、専門用語を整理し解説。



基礎編、拡充編に続き、待望の“通信電子戦編”を刊行

電子戦の技術

通信電子戦編



- デビッド・アダミー 著 / 河東晴子・小林正明・阪上廣治・徳丸義博 訳
A5判・394頁 5700円+税
- ◆ 電子戦 (Electronic Warfare) とは、電波・電磁波を活用した軍事活動の総称である。本書は、現代型の戦争において重要かつ基本的な技術として必要とされるレーダー技術と無線通信技術に関する技術解説書。

ユーザーがどこで最も混乱し、非効率を感じ、不満を抱くのか?

情報デザインシリーズ ユーザーエクスペリエンスの測定

UXマトリクスの理論と実践

- トム・タリス、ビル・アルバート 著 / 篠原稔和 監訳
B5変形・344頁 4500円+税
- ◆ サービスやシステムを使用するにあたって得られる、行動パターンや行動頻度 (ユーザーの経験: UX) を測定することによって、ユーザーの満足度を把握することが可能となった。これにより、ユーザーがどこで非効率化を感じ、どこに不満を抱くのかという部分を把握し分析することができる。UX の測定方法やデータの分析方法について、理論と豊富な事例に基づき詳しく解説。



プログラミング原論

プログラミング言語 Java 第4版

MAC OS X COCOA プログラミング 第4版

● アロン・ヒレガス、アダム・プレブル 著 / 東京電機大学監訳 B5変形・600頁 4200円+税

- アレクサンダー・ステパノフ、ポール・マクジョーンズ / 柴田芳樹 訳
B5変形・288頁 2800円+税
- ケン・アーノルド、ジェームズ・ゴスリン、デビッド・ホームズ 著 / 柴田芳樹 訳
B5変形・804頁 3900円+税

学生のための情報リテラシー

Office 2013 / Windows 8.1版

- 若山芳三郎 著 B5判・192頁 2200円+税

フレッシュマン 大学新入生のための学び方ワークブック

第2版 セミナーテキスト

- 初年次教育テキスト編集委員会 編 B5判・144頁 2000円+税

オープンエデュケーション

知の開放は大学教育に何をもたらすか

- 重田勝介 著 A5判・208頁 2500円+税

電気の歴史

人と技術のものがたり A5判・256頁 3000円+税

電気と磁気の歴史

人と電磁波のかかわり A5判・200頁 2400円+税

シリコンバレー

スティーブ・ジョブズの揺りかご 四六判・528頁 2500円+税

スティーブ・ジョブズ

青春の光と影 四六判・512頁 2500円+税

ビル・ゲイツ I

マイクロソフト帝国の誕生 四六判・528頁 2500円+税

問メディア社会の〈ジャーナリズム〉

ソーシャルメディアは公共性を変えるか A5判・340頁 3600円+税

- 高橋雄造 著 A5判・256頁 3000円+税
- 重光 司 著 A5判・200頁 2400円+税
- 脇 英世 著 四六判・528頁 2500円+税
- 脇 英世 著 四六判・512頁 2500円+税
- 脇 英世 著 四六判・528頁 2500円+税
- 遠藤薫 編 著 A5判・340頁 3600円+税



東京電機大学出版局

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-8 <http://www.tdupress.jp>
TEL03-5280-3433(営業) FAX03-5280-3563